

**静岡県 子どもの生活アンケート
調査報告書**

**令和6年10月
静岡県**

静岡県 子どもの生活アンケート 調査報告書

目次

I	調査概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査の項目	1
	(3) 調査の設計	1
	(4) 回収状況	1
	(5) 本調査における貧困層の定義	2
	(6) 調査概要	3
	(7) 報告書を見る際の注意事項	6
II	調査結果（保護者）	7
1	ご家族について	7
	(1) 回答者の続柄	7
	(2) 世帯人数と児童人数	8
	(3) 同居家族	10
	(4) 要介護者・要介助者	11
	(5) 居住している住宅の種類	12
	(6) 頼れる親族や友人の有無	13
	(7) 両親の年齢	14
	(8) 両親の就労状況	15
	(9) 両親の帰宅時刻	17
	(10) 両親の健康状態	18
	(11) 両親の最終学歴	19
2	世帯の経済的な状況について	20
	(1) 世帯の手取り収入	20
	(2) 現在の暮らしの状況	22
	(3) 回答者が子どもの頃の暮らしの状況	23
3	子どもとの関わり、習慣について	24
	(1) 子どもの基本的な生活・学習習慣	24
	(2) 子どもの習い事の状況	26
	(3) 回答者が希望する子どもの進学先	27
4	子どもを取り巻く環境・子育ての悩みについて	30
	(1) 子どもへの金品や機会等の提供	30
	(2) 経済的困窮の経験	32
	(3) 子どもについての悩みや不安	34
	(4) 子どもに関すること以外での心配や悩み事	36
	(5) 悩み事の相談相手	38
5	各種支援・サービスについて	42
	(1) 公的な支援制度の利用状況	42
	(2) 就学援助制度の利用状況	46
	(3) 現在利用している子育てなどに関する公的な支援制度の情報入手媒体	50

(4) 今後利用したい子育てなどに関する公的な支援制度の情報入手媒体	51
(5) 必要な公的な支援制度をもれなく受けられるようにするために重要だと思うこと	53
(6) 子どもや子育てに関する支援施策の利用意向	54
(7) 子どもたちが健やかに育っていくために必要な支援等への意見・要望（自由意見）	56
III 調査結果（子ども）	58
* 回答者の属性	58
(1) 学年	58
(2) 居住地区	59
(3) 性別	60
1 健康のことについて	61
(1) 健康状態	61
(2) 就寝時刻	62
(3) 歯みがき・入浴の頻度	63
(4) むし歯の状況	65
(5) 歯痛時の対応	66
2 ふだんの生活のことについて	67
(1) 朝ごはんの状況	67
(2) 昼ごはんの状況	71
(3) 夕ごはんの状況	74
(4) 平日の放課後過ごす場所	78
(5) 平日の放課後の過ごし方	81
(6) 休日の過ごし方	88
(7) 所有物の状況	96
(8) 身の周りの人との会話の状況	98
(9) 地域の活動や行事への参加状況	101
(10) この1年間で出かけたことがある場所	103
3 学校や勉強のことについて	106
(1) 学校生活での楽しみ	106
(2) クラス内の成績	108
(3) 学校の勉強の理解度	109
(4) 授業がわからなくなった時期	110
(5) 将来の進学希望	111
4 ふだん感じていること	114
(1) 自己肯定感	114
(2) 困ったことがあったときの対応（相談相手の有無）	117
(3) 今誰かに相談したいこと	119
(4) いじめや不登校等の経験	121
(5) 子どものための施策や施設等の利用意向	123
5 将来について	125
(1) 理想の人生	125
(2) 希望するこどもの数	126

(3) 今一番やってみたいこと (自由意見)	129
IV 使用調査票	130
保護者調査	131
子ども調査	138

I 調査概要

(1) 調査の目的

本県の子どもの貧困対策として関連する各分野における支援の在り方等を検討するに当たり、子どもや家庭の実態把握と支援ニーズの調査・分析を行い、その結果を今後の施策及び第三次こどもの貧困解消対策計画のための基礎資料として活用することを目的とします。

(2) 調査の項目

No.	保護者調査	子ども調査
1	ご家族について	あなたの健康のことについて
2	世帯の経済的な状況について	ふだんのせいかつのことについて
3	子どもとの関わり、習慣について	学校や勉強のことについて
4	子どもを取り巻く環境・子育ての悩みについて	ふだん感じていること
5	各種支援・サービスについて	自由意見

(3) 調査の設計

調査対象	県内の小学5年生、中学2年生、高校2年生、特別支援学校生、その保護者 計 13,998 人分
調査方法	静岡県内の学校にて案内するWEB調査
調査期間	令和6年7月19日～令和6年8月27日

(4) 回収状況

	保護者調査	子ども調査
配布数	6,999 人	6,999 人
有効回収数	1,315 人	2,442 人
有効回収率	18.8%	34.9%

(5) 本調査における貧困層の定義

厚生労働省が公表している算出方法では、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分（貧困線）に満たない世帯を「相対的貧困層」としています。

本調査においては、問2で世帯人数を、問11で可処分所得についての回答を得ています。貧困線の算出方法は下記の通りですが、アンケート調査においてより多くの回答を得るため、可処分所得を数値で記入するのではなく、50万円区分の選択方式にて回答いただきました。

このため、令和4年国民生活基礎調査（厚生労働省）分析結果の貧困線を参考に、世帯人員別の貧困層区分を下記のように設定しました。

<世帯人数ごとの貧困層となる区分>

世帯人数 (問2-1)	国調査における貧困線	貧困層となる区分	問11													22	無回答
			1～2	3～4	5	6	7	8	9～11	12～14	15～17	18～20	21				
			100万円未満	100万円～200万円未満	200万円～225万円未満	225万円～275万円未満	275万円～325万円未満	325万円～375万円未満	375万円～475万円未満	475万円～625万円未満	625万円～775万円未満	775万円～925万円未満	925万円以上				
2人	180万円	200万円未満	■														
3人	220万円	200万円未満	■	■													
4人	254万円	250万円未満	■	■	■												
5人	284万円	300万円未満	■	■	■	■											
6人	311万円	300万円未満	■	■	■	■	■										
7人	336万円	350万円未満	■	■	■	■	■	■									
8人以上	360万円	350万円未満	■	■	■	■	■	■	■								
無回答																	

貧困層 (貧困層に相当する世帯)
 非貧困層 (貧困層に相当しない世帯)

- 有効回答1,315件の内訳
 判定可能：1,315件 判定不可：0件
- 判定可能回答1,315件より
 貧困層に相当する世帯：110件（8.4%）
 貧困層に相当しない世帯：1,205件（91.6%）

※本結果は目安であり、貧困層世帯に該当したすべての世帯が、必ずしも実際の生活で困難を抱えているというわけではありません。

(6) 調査概要

1 集計区分について

【保護者】

① 生活困難状況別

回収された1,315世帯（保護者回答）のうち、等価可処分所得の算出が可能な1,315世帯について、令和4年国民生活基礎調査の世帯人数別の貧困線を境界とし、2区分としました。

貧困層に相当する世帯：110 貧困層に相当しない世帯：1,205

② 世帯構成別

保護者の有効回答数を、同居している家族構成の状況により4区分としました。

父子世帯：58 母子世帯：152 ふたり親世帯：1,071 その他：28

【子ども】

① 生活困難状況別

貧困層に相当する世帯：40 貧困層に相当しない世帯：407

② 世帯構成別

父子世帯：16 母子世帯：59 ふたり親世帯：361 その他：10

③ 学年別

小学生：1,052 中学生：515 高校生：875

2 保護者

① ご家族について

同居家族について、貧困層に相当する世帯では「父親」が50%をやや上回る程度の方で、「祖父」「祖母」が多くなっており、生活を支援してもらっている状況がうかがわれます。

世帯構成について、「ふたり親世帯」81.4%が最も多く、以下「母子世帯」が11.6%、「父子世帯」と合わせた『ひとり親世帯』は16.0%となっています。貧困層に相当する世帯では「母子世帯」が4割近くとなっています。

居住している住宅の種類について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに全体の割合に比べ、「民間賃貸住宅」が多くなっています。

父親の就労状況について、貧困層に相当する世帯では「正社員・正規職員」が少なく、「自営業」が多くなっています。また、母親の就労状況について、貧困層に相当する世帯では「嘱託・契約社員・準社員」「派遣社員」が多くなっていることから、安定して収入を得られてい

ない可能性があることがわかります。

②世帯の経済的な状況について

現在の暮らしの状況について、貧困層に相当する世帯では7割以上、母子世帯では7割近くが、『苦しい』（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）となっており、生活の困難さがうかがわれます。

③子どもとの関わり、習慣について

子どもの基本的な生活・学習習慣について、貧困層に相当する世帯が、〔②決まった時間に就寝する〕で『できていない』（「あまりできていない」＋「できていない」）が多くなっています。

子どもの習い事の状況について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、「特にしていない」が多くなっており、余裕が少ないことがうかがわれます。

回答者が希望する子どもの進学先について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、「高等学校」が多くなっています。

④ 子どもを取り巻く環境・子育ての悩みについて

子どもへの金品や機会等の提供について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに〔①毎月お小遣いを渡す〕〔③習い事（音楽・スポーツ・習字など）をさせる〕〔④学校以外での学習（学習塾、家庭教師、通信教育など）をさせる〕〔⑩1年に一回くらい家族旅行に行く〕で「経済的にできない」が多くなっています。

過去一年間の経済的困窮の経験の有無について、貧困層に相当する世帯では11項目中4項目で『あった』（「何度かあった」＋「頻繁にあった」）が多く、〔②必要な服が買えなかった〕では約4分の1を占めています。また、母子世帯では〔②必要な服が買えなかった〕が2割以上となっており、経済的な逼迫を抱えていることがうかがわれます。

子どもについての悩みや不安について、貧困層に相当する世帯に、「お子さまに対するしつけや教育に自信が持てない」「お子さまの進学や受験のことが心配である」が多くなっています。

子どもに関すること以外での心配や悩み事について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、「収入や家計・借金など」「自分の仕事」「住まいや生活環境」が多くなっており、生活への影響が大きいと思われる内容となっています。

⑤ 各種支援・サービスについて

公的な支援制度の利用状況について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、〔②児童扶養手当〕〔⑧高等学校等奨学給付金〕〔⑩ひとり親家庭等医療費助成〕で「利用している」が多くなっています。一方、『利用意向はあるが利用していない』（「利用したいが基準にあてはまらない」＋「利用するのがためらわれた」＋「利用したいがどこに相談すればよいか分からない」）は、母子世帯で〔⑩ひとり親家庭等医療費助成〕が多くなっており、経済的な支

援を求めていることがうかがわれます。

子どもや子育てに関する支援施策について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、〔②食の支援（フードバンクなど食料の無料提供）〕で「利用意向あり」（「利用したい」）が多くなっており、食料面での支援を望んでいることがうかがわれます。

3 子ども

① あなたの健康のことについて

むし歯の状況について、貧困層に相当する世帯では、貧困層に相当しない世帯と比較すると、「むし歯はない」が少なくなっています。また、父子世帯・母子世帯ともに、ふたり親世帯と比較すると、「むし歯はない」が少なくなっています。

② ふだんの生活のことについて

朝ごはんの摂取頻度について、貧困層に相当する世帯では、貧困層に相当しない世帯と比較すると、「毎日食べる」が少なくなっています。また、父子世帯・母子世帯ともに、ふたり親世帯と比較すると、「毎日食べる」が少なくなっています。

学校のある日の朝ごはんの状況について、母子世帯では「ひとりで食べる」が多くなっています。

平日（学校のある日）の放課後に過ごすことが多い場所について、貧困層に相当する世帯では「じぶんの家（親などの大人という）」が少なくなっています。保護者が働いているため、親などの大人という時間が少なくなっていることがうかがわれます。

所有物の状況について、貧困層に相当する世帯では〔③誕生日にもらったプレゼント〕〔⑦ゲーム機〕で所有ありが少なくなっています。

この1年間で出かけたことがある場所について、貧困層に相当する世帯では、「外食」「ゲームセンター」を除いたすべての項目で少なくなっています。

③ 学校や勉強のことについて

学校の勉強の理解度について、貧困層に相当する世帯では、貧困層に相当しない世帯と比較すると、『わかる』（「ほとんどわかる」＋「だいたいわかる」）が少なくなっています。また、将来の進学希望について、貧困層に相当する世帯では、貧困層に相当しない世帯と比較すると、「大学・大学院まで」が少なくなっています。

④ ふだん感じていること

貧困層に相当する世帯では、〔④自分は価値のある人間だと思う〕〔⑧不安に思うことはない〕で、「自己肯定感 低」（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）が多くなっています。

子どものための施策や施設等の利用意向について、貧困層に相当する世帯では〔①勉強、進学、家族のことなど何でも相談できる場所〕が多くなっています。

(7) 報告書を見る際の注意事項

※回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。

※百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。このため、百分率の合計が 100%にならないことがあります。

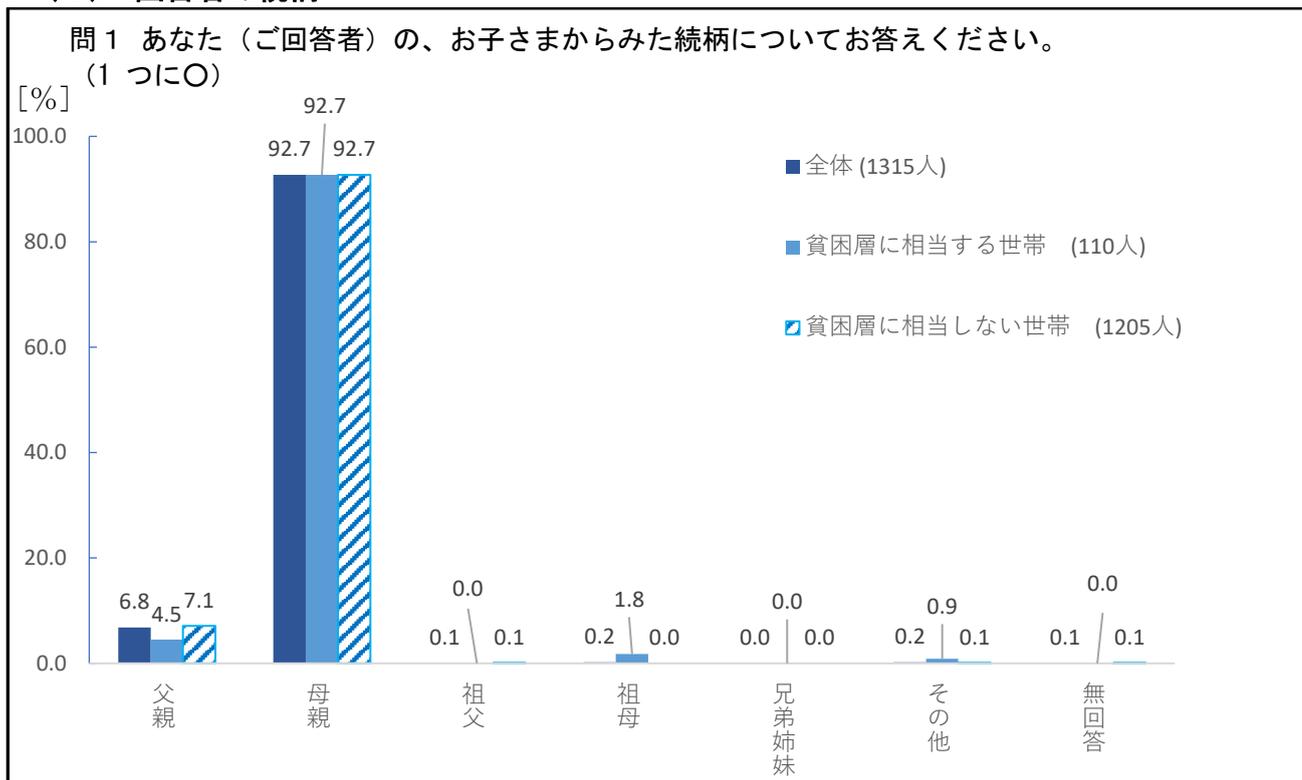
※1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が 100%を超える場合があります。

※グラフにおいて、選択肢を省略して掲載している場合があります。

II 調查結果（保護者）

1 ご家族について

(1) 回答者の続柄



回答者の続柄（子どもからみた）は「母親」が最も多く92.7%となっています。

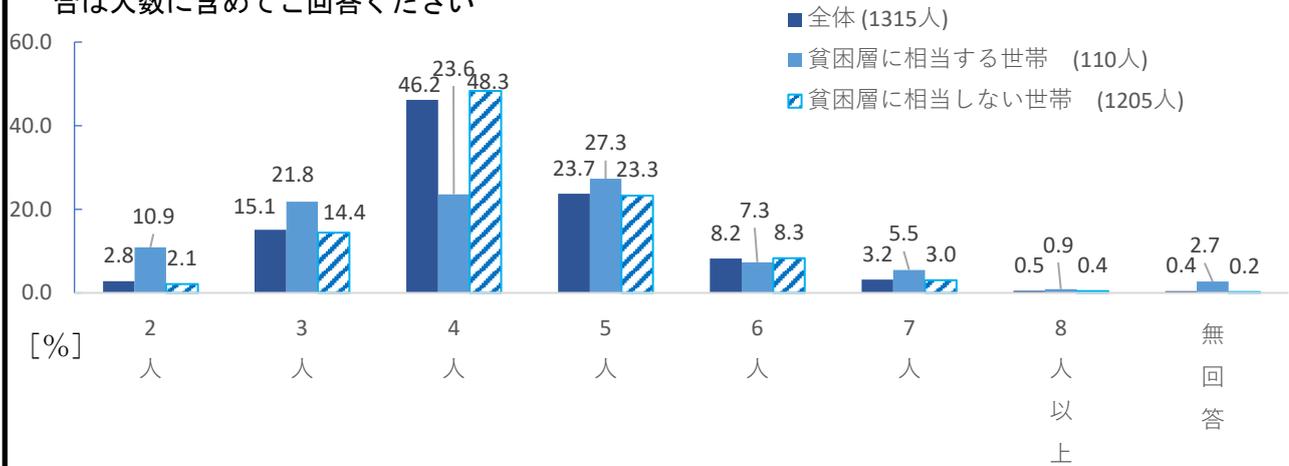
生活困難状況別でも差異はありませんでしたが、貧困層に相当する世帯では「父親」の回答が4.5%と少なくなっています。

(2) 世帯人数と児童人数

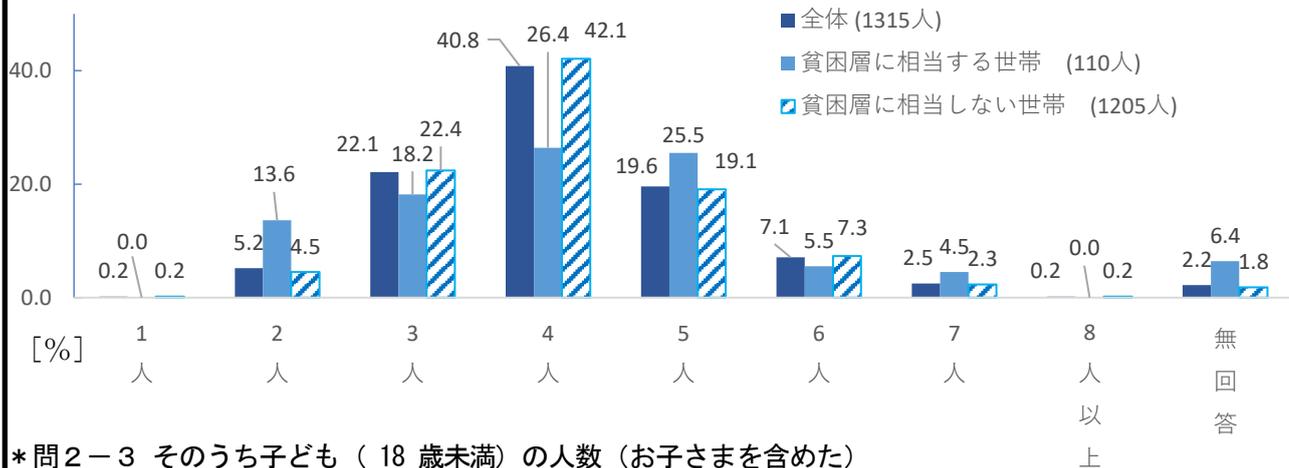
問2 あなたの世帯について、令和6年7月1日時点のご家族の人数を教えてください。（人数を記入）

* 生計を同一にしている人数（あなたとお子さまを含めた）

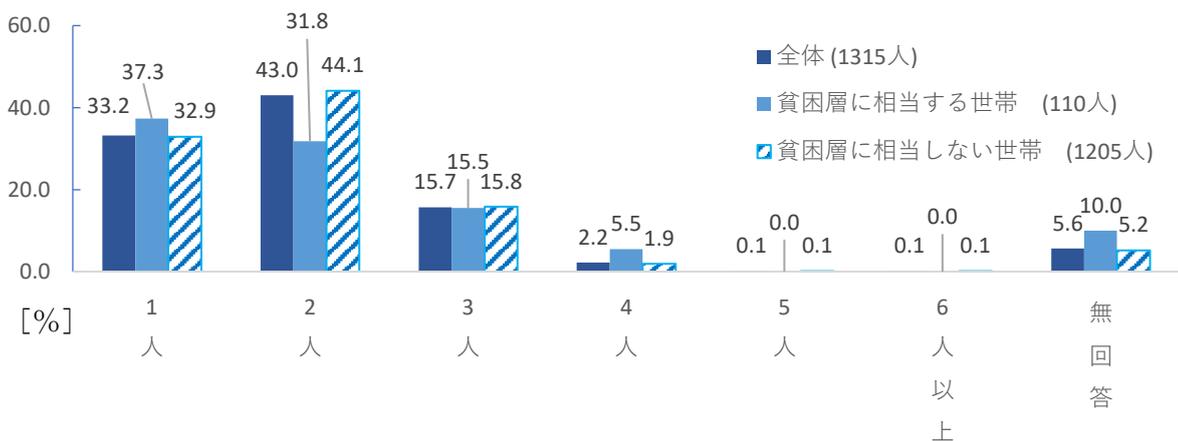
※ 単身赴任中の方や、学業のために世帯を離れているお子さまについても、生計を同一にしている場合は人数に含めてご回答ください



* 問2-2 そのうち、一緒に住んでいる人数（あなたとお子さまを含めた）



* 問2-3 そのうち子ども（18歳未満）の人数（お子さまを含めた）



世帯人数は、「4人」46.2%が最も多く、以下「5人」23.7%、「3人」15.1%、「6人」8.2%、「7人」3.2%となっています。

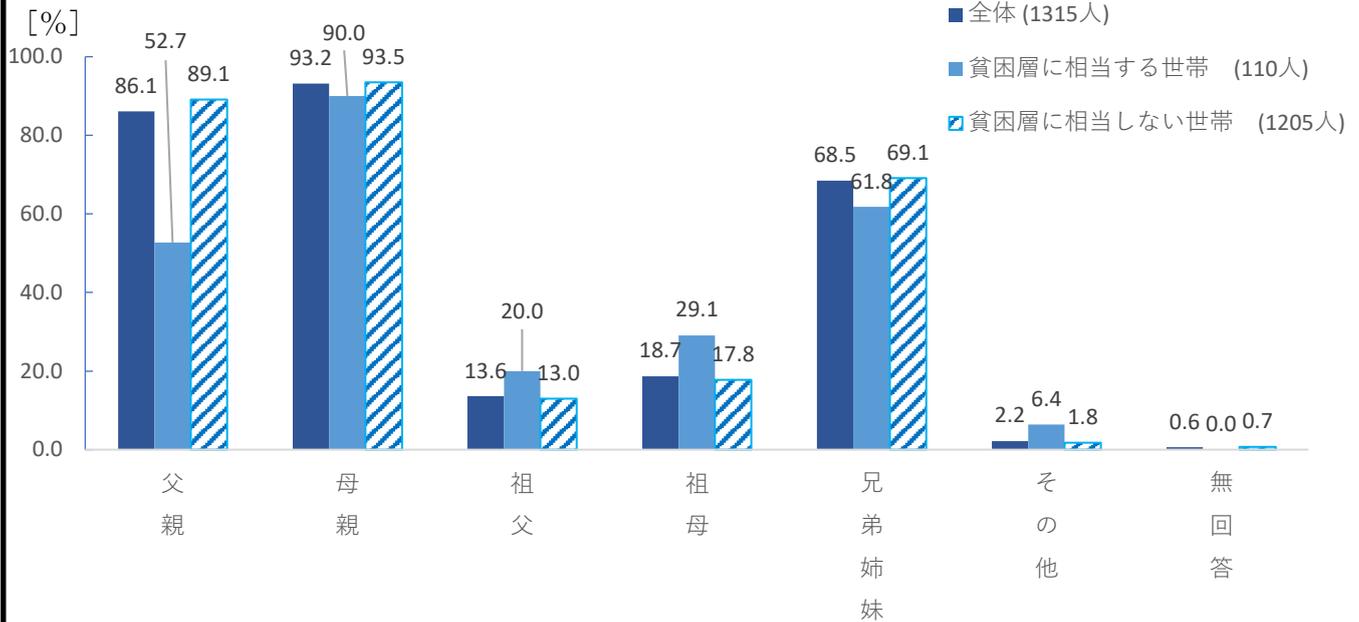
生活困難状況別で見ると、貧困層に相当する世帯では「5人」27.3%と「4人」23.6%が、貧困層に相当しない世帯では「4人」48.3%と「5人」23.3%が比較的多くなっています。

世帯人数のうち、18歳未満の子どもの人数は、「2人」43.0%が最も多く、以下「1人」33.2%、「3人」15.7%、「4人」2.2%となっています。

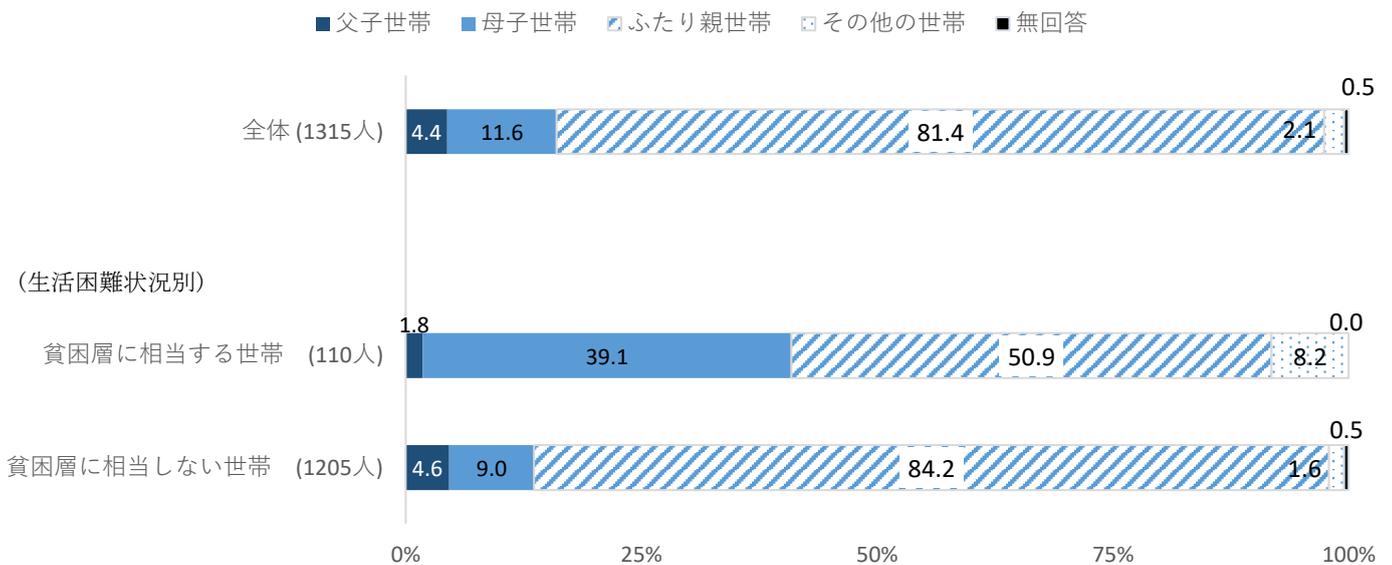
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「1人」37.3%が、貧困層に相当しない世帯では「2人」44.1%が比較的多くなっています。

(3) 同居家族

問3 あなたの世帯はどなたと一緒に暮らしていますか。お子さまからみた続柄でお答えください。
(あてはまるものすべてに○)



* 世帯構成 (ひとり親の状況)



同居している家族の続柄は、「母親」93.2%が最も多く、以下「父親」86.1%、「兄弟姉妹」68.5%、「祖母」18.7%、「祖父」13.6%となっています。

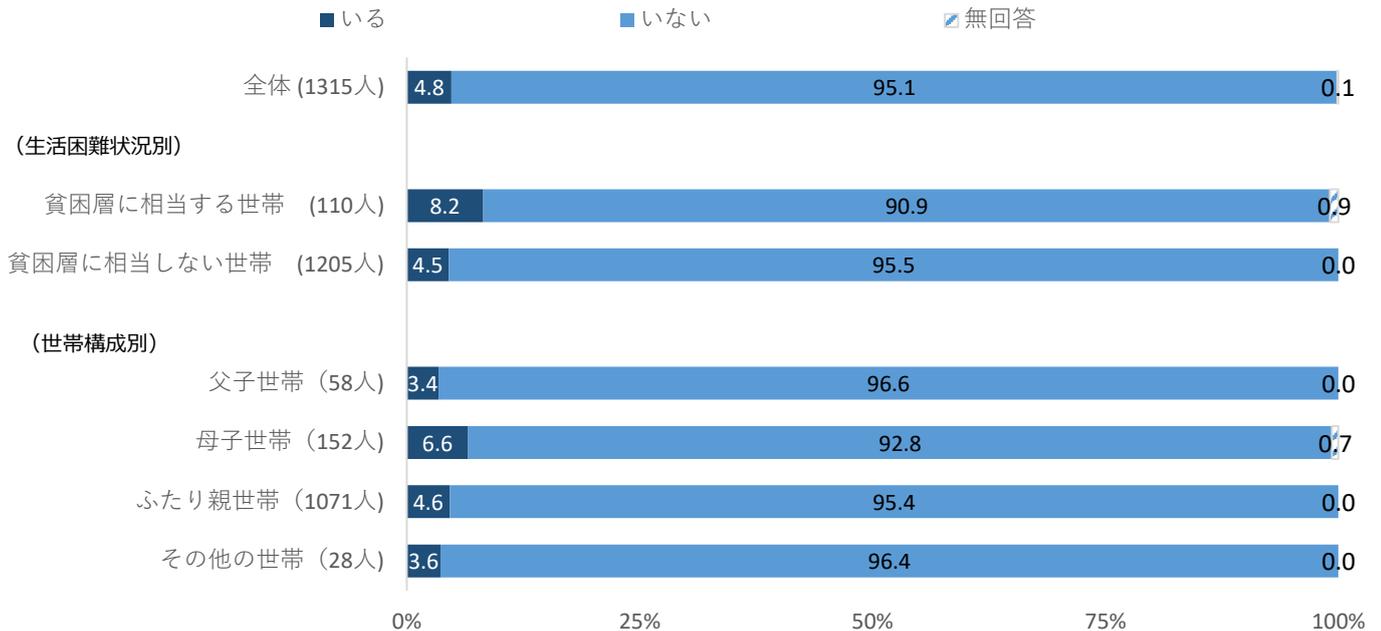
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「父親」52.7%が少なく、「祖母」29.1%と「祖父」20.0%が比較的多くなっています。

世帯構成 (ひとり親の状況)は、「ふたり親世帯」81.4%が最も多く、以下「母子世帯」が11.6%、「父子世帯」4.4%と続き、「母子世帯」と「父子世帯」を合わせた『ひとり親世帯』は16.0%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「母子世帯」39.1%と「その他の世帯」8.2%が比較的多くなっています。

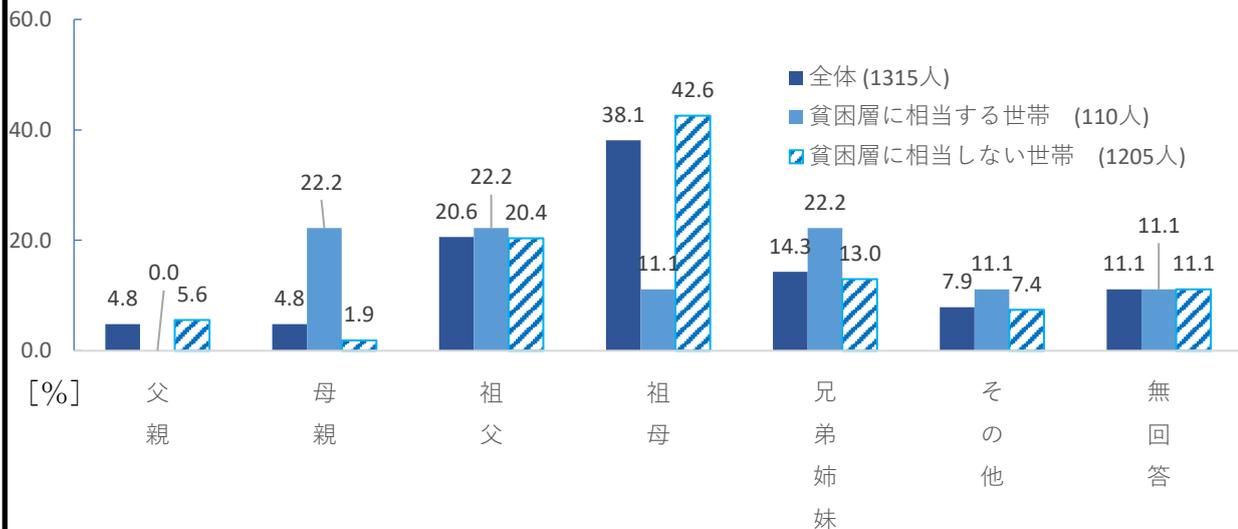
(4) 要介護者・要介助者

問4 あなたの世帯のご家族の中に、介護や介助が必要な方はいますか。(1つに○)



(問4で「いる」を選んだ方におうかがいします。)

問4-2 お子さまからみて、介護や介助が必要な方はどなたですか。(1つに○)



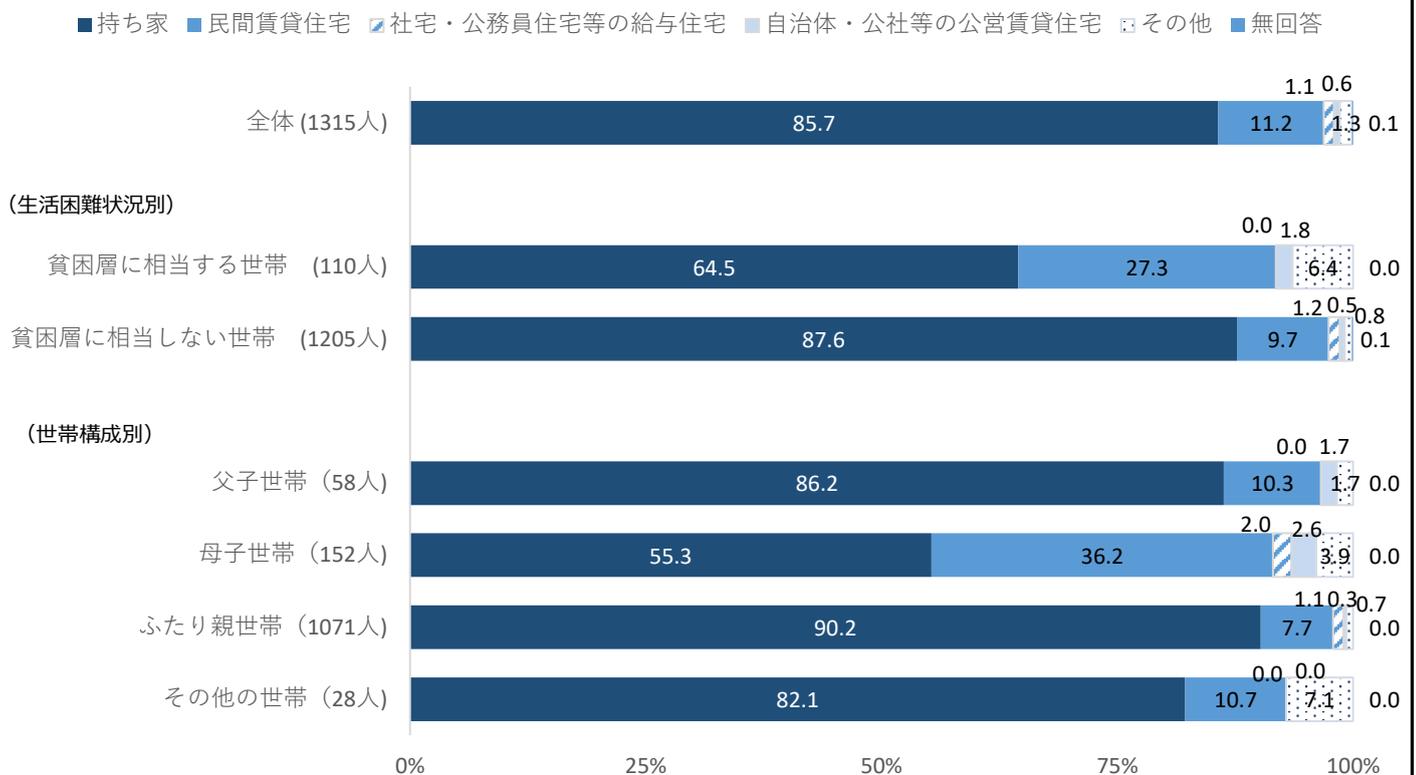
同居している家族の中で要介護者・要介助者の有無は、「いない」95.1%が大多数を占めています。生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「いる」8.2%が比較的多くなっています。世帯構成別でみると、母子世帯では「いる」6.6%が比較的多くなっています。

同居家族に要介護者・要介助者がいると回答した人(4.8%)の、要介護者・要介助者の続柄(子どもからみた)は、「祖母」38.1%が最も多く、以下「祖父」20.6%、「兄弟姉妹」14.3%、「その他」7.9%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「母親」「祖父」「兄弟姉妹」が並んで22.2%と比較的多くなっています。

(5) 居住している住宅の種類

問5 現在お住まいの住宅の種類についてお答えください。(1つに○)



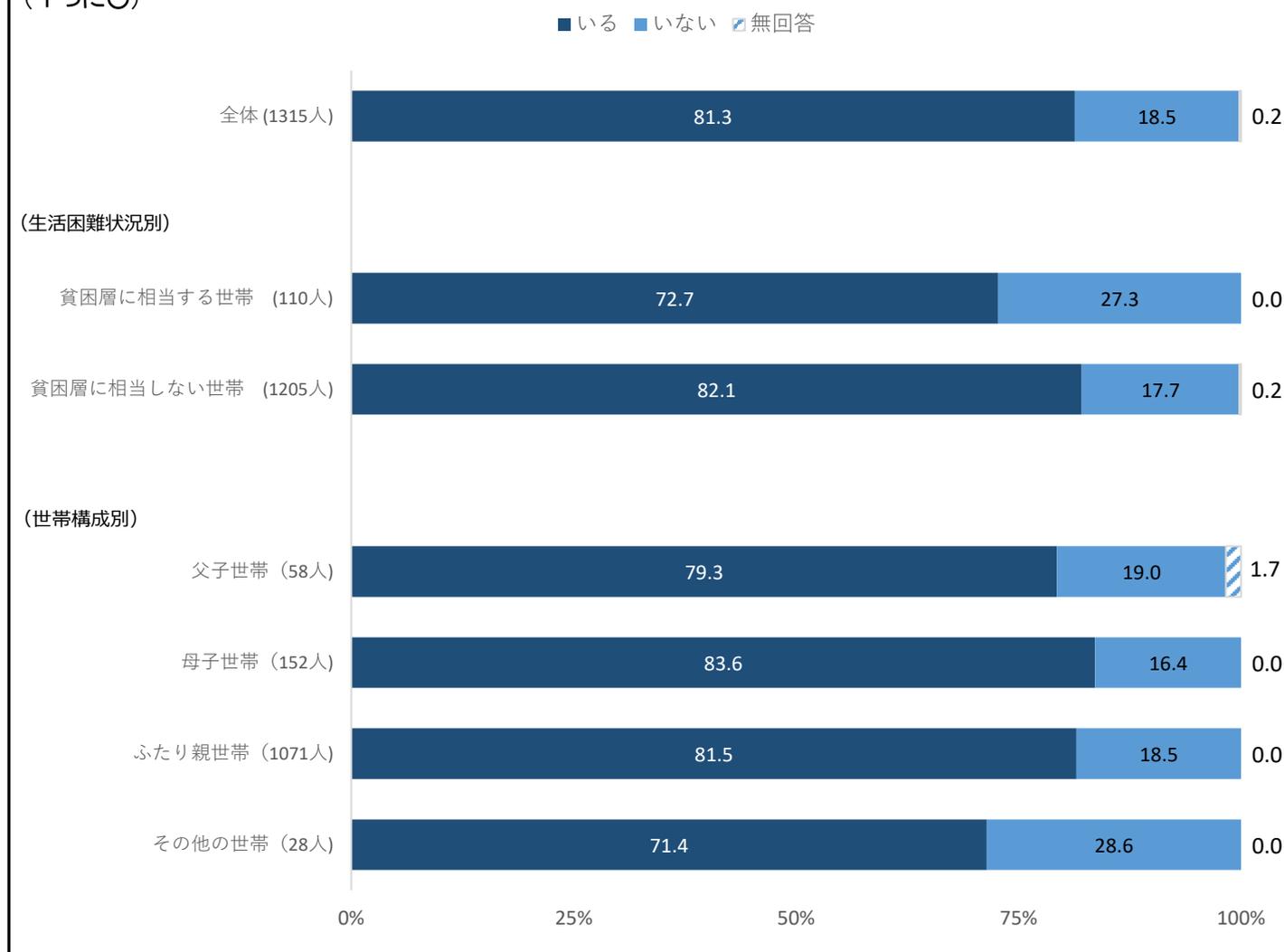
居住している住宅の種類は、「持ち家」85.7%が最も多く8割以上を占め、次いで「民間賃貸住宅」11.2%が約1割となっています。

生活困難状況別で見ると、貧困層に相当する世帯では「民間賃貸住宅」27.3%が比較的多くなっています。世帯構成別で見ると、母子世帯では「民間賃貸住宅」36.2%が比較的多くなっています。

※世帯構成別の『父子世帯』については、該当する世帯が少数(58人)のため、属性別での分析はせず、参考程度とします。

(6) 頼れる親族や友人の有無

問6 お子さまが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる同居していない親族や友人はいますか
(1つに〇)



お子さまが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる同居していない親族や友人の有無は、「いる」 81.3%、「いない」 18.5%となっています。

生活困難状況別で見ると、貧困層に相当する世帯では「いない」 27.3%が比較的多くなっています。世帯構成別で見ると、その他の世帯では「いない」 28.6%が比較的多くなっています。

お子さまのご両親についておうかがいします。

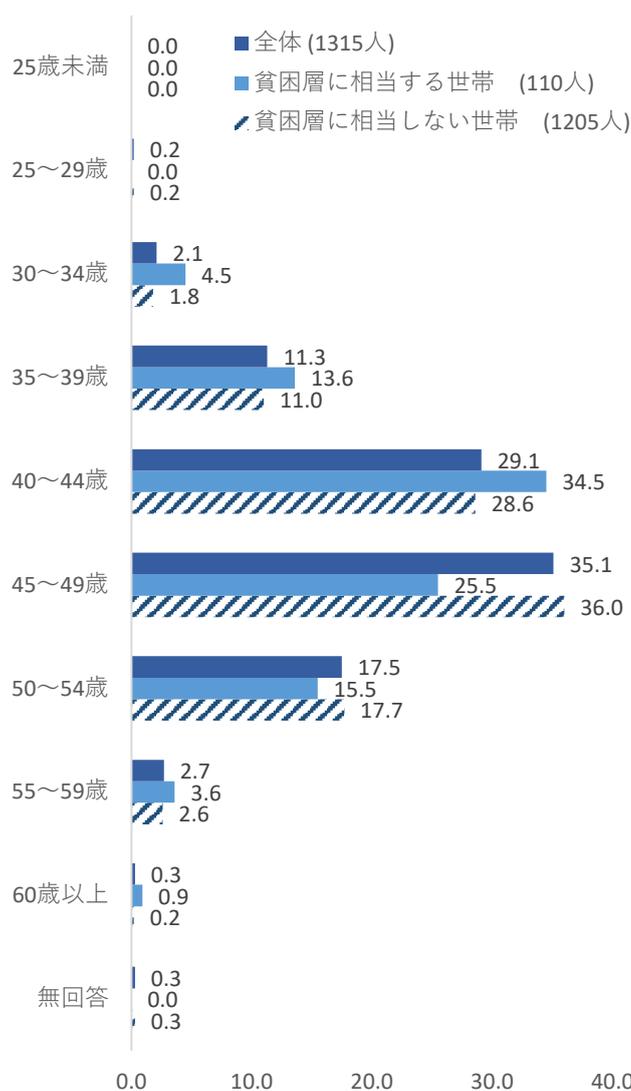
(ひとり親家庭の場合は、あてはまる方にだけお答えください。)

(ご両親以外の方がお子さまを養育している場合は問7～10は回答不要。)

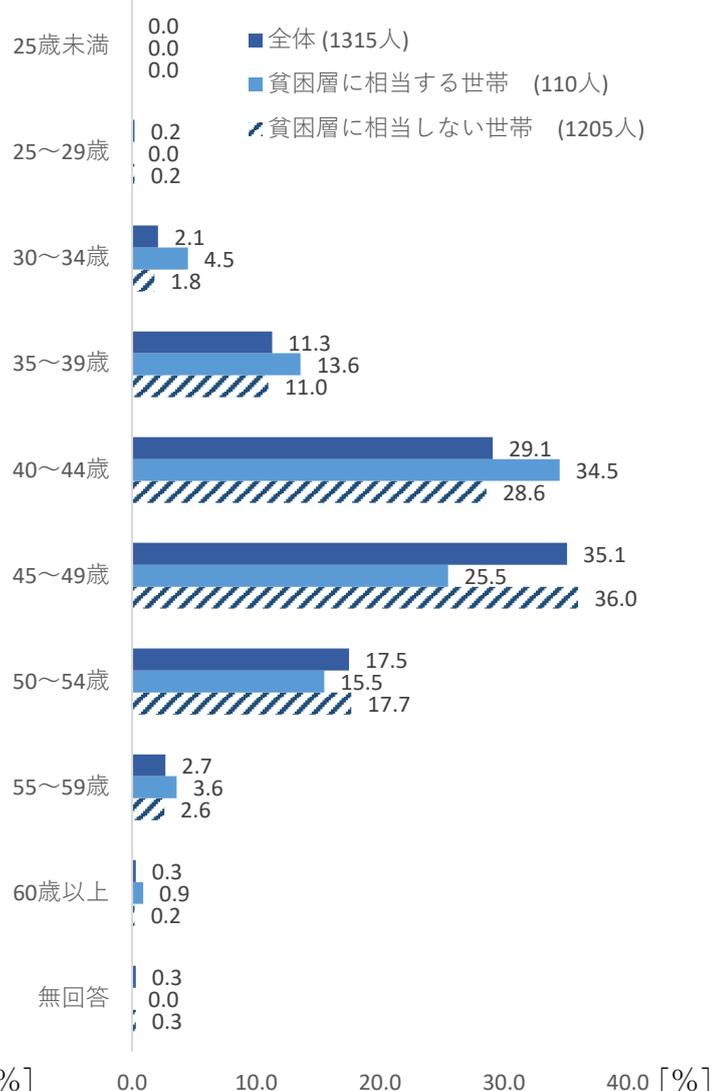
(7) 両親の年齢

問7 お子さまのご両親の年齢についてお答えください。(それぞれ番号を1つ記入)

(父親の年齢)



(母親の年齢)



父親の年齢は、「45歳～49歳」35.1%が最も多く、以下「40歳～44歳」29.1%、「50歳～54歳」17.5%、「35歳～39歳」11.3%となっています。

生活困難状況別で見ると、貧困層に相当する世帯では「40歳～44歳」が34.5%と最も多く、「45歳～49歳」が25.5%となっています。

母親の年齢は、「45歳～49歳」35.1%が最も多く、以下「40歳～44歳」29.1%、「50歳～54歳」17.5%となっています。

生活困難状況別で見ると、貧困層に相当する世帯では「40歳～44歳」34.5%、「45歳～49歳」25.5%と比較的多くなっています。

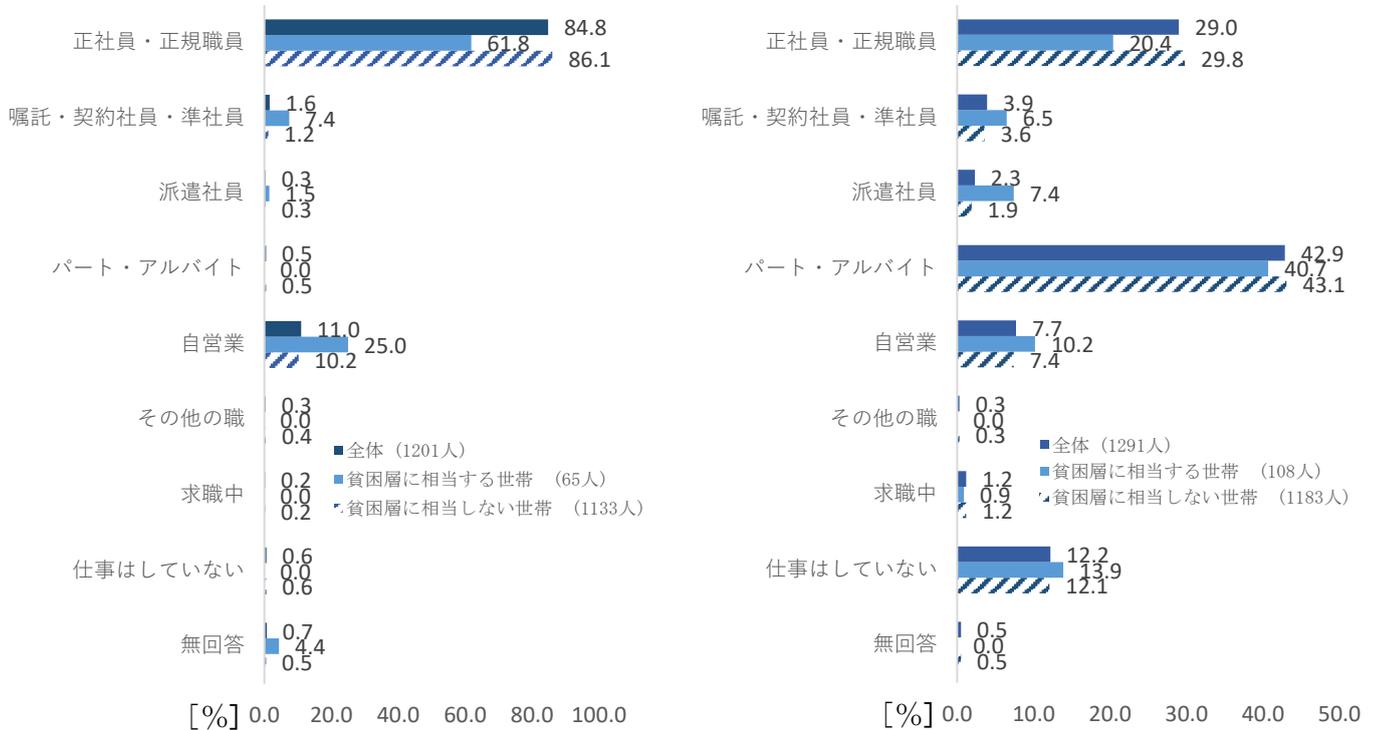
(8) 両親の就労状況

問8 お子さまのご両親の主なお仕事についてお答えください。(それぞれ番号を1つ記入)

※現在、産休・育休・その他休業中の場合は、復職される際の状況でお答えください。

(父親の就労状況)

(母親の就労状況)



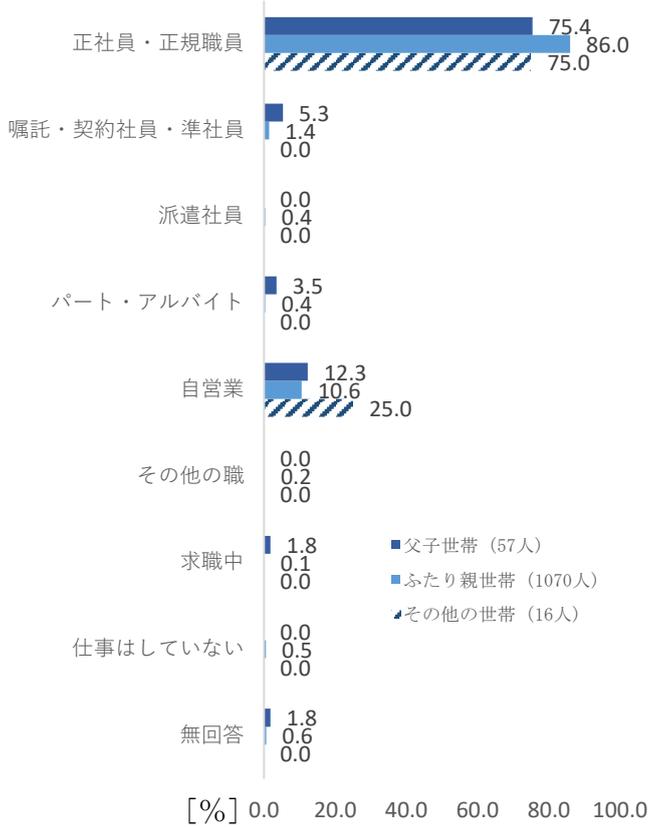
父親の就労状況は、「正社員・正規職員」84.8%が最も多く約4分の3を占め、次いで「自営業」11.0%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「正社員・正規職員」61.8%が少なく、「自営業」25.0%、「嘱託・契約社員・準社員」7.4%が比較的多くなっています。

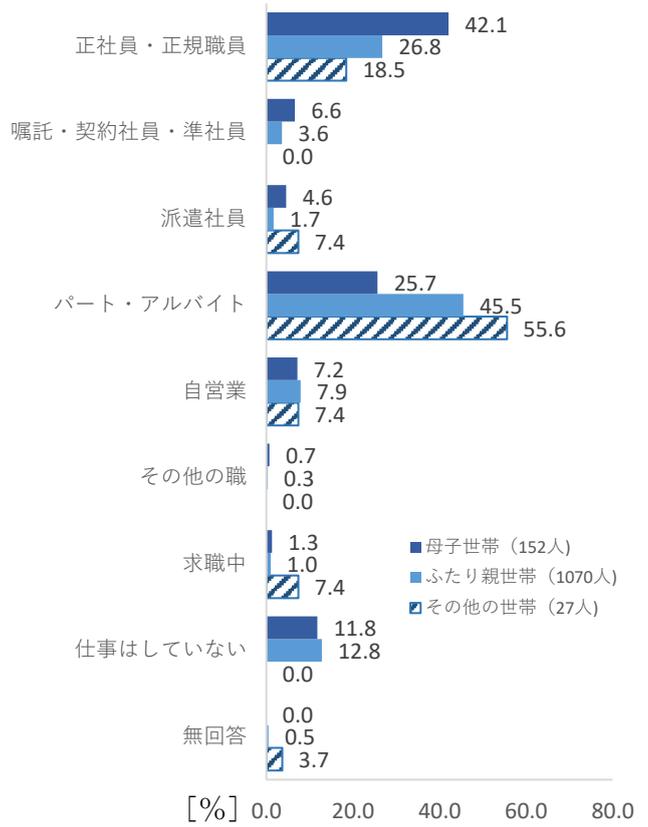
母親の就労状況は、「パート・アルバイト」42.9%が最も多く、以下「正社員・正規職員」29.0%、「仕事はしていない」12.2%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「自営業」10.2%、「嘱託・契約社員・準社員」6.5%が比較的多くなっています。

(世帯構成別 父親の就労状況)



(世帯構成別 母親の就労状況)

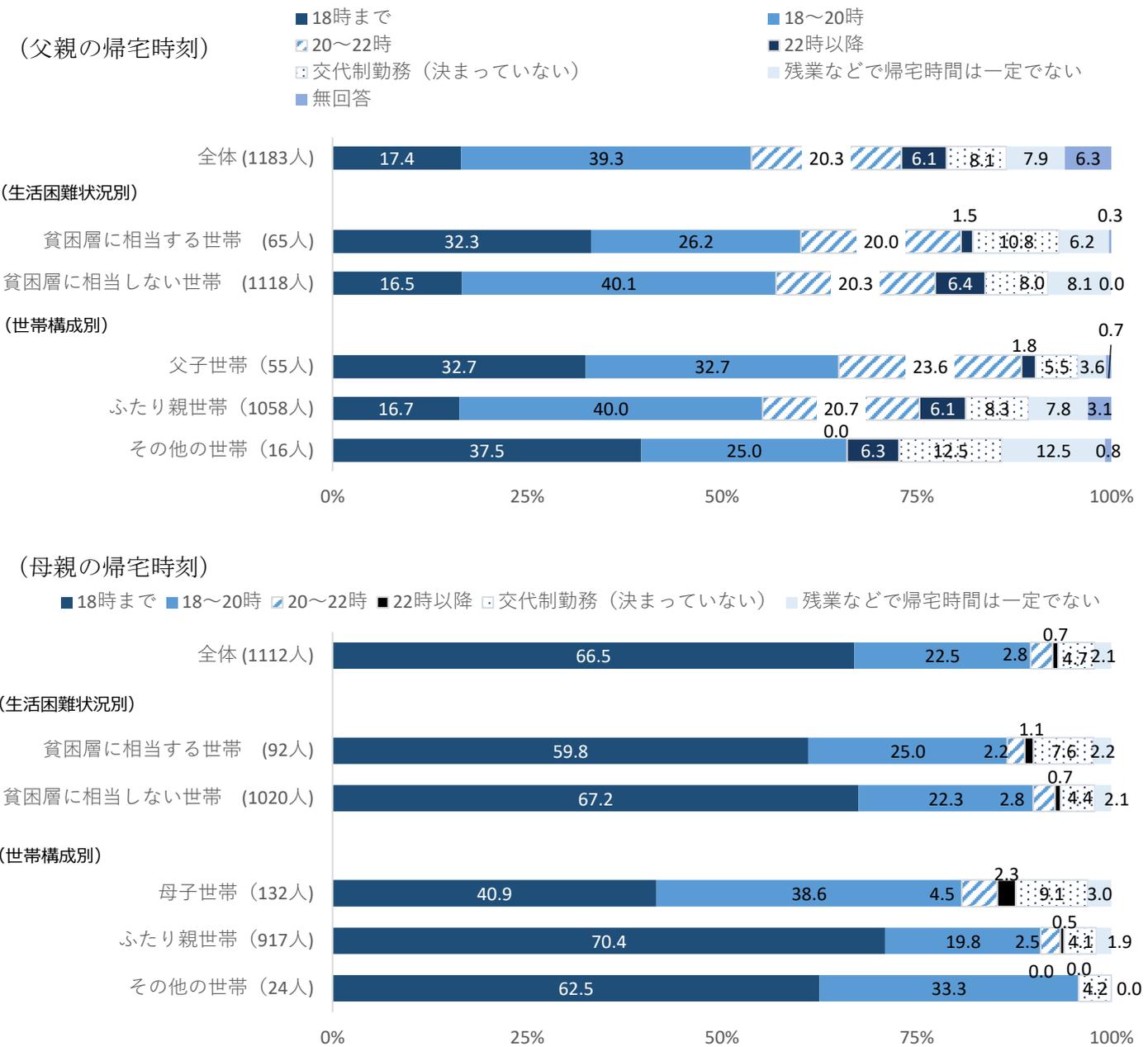


母親の就労状況を世帯構成別で見ると、母子世帯では「正社員・正規職員」42.1%が比較的多くなっています。その他の世帯では「パート・アルバイト」55.6%が比較的多くなっています。

(9) 両親の帰宅時刻

(問8で「働いている」と回答した方におうかがいします。)

問8-2 お子さまのご両親の普段の帰宅時刻で、最も多い時間帯を選んでください。(それぞれ番号を1つ記入) ※ご自宅が仕事場の場合は、お仕事が終わる時間を選んでください。



父親の帰宅時刻は、「18～20時」39.3%が最も多く、以下「20時～22時」20.3%、「18時まで」17.4%となっています。

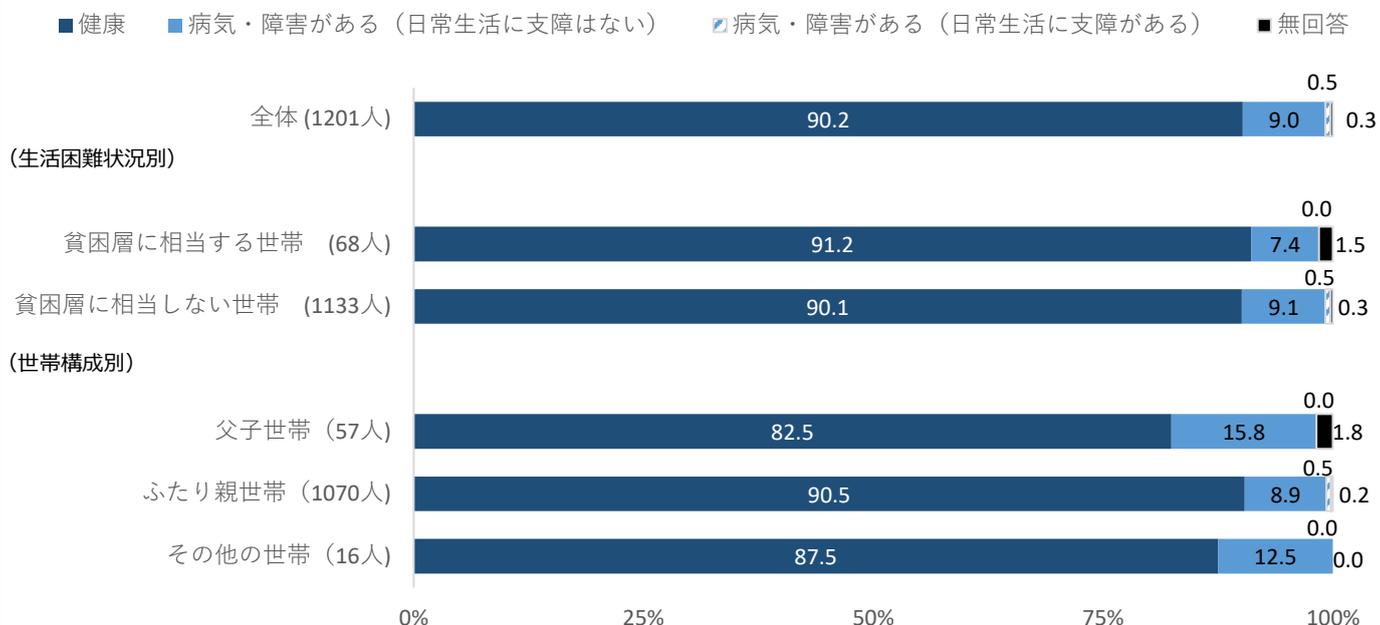
母親の帰宅時刻は、「18時まで」66.5%が最も多く約4分の3を占め、次いで「18～20時」22.5%となっています。

世帯構成別でみると、母子世帯とその他の世帯では「18～20時」が比較的多くなっています(母子世帯：38.6%、その他の世帯：33.3%)。

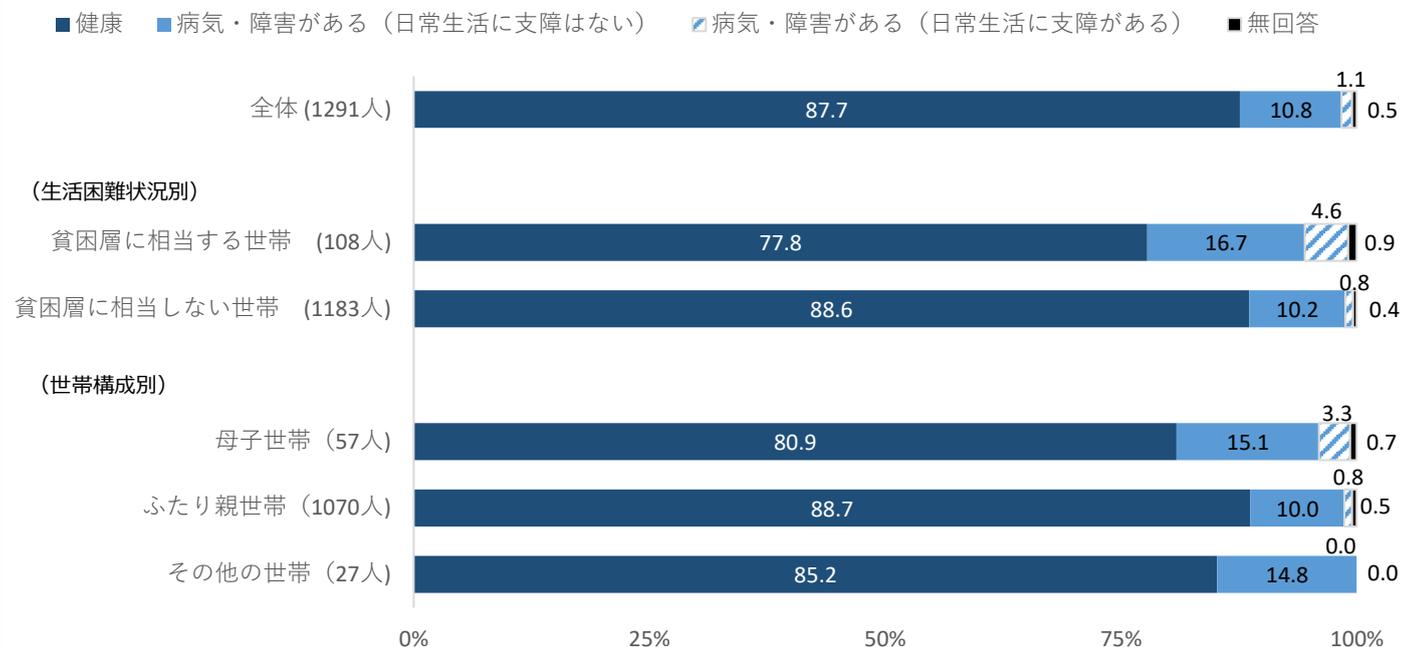
(10) 両親の健康状態

問9 お子さまのご両親の健康状態を教えてください。（それぞれ番号を1つ記入）

(父親の健康状態)



(母親の健康状態)



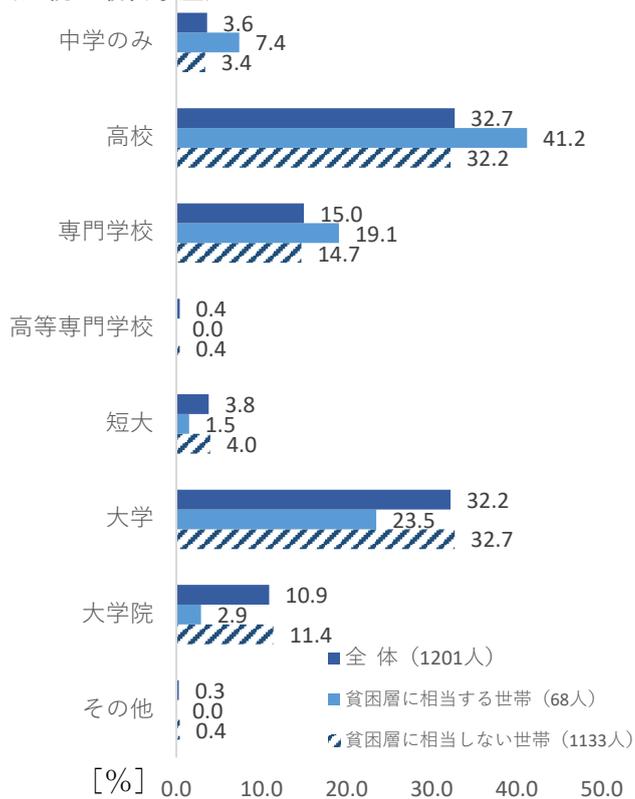
父親の健康状態は、「健康」90.2%が最も多く約9割を占め、次いで「病気・障がいがある（日常生活に支障はない）」9.0%となっています。

母親の健康状態は、「健康」87.7%が最も多く約9割近くを占め、次いで「病気・障がいがある（日常生活に支障はない）」10.8%となっています。

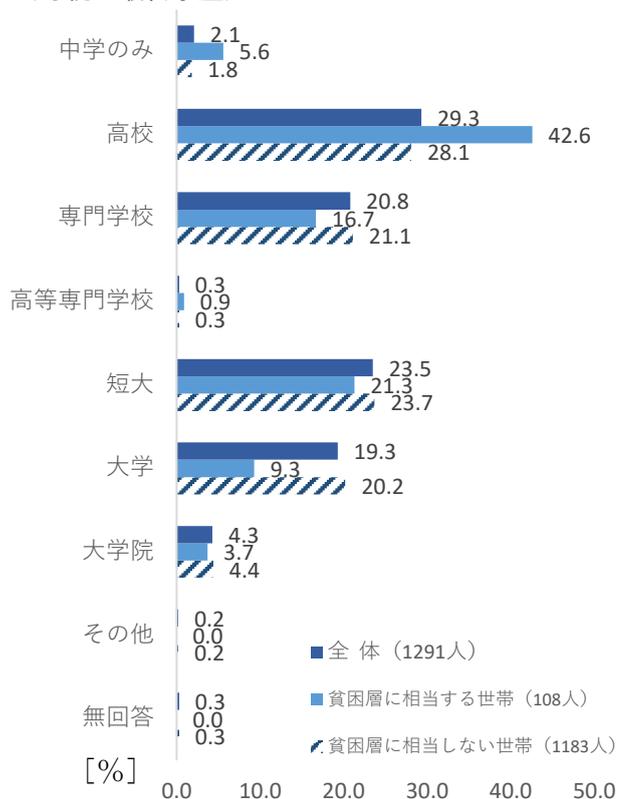
(11) 両親の最終学歴

問10 お子さまのご両親が卒業・修了した学校についてお答えください。（それぞれ番号を1つ記入）

(父親の最終学歴)



(母親の最終学歴)



父親の最終学歴は、「高等学校卒業」32.7%が最も多く、以下「大学卒業」32.2%、「専門学校等卒業」15.0%となっています。

母親の最終学歴は、「高等学校卒業」29.3%が最も多く、以下「短期大学卒業」23.5%、「専門学校卒業」20.8%となっています。

2 世帯の経済的な状況について

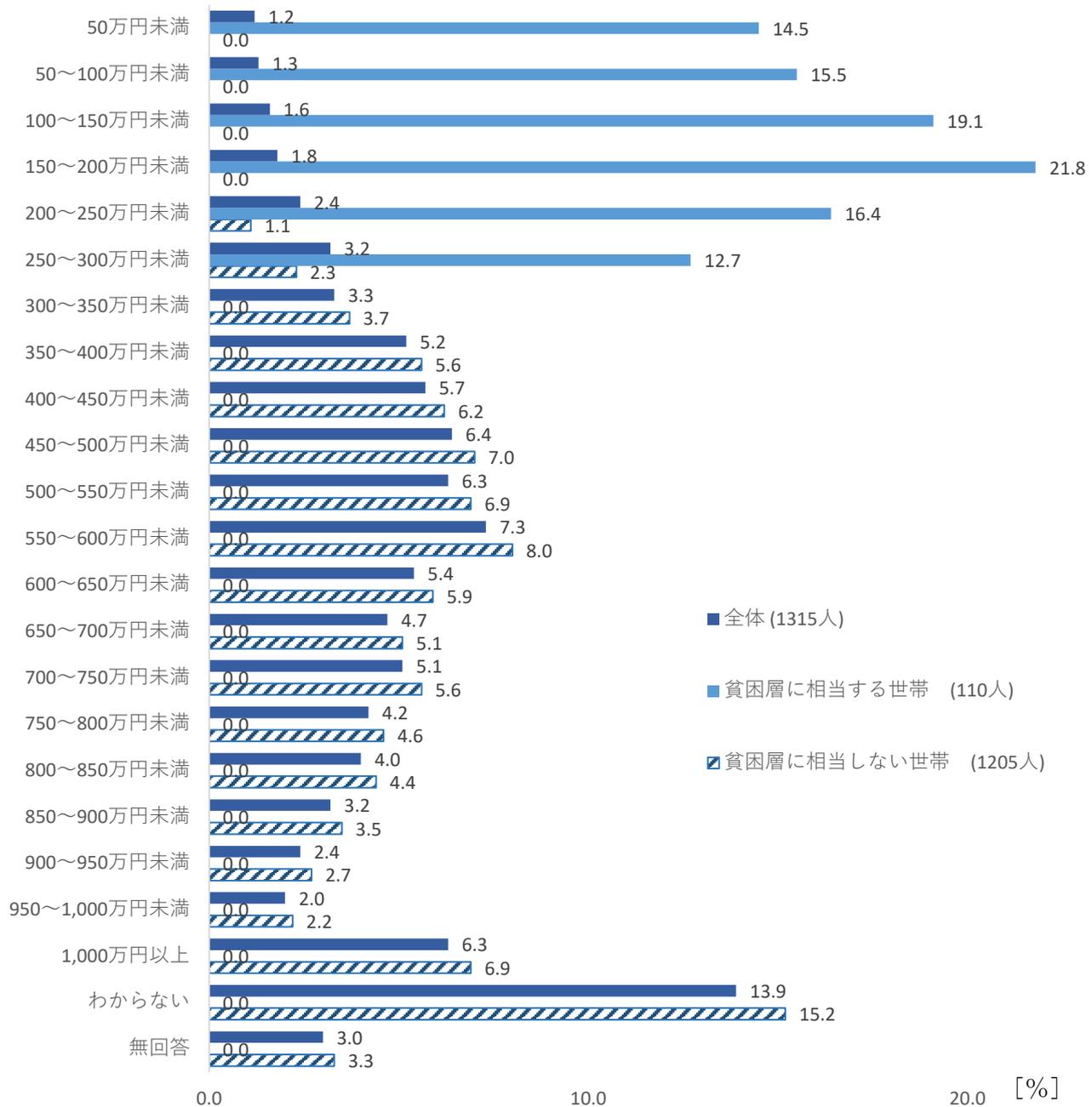
(1) 世帯の手取り収入

問11 前年（令和5年）のあなたの世帯の手取り収入の合計額は、およそいくらでしたか。世帯の収入

（※1）から、税金や社会保険料の額（※2）を差し引いた後の額でお答えください。（1つに○）

（※1）収入は、働いて得た給料だけでなく、株式配当などの副収入、年金収入、公的な手当、養育費、仕送りを含めた額です。

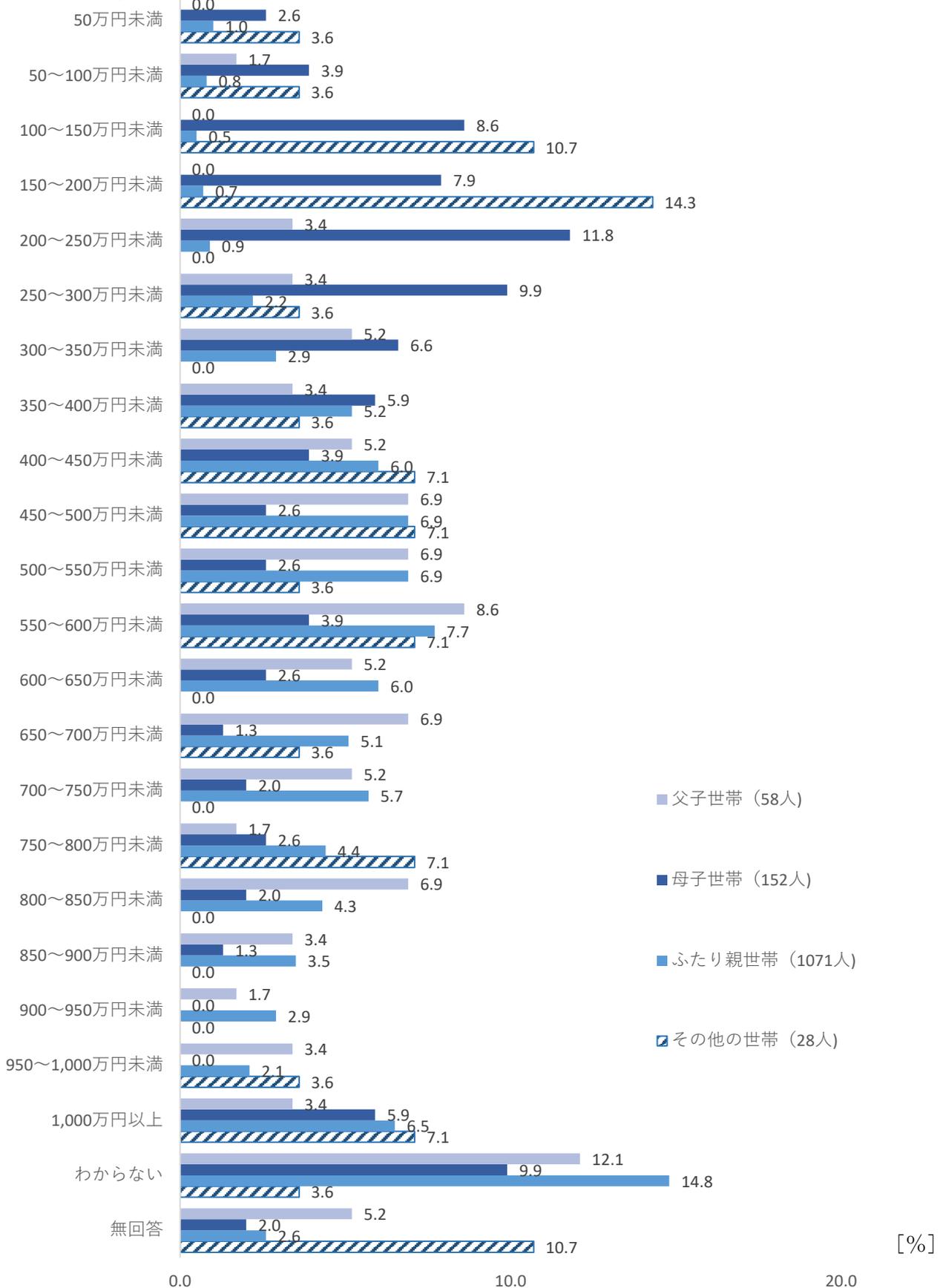
（※2）所得税、住民税、社会保険料、固定資産税等の合計額です。（それぞれ番号を1つ記入）



前年（令和5年）の世帯の手取り収入の合計額は、「550～600万円未満」7.3%が最も多く、以下「450～500万円未満」6.4%、「500～550万円未満」6.3%、「1,000万円以上」6.3%となっています。

※P2「本調査における貧困層の定義」参照の通り、問2の世帯人数と問11の可処分所得から貧困層を算出しているため、貧困層に相当する世帯では「300万円以上」、貧困層に相当しない世帯では「200万円未満」はそれぞれ0となっています。

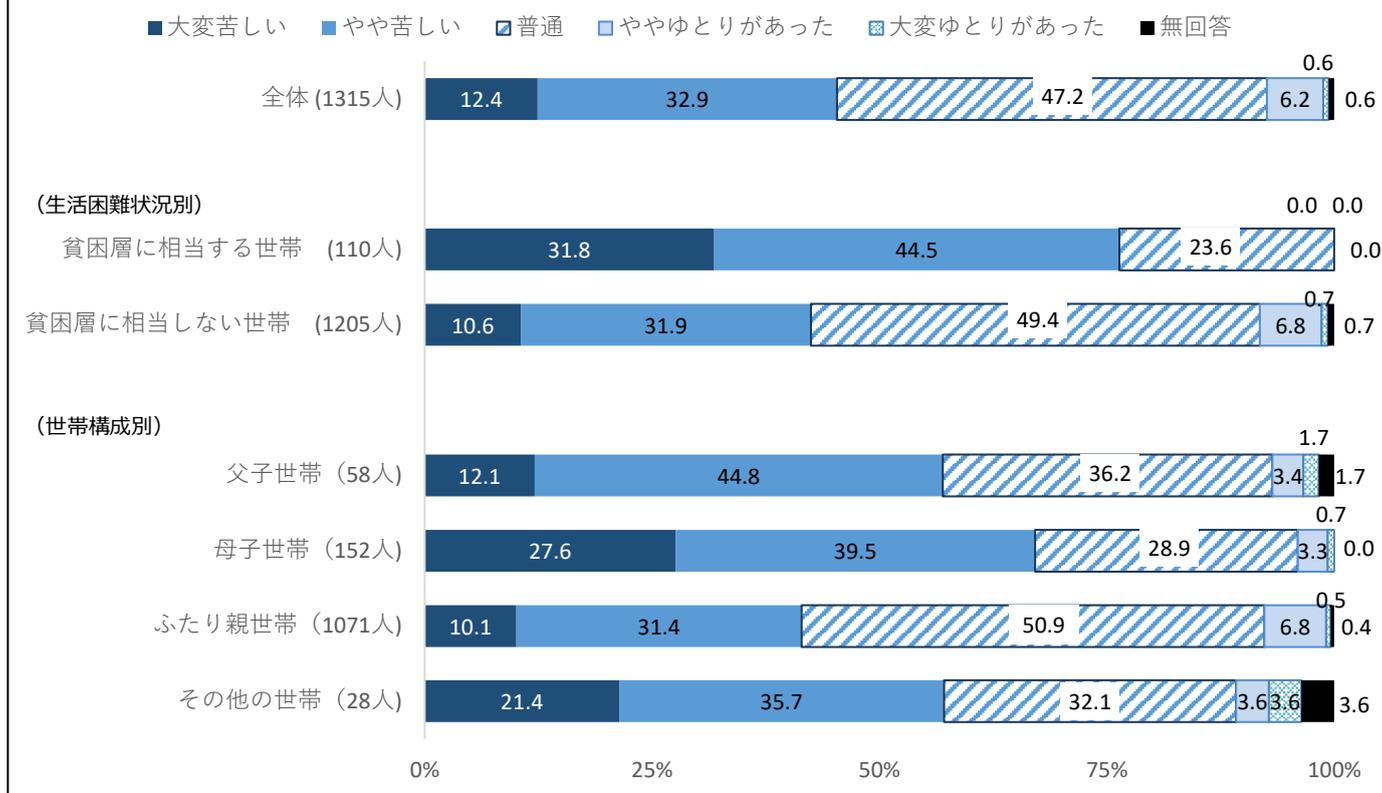
(世帯構成別)



世帯構成別でみると、父子世帯では「550～600万円未満」8.6%、母子世帯では「200～250万円未満」11.8%、「250～300万円未満」9.9%が比較的多くなっています。

(2) 現在の暮らしの状況

問12 現在の暮らしの状況を総合的に見て、どう感じますか。(1つに○)



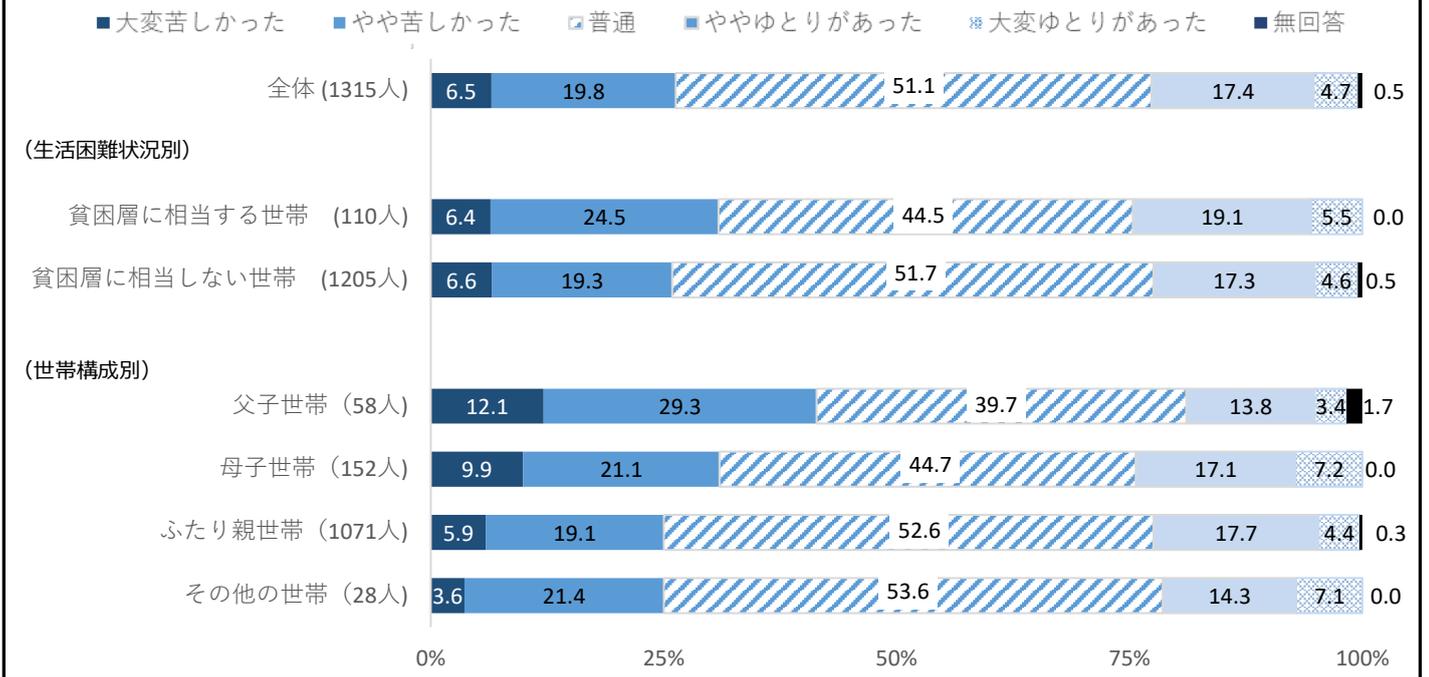
現在の暮らしの状況は、「普通」47.2%が最も多く、約半数を占めています。以下「やや苦しい」32.9%、「大変苦しい」12.4%、「ややゆとりがある」6.2%となっています。大別すると、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は45.3%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』は6.8%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「大変苦しい」が31.8%と多く、「やや苦しい」44.5%と合わせた『苦しい』は7割以上を占めています。

世帯構成別でみると、母子世帯では「大変苦しい」が27.6%と多く、「やや苦しい」39.5%と合わせた『苦しい』は3分の2を占めています。

(3) 回答者が子どもの頃の暮らしの状況

問13 あなたが子どもの頃の暮らしの状況について、あなたはどのように感じていましたか。（1つに○）



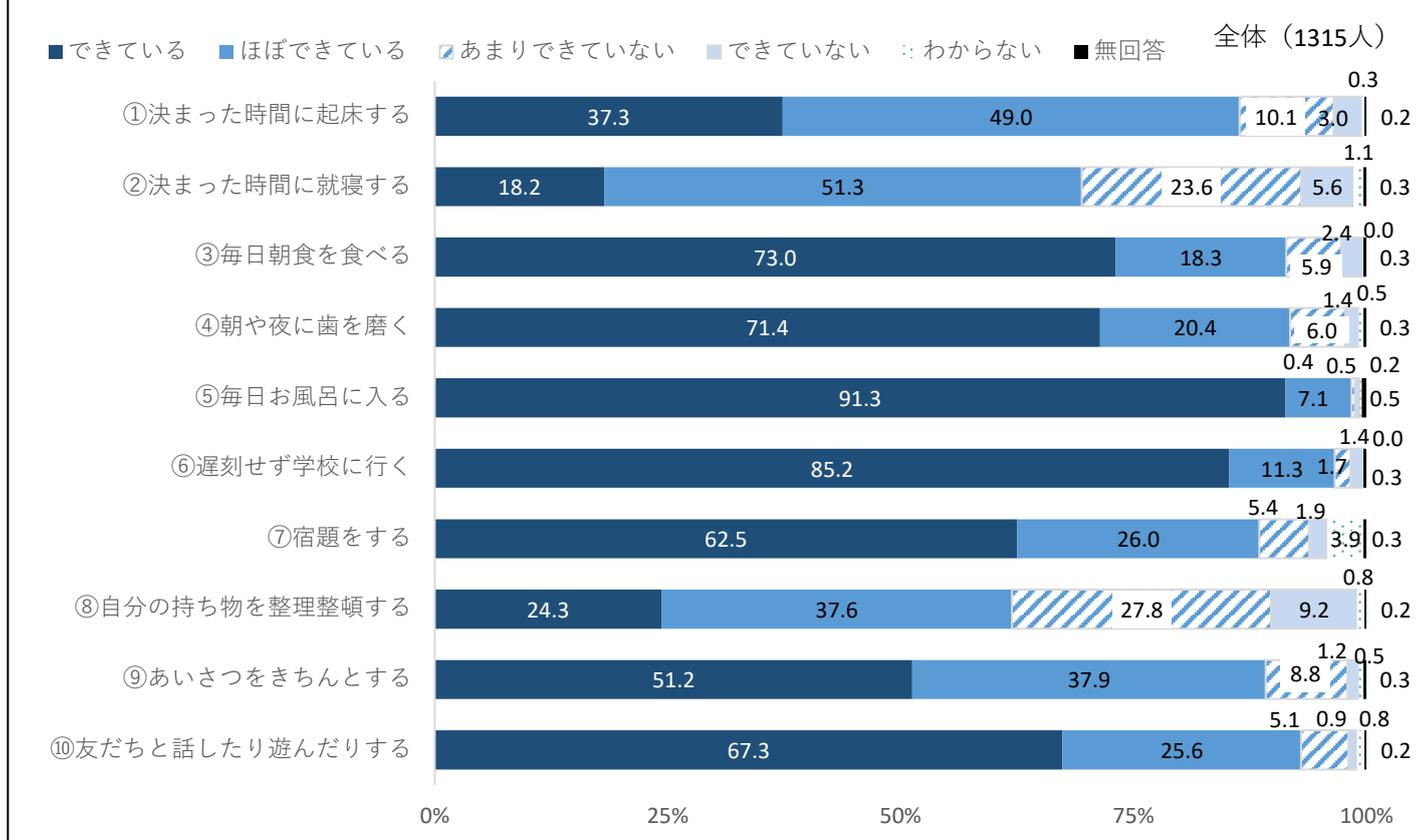
回答者が子どもの頃の暮らしの状況は、「普通」51.1%が最も多く、半数以上を占めています。以下「やや苦しかった」19.8%、「ややゆとりがあった」17.4%、「大変苦しかった」6.5%、「大変ゆとりがあった」4.7%となっています。大別すると、「大変苦しかった」と「やや苦しかった」を合わせた『苦しかった』は26.3%、「ややゆとりがあった」と「大変ゆとりがあった」を合わせた『ゆとりがあった』は22.1%となっています。

生活困難状況別、世帯構成別による差はあまりみられていません。

3 こどもとの関わり、習慣について

(1) 子どもの基本的な生活・学習習慣

問14 お子さまの基本的な生活・学習習慣について教えてください。（それぞれあてはまるものに○）



子どもの基本的な生活・学習習慣として「できている」との回答は、〔⑤毎日お風呂に入る〕91.3%で最も多く、以下〔⑥遅刻せず学校に行く〕85.2%、〔③毎日朝食を食べる〕73.0%、〔④朝や夜に歯を磨く〕71.4%、〔⑩友だちと話したり遊んだりする〕67.3%、〔⑦宿題をする〕62.5%と続いています。

一方、〔②決まった時間に就寝する〕18.2%と〔⑧自分の持ち物を整理整頓する〕24.3%では「できている」との回答が少なく、「あまりできていない」の回答は、⑧自分の持ち物を整理整頓する：27.8%、②決まった時間に就寝する：23.6%が多くなっています。

(生活困難状況別・世帯構成別 『できている』と『できていない』)

	全体	生活困難状況別		世帯構成別				
		貧困層に相当する世帯	貧困層に相当しない世帯	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	ふたり親世帯	
『できている』	①決まった時間に起床する	86.3	82.7	86.6	75.9	85.5	87.1	85.8
	②決まった時間に就寝する	69.5	62.7	70.1	69.0	71.7	69.6	57.2
	③毎日朝食を食べる	91.3	88.1	91.7	82.8	91.4	92.1	85.8
	④朝や夜に歯を磨く	91.8	91.9	91.7	87.9	92.7	92.0	89.3
	⑤毎日お風呂に入る	98.4	98.2	98.5	94.8	98.7	98.9	96.5
	⑥遅刻せず学校に行く	96.5	95.5	96.7	96.5	90.8	97.5	100.0
	⑦宿題をする	88.5	85.5	88.8	87.9	84.9	89.3	89.3
	⑧自分の持ち物を整理整頓する	61.9	60.0	62.1	51.7	65.8	62.1	57.2
	⑨あいさつをきちんとする	89.1	89.1	89.1	84.5	90.8	89.4	89.3
	⑩友だちと話したり遊んだりする	92.9	90.0	93.2	96.5	93.5	92.9	89.3
『できていない』	①決まった時間に起床する	13.1	16.3	12.9	22.4	14.5	12.5	14.3
	②決まった時間に就寝する	29.2	35.5	28.6	29.3	27.6	28.9	42.8
	③毎日朝食を食べる	8.3	11.8	8.0	17.2	8.5	7.8	14.2
	④朝や夜に歯を磨く	7.4	8.1	7.3	12.0	6.6	7.2	10.7
	⑤毎日お風呂に入る	0.9	0.9	0.9	5.1	1.4	0.7	0.0
	⑥遅刻せず学校に行く	3.1	4.5	2.9	3.4	9.2	2.3	0.0
	⑦宿題をする	7.3	10.9	6.9	10.4	12.5	6.4	7.2
	⑧自分の持ち物を整理整頓する	37.0	40.0	36.8	48.3	33.6	37.0	39.3
	⑨あいさつをきちんとする	10.0	10.0	10.0	15.5	9.3	9.9	7.1
	⑩友だちと話したり遊んだりする	6.0	10.0	5.6	3.4	6.0	6.0	10.7

■ 全体よりも5ポイント以上多い

■ 全体よりも5ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けていますが、この間では1つの属性において『できている』が多ければ『できていない』が少なくなり、『できている』が少なければ『できていない』が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

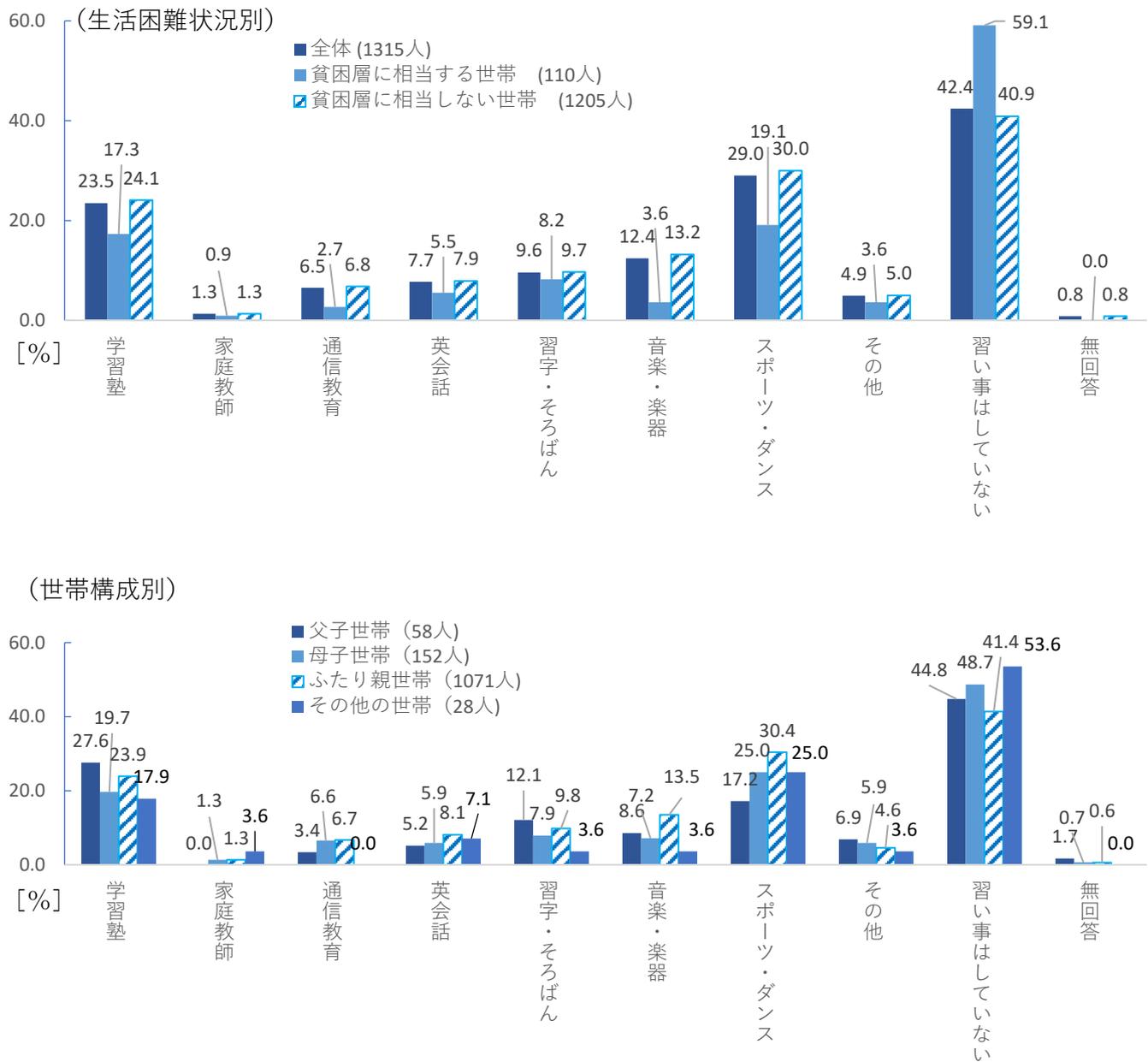
*** 『できていない』（「あまりできていない」＋「できていない」）**

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔②決まった時間に就寝する〕35.5%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、父子世帯では〔⑧自分の持ち物を整理整頓する〕48.3%、〔①決まった時間に起床する〕22.4%、〔③毎日朝食を食べる〕17.2%、〔⑨あいさつをきちんとする〕15.5%で母子世帯では〔⑦宿題をする〕12.5%、〔⑥遅刻せず学校に行く〕9.2%、その他の世帯では〔②決まった時間に就寝する〕42.8%、〔③毎朝朝食を食べる〕14.2%で比較的多くなっています。

(2) 子どもの習い事の状況

問15 お子さまは習い事をしていますか。あてはまるものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

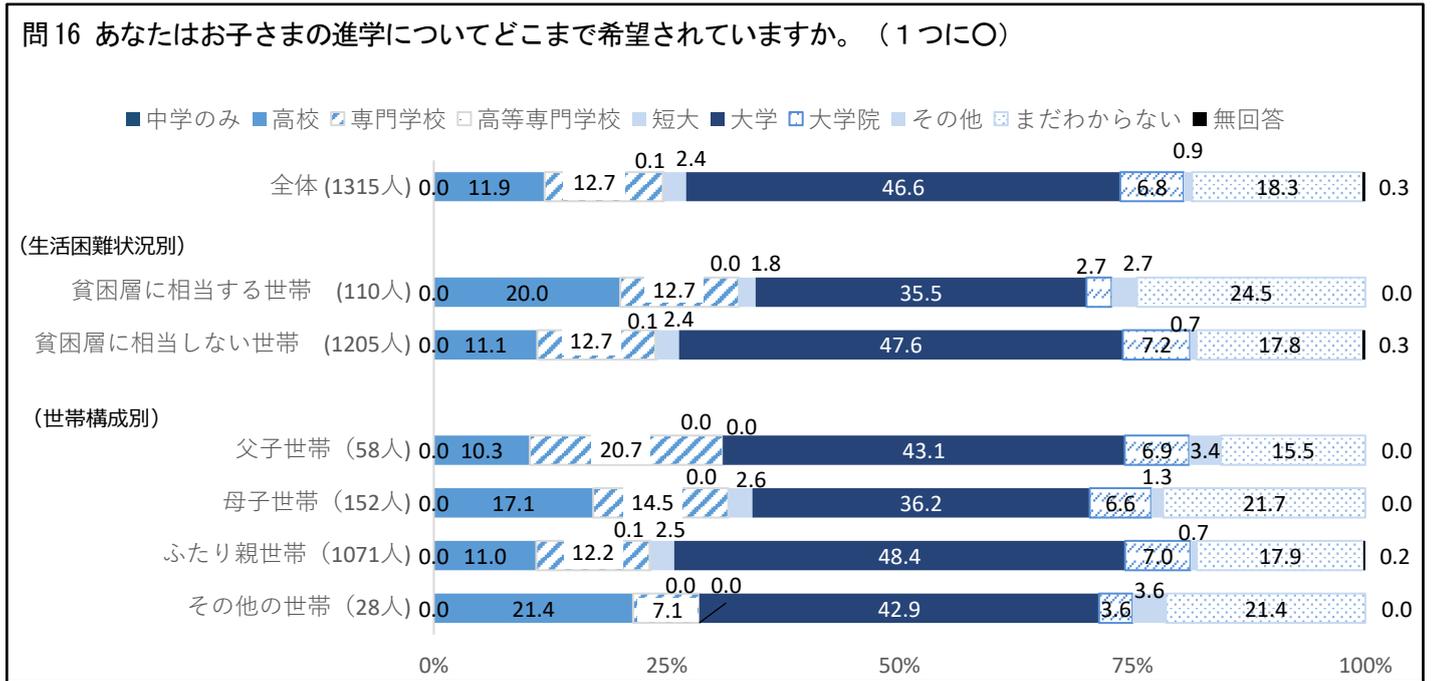


子どもの習い事の状況は、「習い事をしていない」42.4%が最も多く、以下「スポーツ・ダンス」29.0%、「学習塾」23.5%、「音楽・楽器」12.4%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「特にしていない」59.1%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では「特にしていない」48.7%が比較的多くなっています。

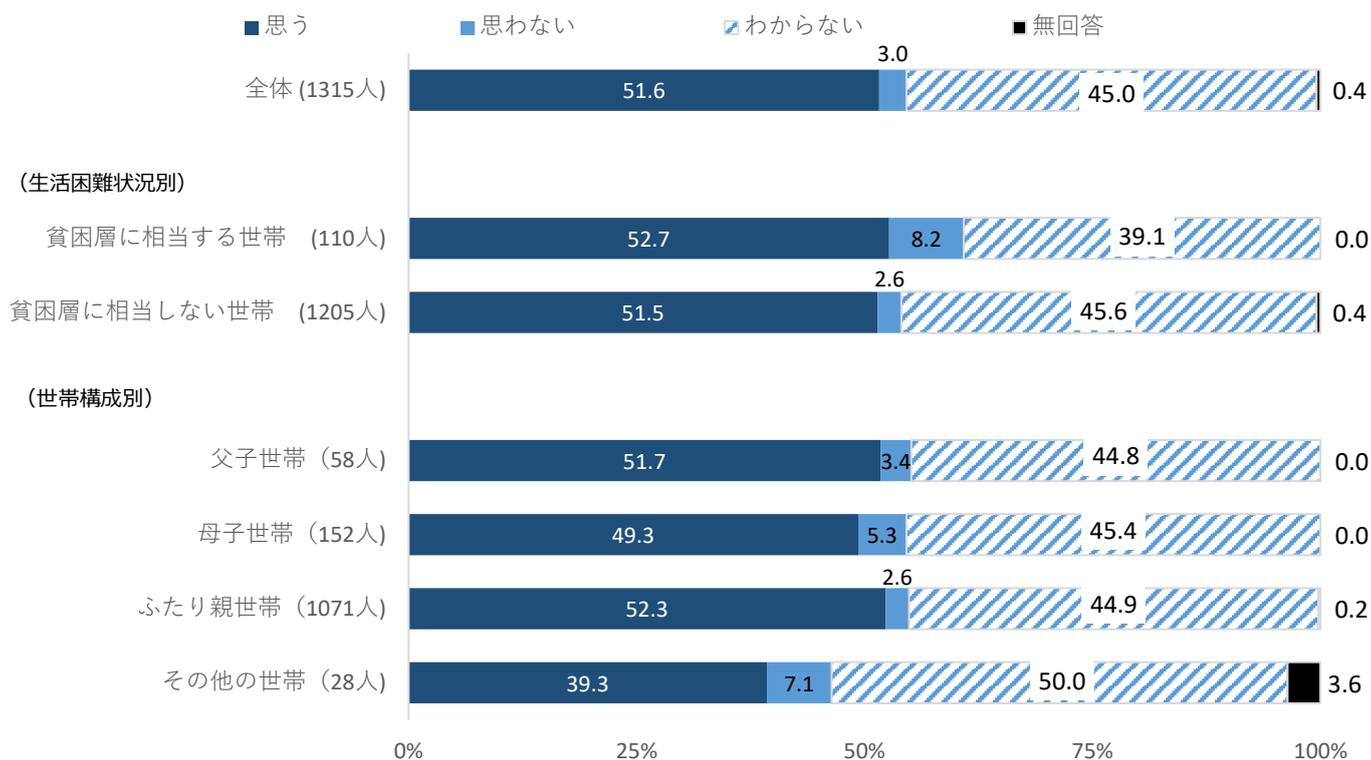
(3) 回答者が希望する子どもの進学先



回答者が希望する子どもの進学先は、「大学」46.6%が最も多く、半数近くを占めています。以下「専門学校」12.7%、「高校」11.9%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「高校」20.0%が比較的多くなっています。世帯構成別でみると、その他の世帯では「高等学校」21.4%が比較的多くなっています。

問 16-2 あなたは、お子さまが問 16 の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。（1つに○）

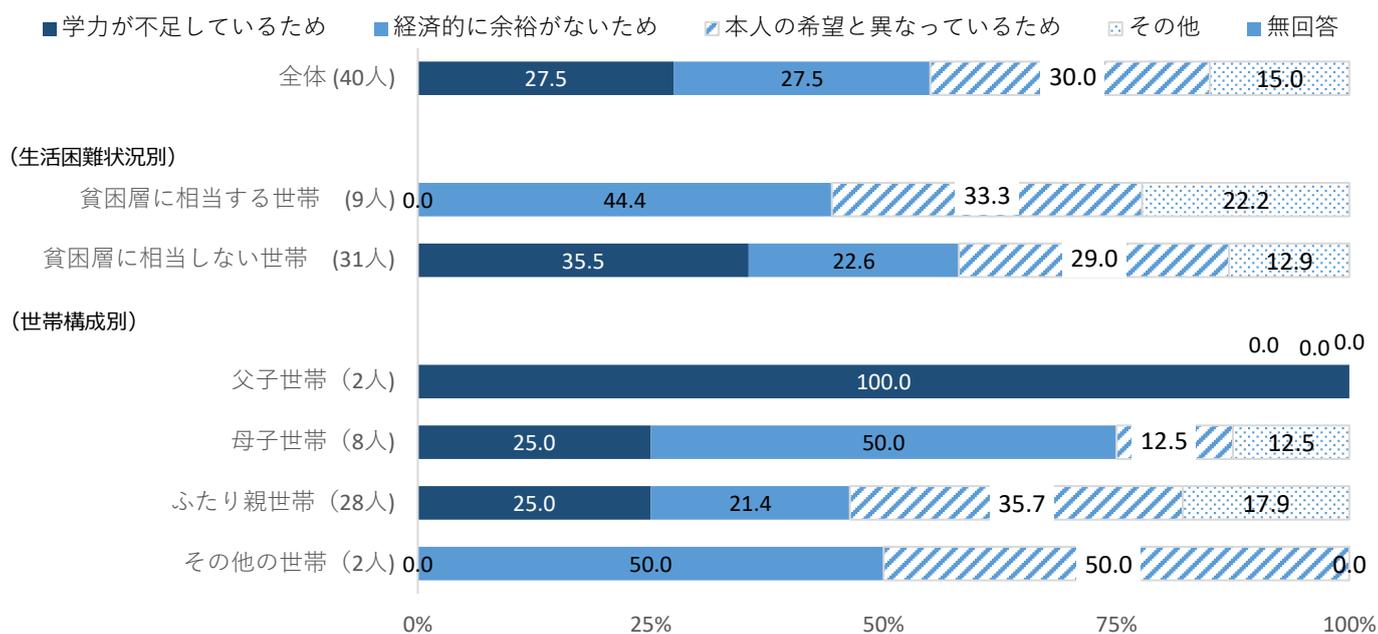


子どもの進学希望についての見通しは、「（希望どおりの学校まで進むと）思う」51.6%、が最も多く、以下「わからない」45.0%、「（希望どおりの学校まで進むと）思わない」3.0%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「わからない」39.1%が比較的少なくなっています。世帯構成別でみると、その他の世帯では「思う」39.3%が比較的少なくなっています。

(問 16-2 で「思わない」を選んだ方におうかがいします。)

問 16-3 その理由として、主なものをお答えください。(1つに○)



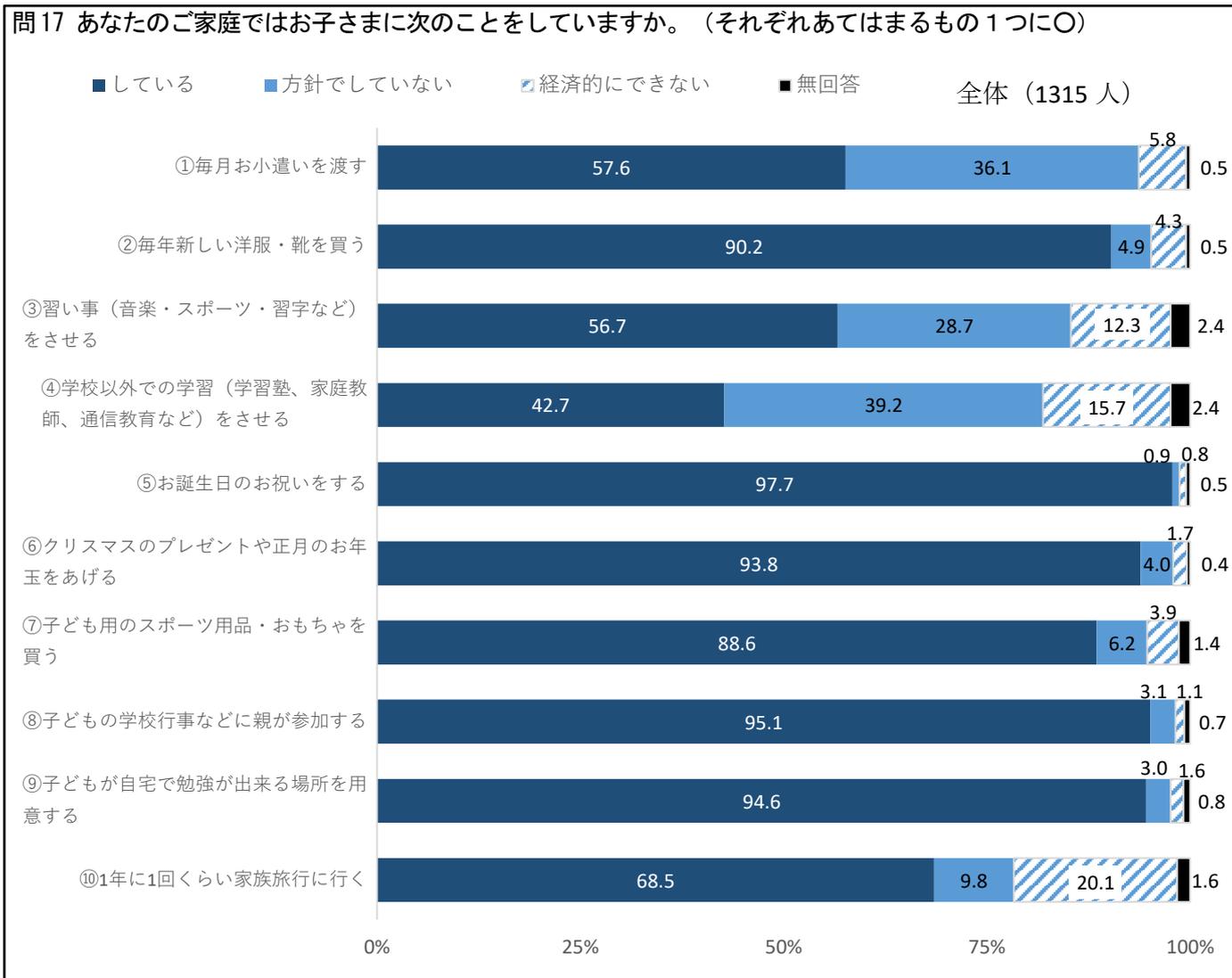
子どもが「回答者の希望通りの学校まで進むとは思わない」と回答した人(40人)の、**子どもが回答者の希望通りの学校まで進むとは思わない理由**は、「本人の希望と異なっているため」30.0%が最も多く、以下「学力が不足しているため」27.5%、「経済的に余裕がないため」27.5%と同じとなっています。

生活困難状況別で見ると、貧困層に相当する世帯では「経済的に余裕がないため」44.4%が比較的多くなっています。

世帯構成別で見ると、母子世帯およびその他の世帯では「経済的に余裕がないため」50.0%が比較的多くなっています。

4 子どもを取り巻く環境・子育ての悩みについて

(1) 子どもへの金品や機会等の提供



子どもへの金品や機会等の提供として「している」との回答は、〔⑤お誕生日のお祝いをする〕97.7%で最も多く、以下〔⑧子どもの学校行事などに親が参加する〕95.1%、以下〔⑨子どもが自宅で勉強が出来る場所を用意する〕94.6%、〔⑥クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる〕93.8%、〔②毎年新しい洋服・靴を買う〕90.2%と続き、この5項目では「している」が9割以上となっています。

一方、「方針でしていない」との回答は、〔④学校以外での学習（学習塾、家庭教師、通信教育など）をさせる〕39.2%で最も多く、以下〔①毎月お小遣いを渡す〕36.1%、〔③習い事（音楽・スポーツ・習字など）をさせる〕28.7%と続いています。

また、「経済的にできない」との回答は、〔⑩1年に一回くらい家族旅行に行く〕20.1%で最も多く、以下〔④学校以外での学習（学習塾、家庭教師、通信教育など）をさせる〕15.7%、〔③習い事（音楽・スポーツ・習字など）をさせる〕12.3%と続いています。

(生活困難状況別・世帯構成別 「方針でしていない」と「経済的にできない」)

	全体	生活困難状況別		世帯構成別				
		貧困層に相当する世帯	貧困層に相当しない世帯	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	その他の世帯	
『方針でしていない』	①毎月お小遣いを渡す	36.1	27.3	36.9	31.0	32.9	36.7	46.4
	②毎年新しい洋服・靴を買う	4.9	9.1	4.6	3.4	8.6	4.4	10.7
	③習い事(音楽・スポーツ・習字など)をさせる	28.7	32.7	28.3	25.9	25.7	29.2	32.1
	④学校以外での学習(学習塾、家庭教師、通信教育など)をさせる	39.2	36.4	39.4	29.3	31.6	41.1	35.7
	⑤お誕生日のお祝いをする	0.9	2.7	0.7	5.2	2.0	0.5	3.6
	⑥クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	4.0	5.5	3.9	6.9	6.6	3.4	10.7
	⑦子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う	6.2	12.7	5.6	5.2	9.2	5.5	17.9
	⑧子どもの学校行事などに親が参加する	3.1	7.3	2.7	0.0	4.6	2.9	10.7
	⑨子どもが自宅で勉強が出来る場所を用意する	3.0	8.2	2.6	1.7	3.9	2.8	10.7
	⑩1年に1回くらい家族旅行に行く	9.8	7.3	10.0	8.6	8.6	10.2	7.1
『経済的にできない』	①毎月お小遣いを渡す	5.8	21.8	4.3	5.2	15.8	4.4	7.1
	②毎年新しい洋服・靴を買う	4.3	12.7	3.6	3.4	11.2	3.4	7.1
	③習い事(音楽・スポーツ・習字など)をさせる	12.3	28.2	10.9	17.2	25.7	10.3	10.7
	④学校以外での学習(学習塾、家庭教師、通信教育など)をさせる	15.7	35.5	13.9	22.4	29.6	13.4	17.9
	⑤お誕生日のお祝いをする	0.8	2.7	0.7	3.4	1.3	0.6	3.6
	⑥クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1.7	7.3	1.2	3.4	4.6	1.2	3.6
	⑦子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う	3.9	10.9	3.2	1.7	10.5	3.0	7.1
	⑧子どもの学校行事などに親が参加する	1.1	1.8	1.1	3.4	2.0	0.8	3.6
	⑨子どもが自宅で勉強が出来る場所を用意する	1.6	4.5	1.3	5.2	3.3	1.1	3.6
	⑩1年に1回くらい家族旅行に行く	20.1	44.5	17.8	20.7	34.9	17.8	28.6

全体よりも10ポイント以上多い

＊「方針でしていない」

世帯構成別でみると、その他の世帯では〔①毎月お小遣いを渡す〕46.4%、〔⑦子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う〕17.9%で比較的多くなっています。

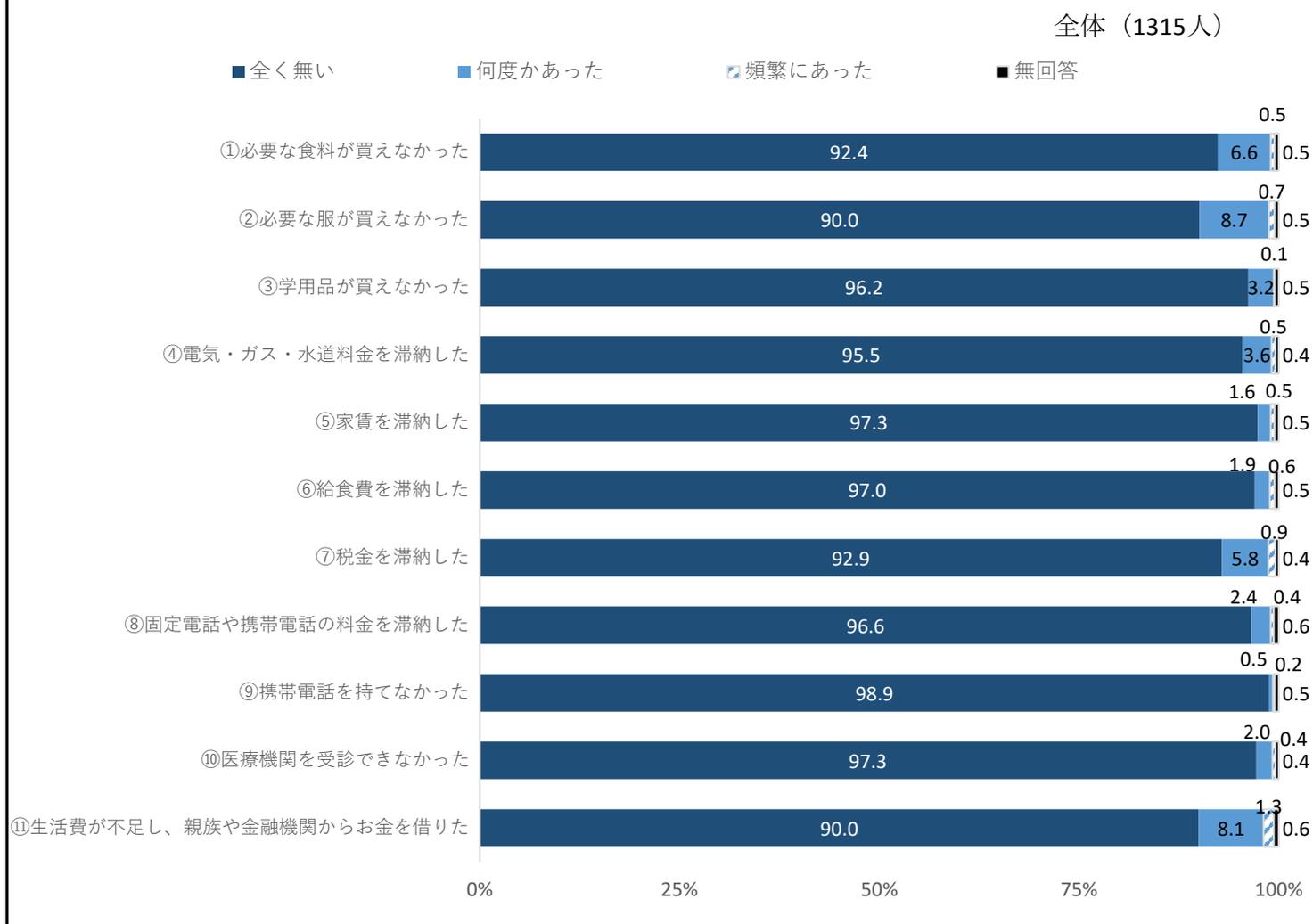
＊「経済的にできない」

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔⑩1年に1回くらい家族旅行に行く〕44.5%、〔④学校以外での学習(学習塾、家庭教師、通信教育など)をさせる〕35.5%、〔③習い事(音楽・スポーツ・習字など)をさせる〕28.2%、〔①毎月お小遣いを渡す〕21.8%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔⑩1年に1回くらい家族旅行に行く〕34.9%、〔④学校以外での学習(学習塾、家庭教師、通信教育など)をさせる〕29.6%、〔③習い事(音楽・スポーツ・習字など)をさせる〕25.7%、〔①毎月お小遣いを渡す〕15.8%で比較的多くなっています。

(2) 経済的困窮の経験

問18 あなたのご家庭では、過去一年間に経済的な理由による次のような経験がありましたか。（それぞれあてはまるもの1つに○）



過去一年間の経済的困窮の経験の有無として、「全く無い」との回答は①～⑪の全ての項目で9割前後を占めています。

一方、「何度かあった」との回答は、〔②必要な服が買えなかった〕8.7%で最も多く、以下〔⑪生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた〕8.1%、〔①必要な食料が買えなかった〕6.6%、〔⑦税金を滞納した〕5.8%と続いています。

(生活困難状況別・世帯構成別 『あった』)

	全体	生活困難状況別		世帯構成別				
		貧困層に相当する世帯	貧困層に相当しない世帯	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	その他の世帯	
『あった』	①必要な食料が買えなかった	7.1	19.1	5.9	12.1	16.5	5.6	3.6
	②必要な服が買えなかった	9.4	28.2	7.7	8.6	21.1	7.9	10.7
	③学用品が買えなかった	3.3	13.6	2.3	3.4	11.2	2.2	0.0
	④電気・ガス・水道料金を滞納した	4.1	11.8	3.4	6.8	7.9	3.6	0.0
	⑤家賃を滞納した	2.1	8.2	1.5	5.1	5.2	1.6	0.0
	⑥給食費を滞納した	2.5	5.4	2.2	3.4	5.3	2.2	0.0
	⑦税金を滞納した	6.7	15.4	5.8	5.1	9.3	6.2	14.3
	⑧固定電話や携帯電話の料金を滞納した	2.8	4.5	2.6	6.9	5.3	2.4	0.0
	⑨携帯電話を持てなかった	0.7	3.6	0.4	0.0	2.0	0.5	0.0
	⑩医療機関を受診できなかった	2.4	6.4	2.0	1.7	2.6	2.5	0.0
	⑪生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた	9.4	22.7	8.2	19.0	17.8	7.7	10.7

■ 全体よりも10ポイント以上多い

* 『あった』（「何度かあった」＋「頻繁にあった」）

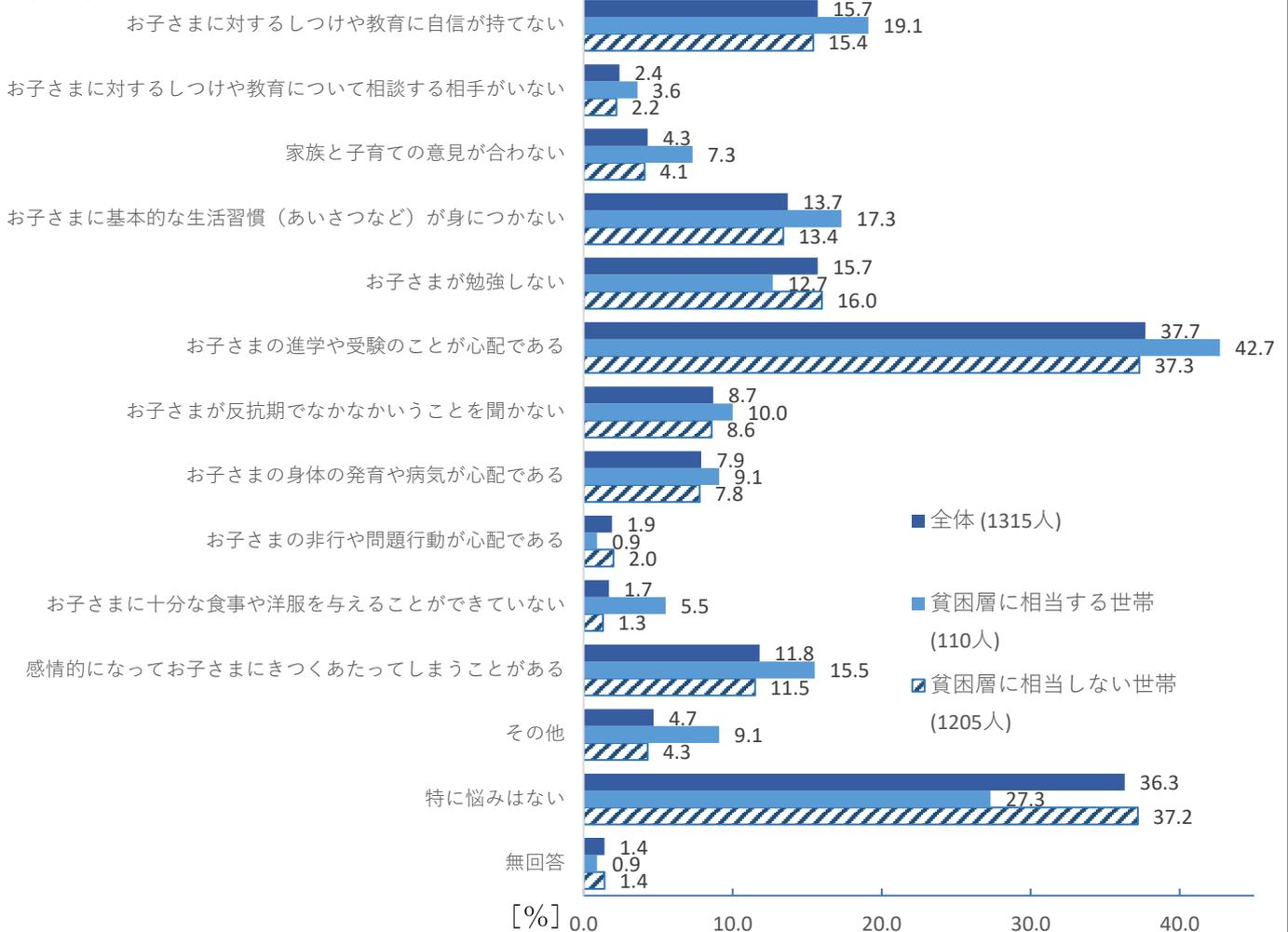
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔②必要な服が買えなかった〕28.2%、〔⑪生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた〕22.7%、〔①必要な食糧が買えなかった〕19.1%、〔③学用品が買えなかった〕13.6%の回答が多くなっています。特に〔②必要な服が買えなかった〕28.2%と4分の1以上を占めています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔②必要な服が買えなかった〕21.1%の回答が多くなっています。

(3) 子どもについての悩みや不安

問19 あなたは現在、お子さまについて悩みや不安はありますか。(あてはまるものすべてに○)

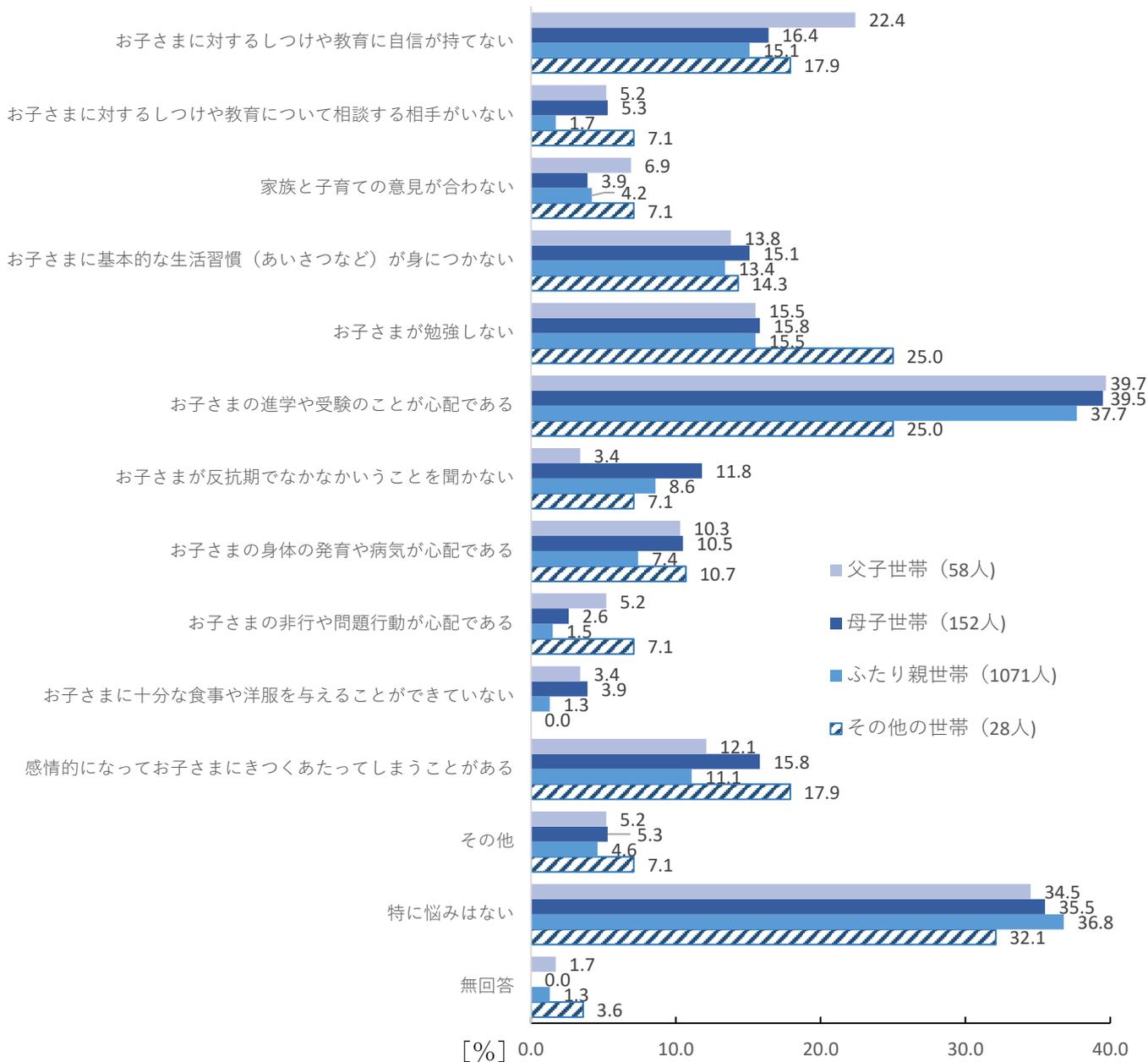
(生活困難状況別)



子どもについての悩みや不安は、「お子さまの進学や受験のことが心配である」37.7%が最も多く、以下「お子さまに対するしつけや教育に自信が持てない」15.7%、「お子さまが勉強しない」15.7%となっています。また、「特に悩みは無い」は36.3%となっています。

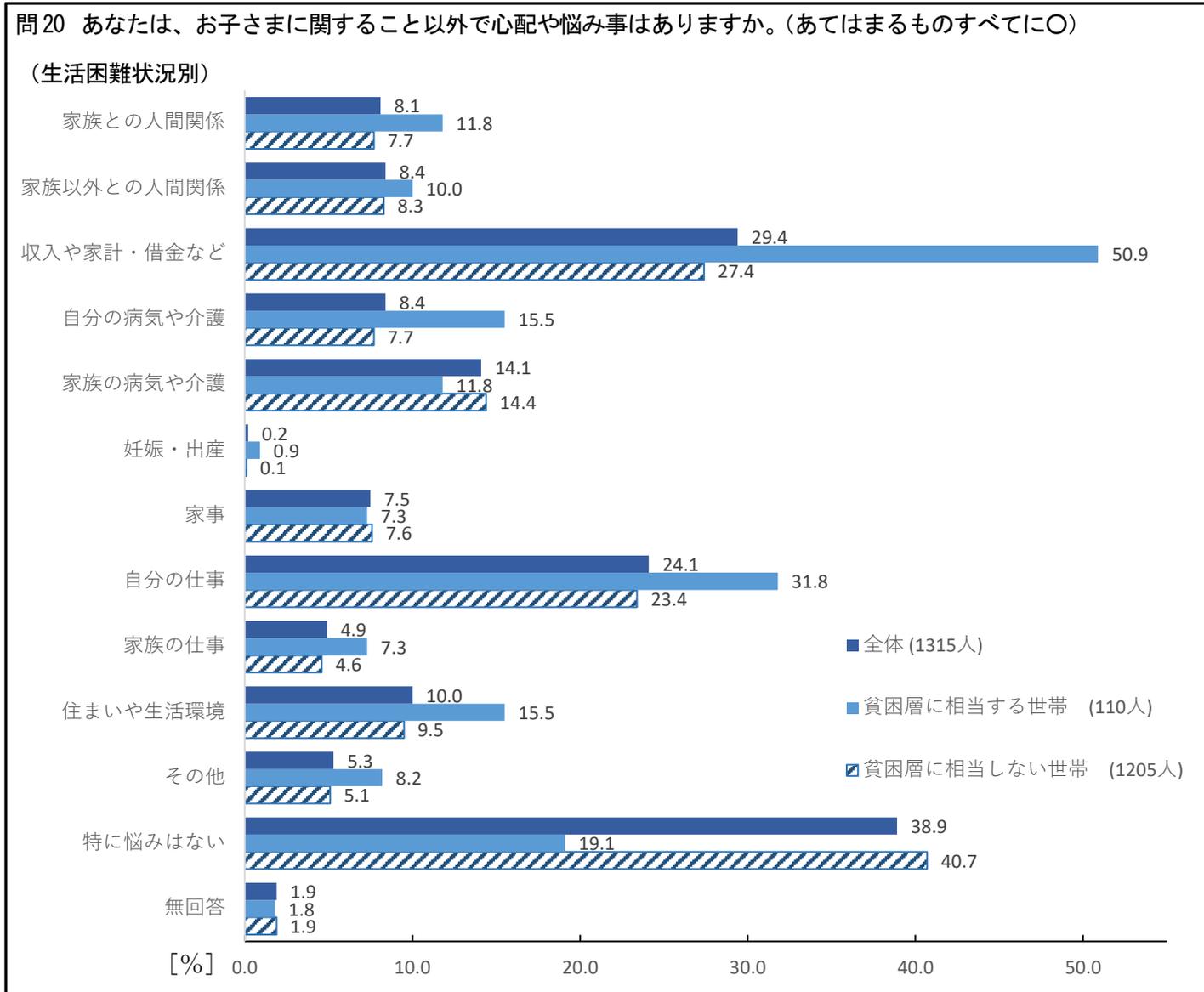
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「お子さまの進学や受験のことが心配である」42.7%、「お子さまに対するしつけや教育に自信が持てない」19.1%が比較的多くなっています。

(世帯構成別)



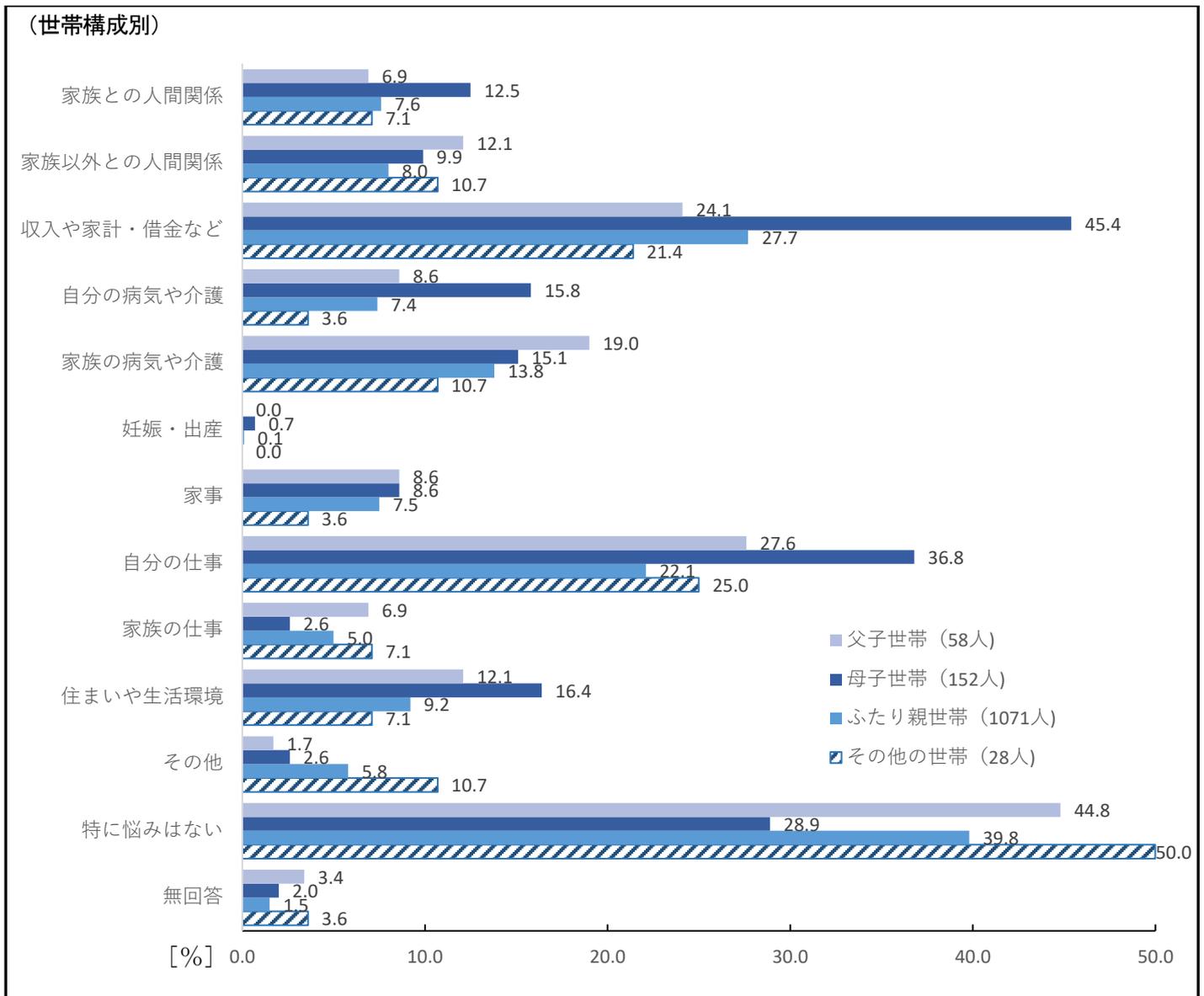
世帯構成別でみると、父子世帯、母子世帯、ふたり親世帯ではいずれも「お子さまの進学や受験のことが心配である」が比較的多くなっています。父子世帯では「お子さまに対するしつけや教育に自身が持てない」22.4%、母子世帯では「お子さまが反抗期でなかなかいうことを聞かない」11.8%、その他の世帯では「感情的になってお子さまにきつくあたってしまう事がある」17.9%、「お子さまの非行や問題行動が心配である」7.1%が比較的多くなっています。

(4) 子どもに関すること以外での心配や悩み事



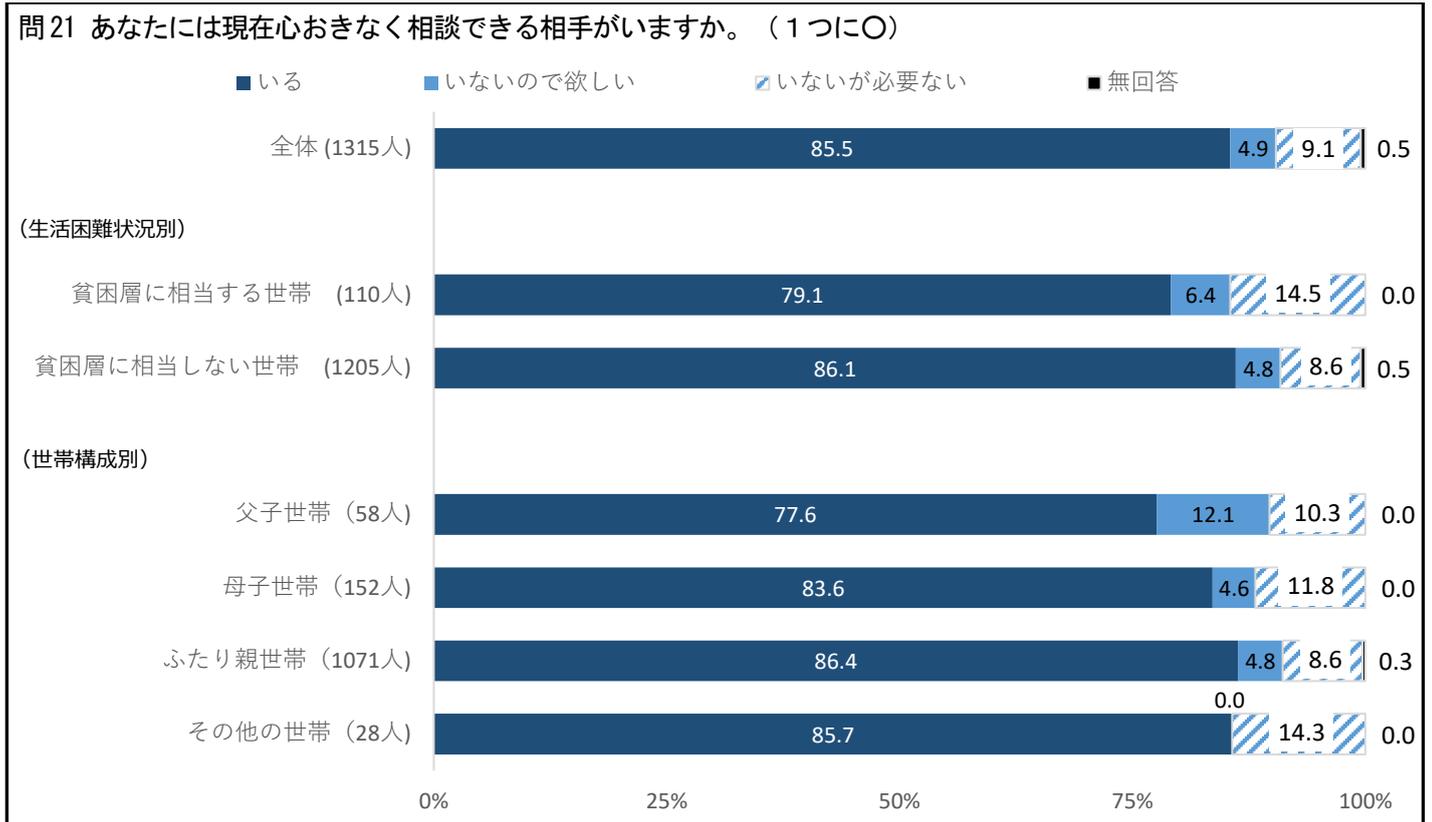
子どもに関すること以外での心配や悩み事は、「収入や家計・借金など」29.4%が最も多く、以下「自分の仕事」24.1%、「家族の病気や介護」14.1%となっています。また、「特に悩みは無い」は38.9%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「収入や家計・借金など」50.9%、「自分の仕事」31.8%、「自分の病気や介護」15.5%が比較的多くなっています。



世帯構成別でみると、母子世帯では「収入や家計・借金など」45.4%、「自分の仕事」36.8%、「住まいや生活環境」16.4%が比較的多くなっています。

(5) 悩み事の相談相手

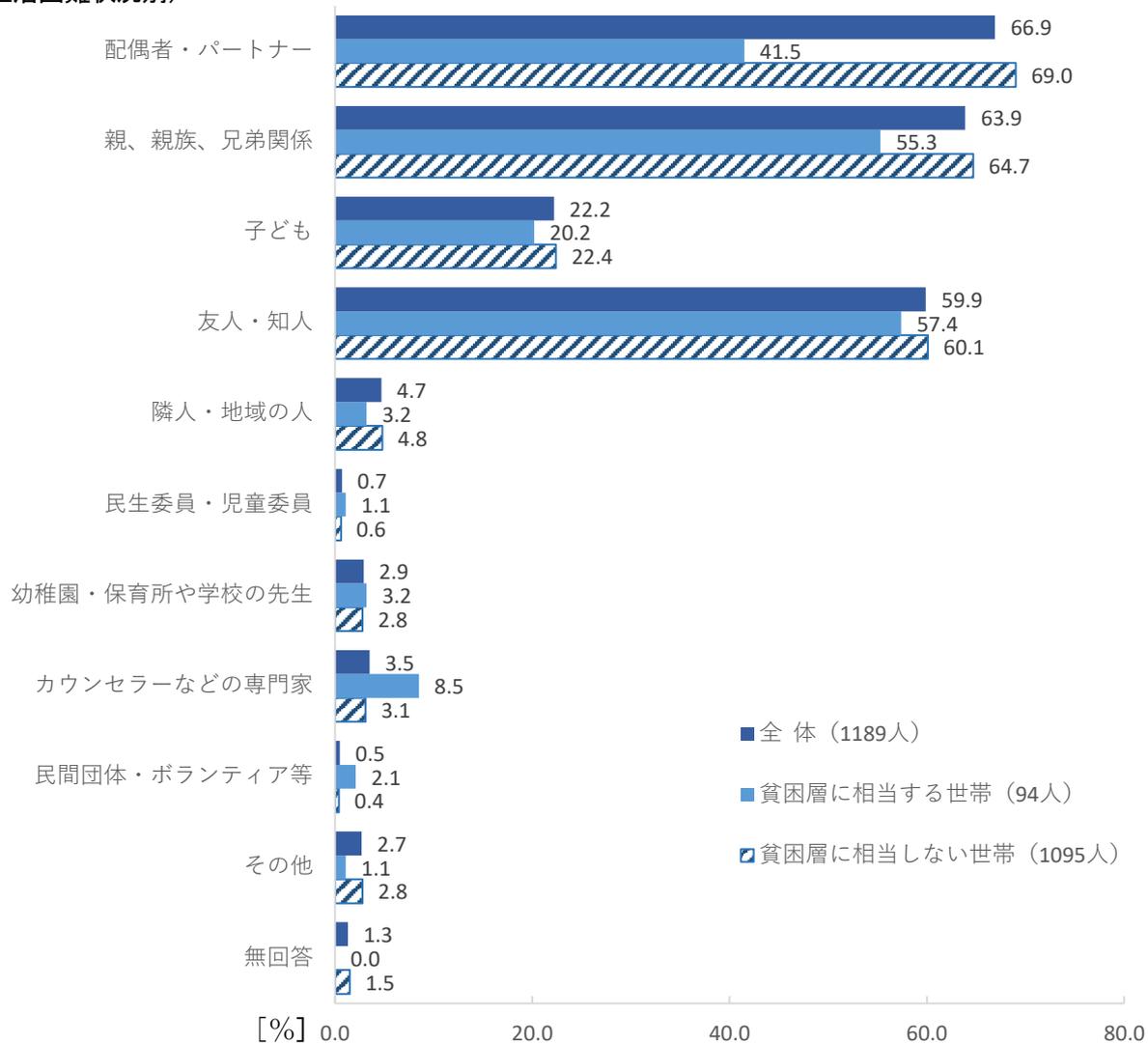


悩み事の相談相手の有無は、「いる」85.5%が最も多く、以下「いないが必要ない」9.1%、「いないので欲しい」4.9%となっています。

生活困難状況別で見ると、貧困層に相当する世帯では「いる」79.1%が比較的少なくなっています。世帯状況別で見ると、父子世帯では「いる」77.6%が比較的少なくなっています。

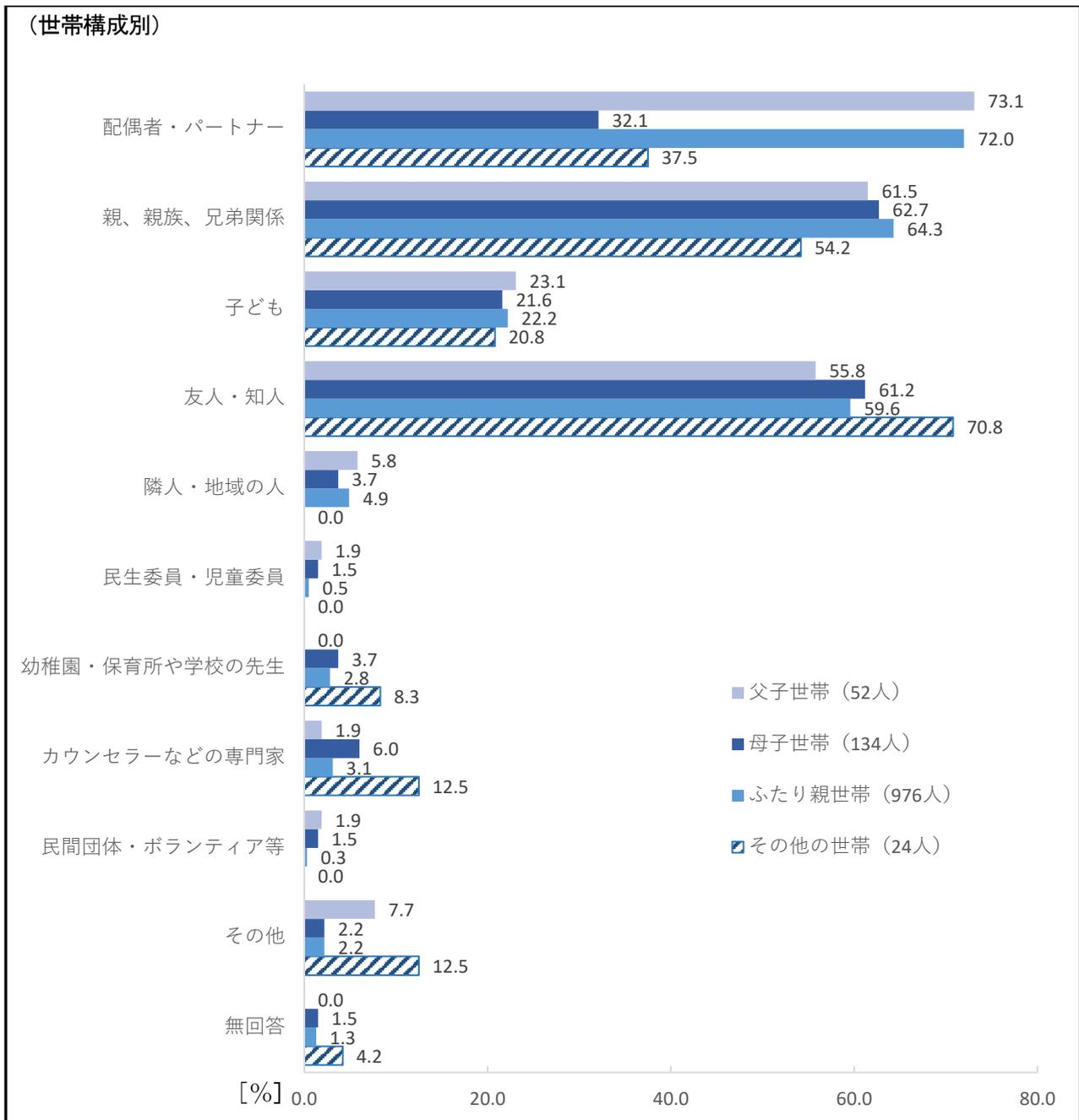
(問 21 で、「いる」または「いないので欲しい」を選んだ方にお伺いします。)
 問 21-2 その相談相手は誰ですか、また、相談相手が欲しい方はどのような相手に相談したいと思
 いますか。(あてはまる番号すべてに○)

(生活困難状況別)



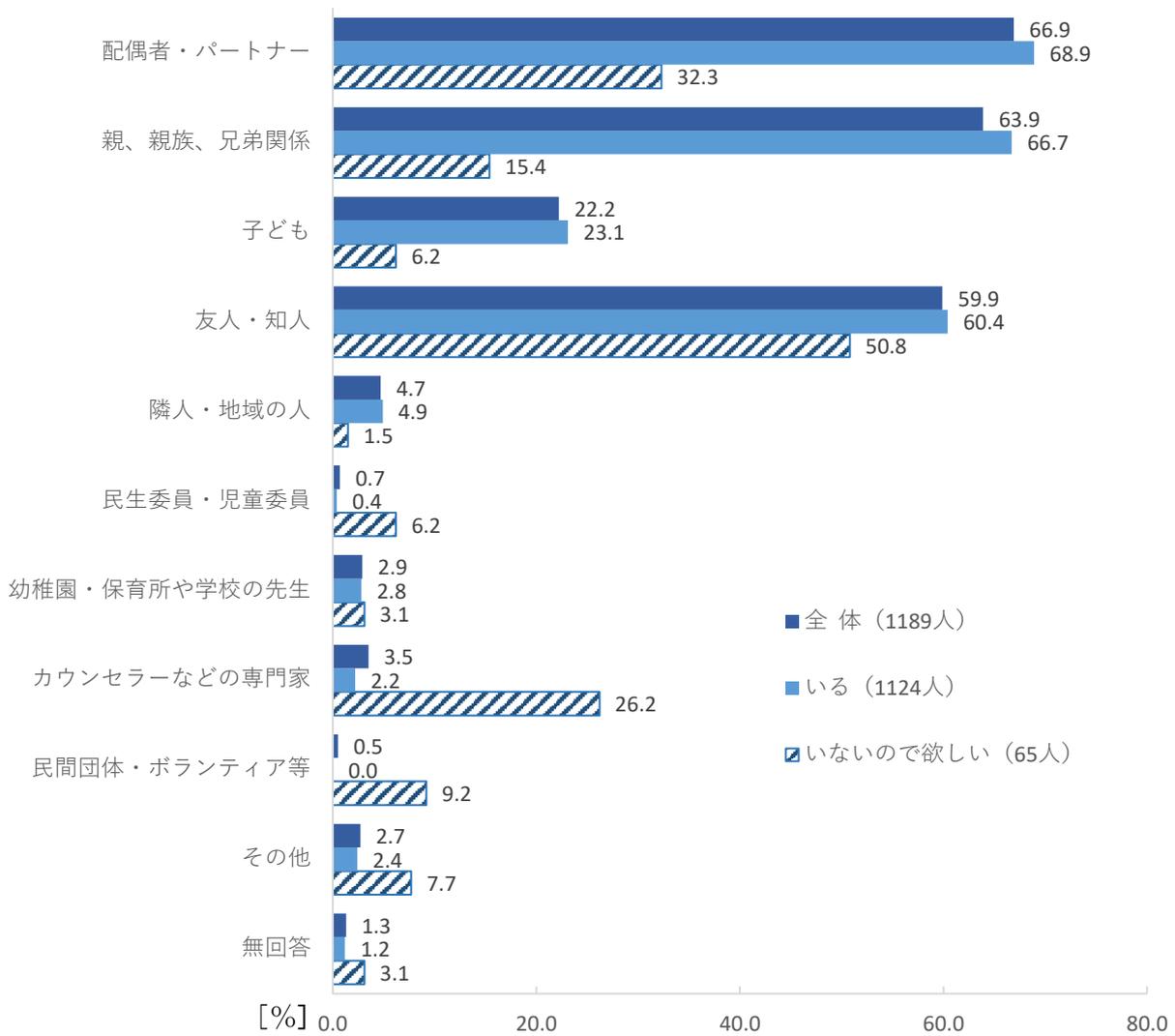
相談相手が「いる」もしくは「いないので欲しい」と回答した人の**実際の相談相手もしくは希望する相談相手**は、「配偶者・パートナー」66.9%が最も多く、以下「親、親戚、兄弟姉妹」63.9%、「友人・知人」59.9%、「子ども」22.2%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「配偶者・パートナー」41.5%が少なくなっています。



世帯構成別でみると、ふたり親世帯及び父子世帯では「配偶者・パートナー」が70%以上と突出しています。また、母子世帯とその他の世帯では「配偶者・パートナー」32.1%が少なく、その他の世帯では「友人・知人」70.8%が比較的多くなっています。

(問 21 の回答 (「相談相手がいる」 / 「いないので欲しい」) 別)



相談相手を問 21 の回答 (「いる」 / 「いないので欲しい」) 別で見ると、「(相談相手が) いる」と回答した人の実際の相談相手は、「配偶者・パートナー」66.9%が最も多く、以下「親、親戚、兄弟姉妹」63.9%、「友人・知人」59.9%、「子ども」22.2%となっています。

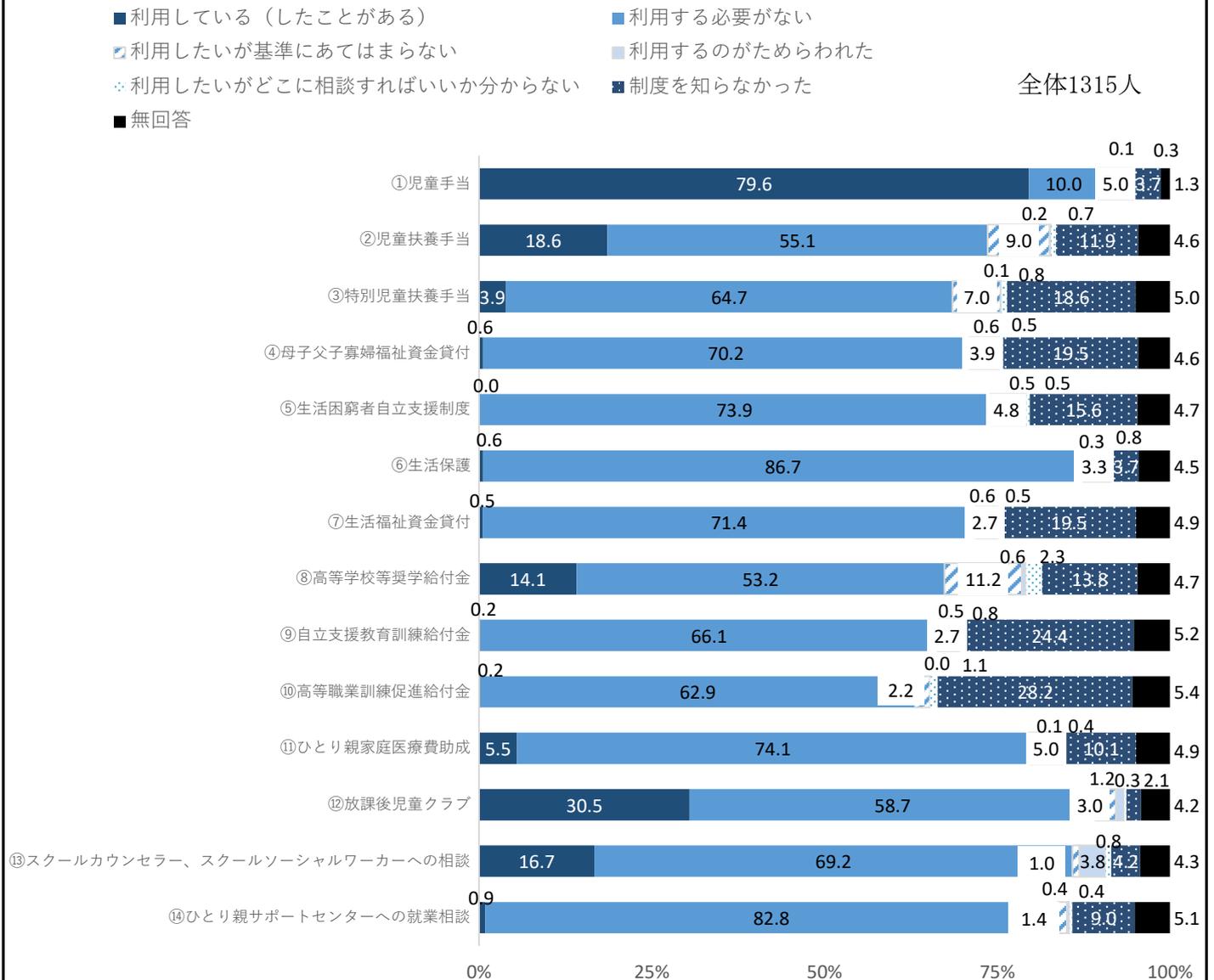
一方、「(相談相手が) いないので欲しい」と回答した人の希望する相談相手は、「友人・知人」50.8%が最も多く、以下「配偶者・パートナー」32.3%、「カウンセラーなどの専門家」26.2%となっており、「(相談相手が) いないので欲しい」と回答した人では「カウンセラーなどの専門家」が突出しています。

5 各種支援・サービスについて

(1) 公的な支援制度の利用状況

問22 公的な支援制度について、利用したことがありますか。また、利用したことがない場合はその理由を教えてください。（それぞれあてはまるもの1つに○）

※制度内容は、《参考情報》をご覧ください。



公的な支援制度の利用状況として、「利用している（したことがある）」との回答は、〔①児童手当〕79.6%で最も多く、大多数を占めています。以下、〔⑫放課後児童クラブ〕30.5%、〔②児童扶養手当〕18.6%、〔⑬スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談〕16.7%と続いています。

「利用したいが基準にあてはまらない」との回答は、〔⑧高等学校等奨学給付金〕11.2%と〔②児童扶養手当〕9.0%で比較的多くなっています。

「制度を知らなかった」との回答は、〔⑩高等職業訓練促進給付金〕28.2%で最も多く、以下〔⑨自立支援教育訓練促進給付金〕24.4%、〔⑦生活福祉資金貸付〕19.5%、〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕19.5%と続いています。

(生活困難状況別・世帯構成別 「利用している」と『利用意向はあるが利用していない』と「制度を知らなかった」)

	全体	生活困難状況別		世帯構成別				
		貧困層に相当する世帯	貧困層に相当しない世帯	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	その他の世帯	
利用している	①児童手当	79.6	89.1	78.8	74.1	81.6	80.0	67.9
	②児童扶養手当	18.6	43.6	16.3	17.2	55.9	13.1	28.6
	③特別児童扶養手当	3.9	5.5	3.7	1.7	7.9	3.5	3.6
	④母子父子寡婦福祉資金貸付	0.6	2.7	0.4	1.7	4.6	0.0	0.0
	⑤生活困窮者自立支援制度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑥生活保護	0.6	3.6	0.3	1.7	3.3	0.1	3.6
	⑦生活福祉資金貸付	0.5	2.7	0.2	1.7	0.7	0.4	0.0
	⑧高等学校等奨学給付金	14.1	29.1	12.8	17.2	27.6	12.0	17.9
	⑨自立支援教育訓練給付金	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.3	0.0
	⑩高等職業訓練促進給付金	0.2	0.0	0.2	0.0	0.7	0.2	0.0
	⑪ひとり親家庭医療費助成	5.5	26.4	3.6	3.4	38.8	0.7	10.7
	⑫放課後児童クラブ	30.5	20.9	31.4	31	34.9	30	25
	⑬スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談	16.7	20.9	16.3	6.9	19.7	16.9	17.9
	⑭ひとり親サポートセンターへの就業相談	0.9	6.4	0.4	0	7.2	0.1	0

■ 全体よりも10ポイント以上多い

■ 全体よりも10ポイント以上少ない

* 「利用している」

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔②児童扶養手当〕43.6%、〔⑧高等学校等奨学給付金〕29.1%、〔⑪ひとり親家庭医療費助成〕26.4%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔②児童扶養手当〕55.9%、〔⑪ひとり親家庭等医療費助成〕38.8%〔⑧高等学校等奨学給付金〕27.6%で比較的多くなっています。その他の世帯では〔②児童扶養手当〕28.6%が比較的多く、〔①児童手当〕67.9%が比較的少なくなっています。

	全体	生活困難状況別		世帯構成別				
		貧困層に相当する世帯	貧困層に相当しない世帯	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	その他の世帯	
『利用意向はあるが利用していない』	①児童手当	5.4	3.6	5.5	12.0	6.0	5.0	7.1
	②児童扶養手当	9.9	15.4	9.4	25.9	16.5	7.7	28.6
	③特別児童扶養手当	7.9	15.4	7.2	20.7	11.2	6.3	25.0
	④母子父子寡婦福祉資金貸付	5.0	12.7	4.3	8.6	13.2	3.7	7.1
	⑤生活困窮者自立支援制度	5.8	13.6	5.0	8.6	7.9	5.4	7.2
	⑥生活保護	4.4	14.5	3.6	6.9	9.9	3.5	10.7
	⑦生活福祉資金貸付	3.8	9.0	3.2	5.1	6.6	3.3	3.6
	⑧高等学校等奨学給付金	14.1	15.5	14.0	22.4	15.2	13.5	17.8
	⑨自立支援教育訓練給付金	4.0	8.1	3.6	12.0	7.2	2.9	10.7
	⑩高等職業訓練促進給付金	3.3	4.5	3.1	6.9	3.3	3.0	3.6
	⑪ひとり親家庭医療費助成	5.5	11.8	4.9	13.7	17.8	2.7	28.6
	⑫放課後児童クラブ	4.5	5.4	4.4	5.1	2	4.9	7.1
	⑬スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談	5.6	6.4	5.5	6.9	6.7	5.3	3.6
	⑭ひとり親サポートセンターへの就業相談	2.2	5.4	1.9	3.4	5.3	1.7	3.6

全体よりも10ポイント以上多い

* 『利用意向はあるが利用していない』（「利用したいが基準にあてはまらない」＋「利用するのがためらわれた」＋「利用したいがどこに相談すればよいか分からない」）

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔⑥生活保護〕14.5%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、父子世帯では〔②児童扶養手当〕25.9%、〔③特別児童扶養手当〕20.7%、母子世帯では〔⑪ひとり親家庭医療費助成〕17.8%、その他の世帯では〔②児童手当〕〔⑪ひとり親家庭医療費助成〕が各28.6%、〔③特別児童扶養手当〕25.0%で比較的多くなっています。

	全体	生活困難状況別		世帯構成別				
		貧困層に相当する世帯	貧困層に相当しない世帯	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	その他の世帯	
『制度を知らなかった』	①児童手当	3.7	3.6	3.7	5.2	2.6	3.6	7.1
	②児童扶養手当	11.9	14.5	11.6	17.2	2.6	13.0	10.7
	③特別児童扶養手当	18.6	31.8	17.3	22.4	21.7	17.8	25.0
	④母子父子寡婦福祉資金貸付	19.5	35.5	18.1	31.0	32.9	16.6	35.7
	⑤生活困窮者自立支援制度	15.6	30.9	14.2	29.3	25.7	13.1	32.1
	⑥生活保護	3.7	5.5	3.6	5.2	3.3	3.6	7.1
	⑦生活福祉資金貸付	19.5	30.0	18.6	32.8	25.0	17.6	39.3
	⑧高等学校等奨学給付金	13.8	19.1	13.4	10.3	15.8	13.6	17.9
	⑨自立支援教育訓練給付金	24.4	40.9	22.9	31.0	30.9	22.8	42.9
	⑩高等職業訓練促進給付金	28.2	47.3	26.5	34.5	40.1	25.7	50.0
	⑪ひとり親家庭医療費助成	10.1	14.5	9.7	20.7	11.8	9.0	21.4
	⑫放課後児童クラブ	2.1	4.5	1.8	8.6	2.6	1.6	3.6
	⑬スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談	4.2	4.5	4.1	10.3	5.3	3.7	3.6
	⑭ひとり親サポートセンターへの就業相談	9	16.4	8.3	17.2	14.5	7.2	28.6

全体よりも10ポイント以上多い

* 「制度を知らなかった」

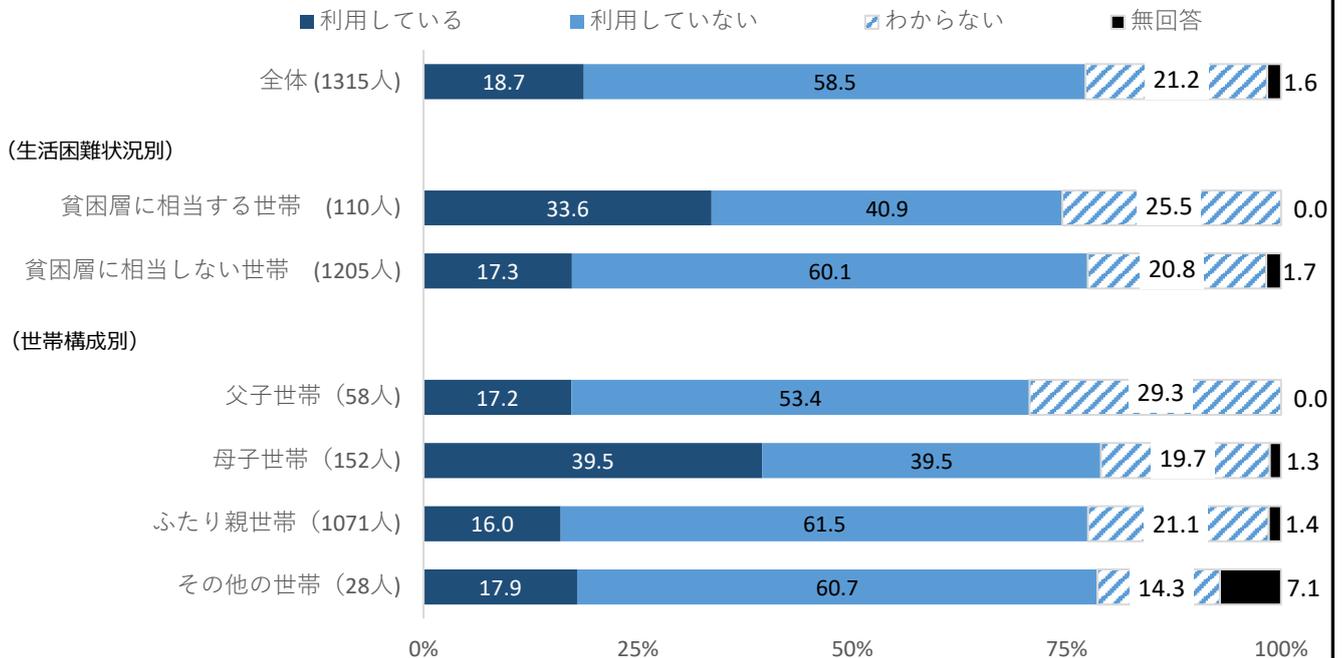
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔⑩高等職業訓練促進給付金〕47.3%、〔⑨自立支援教育訓練給付金〕40.9%、〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕35.5%、〔③特別児童扶養手当〕31.8%、〔⑤生活困窮者自立支援制度〕30.9%、〔⑦生活福祉資金貸付〕30.0%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、父子世帯では〔⑦生活福祉資金貸付〕32.8%、〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕31.0%、〔⑤生活困窮者自立支援制度〕29.3%、〔⑪ひとり親家庭医療費助成〕20.7%で、母子世帯では〔⑩高等職業訓練促進給付金〕40.1%、〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕32.9%、〔⑤生活困窮者自立支援制度〕25.7%で、その他の世帯では〔⑩高等職業訓練促進給付金〕50.0%、〔⑨自立支援教育訓練給付金〕42.9%、〔⑦生活福祉資金貸付〕39.3%、〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕35.7%、〔⑤生活困窮者自立支援制度〕32.1%、〔⑭ひとり親サポートセンターへの就業相談〕28.6%、〔⑪ひとり親家庭医療費助成〕21.4%で比較的多くなっています。

(2) 就学援助制度の利用状況

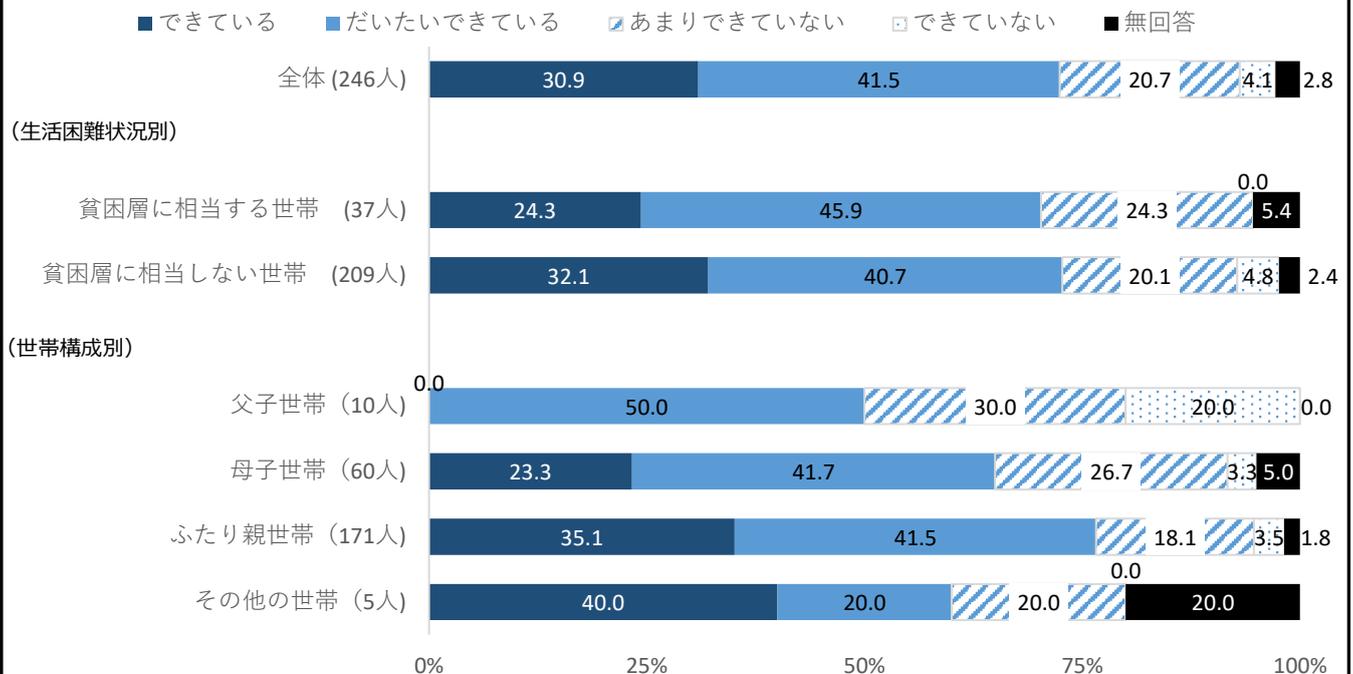
問 23 あなたのご家庭ではお子さまのために就学援助制度を利用していますか（1つに○）

※就学援助制度は、経済的理由で小・中学生の子どもの就学に困っている保護者に対し、学用品費や給食費などの費用の一部を援助する制度です。



(問 23 で「利用している」を選んだ方にお伺いします。)

問 23-2 現在の就学援助は学校にかかる経費をカバーできていますか（1つに○）



就学援助制度の利用の状況は、「利用していない」58.5%が最も多く、「利用している」18.7%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「利用している」33.6%が比較的多くなっています。世帯構成別でみると、母子世帯では「利用している」39.5%が突出しています。

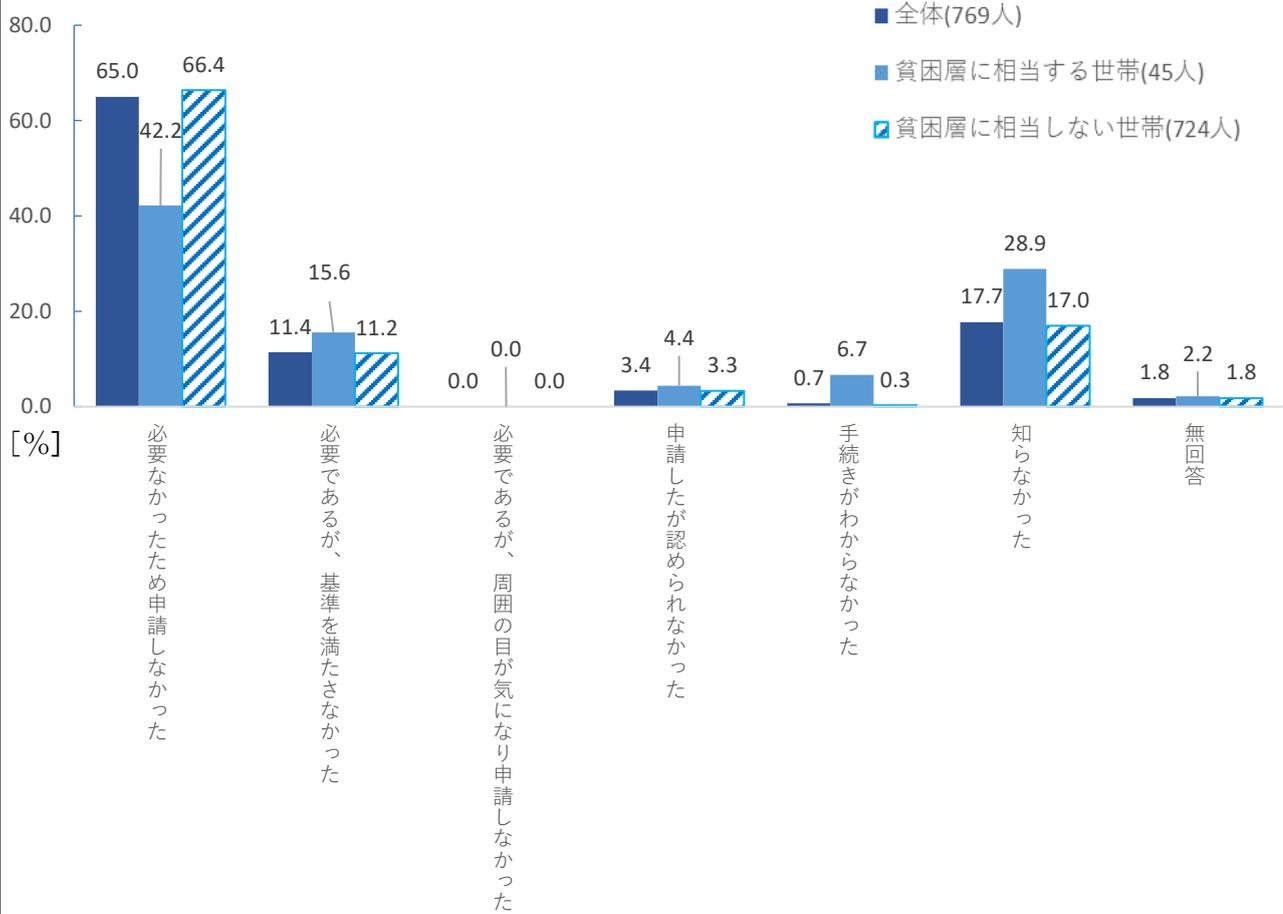
就学援助制度を利用している人の、現在の就学援助が学校にかかる経費をカバーできているかについては、「だいたいできている」41.5%が最も多く、以下「できている」30.9%、「あまりできていない」20.7%となっています。「できている」と「だいたいできている」を合わせた『できている』は72.4%、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていない』は24.8%となっています。

世帯構成別でみると、父子世帯では「できていない」20%が比較的多いです。

(問 23 で「利用していない」を選んだ方にお伺いします。)

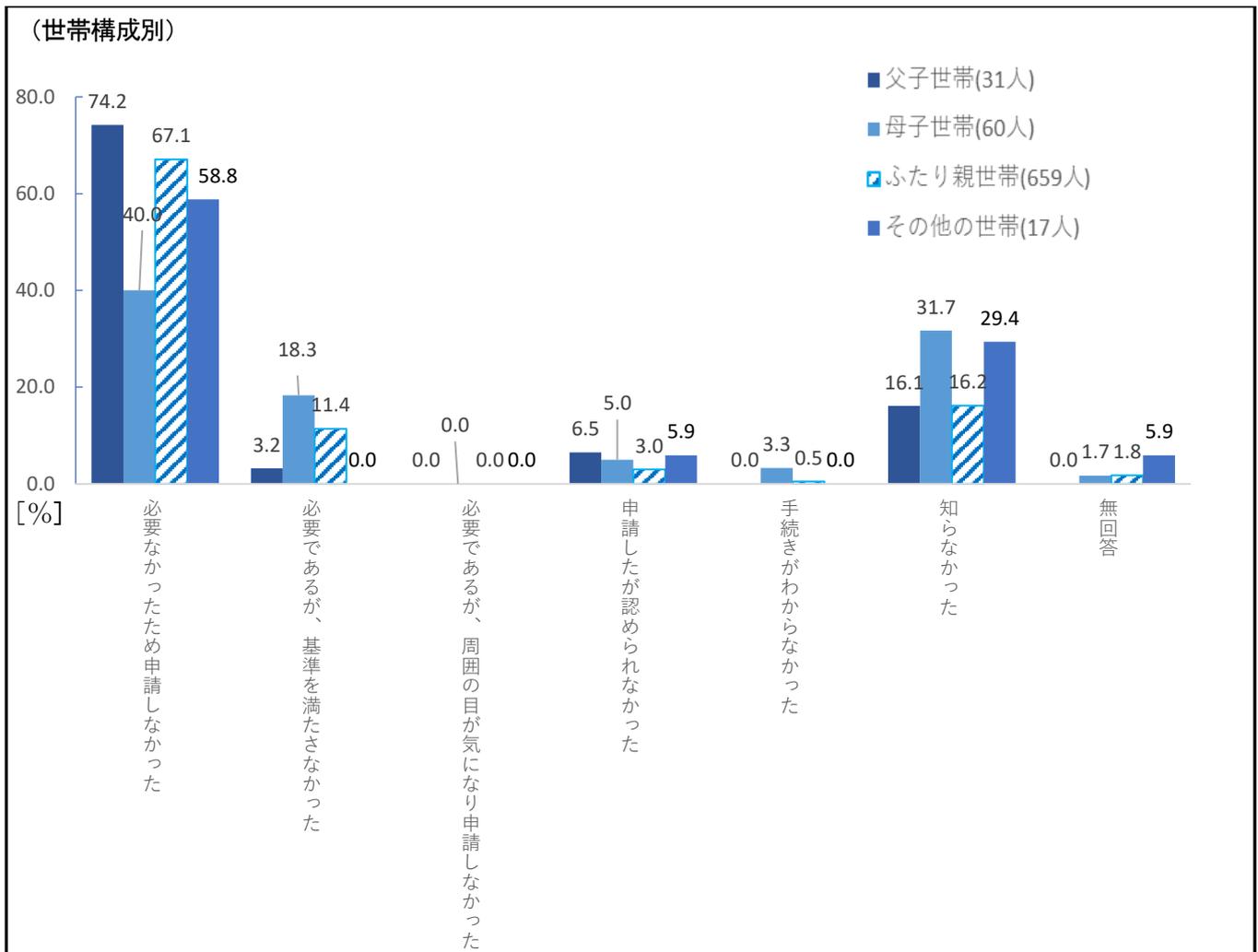
問 23-3 現在、就学援助を利用していない理由はなんですか (1つに○)

(生活困難状況別)



現在、就学援助制度を利用していない人の**就学援助を利用していない理由**は、「必要なかったため申請しなかった」65.0%が最も多く、以下「知らなかった」17.7%、「必要であるが、基準を満たさなかった」11.4%となっています。

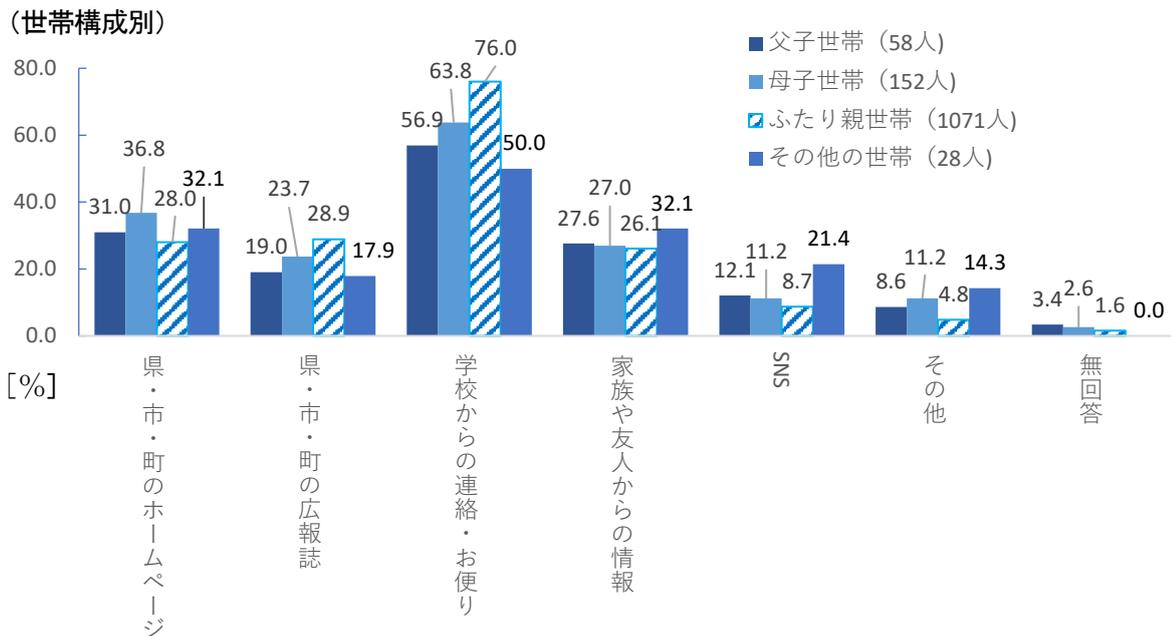
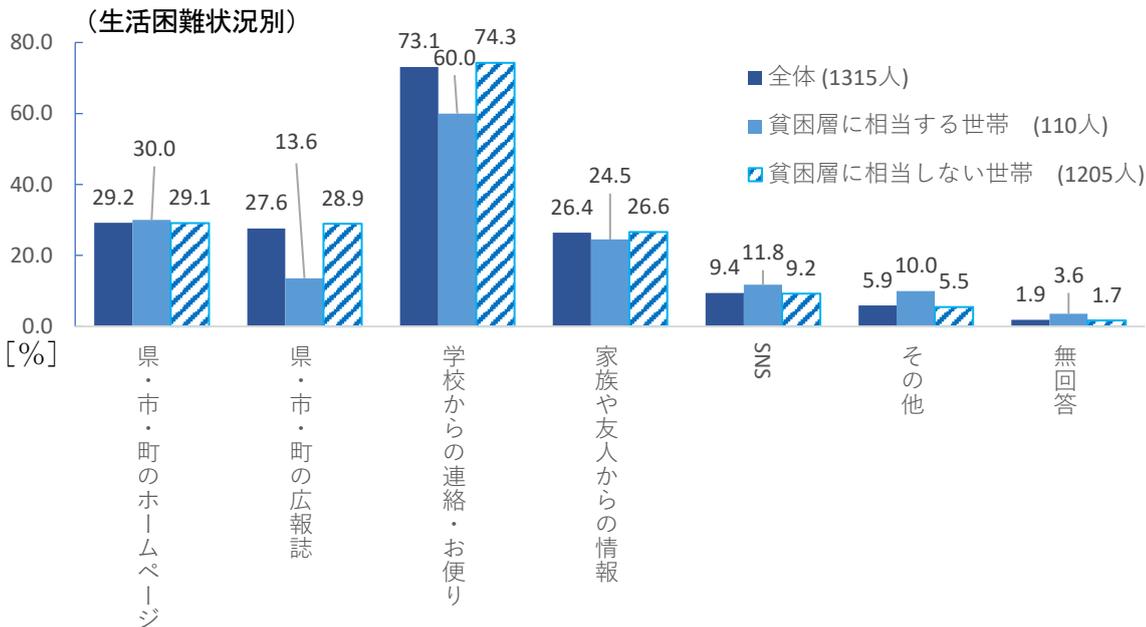
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「必要なかったため申請しなかった」42.2%が少なく、「知らなかった」28.9%、「必要であるが、基準を満たさなかった」15.6%が比較的多くなっています。



世帯構成別でみると、父子世帯では「必要であるが、基準を満たさなかった」3.2%が少なく、母子世帯では「必要なかったため申請しなかった」40.0%が少なく、「必要であるが、基準を満たさなかった」と「知らなかった」が比較的多くなっています。

(3) 現在利用している子育てなどに関する公的な支援制度の情報入手媒体

問24 あなたは、子育てなどに関する公的な支援制度の情報をどのようにして入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)



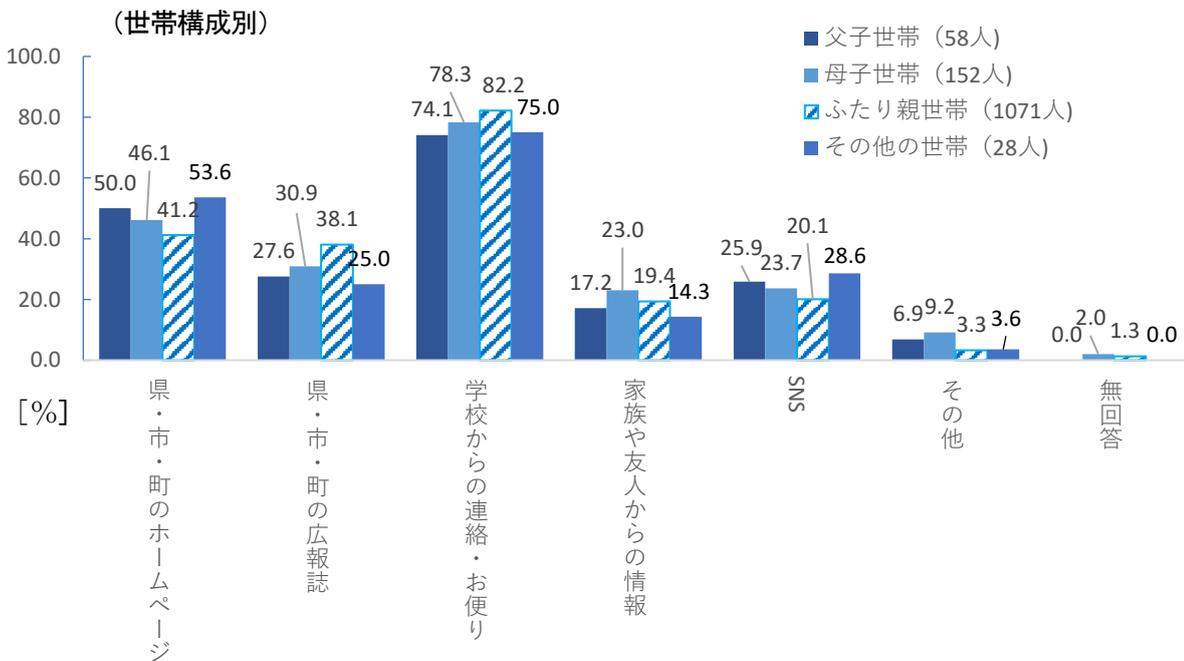
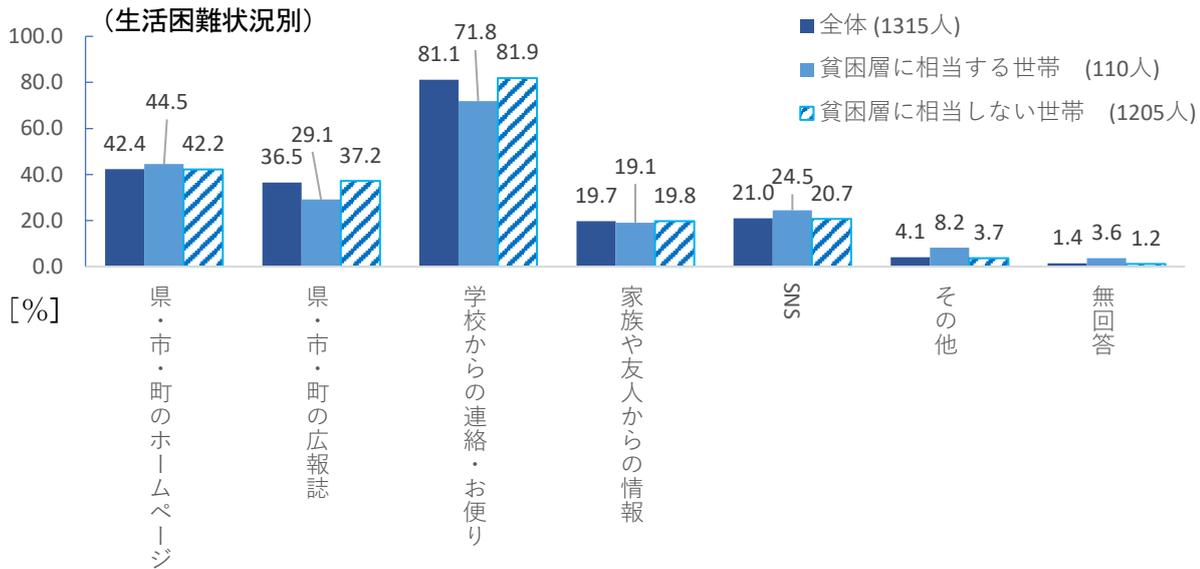
現在利用している子育てなどに関する公的支援制度の情報入手媒体は、「学校からの連絡・お便り」73.1%が最も多く、以下「県・市・町のホームページ」29.2%、「県・市・町の広報誌」27.6%、「家族や友人からの情報」26.4%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「県・市・町の広報誌」13.6%、「学校からの連絡・お便り」60.0%が比較的少なくなっています。

世帯構成別でみると、その他の世帯では「SNS」21.4%が比較的多くなっています。父子世帯、母子世帯とその他の世帯では「学校からの連絡・お便り」と「県・市・町の広報誌」が比較的少なくなっています。

(4) 今後利用したい子育てなどに関する公的な支援制度の情報入手媒体

問25 あなたは、子育てなどに関する公的な支援制度を、今後どのような方法で情報を入手したいと思いますか、またはできたら良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

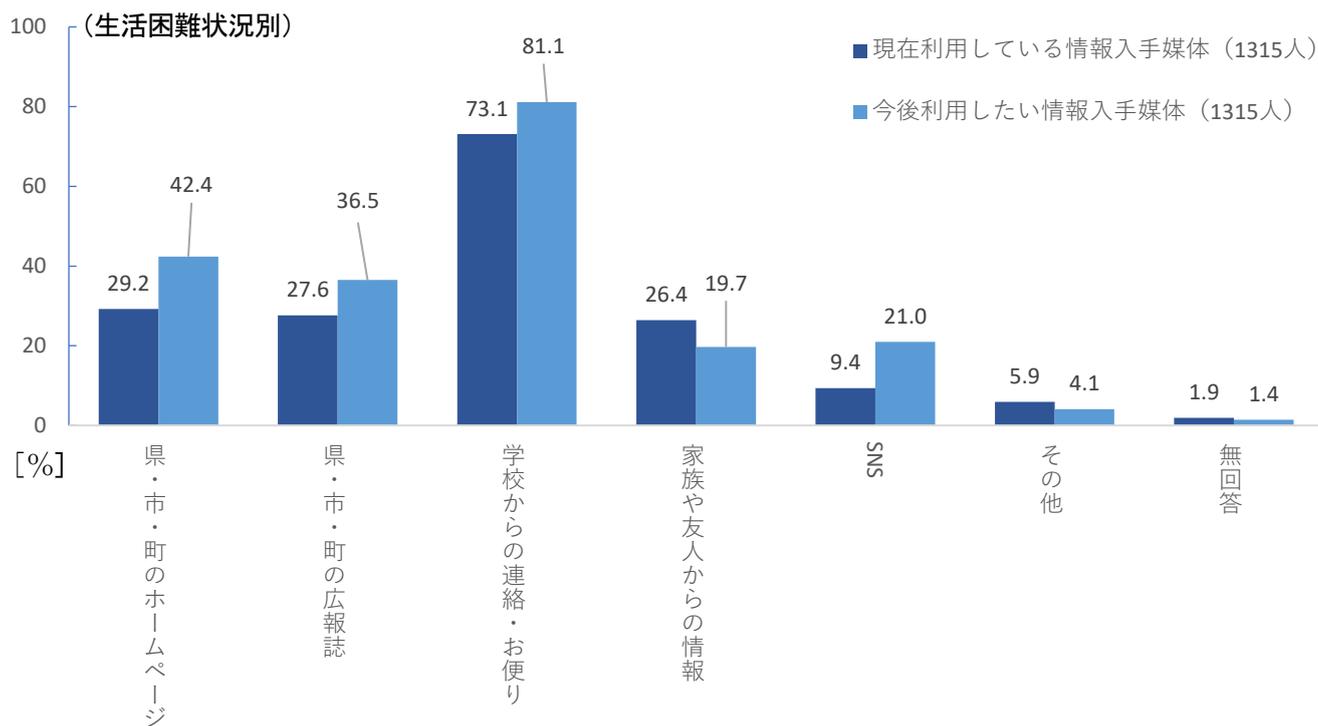


今後利用したい子育てなどに関する公的支援制度の情報入手媒体は、「学校からの連絡・お便り」81.1%が最も多く、以下「県・市・町のホームページ」42.4%、「県・市・町の広報誌」36.5%、「SNS」21.0%、「家族や友人からの情報」19.7%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「学校からの連絡・お便り」71.8%、「県・市・町の広報誌」29.1%が比較的少なくなっています。

世帯構成別でみると、父子世帯及び母子世帯とその他の世帯では「県・市・町の広報誌」が比較的少なくなっています。（「県・市・町の広報誌」父子世帯27.6%、母子世帯：30.9%、その他の世帯：25.0%）。

(問 24 現在利用している情報入手媒体と問 25 今後利用したい情報入手媒体の比較)

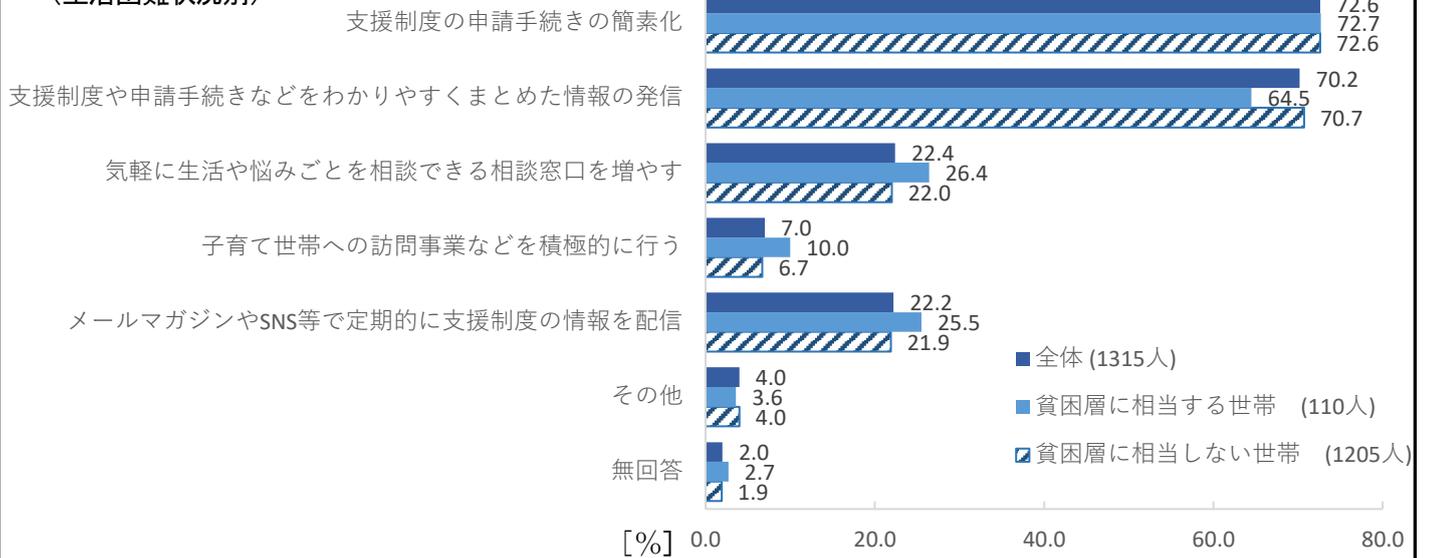


問 24 の現在利用している情報入手媒体と問 25 の今後利用したい情報入手媒体を比較すると、今後利用したい情報入手媒体では「県・市・町のホームページ」が、現在利用している情報入手媒体での回答を13.2 ポイント上回っています。

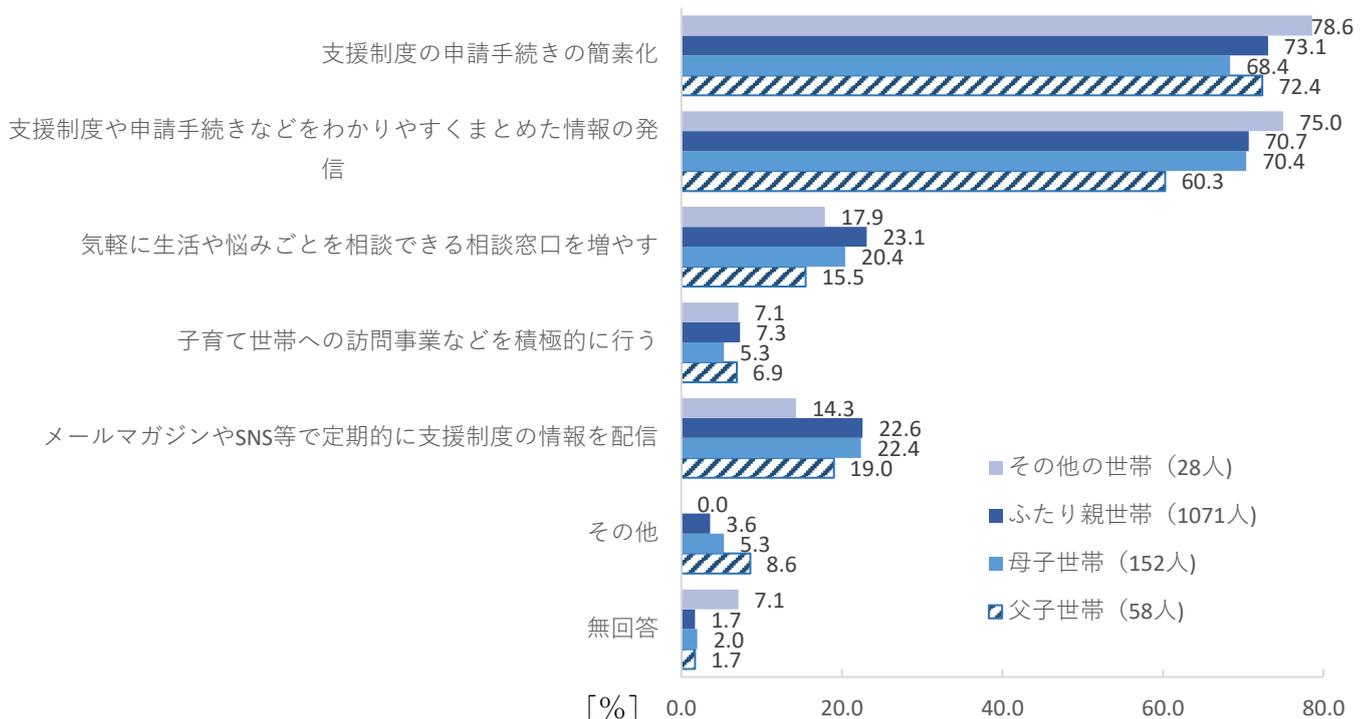
(5) 必要な公的な支援制度をもれなく受けられるようにするために重要だと思うこと

問26 公的な支援制度など、必要な支援をもれなく受けられるようにするには何が重要だと思いますか
(あてはまるものすべてに○)

(生活困難状況別)



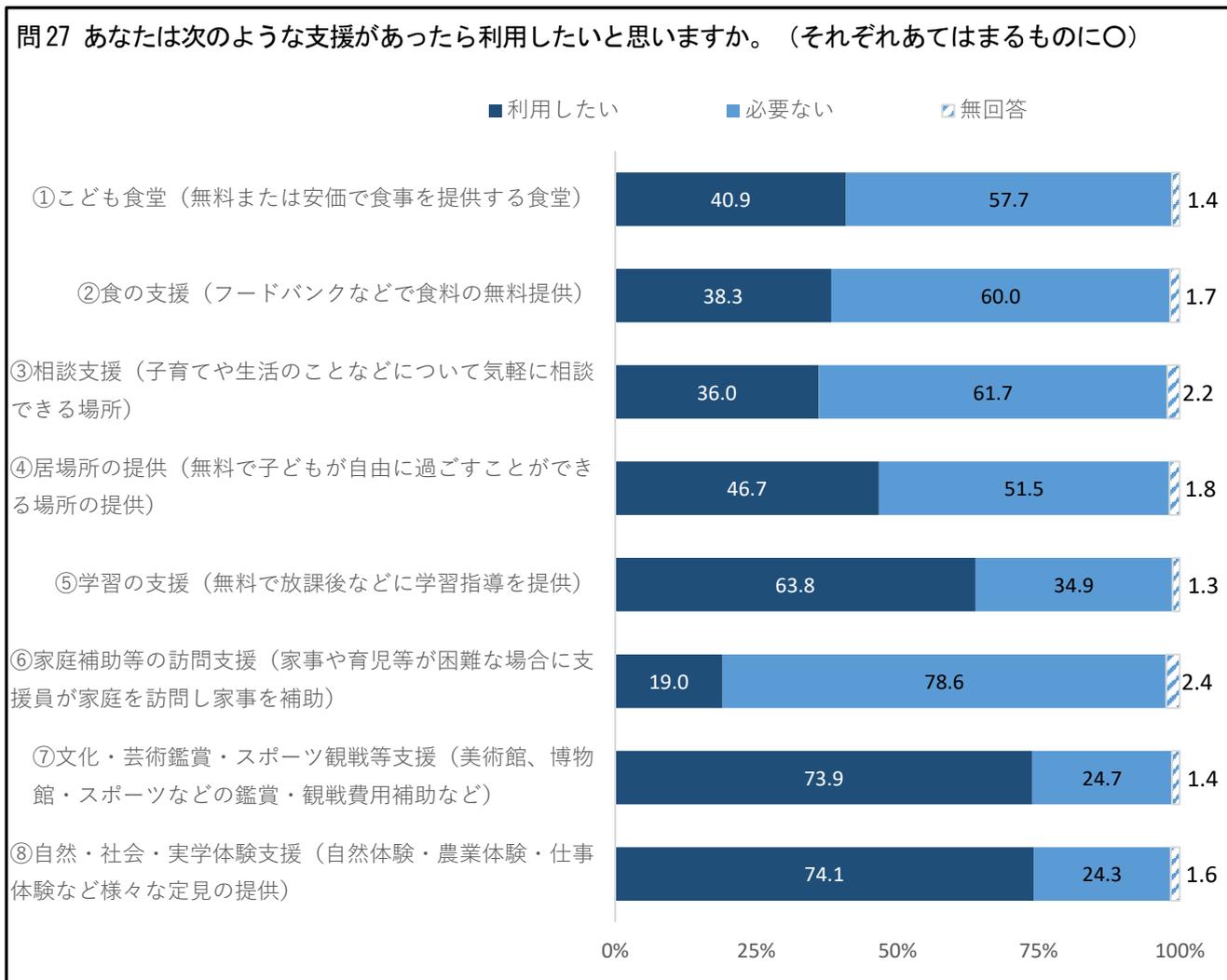
(世帯構成別)



必要な公的支援制度をもれなく受けられるようにするために重要だと思うことでは、「支援制度の申請手続きの簡素化」72.6%が最も多く、以下「支援制度や申請手続きなどをわかりやすくまとめた情報の発信」70.2%、「気軽に生活や悩みごとを相談できる相談窓口を増やす」22.4%、「メールマガジンやSNS等で定期的に支援制度等の情報を配信」22.2%となっています。

生活困難状況別、世帯構成別による差はあまりみられていません。

(6) 子どもや子育てに関する支援施策の利用意向



子どもや子育てに関する各種支援策の利用意向として、「利用したい」との回答は、〔⑧自然・社会・実学体験支援（自然体験・農業体験・仕事体験など様々な体験の提供）〕74.1%で最も多く、以下〔⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援（美術館、博物館・スポーツなどの鑑賞・観戦費用補助など）〕73.9%、〔⑤学習の支援（無料で放課後などに学習指導を提供）〕63.8%、〔④居場所の提供（無料で子どもが自由に過ごすことができる場所の提供）〕46.7%と続いています。

一方、「必要ない」との回答は、〔⑥家事補助等の訪問支援（家事や育児等が困難な場合に支援員が家庭を訪問し家事を補助）〕78.6%で最も多く、以下〔③相談支援（子育てや生活のことなどについて気軽に相談できる場所）〕61.7%、〔②食の支援（フードバンクなど食料の無料提供）〕60.0%、〔①こども食堂（無料または安価で食事を提供する食堂）〕57.7%、と続いています。

(生活困難状況別・世帯構成別 「利用意向あり」と「利用意向なし」)

	全体	生活困難状況別		世帯構成別				
		貧困層に相当する世帯	貧困層に相当しない世帯	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	その他の世帯	
利用意向あり	①こども食堂 (無料または安価で食事を提供する食堂)	40.9	49.1	40.2	39.7	43.4	40.5	46.4
	②食の支援 (フードバンクなどで食料の無料提供)	38.3	62.7	36.1	37.9	48.0	36.7	53.6
	③相談支援 (子育てや生活のことなどについて気軽に相談できる場所)	36.0	42.7	35.4	34.5	38.2	35.7	46.4
	④居場所の提供 (無料で子どもが自由に過ごすことができる場所の提供)	46.7	50.9	46.3	41.4	42.8	47.7	42.9
	⑤学習の支援 (無料で放課後などに学習指導を提供)	63.8	68.2	63.4	53.4	61.8	64.8	64.3
	⑥家庭補助等の訪問支援 (家事や育児等が困難な場合に支援員が家庭を訪問し家事を補助)	19.0	24.5	18.5	20.7	20.4	18.8	21.4
	⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援 (美術館、博物館・スポーツなどの鑑賞・観戦費用補助など)	73.9	70.9	74.2	69.0	73.0	74.7	64.3
	⑧自然・社会・実学体験支援 (自然体験・農業体験・仕事体験など様々な定見の提供)	74.1	75.5	74.0	69.0	73.0	74.7	78.6
利用意向なし	①こども食堂 (無料または安価で食事を提供する食堂)	57.7	48.2	58.6	58.6	54.6	58.5	50.0
	②食の支援 (フードバンクなどで食料の無料提供)	60.0	35.5	62.2	60.3	50.7	61.8	46.4
	③相談支援 (子育てや生活のことなどについて気軽に相談できる場所)	61.7	52.7	62.6	63.8	59.9	62.4	46.4
	④居場所の提供 (無料で子どもが自由に過ごすことができる場所の提供)	51.5	46.4	52.0	56.9	55.3	50.7	53.6
	⑤学習の支援 (無料で放課後などに学習指導を提供)	34.9	28.2	35.5	44.8	36.8	34.2	32.1
	⑥家庭補助等の訪問支援 (家事や育児等が困難な場合に支援員が家庭を訪問し家事を補助)	78.6	70.9	79.3	75.9	76.3	79.4	71.4
	⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援 (美術館、博物館・スポーツなどの鑑賞・観戦費用補助など)	24.7	23.6	24.8	31.0	25.0	24.2	32.1
	⑧自然・社会・実学体験支援 (自然体験・農業体験・仕事体験など様々な定見の提供)	24.3	19.1	24.7	31.0	25.0	23.8	21.4

■ 全体よりも5ポイント以上多い

■ 全体よりも5ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けていますが、この間では1つの属性において「利用意向あり」が多ければ「利用意向なし」が少なくなり、「利用意向あり」が少なければ「利用意向なし」が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

*** 「利用意向あり」 (「利用したい」)**

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔②食の支援 (フードバンクなど食料の無料提供)〕62.7%、〔①こども食堂 (無料または安価で食事を提供する食堂)〕49.1%、〔③相談支援 (子育てや生活のことなどについて気軽に相談できる場所)〕42.7%、〔⑥家庭補助等の訪問支援 (家事や育児等が困難な場合に支援員が家庭を訪問し家事を補助)〕24.5%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔②食の支援 (フードバンクなど食料の無料提供)〕48.0%で比較的多くなっています。その他の世帯では〔②食の支援 (フードバンクなど食料の無料提供)〕53.6%、〔①こども食堂 (無料または安価で食事を提供する食堂)〕と〔③相談支援 (子育てや生活のことなどについて気軽に相談できる場所)〕各46.4%で比較的多くなっています。

*** 「利用意向なし」 (「必要ない」)**

世帯構成別でみると、父子世帯では〔④居場所の提供 (無料で子どもが自由に過ごすことができる場所の提供)〕56.9%、〔⑤学習の支援 (無料で放課後などに学習指導を提供)〕44.8%、〔⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援 (美術館、博物館・スポーツなどの鑑賞・観戦費用補助など)〕と〔⑧自然・社会・実学体験支援 (自然体験・農業体験・仕事体験など様々な体験の提供)〕各31.0%、その他の世帯で〔⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援 (美術館、博物館・スポーツなどの鑑賞・観戦費用補助など)〕32.1%で比較的多くなっています。

(7) 子どもたちが健やかに育っていくために必要な支援等への意見・要望（自由意見）

問28 子どもたちがこれからも健やかに育っていくために必要だと思う支援等についてご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

子どもたちがこれからも健やかに育っていくために必要だと思う支援等についていただいたご意見やご要望 261 件を内容ごとに分類したところ、以下のようにまとめました。

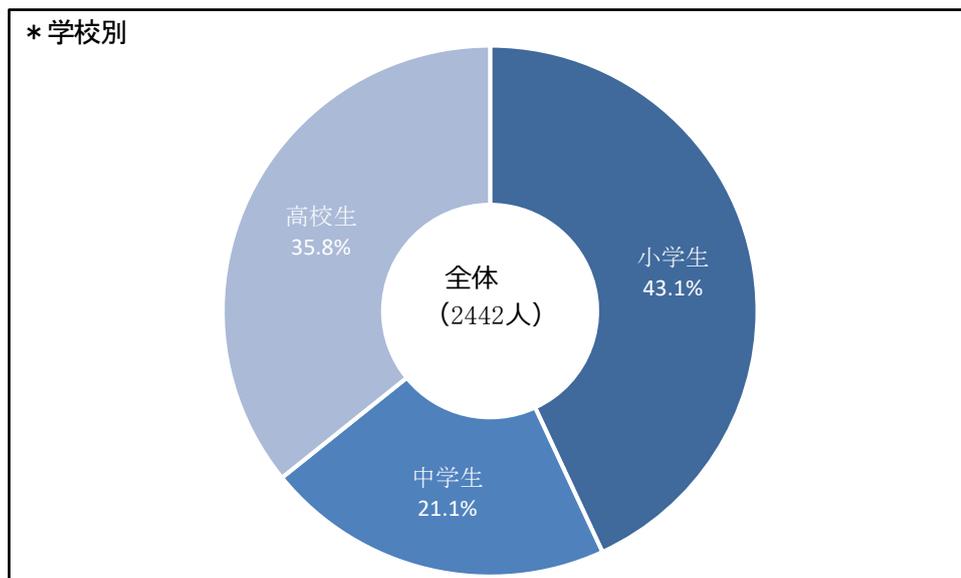
分類名	件数
必要とされる支援・サービス全般についての要望	75
教育にかかる費用の支援・無償化など	48
子どもの遊ぶ場所、安全に過ごせる場所、交流する場・機会	25
高校・大学の無償化、支援など	15
子どもが安心・安全に暮らせる社会・環境づくり	14
学校	12
居場所の提供	8
学童・放課後児童クラブ	7
就労環境の改善・見直し	7
医療費（予防接種等含む）	6
体育館・運動施設、スポーツ	5
相談支援体制	5
学習支援体制	3
児童手当	3
図書館・児童館・文化施設	3
ひとり親への支援	2
アンケート	2
不登校など	2
その他	19
合計	261

最も多かったのは「必要とされる支援・サービス全般についての要望」についてのご意見やご要望で75件でした。ついで、「教育にかかる費用の支援・無償化など」が48件、「子どもの遊ぶ場所、安全に過ごせる場所、安全に暮らせる場所、交流する場・機会」が25件、「高校・大学の無償化、支援など」が15件となっています。

III 調査結果（子ども）

* 回答者の属性

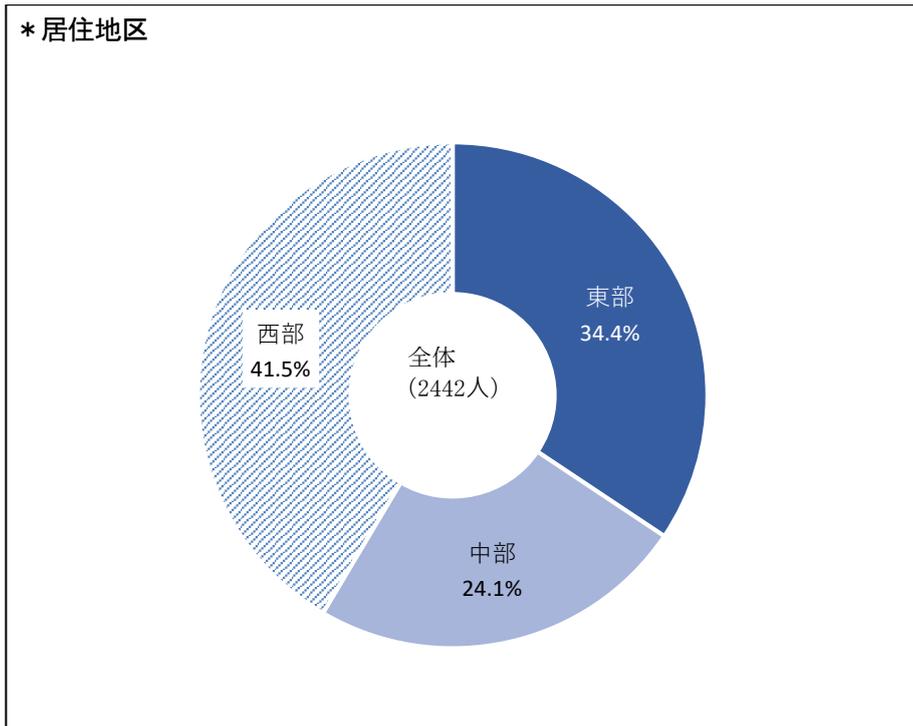
(1) 学年



学年（小学校・中学校の別）は、「高校生」35.8%、「中学生」21.1%、「小学生」43.1%となっています。

(2) 居住地区

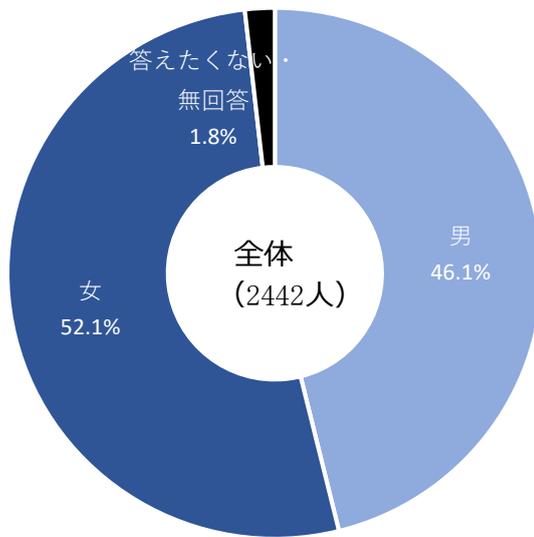
* 居住地区



居住地区（学校所在地区）は、「西部」41.5%が最も多く、以下「東部」34.4%、「中部」24.1%となっています。

(3) 性別

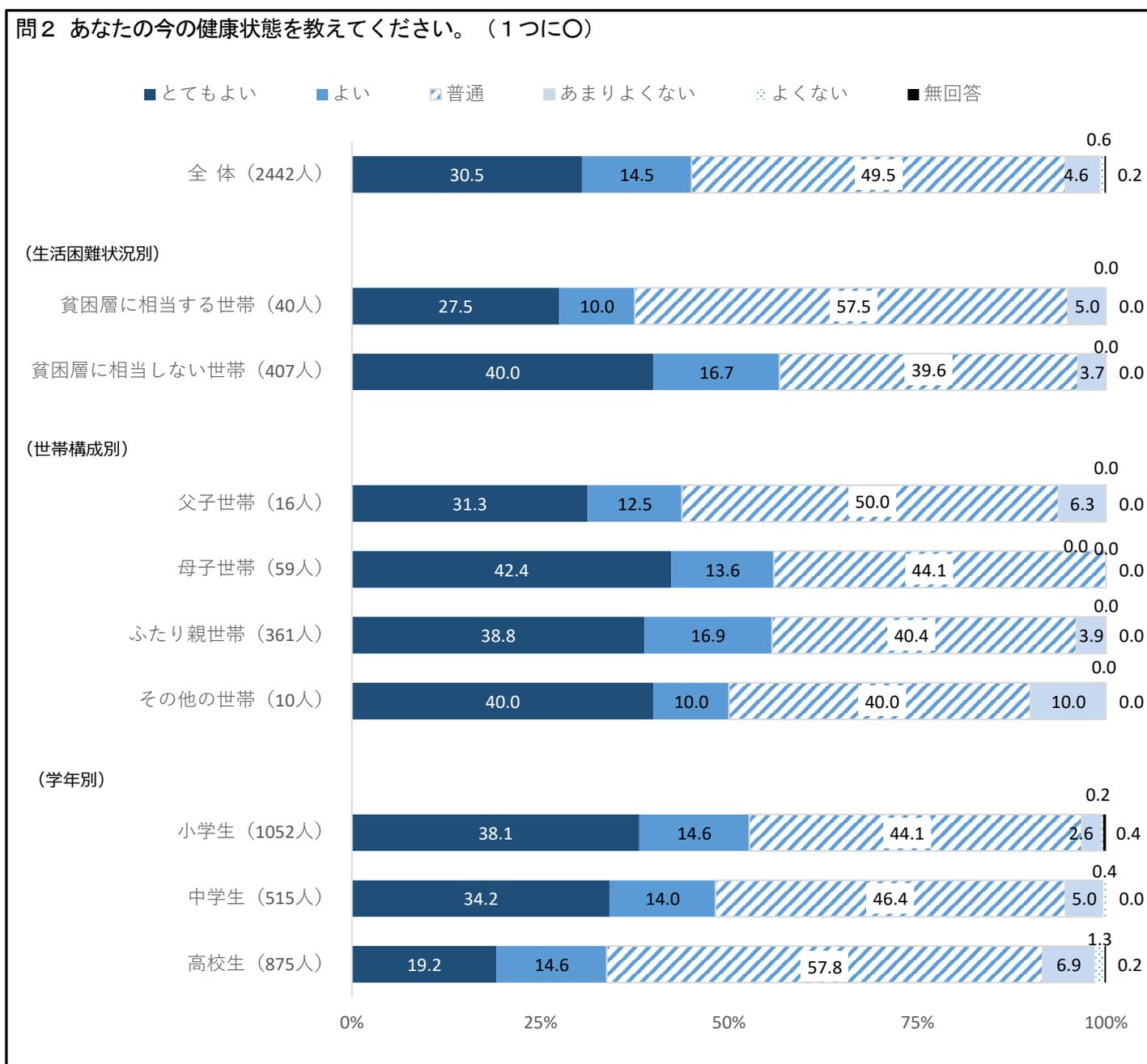
問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)



性別は、「男」46.1%、「女」52.1%となっています。

1 健康のことについて

(1) 健康状態

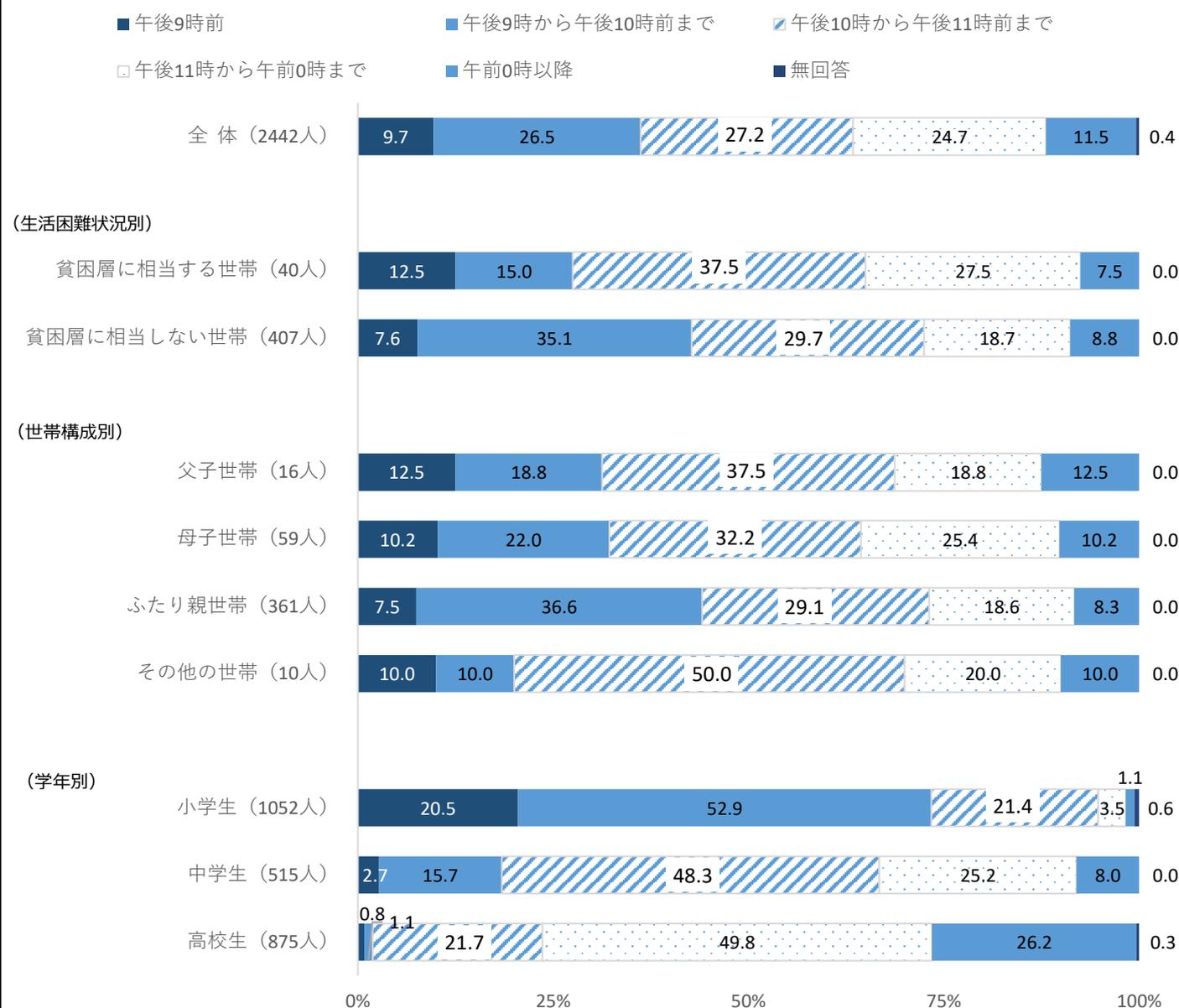


現在の健康状態は、「普通」49.5%が最も多く、以下「とてもよい」30.5%、「よい」14.5%となっています。「とてもよい」と「よい」を合わせた『よい』は45.0%、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』は5.2%となっています。

学年別でみると、小学生では「とてもよい」38.1%が比較的多くなっています。

(2) 就寝時刻

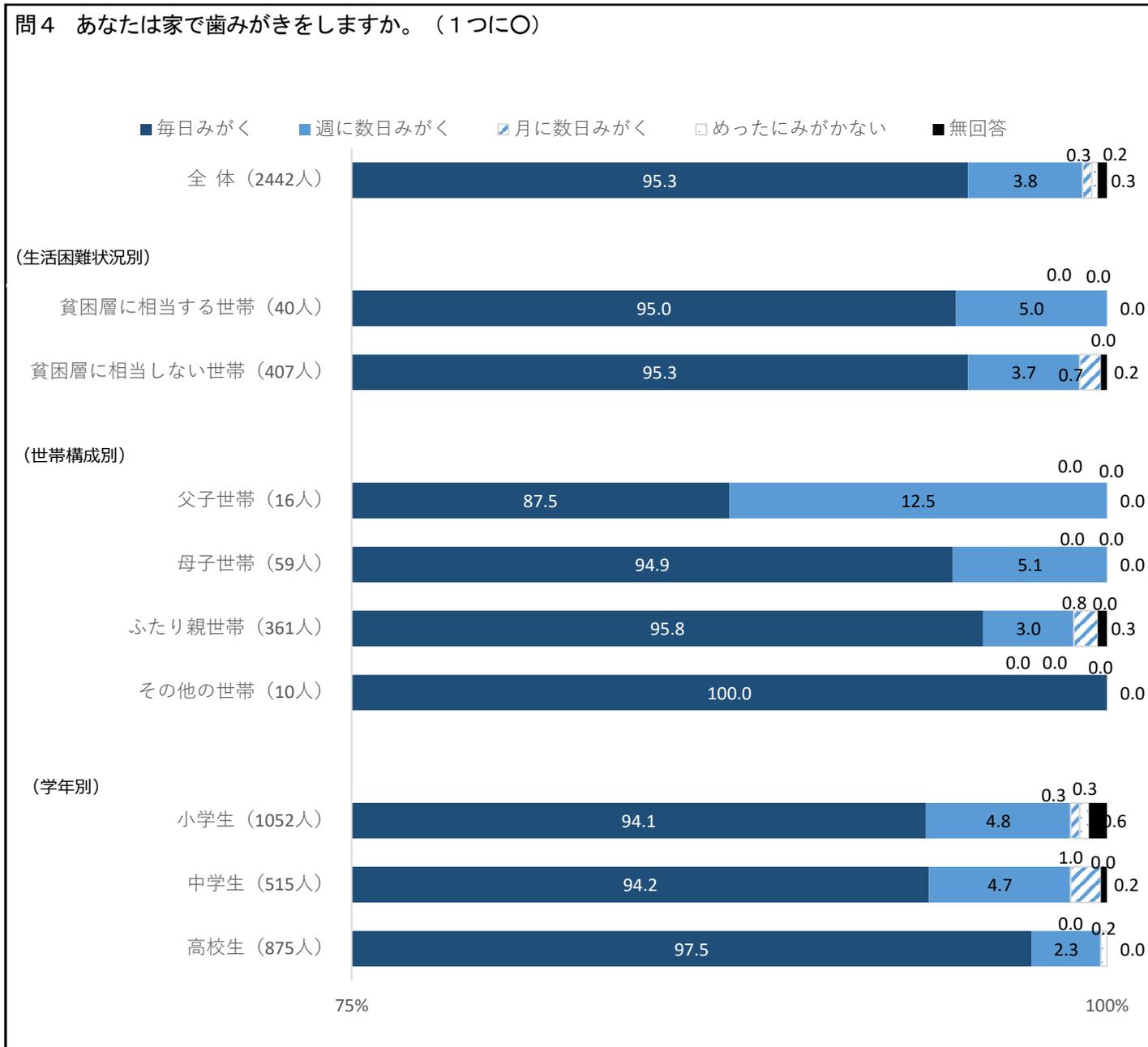
問3 あなたは、学校のある日は何時ごろ寝ていますか。(1つに○)



学校のある日の就寝時刻は、「午後 10 時から午後 11 時前まで」27.2%が最も多く、以下「午後 9 時から午後 10 時前まで」26.5%、「午後 11 時から午前0時前まで」24.7%、「午前 0 時以降」11.5%となっています。

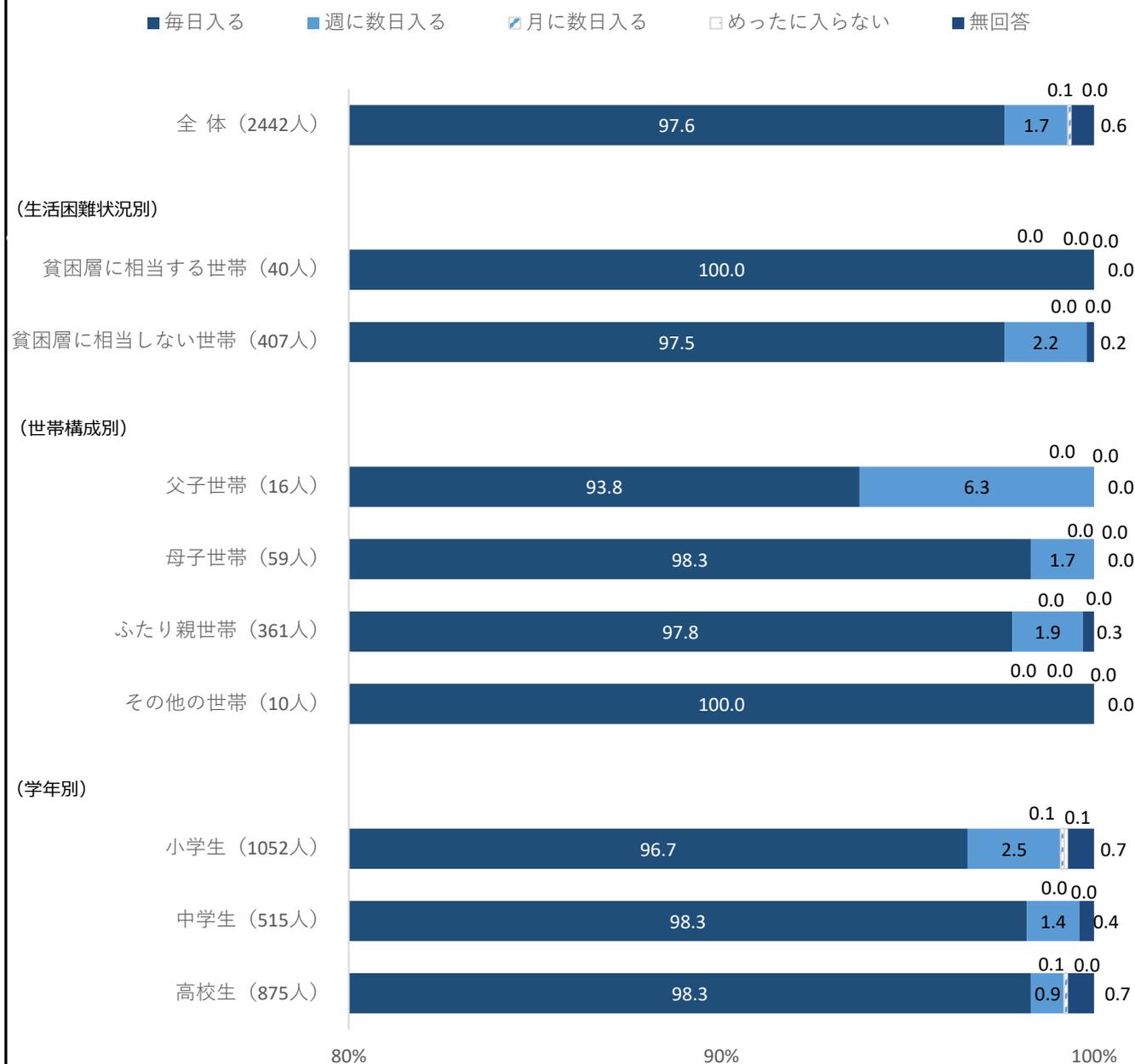
学年別でみると、小学生では「午後 9 時から午後 10 時前まで」52.9%が最も多く、以下「午後 10 時から午後 11 時前まで」21.4%、「午後 9 時前」20.5%となっています。中学生では「午後 10 時から午後 11 時前まで」48.3%が最も多く、「午後 11 時から午前0時前まで」25.2%、「午後 9 時から午後 10 時前まで」15.7%となっています。高校生では「午後 11 時から午前0時前まで」49.8%が最も多く、以下「午前 0 時以降」26.2%、「午後 10 時から午後 11 時前まで」21.7%となっています。

(3) 歯みがき・入浴の頻度



歯みがきの頻度は、「毎日」95.3%が最も多く9割以上を占め、次いで「週に数日」3.8%となっています。生活困難状況別による差はあまりみられていませんが、世帯構成別では父子世帯で「毎日」87.5%とやや低く、学年別では高校生「毎日」97.5%が高くなっています。

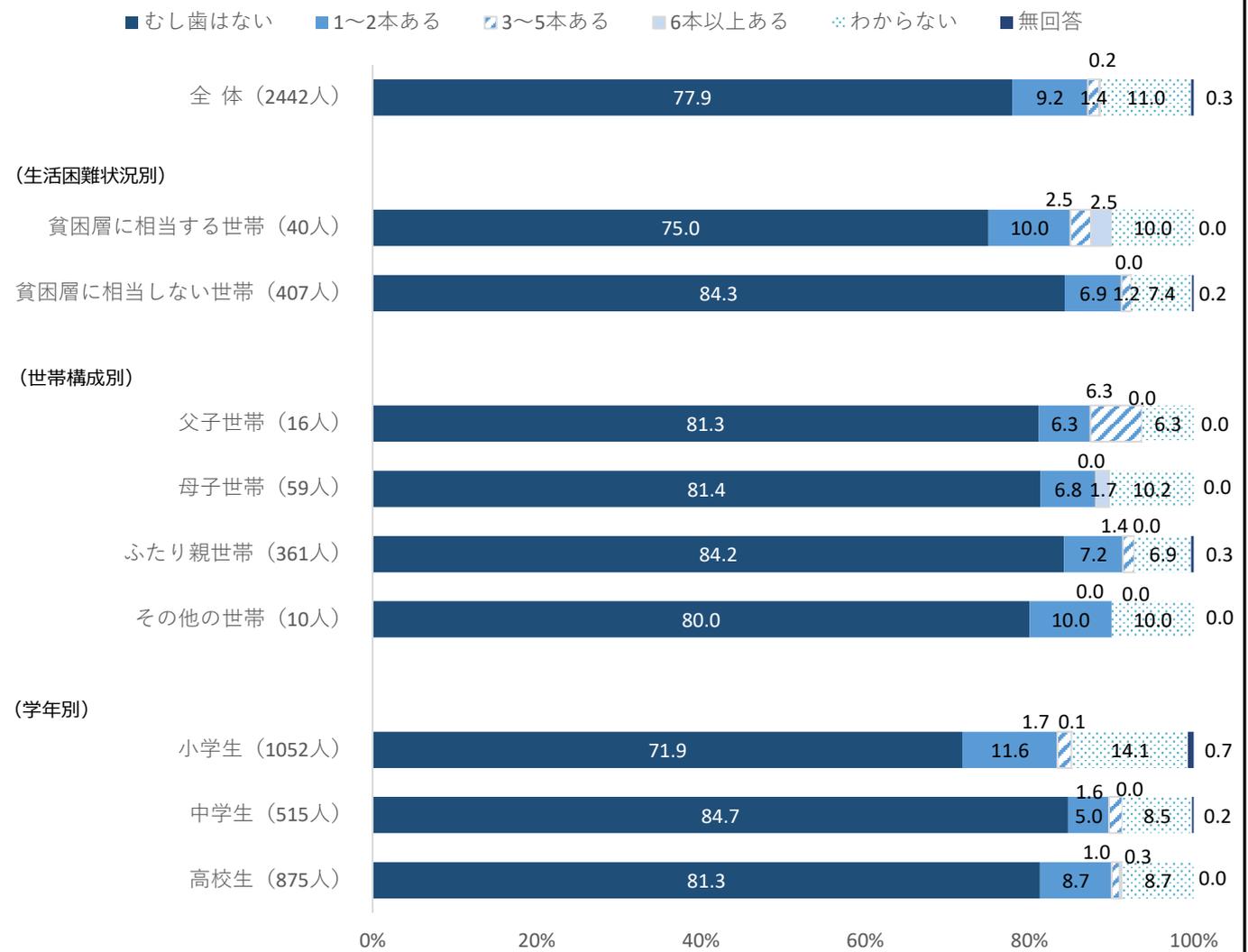
問4 あなたはお風呂に入りますか。シャワーをあびることを含みます。(1つに○)



入浴の頻度は、「毎日」97.6%が最も多く9割以上を占め、次いで「週に数日」1.7%となっています。生活困難状況別、学年別による差はあまりみられていませんが、世帯構成別では父子世帯「毎日」93.8%がやや低くなっています。

(4) むし歯の状況

問5 あなたはむし歯(治療中のものも含む)がありますか。なお、治療が終わったむし歯は含みません(1つに〇)

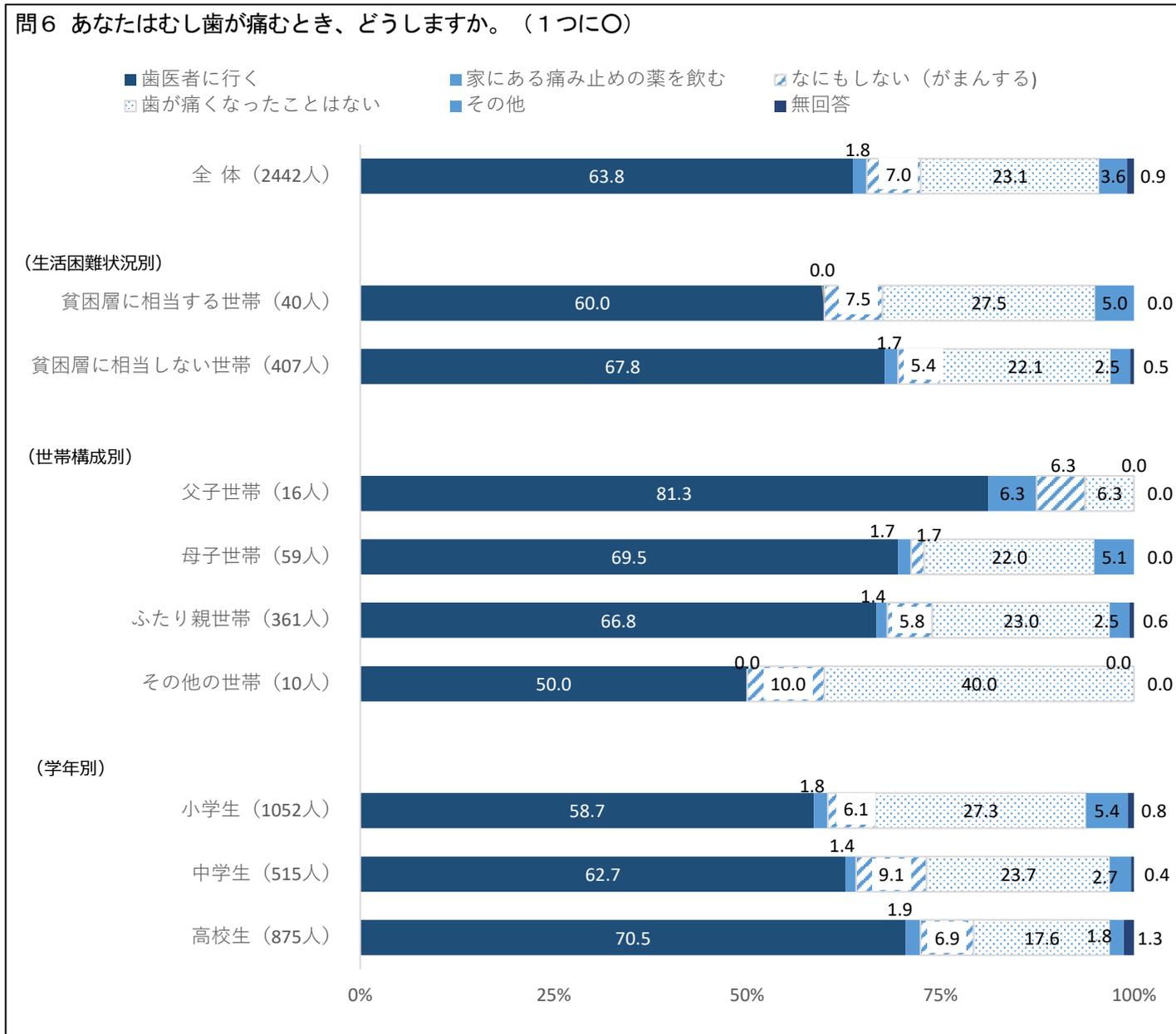


むし歯の状況は、「むし歯はない」77.9%が最も多く、約7割を占めています。以下「わからない」11.0%、「1～2本むし歯がある」9.2%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当しない世帯では「むし歯はない」84.3%が比較的多くなっています。

学年別では、小学生では「むし歯はない」71.9%がやや低くなっています。

(5) 歯痛時の対応



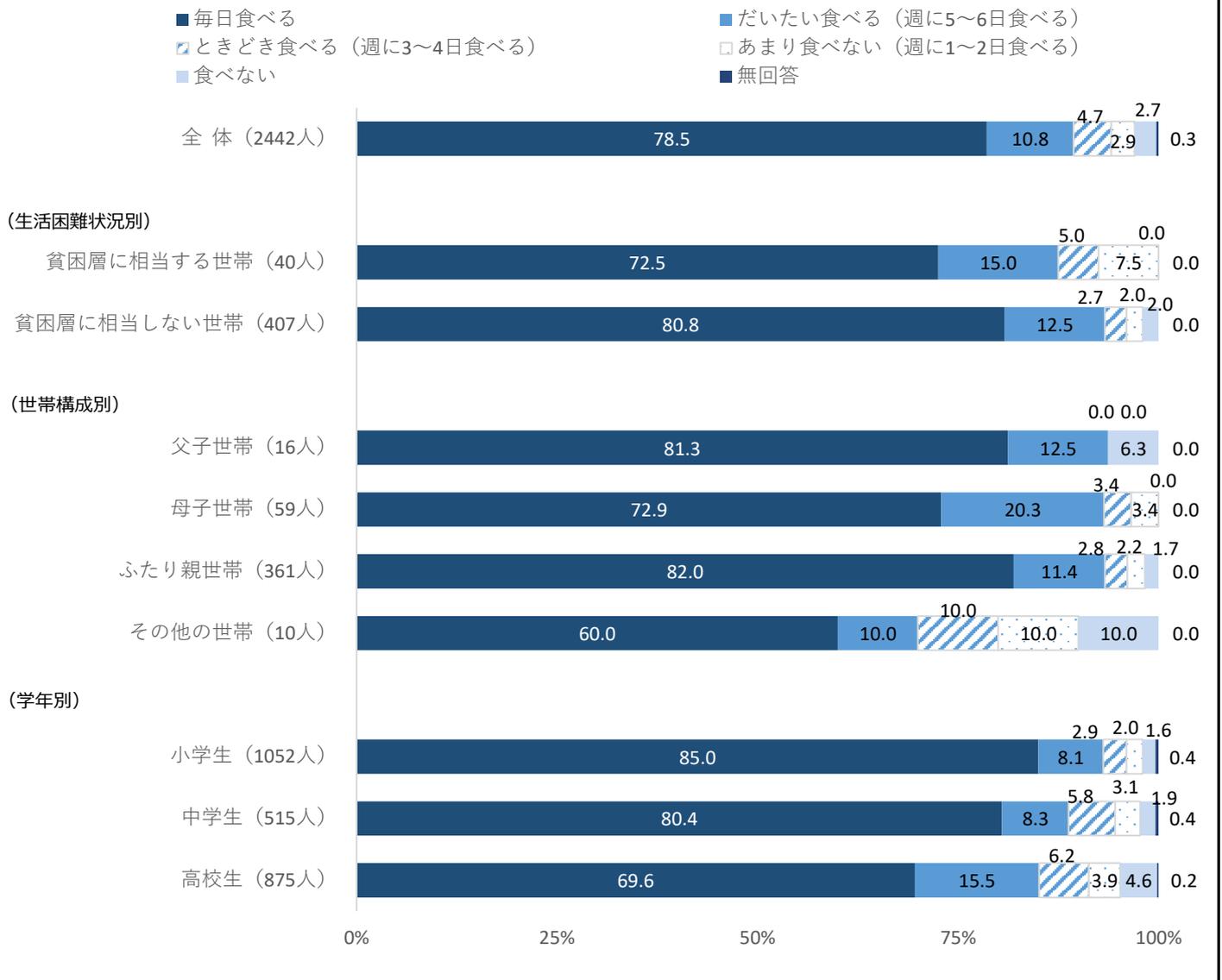
むし歯が痛むときの対応は、「歯医者に行く」63.8%が最も多く、約6割を占めています。以下「歯が痛くなったことはない」23.1%、「なにもしない」7.0%、「その他」3.6%となっています。

学年別でみると、小学生では「歯医者に行く」58.7%、中学生では「歯医者に行く」62.7%、高校生では「歯医者に行く」70.5%と学年が上がる順に高くなっています。

2 ふだんの生活のことについて

(1) 朝ごはんの状況

問7 あなたは朝ごはんを食べますか。(1つに○)

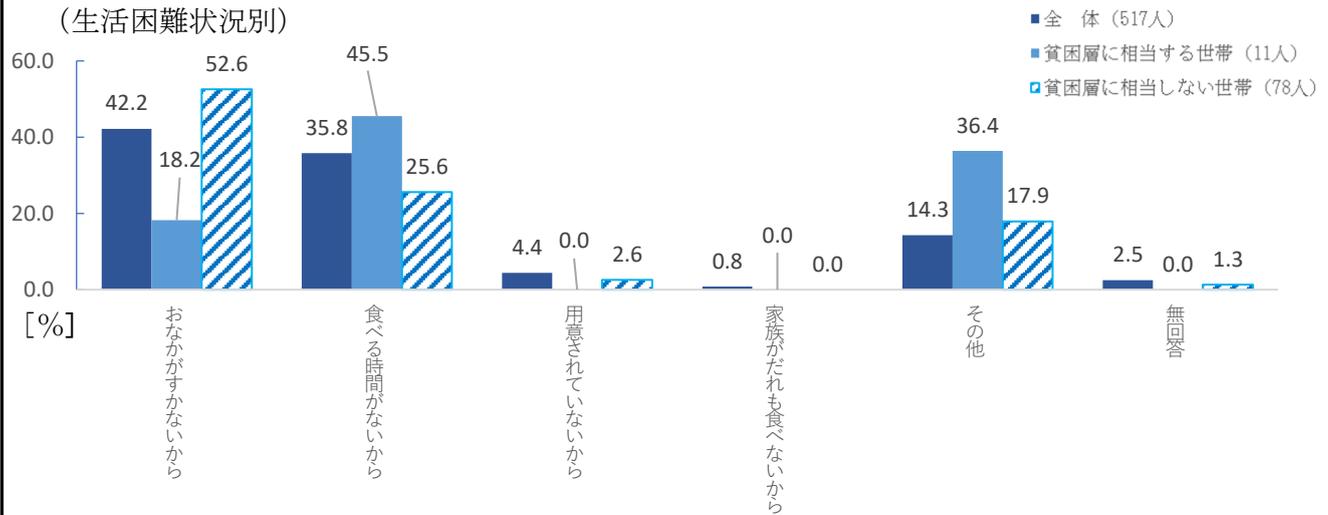


朝ごはんの摂取頻度は、「毎日」78.5%が最も多く、以下「だいたい食べる（週に5～6日くらい）」10.8%、「ときどき食べる（週に3～4日くらい）」4.7%となっています。

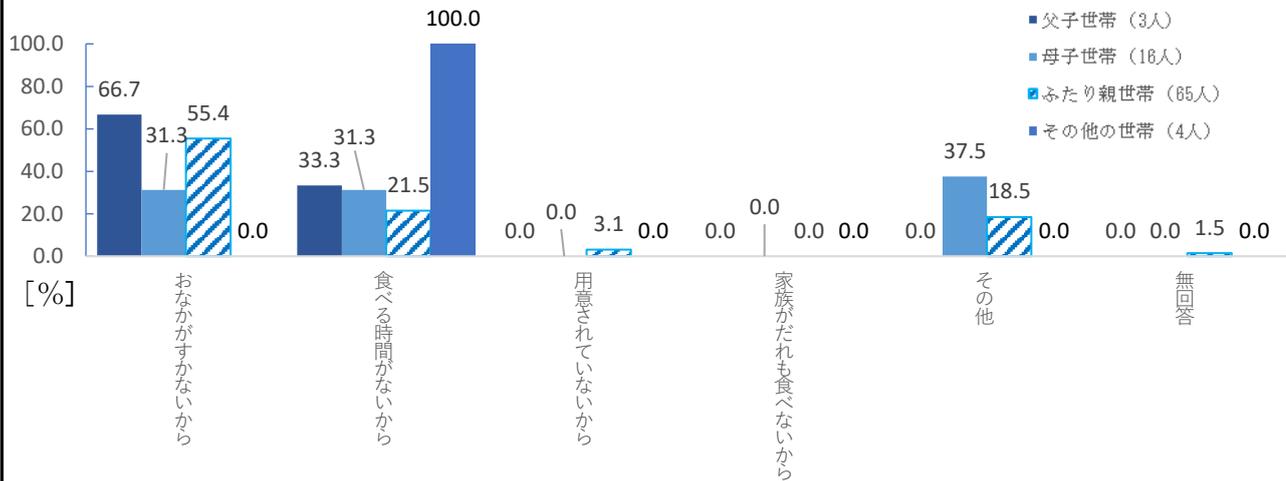
生活困難状況別で見ると、貧困層に相当しない世帯では「毎日」80.8%が比較的多くなっています。世帯構成別で見ると、ふたり親世帯では「毎日」82.0%が比較的多くなっています。

学年別で見ると、小学生では「毎日」85.0%が比較的多くなっています。

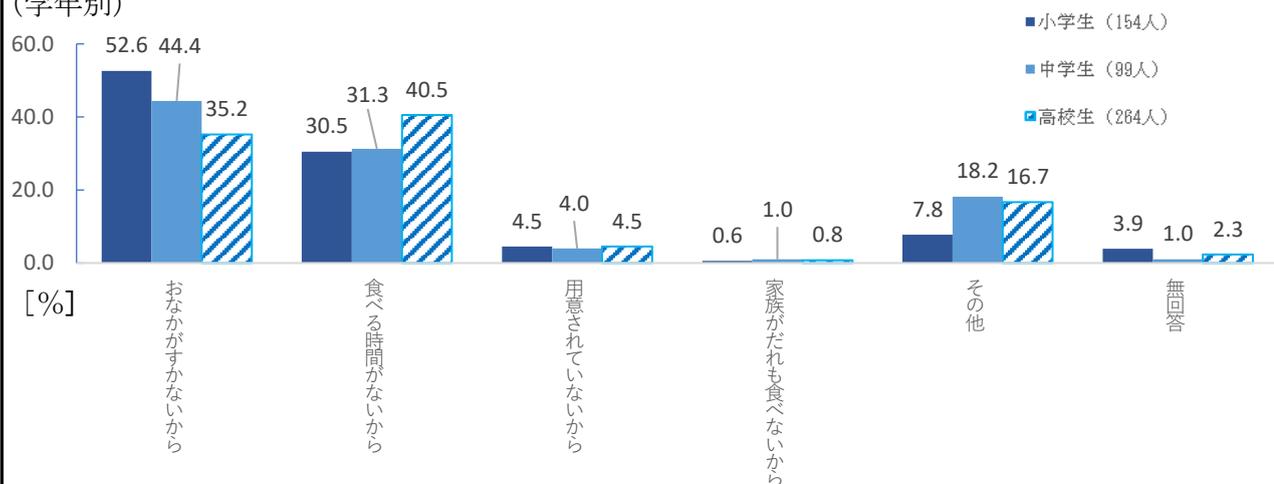
(問7で「毎日食べる」以外を答えた方にききます。)
 問7-2 毎日朝ごはんを食べない日がある理由は何ですか (〇はいくつでも)
 (生活困難状況別)



(世帯構成別)

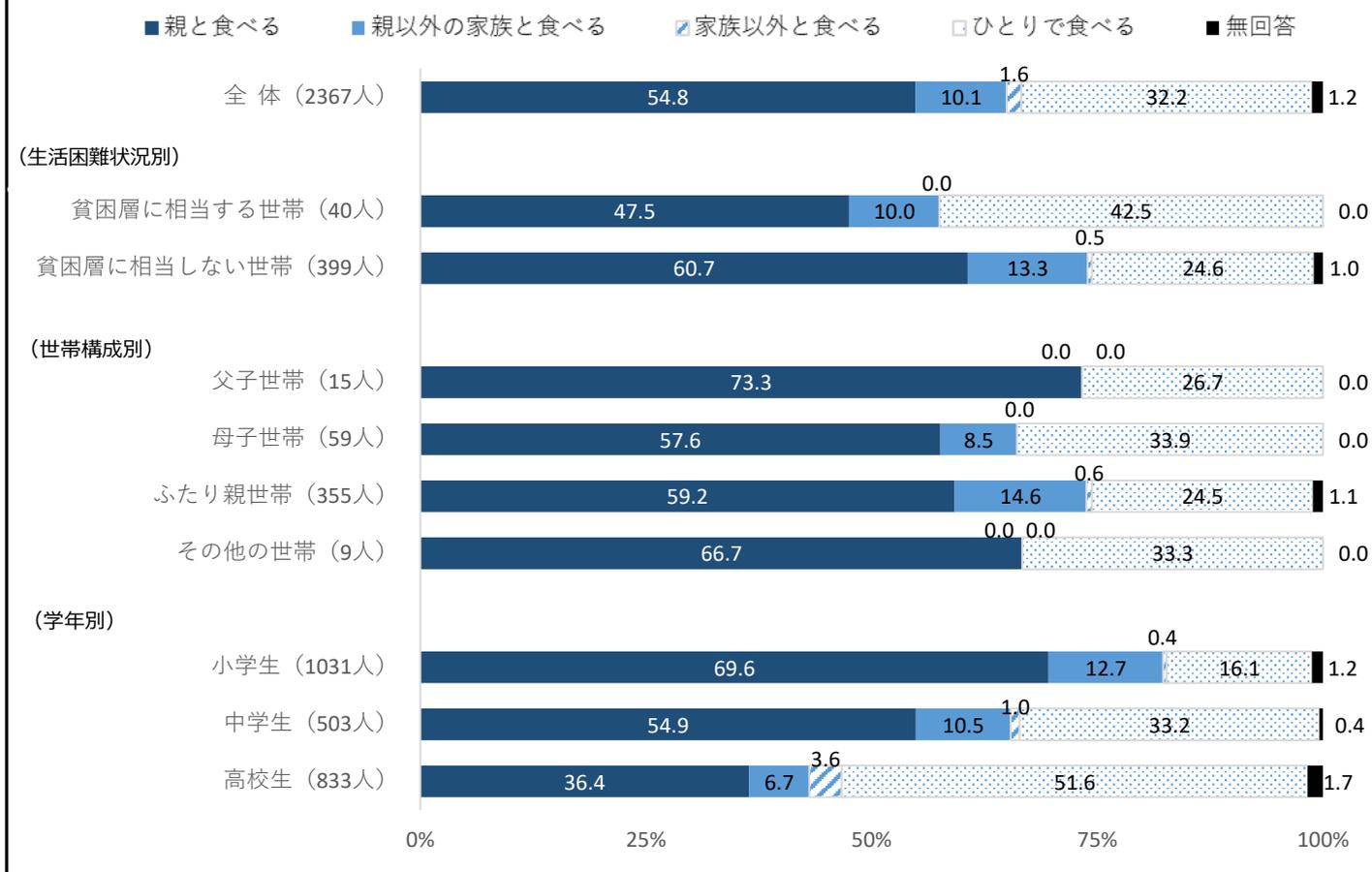


(学年別)



朝ごはんを毎日食べない人 (517人) の朝ごはんを**食べない日がある理由**は、「おなかがすかないから」42.2%が最も多く、以下「食べる時間がないから」35.8%、「その他」14.3%、「用意されていないから」4.4%となっています。生活困難状況別、世帯構成別、学年別では、学年別で小学生「おなかがすかないから」52.6%がやや多くなっています。

(問7で「食べる」と答えた方にききます。)
 問7-3 学校のある日はあなたは誰と朝ごはんを食べることが多いですか。(1つに○)



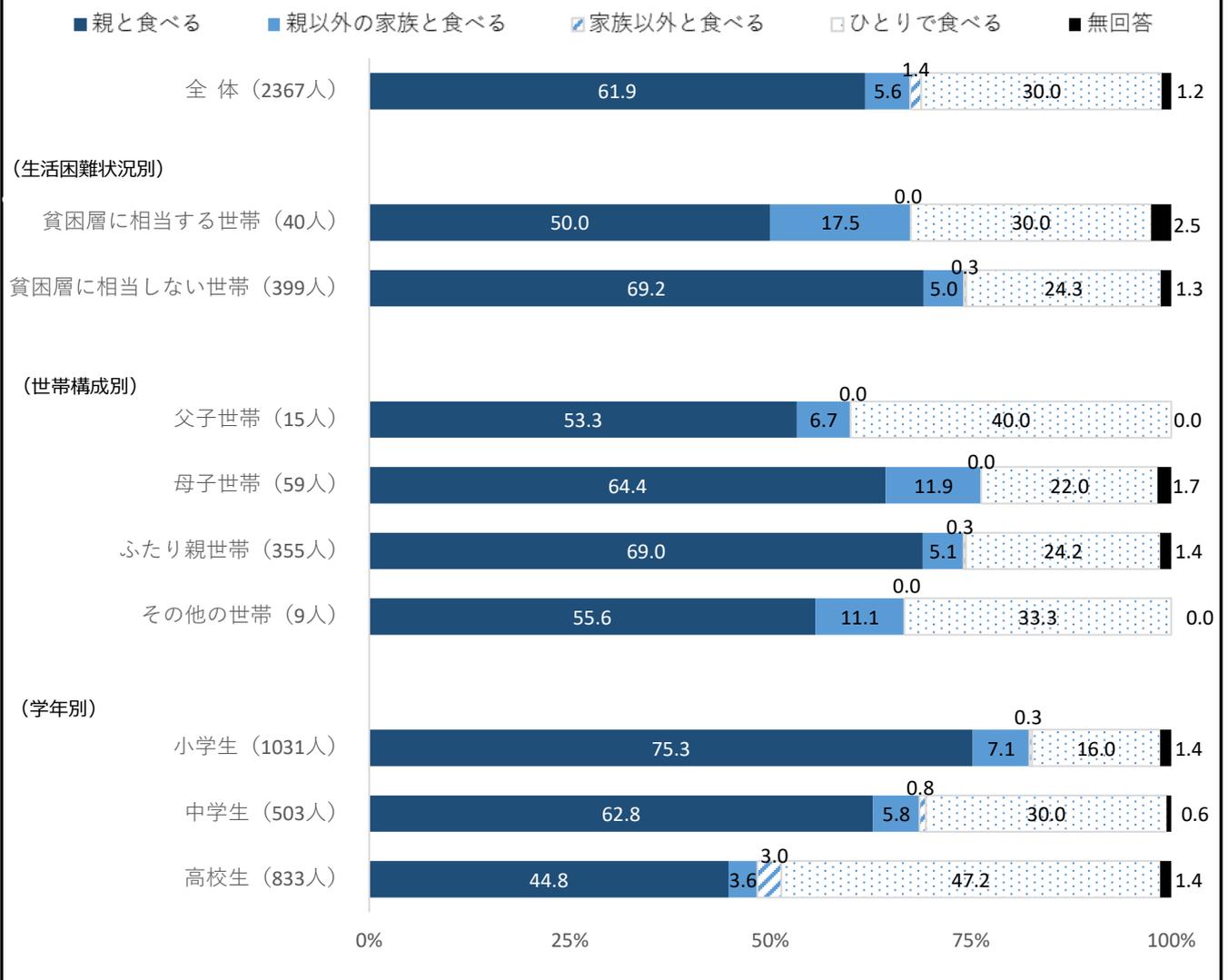
学校のある日の朝ごはんの状況は、「親と食べる」54.8%が最も多く、以下「ひとりで食べる」32.2%、「親以外の家族と食べる」10.1%、「家族以外と食べる」1.6%となっています。

生活困難別でみると、貧困層に相当する世帯では「ひとりで食べる」が42.5%と比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯とその他の世帯では「ひとりで食べる」が比較的多くなっています(母子世帯：33.9%、その他の世帯：33.3%)。

学年別でみると、小学生では「親と食べる」69.6%が、高校生では「ひとりで食べる」51.6%が比較的多くなっています。

(問7で「食べる」と答えた方にききます。)
 問7-4 学校が休みの日あなたは誰と朝ごはんを食べることが多いですか。(1つに○)



学校が休みの日の朝ごはんの状況は、「親と食べる」61.9%が最も多く、以下「ひとりで食べる」30.0%、「親以外の家族と食べる」5.6%、「家族以外と食べる」1.4%となっています。

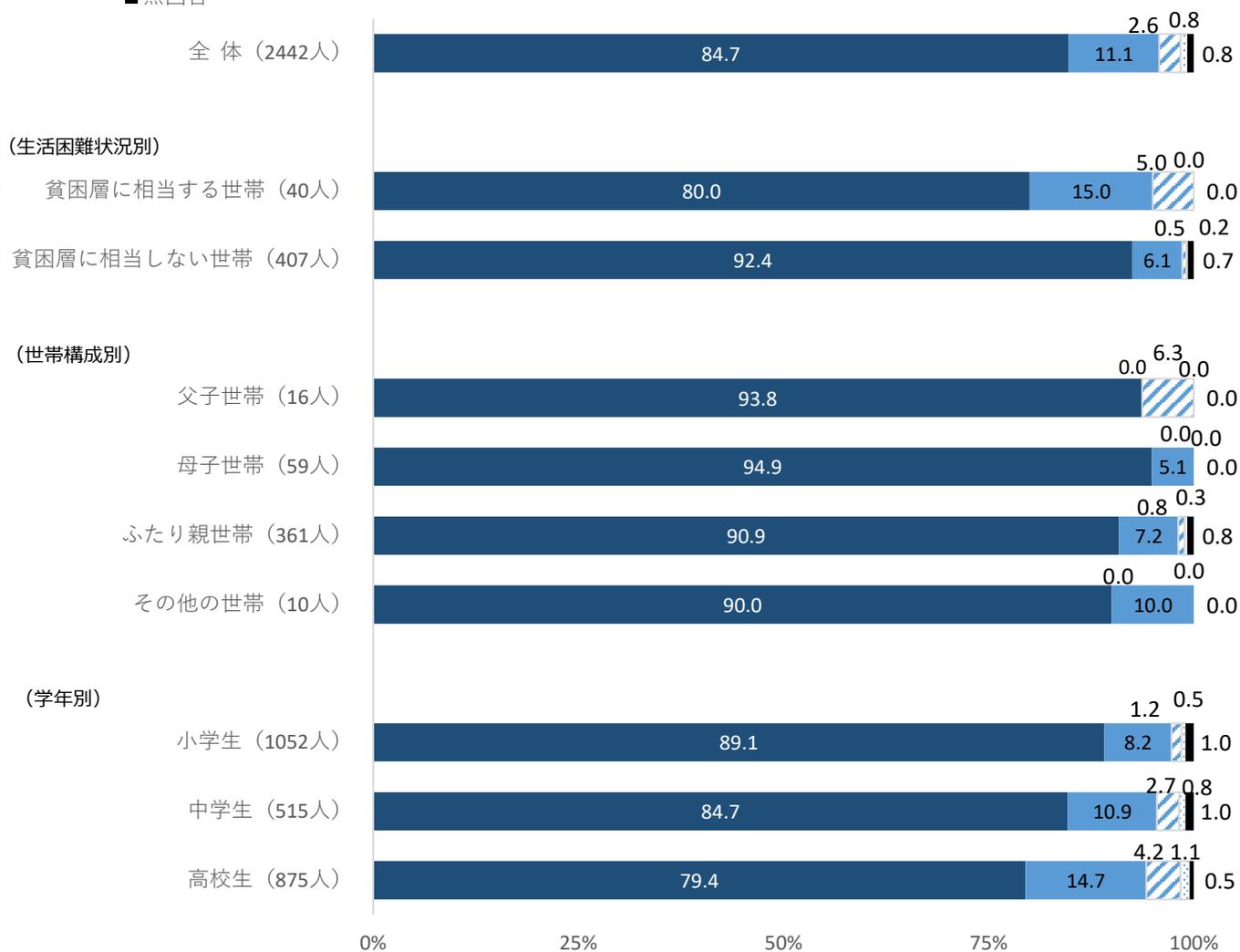
生活困難状況でみると、貧困層に相当しない世帯では「親と食べる」69.2%が比較的多くなっています。世帯構成別でみると、ふたり親世帯では「親と食べる」69.0%が、父子世帯では「ひとりで食べる」40.0%が比較的多くなっています。

学年別でみると、小学生では「親と食べる」75.3%が、高校生では「ひとりで食べる」47.2%が比較的多くなっています。

(2) 昼ごはんの状況

問8 あなたは学校が休みの日に昼ごはんを食べますか。(1つに〇)

- いつも食べる
- ときどき食べる (食べる時の方が多い)
- ▨ あまり食べない (食べない時の方が多い)
- ▨ 食べない
- 無回答



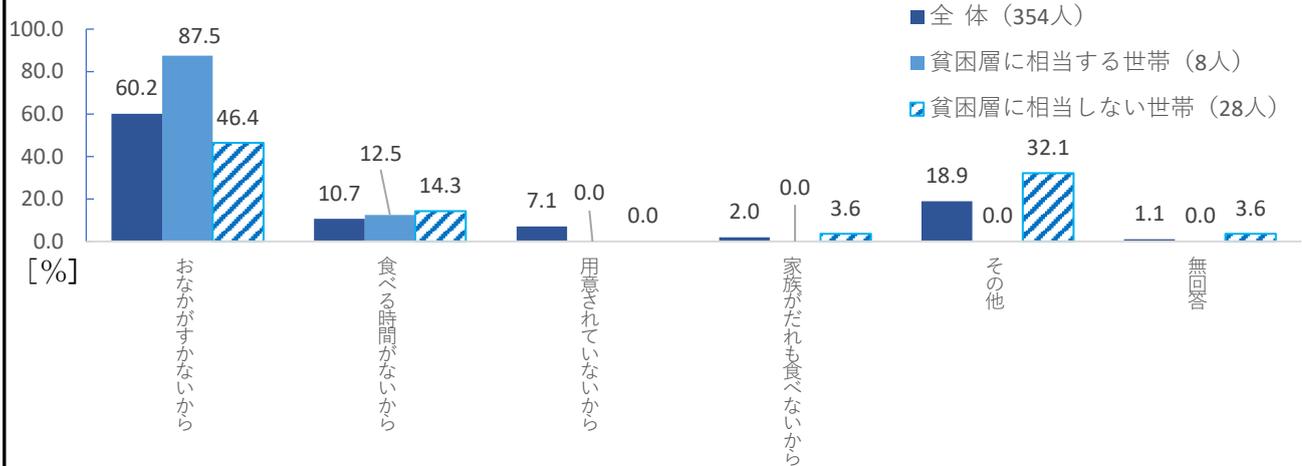
学校が休みの日の昼ごはんの摂取頻度は、「いつも食べる」87.7%が最も多く、以下「ときどき食べる (食べる時の方が多い)」11.1%となっています。

生活困難状況別で見ると、貧困層に相当しない世帯では「いつも食べる」92.4%が比較的多くなっています。

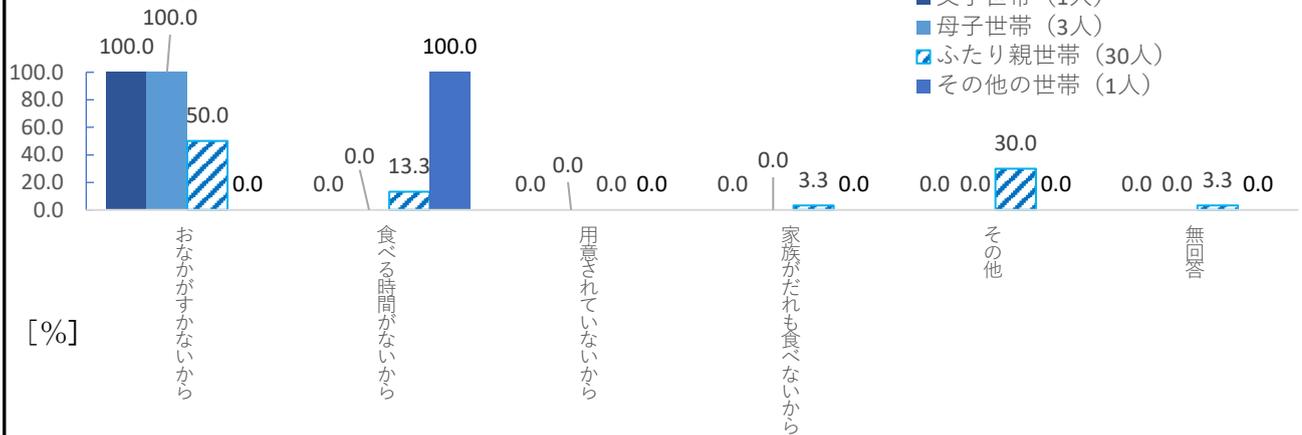
世帯構成別ではあまり差が見られません。

学年別で見ると、小学生では「いつも食べる」89.1%が比較的多くなっています。高校生では「ときどき食べる (食べる時の方が多い)」14.7%が比較的多くなっています。

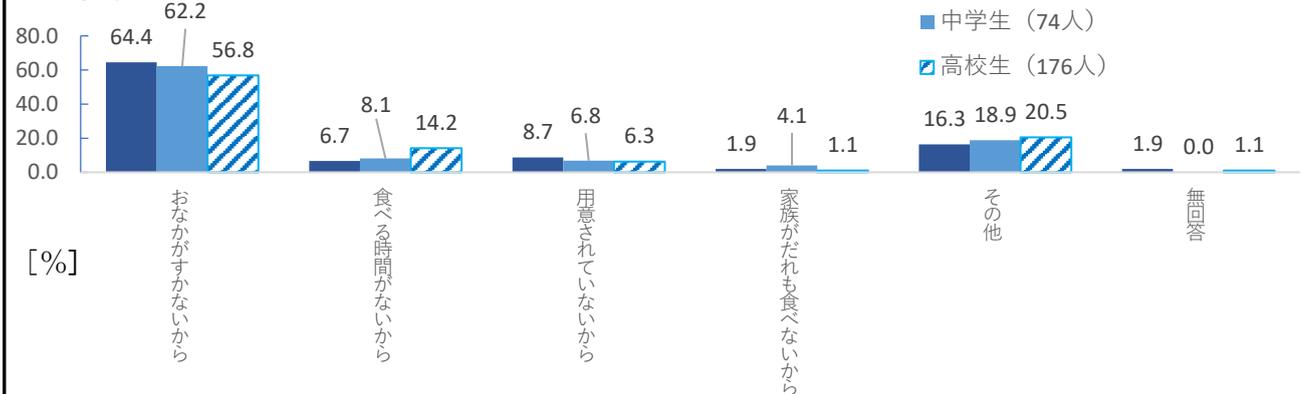
(問8で「いつも食べる」以外を答えた方にききます。)
 問8-2 昼ごはんを食べない日がある理由は何ですか (〇はいくつでも)
 (生活困難状況別)



(世帯構成別)



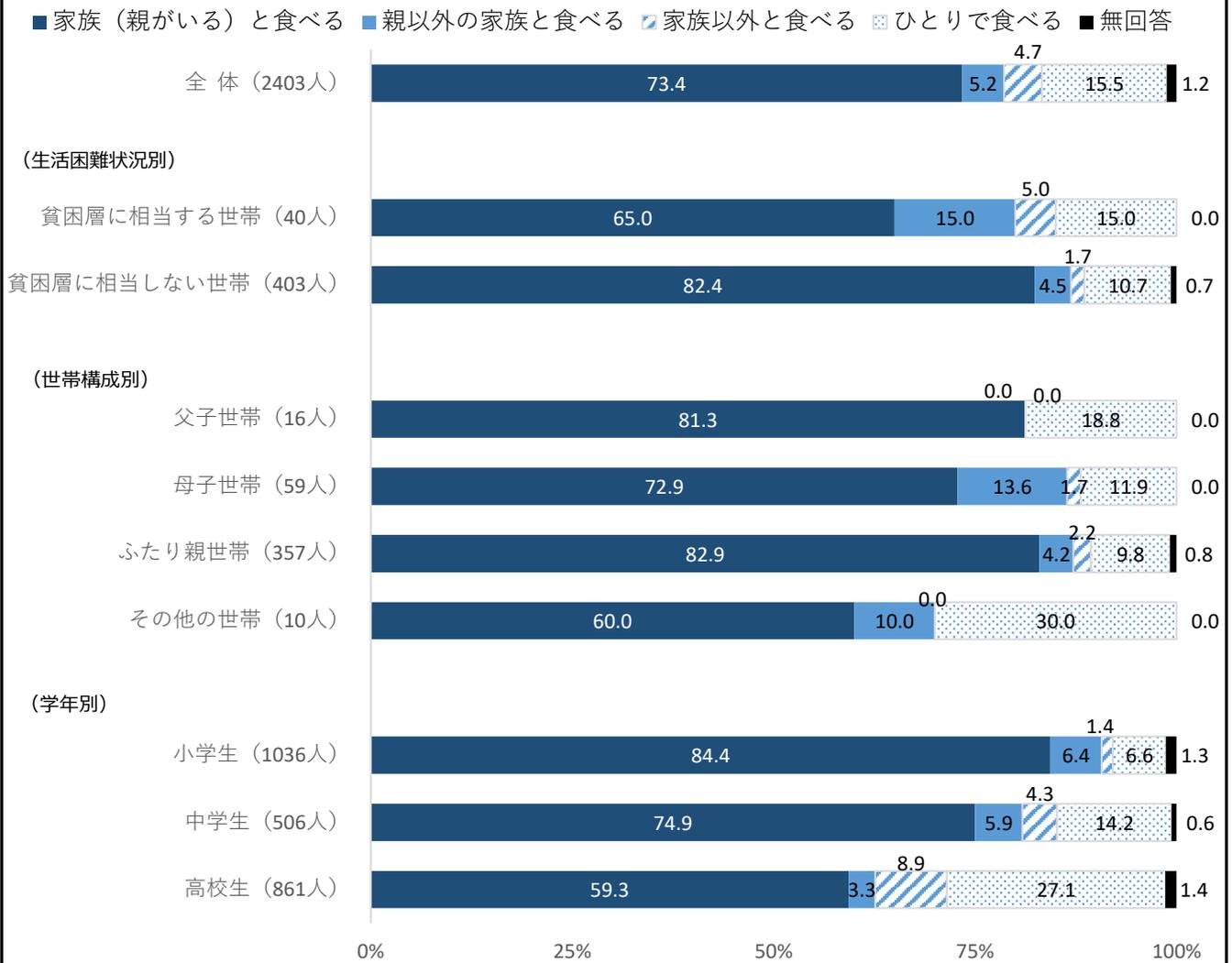
(学年別)



昼ごはんを食べない人 (354 人) の **食べない日がある理由** は、「おなかがすかないから」60.2%が最も多く、以下「その他」18.9%、「食べる時間がないから」10.7%、「用意されていないから」7.1%となっています。

生活困難状況別、世帯構成別、学年別では、あまり差は見られません。

(問8で「食べる」と答えた方にききます。)
 問8-3 学校が休みの日あなたは誰と昼ごはんを食べることが多いですか。(1つに○)



学校が休みの日の昼ごはんの状況は、「親と食べる」73.4%が最も多く、以下「ひとりで食べる」15.5%、「親以外の家族と食べる」5.2%、「家族以外と食べる」4.7%となっています。

生活困難状況でみると、貧困層に相当しない世帯では「親と食べる」82.4%が比較的多くなっています。

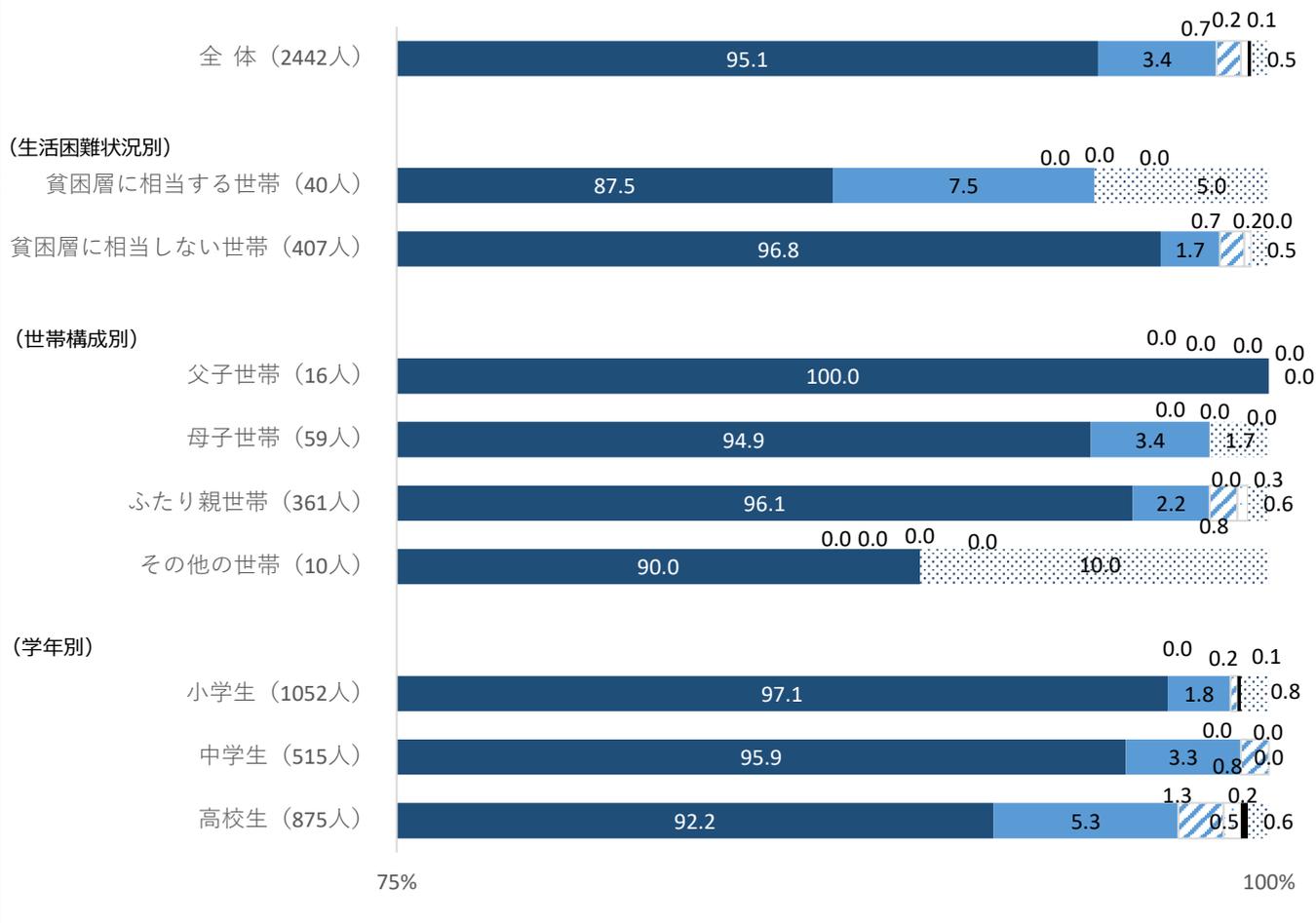
世帯構成別でみると、ふたり親世帯と父子世帯では「親と食べる」が比較的多くなっています(ふたり親世帯82.9%、父子世帯81.3%)。

学年別でみると、小学生では「親と食べる」84.4%が比較的多く、学年が上がる順に少なくなっています(中学生74.9%、高校生59.3%)。

(3) タごはんの状況

問9 あなたはタごはんを食べますか。(1つに○)

- 毎日食べる
- だいたい食べる (週に5~6日食べる)
- ▨ ときどき食べる (週に3~4日食べる)
- あまり食べない (週に1~2日食べる)
- 食べない
- ※ 無回答



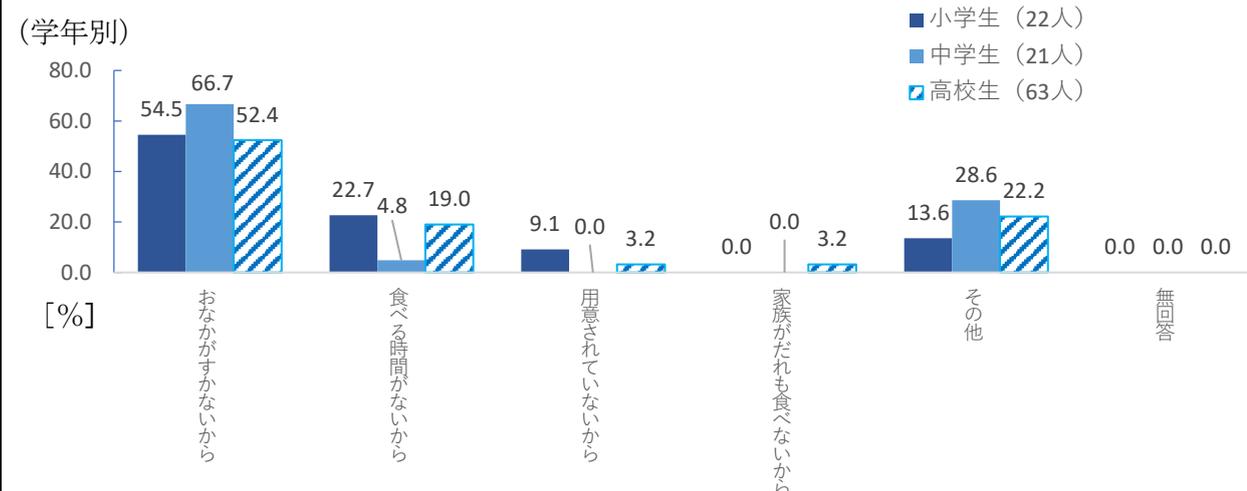
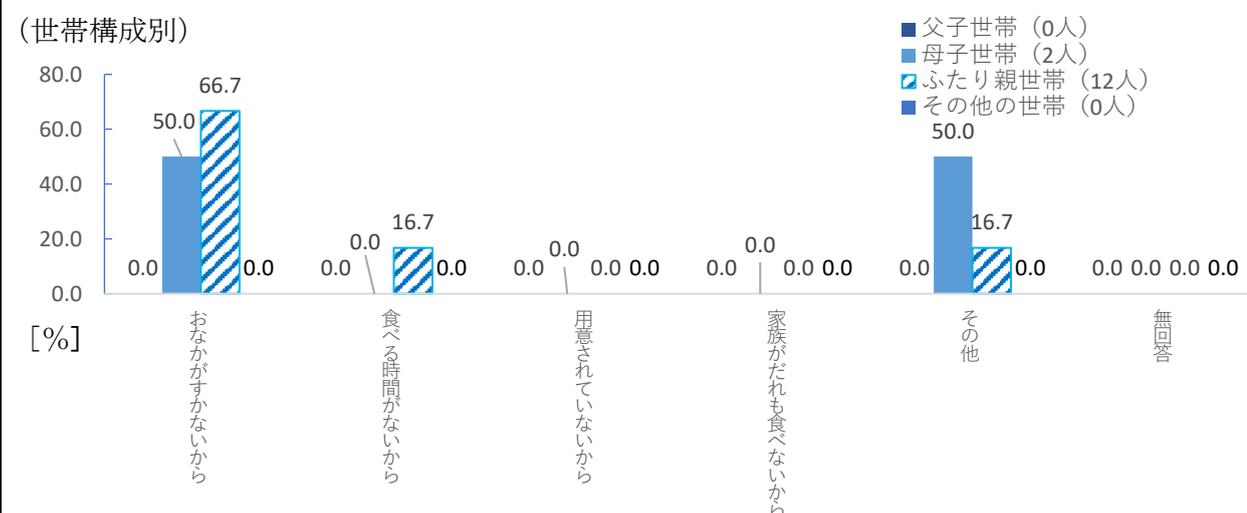
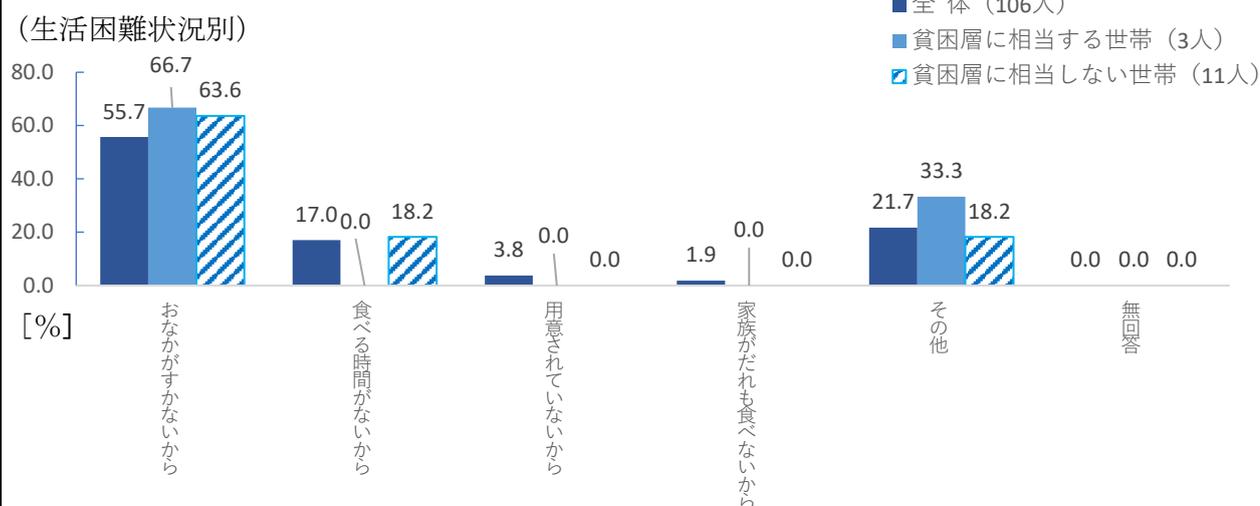
タごはんの摂取頻度は、「いつも食べる」95.1%が最も多く、以下「だいたい食べる (週に5~6日食べる)」3.4%、「ときどき食べる (週に3~4日食べる)」0.7%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当しない世帯では「いつも食べる」96.8%が比較的多くなっています。貧困層に相当する世帯では「だいたい食べる」7.5%、「あまり食べない」5.0%が比較的多くなっています。

世帯構成別ではふたり親世帯では「いつも食べる」96.1%が比較的多くなっています。

学年別でみると、小学生では「いつも食べる」97.1%が比較的多くなっています。高校生では「だいたい食べる (週に5~6日食べる)」5.3%が比較的多くなっています。

(問9で「毎日食べる」以外を答えた方にききます。)
 問9-2 タごはんを食べない日がある理由は何ですか (〇はいくつでも)



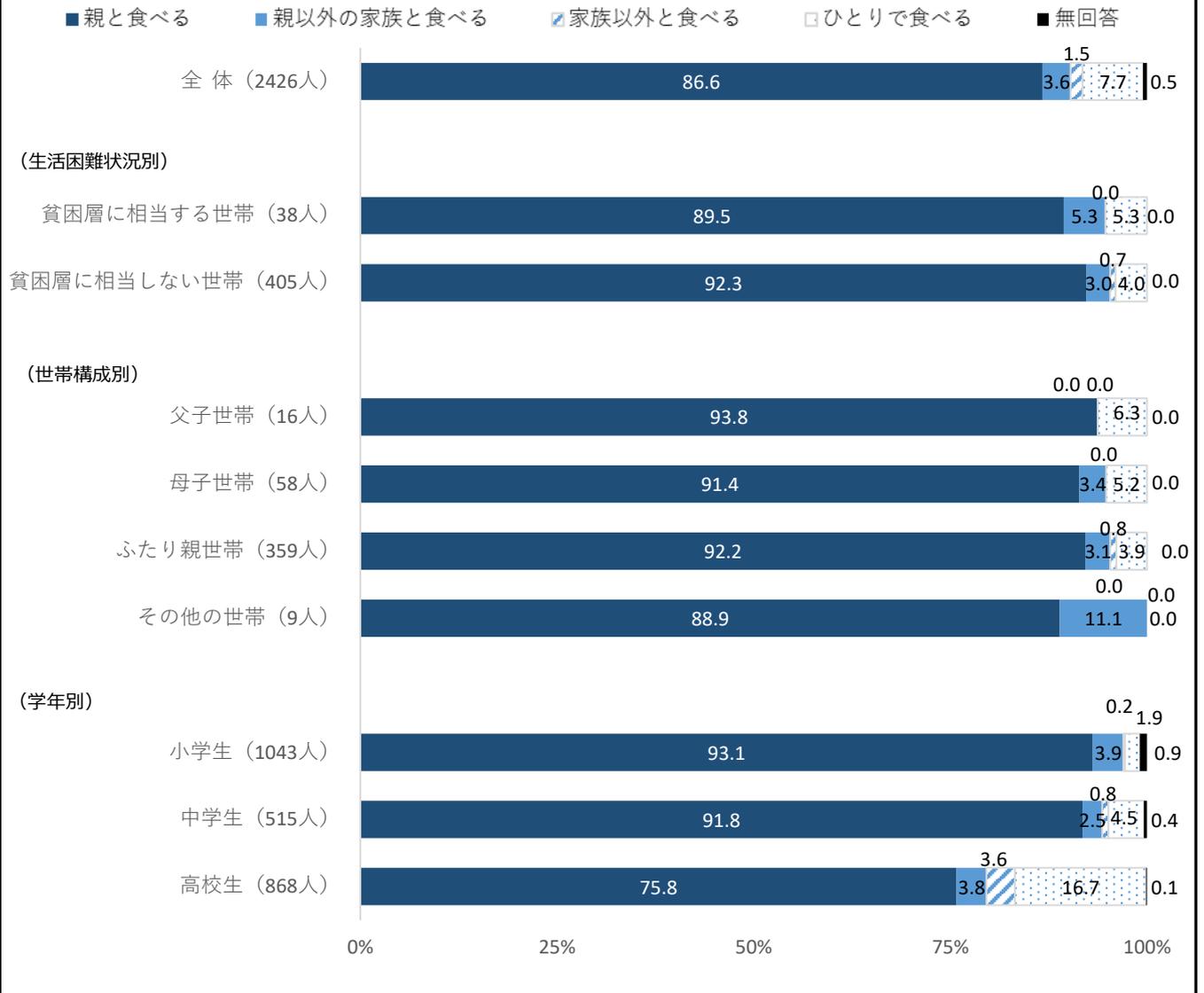
夕ごはんを食べない人 (106人) の**食べない日がある理由**は、「おなかがすかないから」55.7%が最も多く、以下「その他」21.7%、「食べる時間がないから」17.0%、「用意されていないから」3.8%となっています。

生活困難状況別、世帯構成別では、あまり差は見られません。

学年別でみると中学生では「おなかがすかない」66.7%が比較的多くなっています。

(問9で「食べる」と答えた方にききます。)

問9-3 学校のある日あなたは誰と夕ごはんを食べることが多いですか。(1つに○)

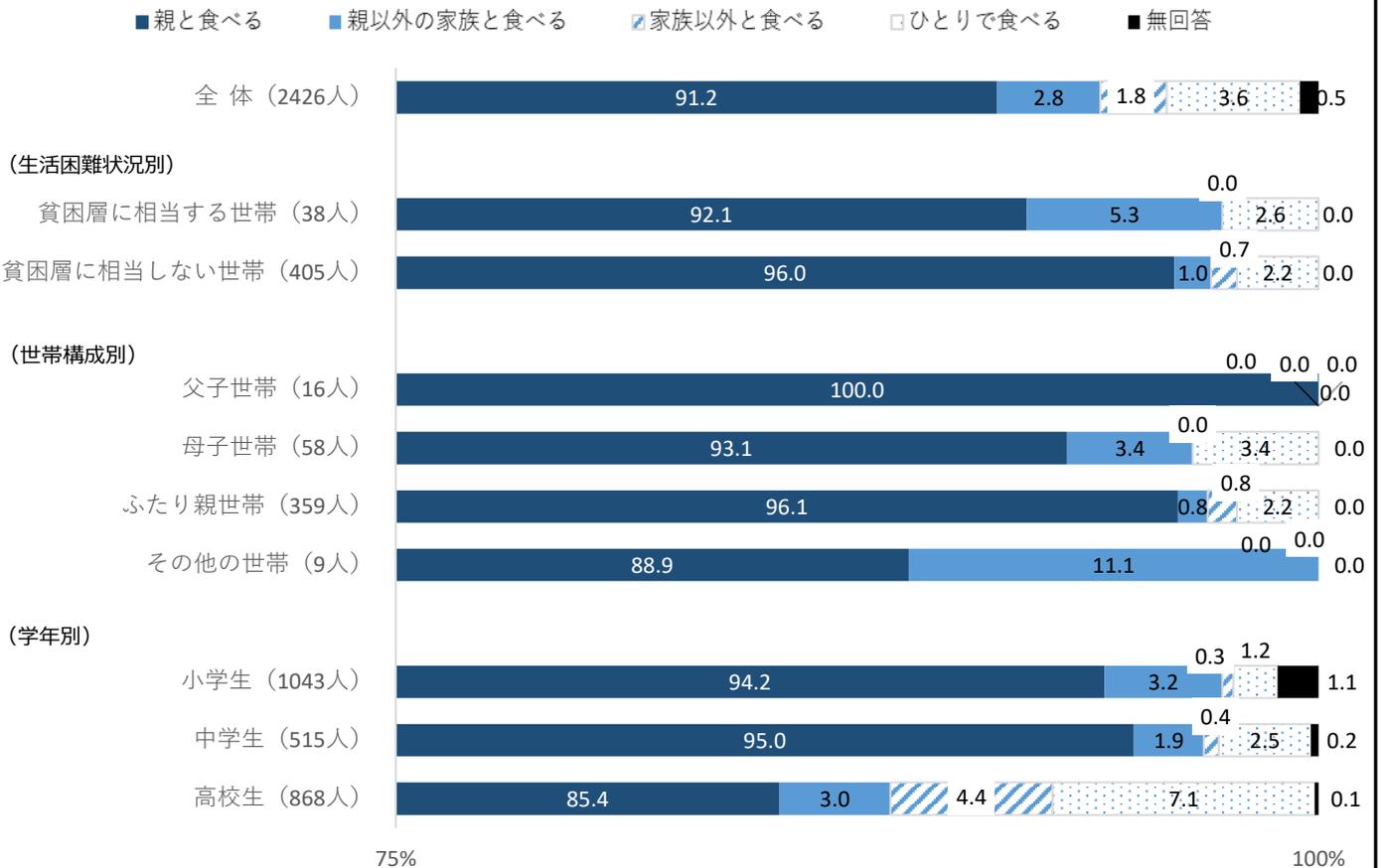


学校のある日の夕ごはんの状況は、「親と食べる」86.6%が最も多く、以下「親以外の家族と食べる」3.6%、「ひとりで食べる」7.7%、「家族以外と食べる」1.5%となっています。

生活困難状況別、世帯構成別で見ると、あまり差はなく、学年別で見ると高校生では「ひとりで食べる」16.7%が比較的多くなっています。

(問9で「食べる」と答えた方にききます。)

問9-4 学校が休みの日あなたは誰と夕ごはんを食べることが多いですか。(1つに○)



学校が休みの日の夕ごはんの状況は、「親と食べる」91.2%が最も多く、以下「ひとりで食べる」3.6%、「親以外の家族と食べる」2.8%、「家族以外と食べる」1.8%となっています。

生活困難状況でみると、貧困層に相当しない世帯では「親と食べる」96.0%が比較的多くなっています。

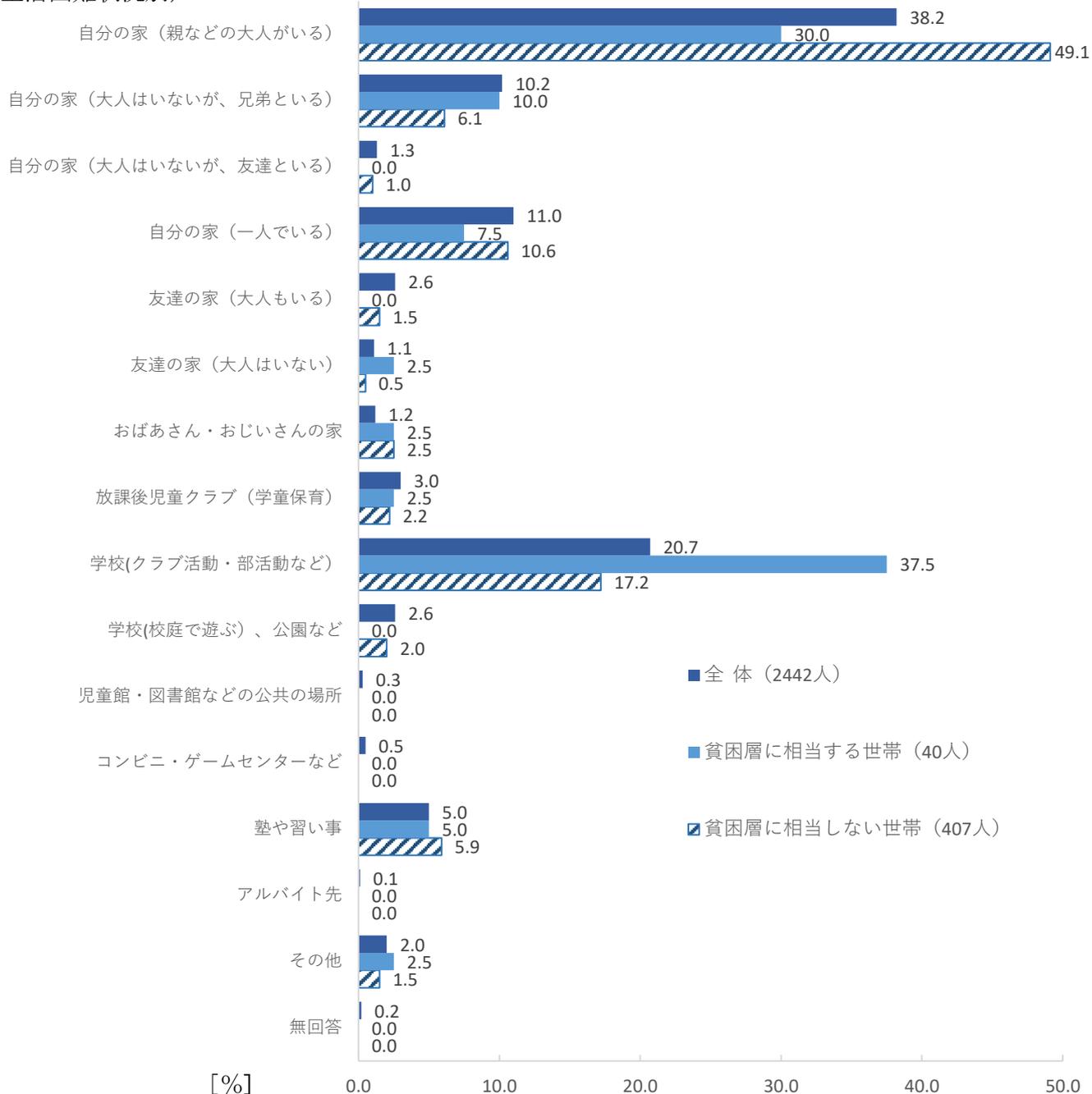
世帯構成別でみると、その他の世帯では「親以外の家族と食べる」11.1%が比較的多くなっています。

学年別でみると、高校生では「ひとりで食べる」7.1%が比較的多くなっています。

(4) 平日の放課後過ごす場所

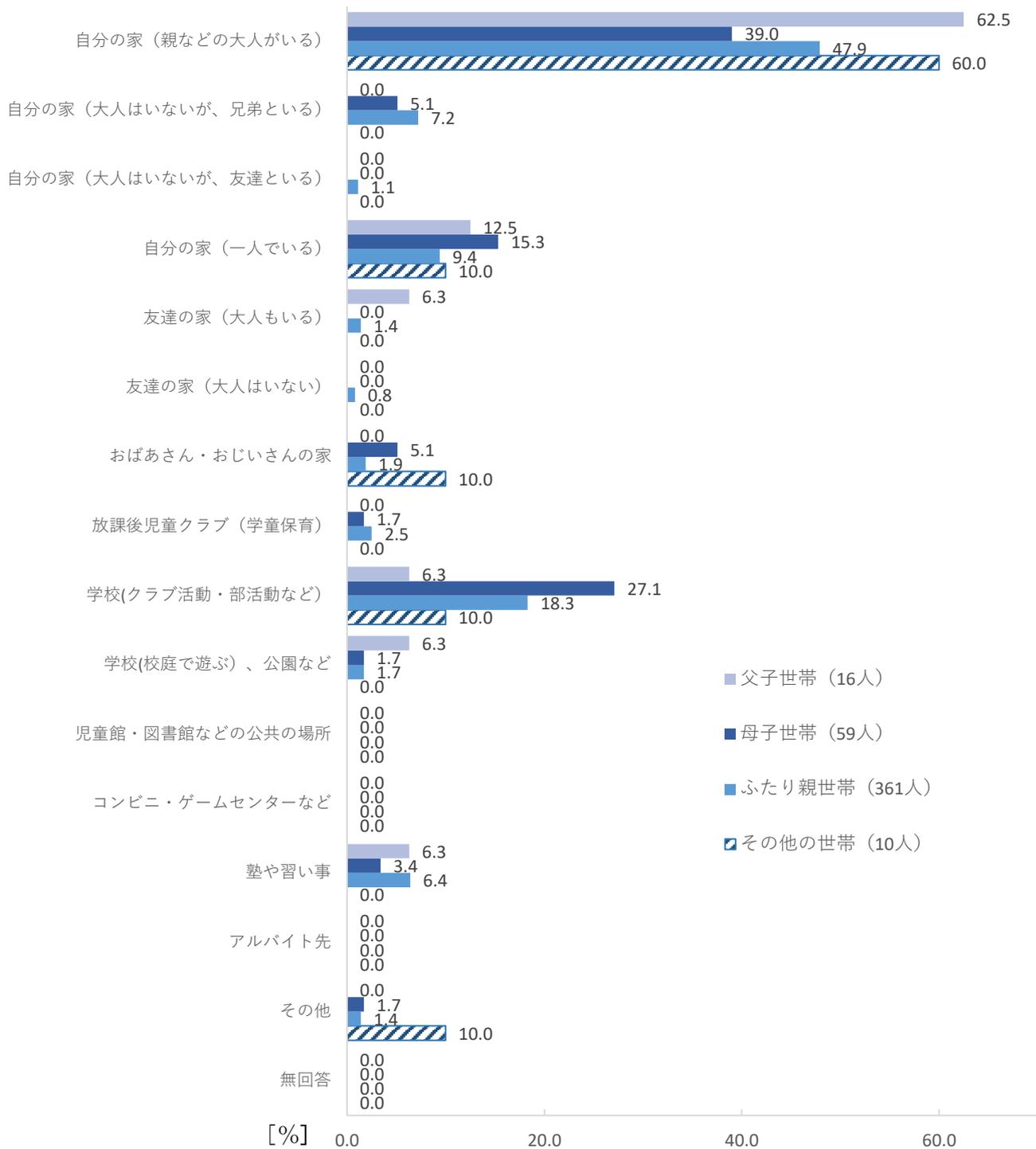
問10 あなたは、学校のある日の放課後はどこにすることが多いですか。(〇はいくつでも)

(生活困難状況別)



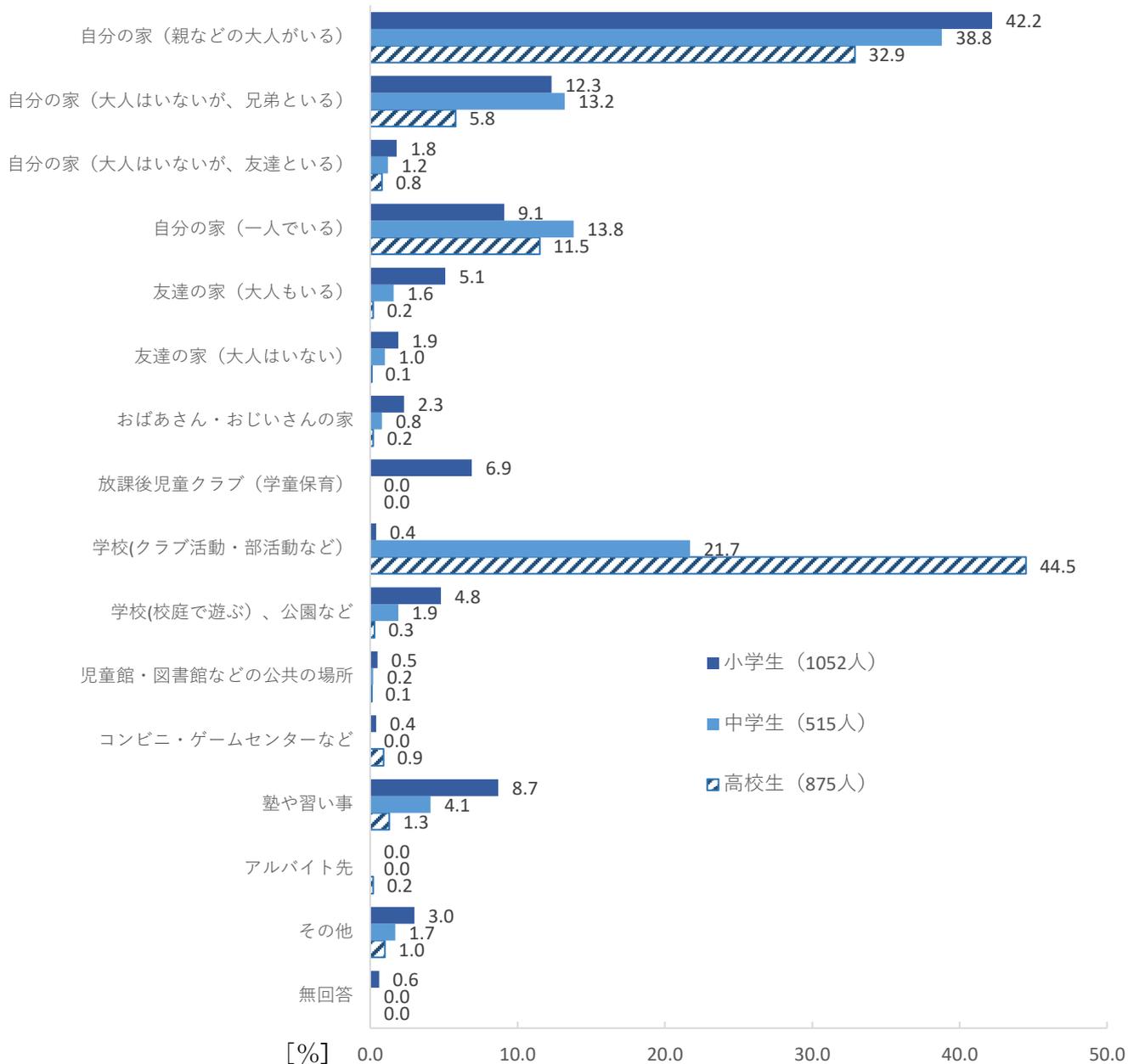
平日 (学校のある日) の放課後に過ごすことが多い場所は、「じぶんの家 (親などの大人といる)」38.2%が最も多く、以下「学校 (クラブ活動・部活動など)」20.7%、「じぶんの家 (一人である)」11.0%、「じぶんの家 (大人はいないが兄弟といる)」10.2%、「塾や習い事」5.0%となっています。

(世帯構成別)



世帯構成別でみると、母子世帯では「学校(クラブ活動・部活動など)」27.1%と比較的が多くなっています。

(学年別)

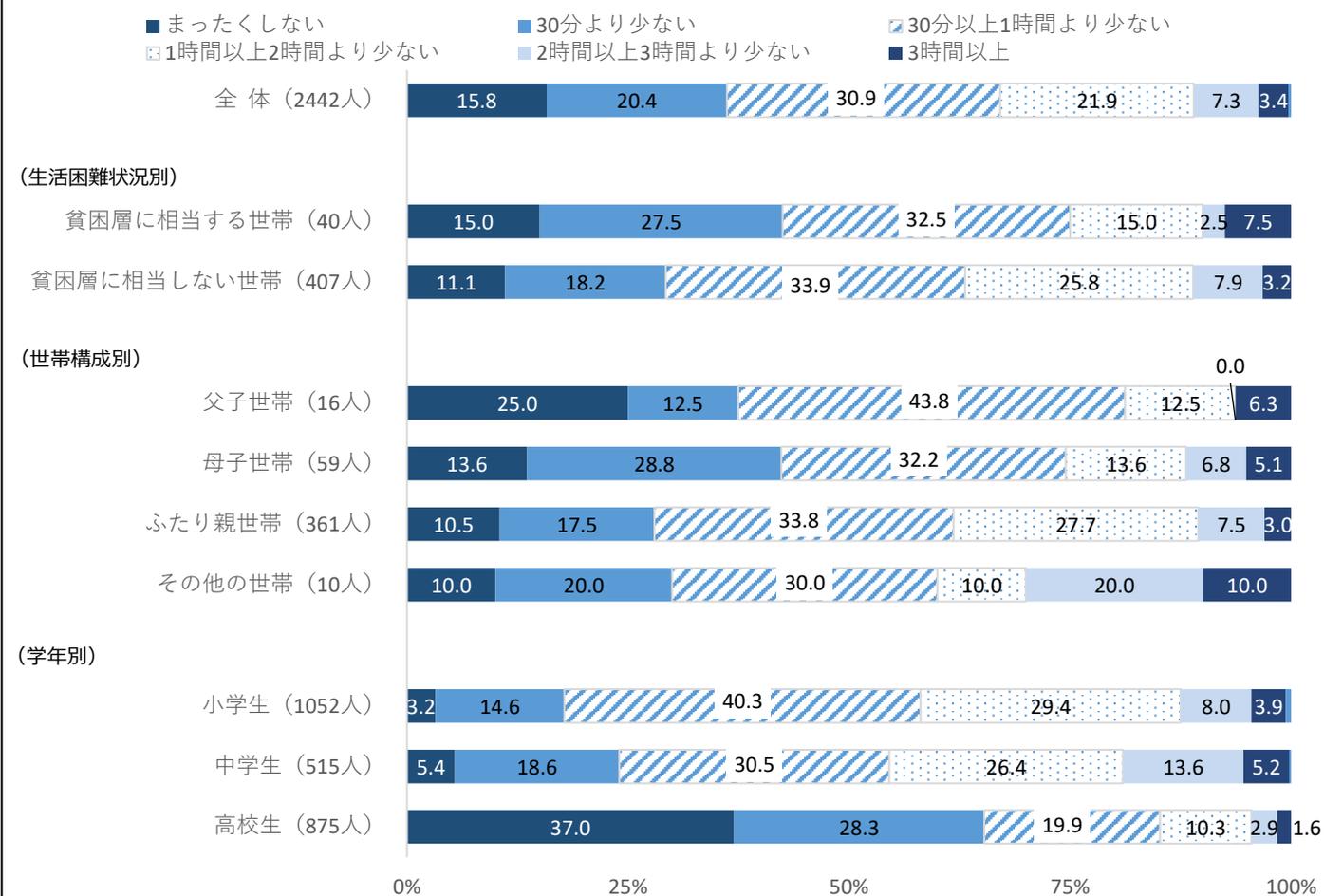


学年別でみると、小学生では「じぶんの家 (親などの大人といる)」42.2%が比較的多くなっています。中学生、高校生では「学校 (クラブ活動・部活動など)」が比較的多くなっています (中学生 21.7%、高校生44.5%)。

(5) 平日の放課後の過ごし方

問11 あなたは、学校のある日の放課後の時間をどのように過ごしていますか。それぞれの時間について教えてください。（それぞれもっともあてはまるもの1つに○）

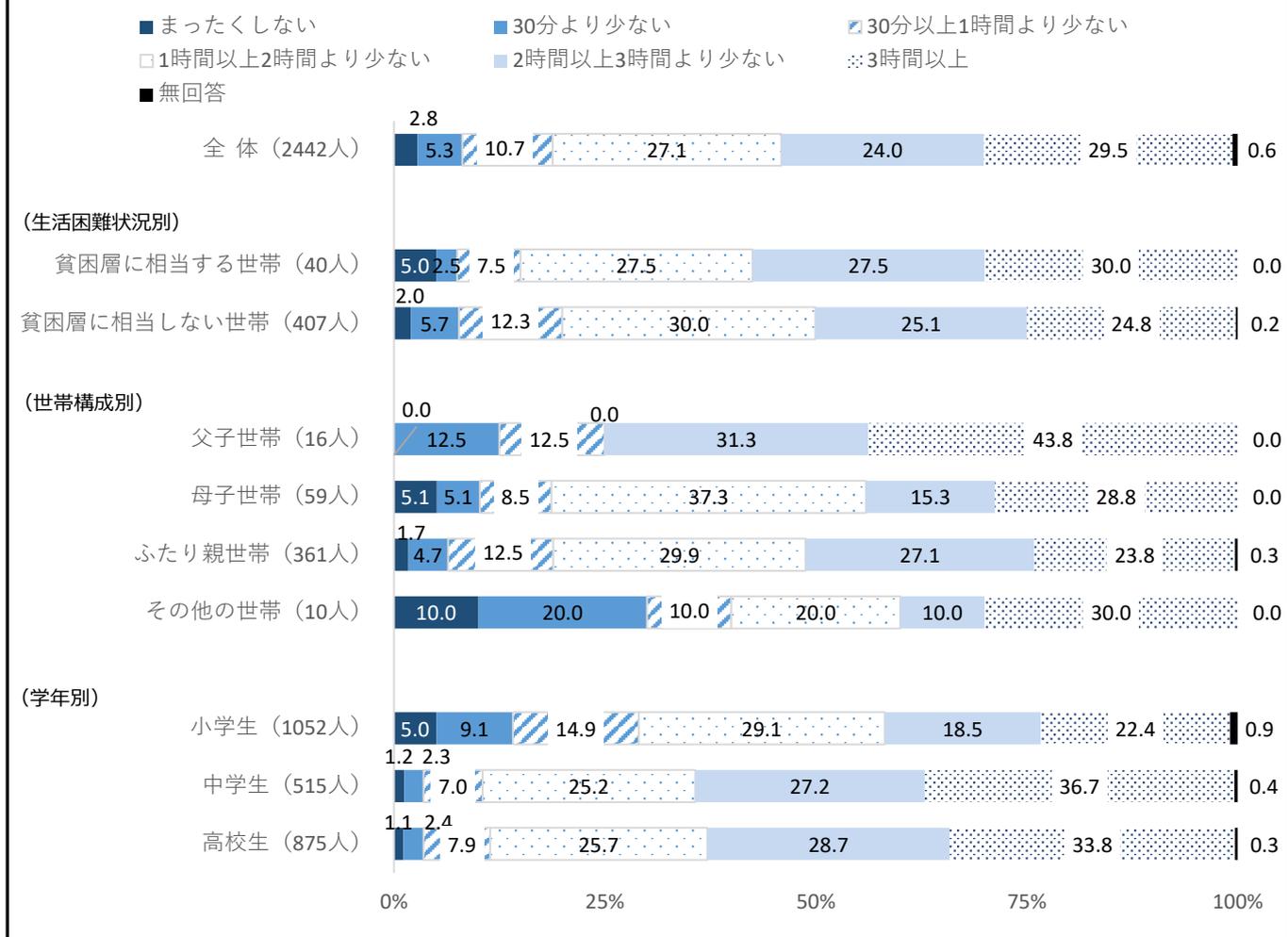
① 勉強や宿題をする（塾に行くことも含む）



平日の放課後、勉強や宿題をする（塾に行くことも含む）時間は、「30分以上1時間未満」30.9%が最も多く、以下「1時間以上2時間未満」21.9%、「30分未満」20.4%、「まったくしない」15.8%となっています。

学年別で見ると、高校生では「まったくしない」37.0%が比較的多くなっています。

②1人でゲームや動画を見て過ごす時間



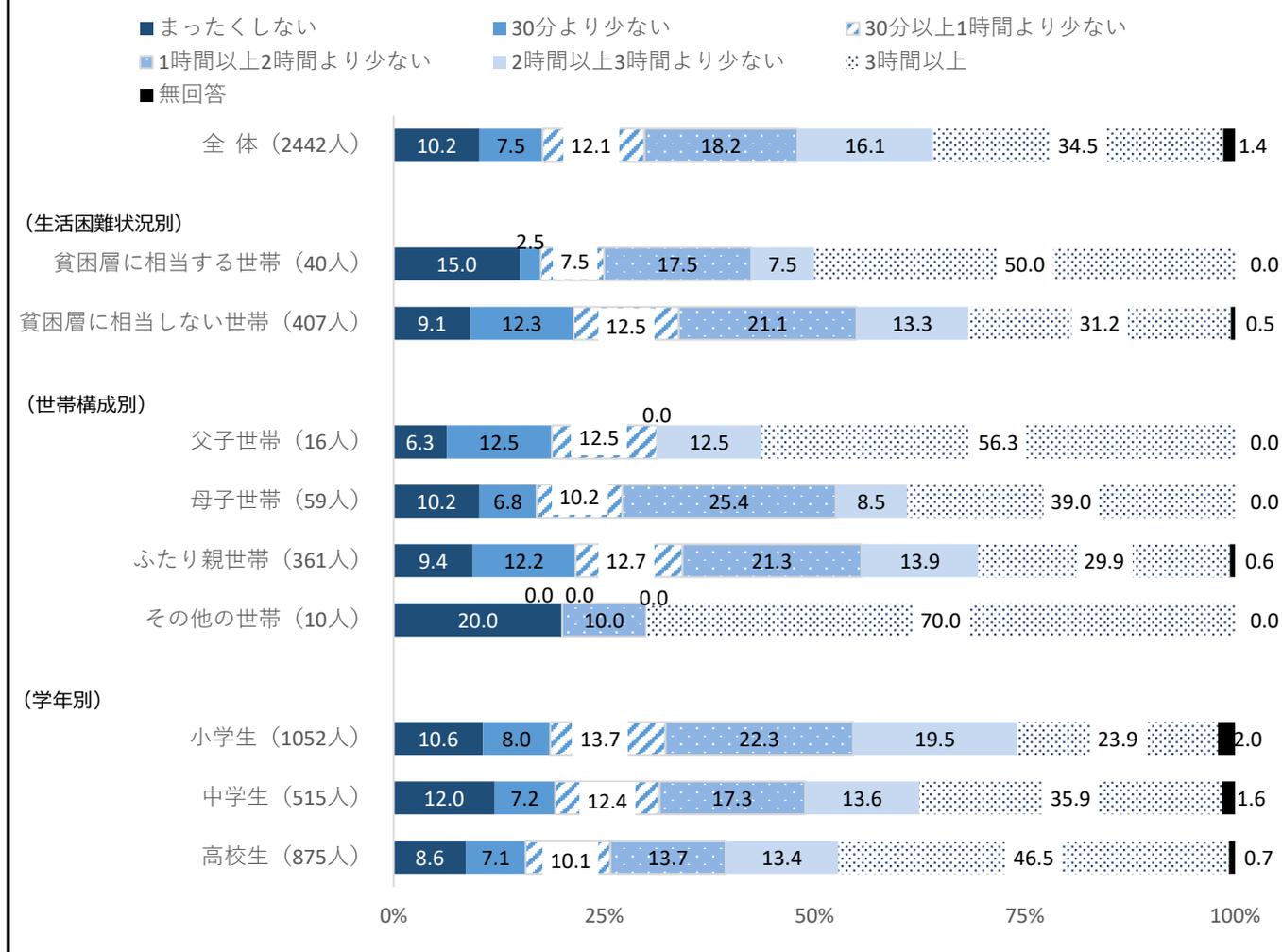
1人でゲームや動画を見て過ごす時間は、「3時間以上」29.5%が最も多く、以下「2時間以上3時間未満」24.0%、「1時間以上2時間未満」27.1%、「30分以上1時間未満」10.7%、「30分未満」5.3%、「まったくしない」2.8%となっています。

生活困難状況別でみると、あまり差はみられません。

世帯構成別でみると、父子世帯では「2時間以上3時間未満」31.3%がやや多く、その他の世帯では「まったくしない」10.0%がやや多くなっています。

学年別でみると、小学生では「まったくしない」5%がやや多くなっています。

③友だちと過ごす時間



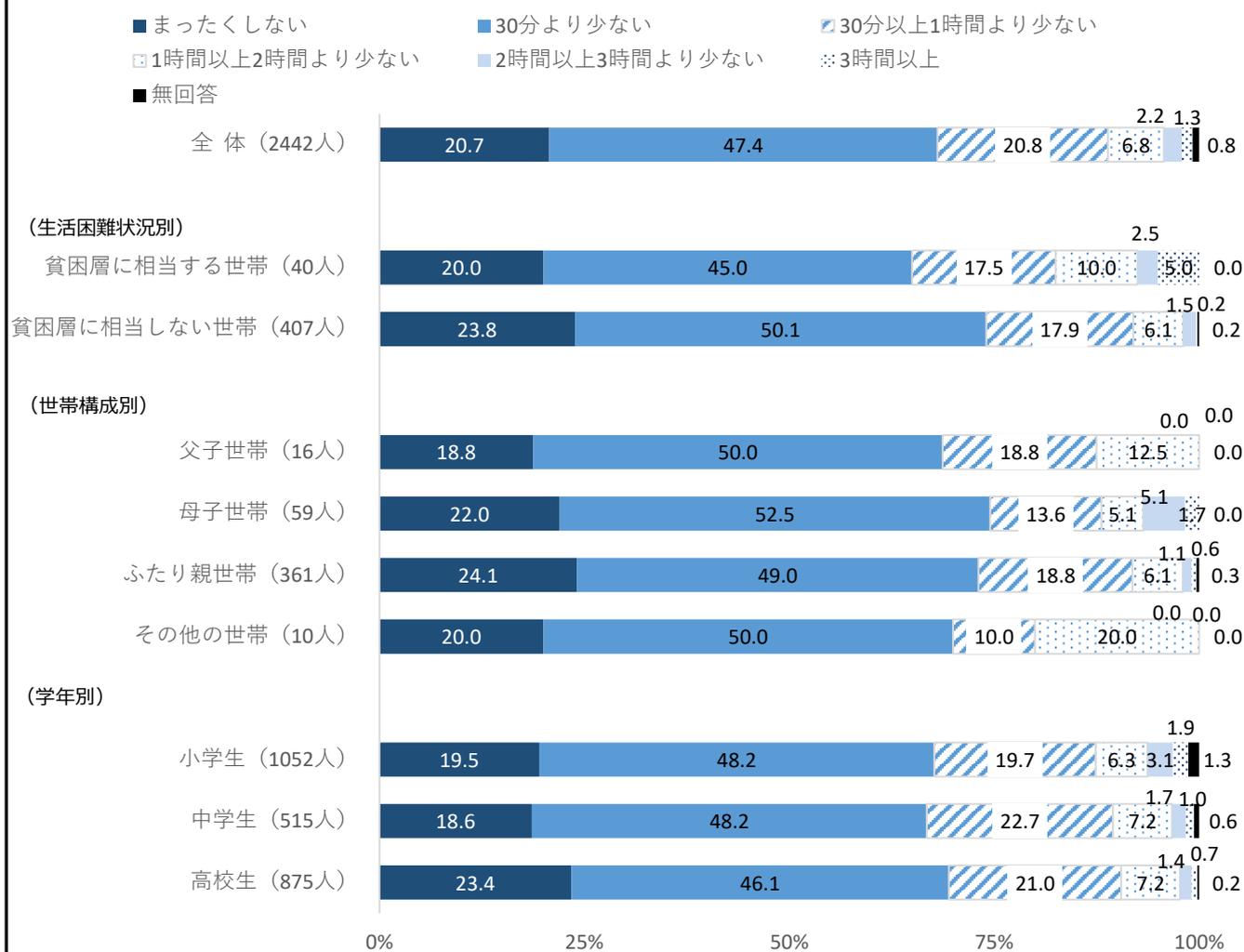
友達と過ごす時間は、「3時間以上」34.5%、が最も多く、以下「1時間以上2時間未満」18.2%、「2時間以上3時間未満」16.1%、「30分以上1時間未満」12.1%、「まったくしない」10.2%、「30分未満」7.5%となっています。

生活困難状況別で見ると、貧困層に相当する世帯では「まったくしない」15.0%が比較的多くなっています。

世帯構成別で見ると、その他の世帯では「まったくしない」20%が比較的多くなっています。

学年別で見ると学年が上がる順に「3時間以上」が多くなっています（小学生23.9%、中学生35.9%、高校生46.5%）。

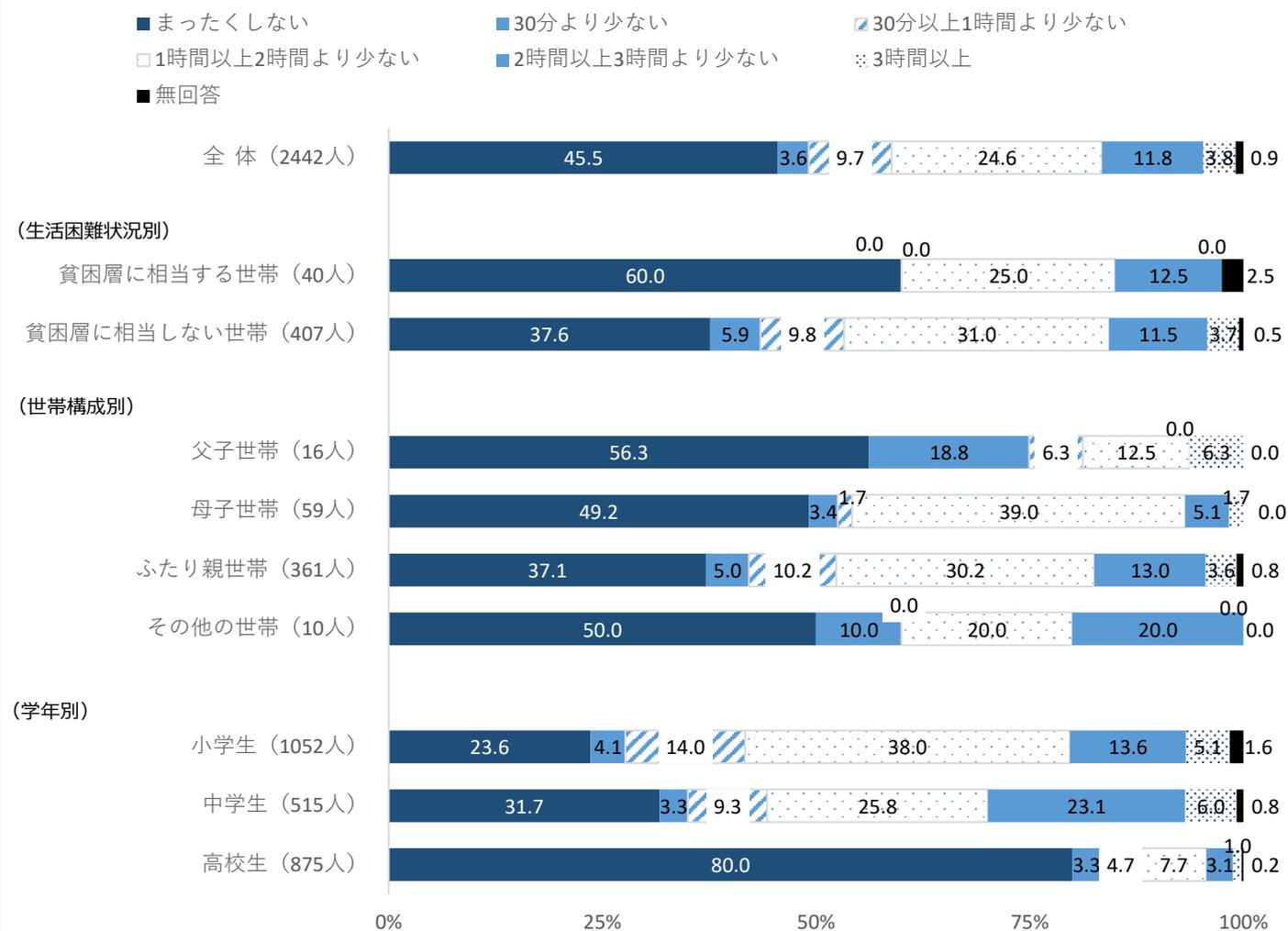
④家事や家族の世話をする時間



家事や家族の世話をする時間は、「30分未満」47.4%が最も多く、以下「30分以上1時間未満」20.8%、「まったくくしない」20.7%、「1時間以上2時間未満」6.8%、「2時間以上3時間未満」2.2%、「3時間以上」1.3%となっています。

生活困難状況別、世帯構成別、学年別で見るとあまり差は見られません。

⑤1日あたりの習い事の時間



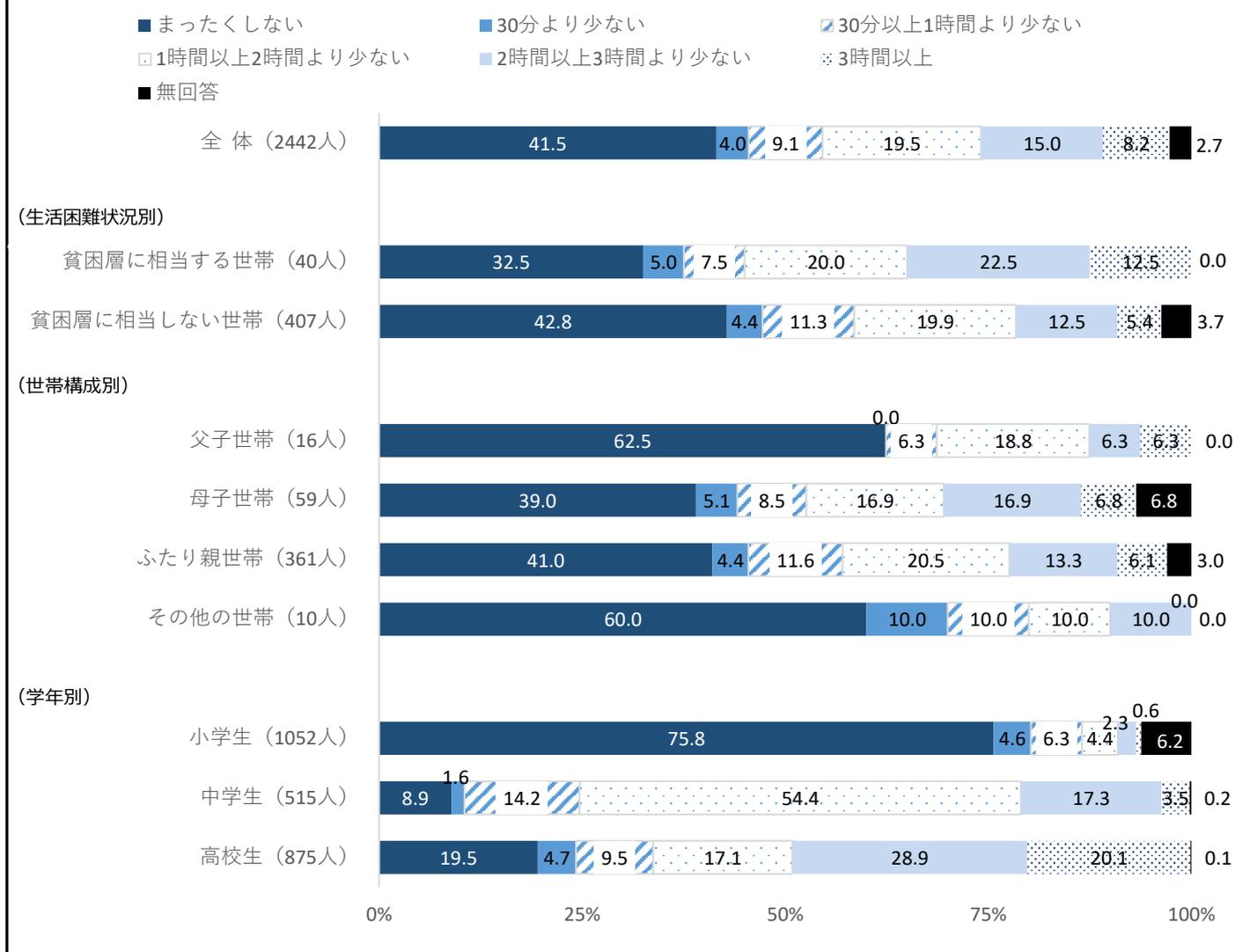
1日あたりの習い事をする時間は、「まったくしない」45.5%が最も多く、以下「1時間以上2時間未満」24.6%、「2時間以上3時間未満」11.8%、「30分以上1時間未満」9.7%、「3時間以上」3.8%、「30分未満」3.6%となっています。

生活困難状況別で見ると、貧困層に相当する世帯では「まったくしない」60.0%が比較的多くなっています。

世帯構成別で見ると、ふたり親世帯では「まったくしない」37.1%が比較的少なくなっています。

学年別で見ると、高校生では「まったくしない」80.0%が突出して多くなっています。

⑥1日あたりの部活動の時間



1日あたりの部活動の時間では、「まったくしない」41.5%が最も多く、以下「1時間以上2時間未満」19.5%、「2時間以上3時間未満」15.0%、「30分以上1時間未満」9.1%、「3時間以上」8.2%となっています。

生活困難状況別で見ると、貧困層に相当しない世帯では「まったくしない」42.8%がやや多くなっています。

世帯構成別で見ると、父子世帯、その他の世帯では「まったくしない」がやや多くなっています（父子世帯62.5%、その他の世帯60.0%）。

学年別で見ると、小学生では「まったくしない」75.8%が突出して多くなっています。中学生では「1時間以上2時間未満」54.4%、高校生では「2時間以上3時間未満」28.9%が比較的が多くなっています。

(生活困難状況別・世帯構成別・学年別「時間数」)

	全体	生活困難状況別		世帯構成別				学年別			
		貧困層に相当する世帯	貧困層に相当しない世帯	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	その他の世帯	小学生	中学生	高校生	
なし	①授業以外に勉強をする時間	15.8	15.0	11.1	25.0	13.6	10.5	10.0	3.2	5.4	37.0
	②1人でゲームや動画を見て過ごす時間	2.8	5.0	2.0	0.0	5.1	1.7	10.0	5.0	1.2	1.1
	③友だちと過ごす時間	10.2	15.0	9.1	6.3	10.2	9.4	20.0	10.6	12.0	8.6
	④家事や家族の世話をする時間	20.7	20.0	23.8	18.8	22.0	24.1	20.0	19.5	18.6	23.4
	⑤1日あたりの習い事の時間	45.5	60.0	37.6	56.3	49.2	37.1	50.0	23.6	31.7	80.0
	⑥1日あたりの部活動の時間	41.5	32.5	42.8	62.5	39.0	41.0	60.0	75.8	8.9	19.5
1時間以内	①授業以外に勉強をする時間	51.3	60.0	52.1	56.3	61.0	51.3	50.0	54.9	49.1	48.2
	②1人でゲームや動画を見て過ごす時間	16.0	10.0	18.0	25.0	13.6	17.2	30.0	24.0	9.3	10.3
	③友だちと過ごす時間	19.6	10.0	24.8	25.0	17.0	24.9	0.0	21.7	19.6	17.2
	④家事や家族の世話をする時間	68.2	62.5	68.0	68.8	66.1	67.8	60.0	67.9	70.9	67.1
	⑤1日あたりの習い事の時間	13.3	0.0	15.7	25.1	5.1	15.2	10.0	18.1	12.6	8.0
	⑥1日あたりの部活動の時間	13.1	12.5	15.7	6.3	13.6	16.0	20.0	10.9	15.8	14.2
1時間以上	①授業以外に勉強をする時間	32.6	25.0	36.9	18.8	25.5	38.2	40.0	41.3	45.2	14.8
	②1人でゲームや動画を見て過ごす時間	80.6	85.0	79.9	75.1	81.4	80.8	60.0	70.0	89.1	88.2
	③友だちと過ごす時間	68.8	75.0	65.6	68.8	72.9	65.1	80.0	65.7	66.8	73.6
	④家事や家族の世話をする時間	10.3	17.5	7.8	12.5	11.9	7.8	20.0	11.3	9.9	9.3
	⑤1日あたりの習い事の時間	40.2	37.5	46.2	18.8	45.8	46.8	40.0	56.7	54.9	11.8
	⑥1日あたりの部活動の時間	42.7	55.0	37.8	31.4	40.6	39.9	20.0	7.3	75.2	66.1

■ 全体よりも10ポイント以上多い

■ 全体よりも10ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも10ポイント以上多いものと全体よりも10ポイント以上少ないものに色付けしています。

* 「なし」

「なし」の項目では、生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔⑤1日あたりの習い事の時間〕がなし60.0%が比較的多くなっています。世帯構成別でみると、父子世帯では〔⑤1日あたりの習い事の時間〕56.3%、〔⑥1日あたりの部活動の時間〕62.5%が比較的多くなっています。学年別でみると小学生では、〔⑥1日あたりの部活動の時間〕75.8%が比較的多くなっています。高校生では〔①授業以外に勉強をする時間〕37.0%、〔⑤1日あたりの習い事の時間〕80.0%が比較的多くなっています。

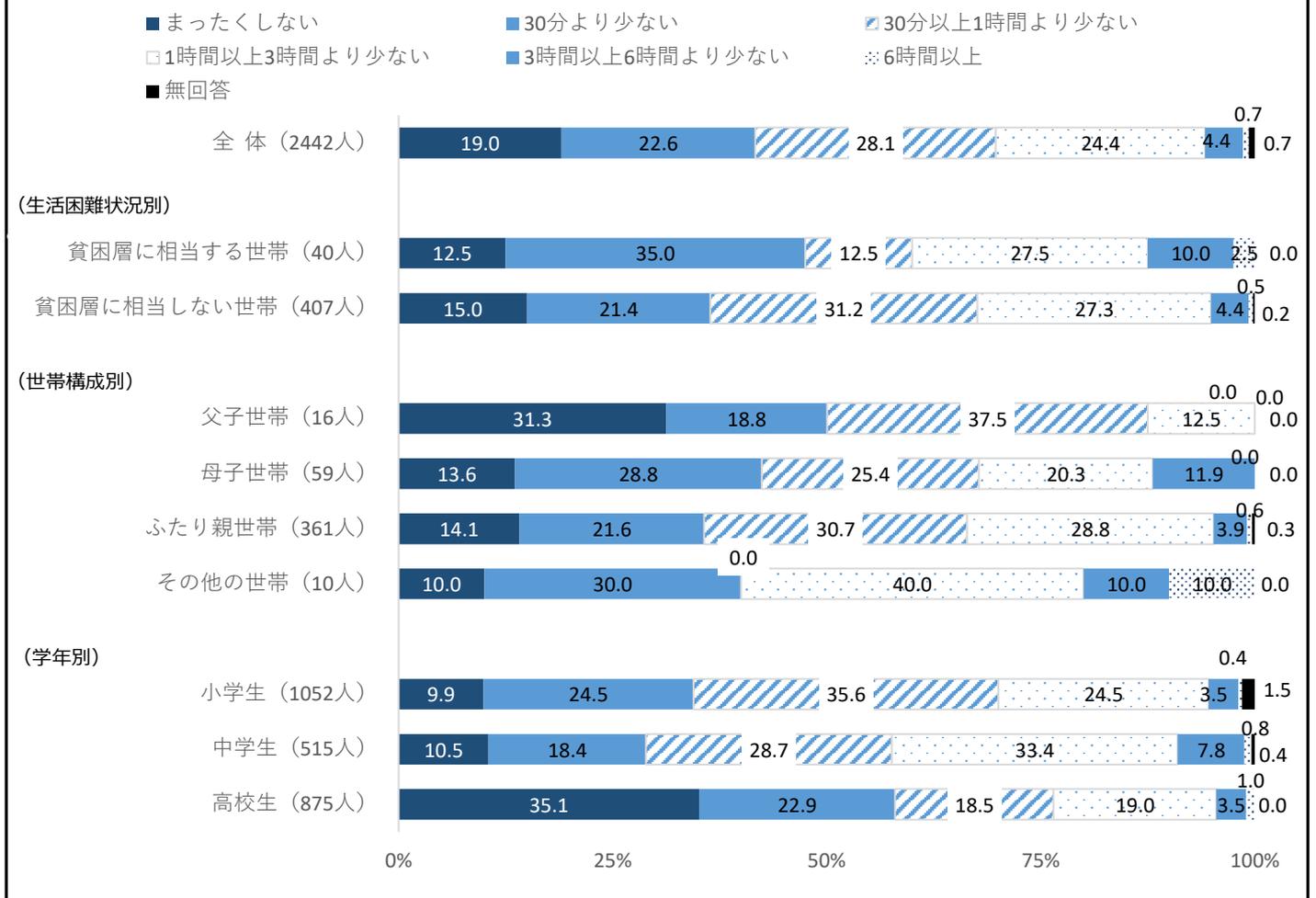
* 「あり」(1時間以内、1時間以上)

「あり」の項目では、生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では1時間以上の〔⑥1日あたりの部活動の時間〕55.0%が比較的多くなっています。世帯構成別でみると、父子世帯では1時間以内の〔⑤1日あたりの習い事の時間〕25.1%が比較的多くなっています。その他の世帯では1時間以内の〔②1人でゲームや動画を見て過ごす時間〕30.0%、1時間以上の〔③友だちと過ごす時間〕80.0%が比較的多くなっています。学年別でみると、小学生では1時間以上の〔⑤1日あたりの習い事の時間〕56.7%が比較的多くなっています。中学生では1時間以上の〔①授業以外に勉強をする時間〕45.2%、〔⑤1日あたりの習い事の時間〕54.9%、〔⑥1日あたりの部活動の時間〕75.2%が比較的多くなっています。高校生では1時間以上の〔⑥1日あたりの部活動の時間〕66.1%が比較的多くなっています。

(6) 休日の過ごし方

問12 あなたは、学校が休みの日の時間をどのように過ごしていますか。それぞれの時間について教えてください。（それぞれもっともあてはまるもの1つに○）

① 勉強や宿題をする（塾に行くことも含む）



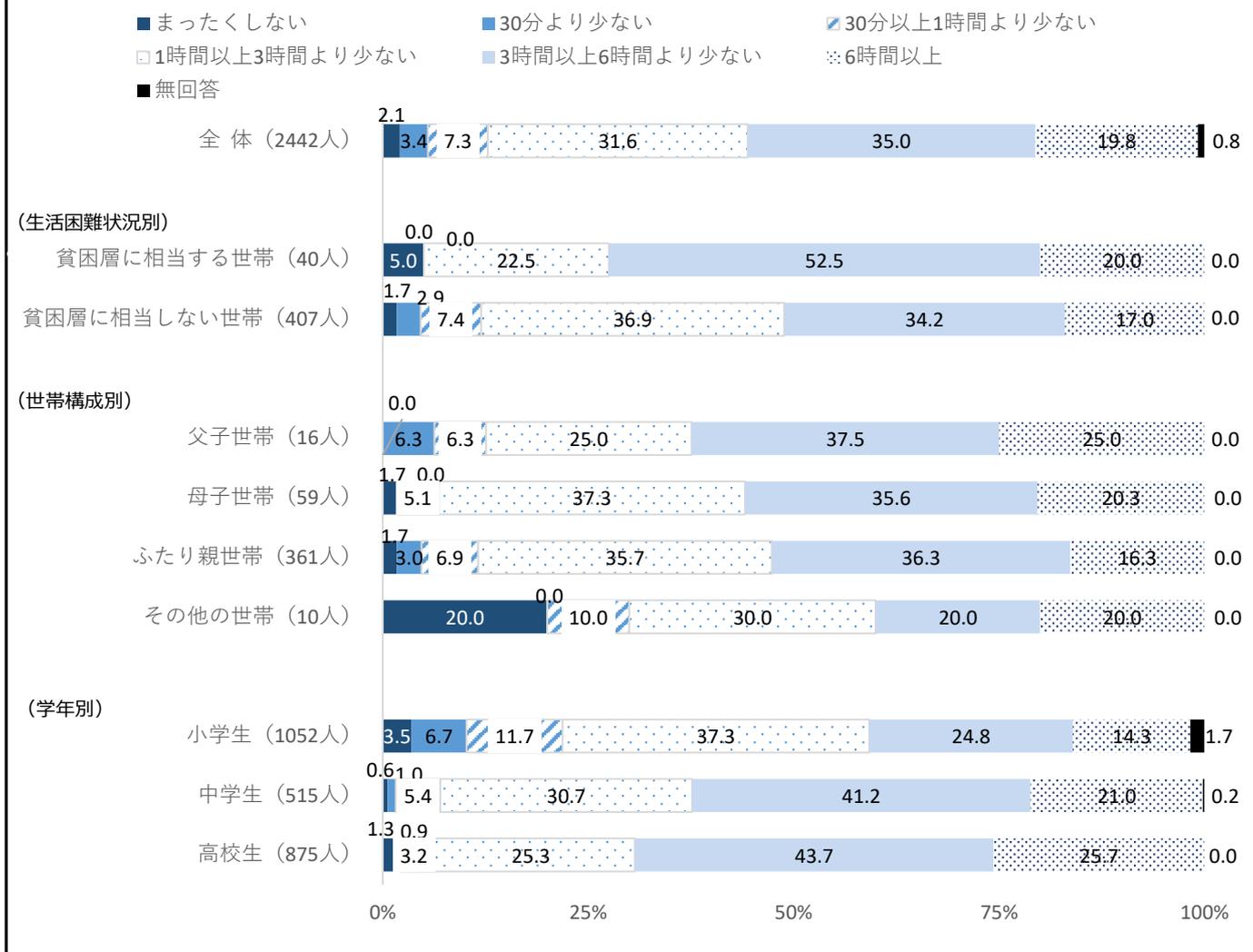
学校が休みの日の過ごし方で、勉強や宿題については、「30分以上1時間未満」28.1%が最も多く、以下「1時間以上3時間未満」24.4%、「30分未満」22.6%、「まったくしない」19.0%、「3時間以上6時間未満」4.4%、「6時間以上」0.7%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「30分未満」35.0%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、その他の世帯では「1時間以上3時間未満」40.0%が比較的多くなっています。

学年別でみると、高校生では「まったくしない」35.1%が比較的多くなっています。

②1人でゲームや動画を見て過ごす時間



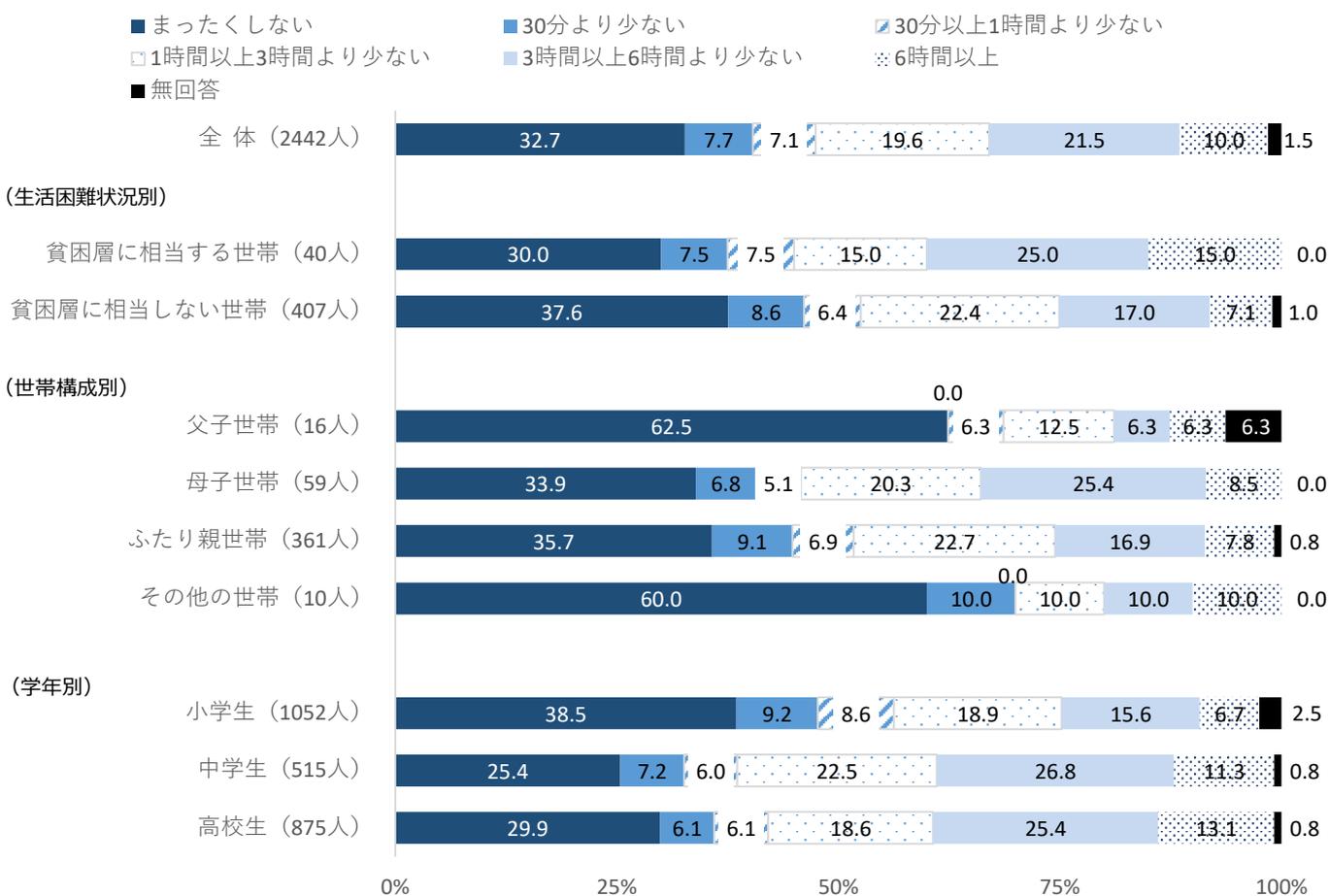
学校が休みの日の過ごし方で、1人でゲームや動画を見て過ごす時間については、「3時間以上6時間未満」35.0%が最も多く、以下「1時間以上3時間未満」31.6%、「6時間以上」19.8%、「30分以上1時間未満」7.3%、「30分未満」3.4%、「まったくしない」2.1%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「まったくしない」5.0%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、その他の世帯では「まったくしない」20.0%が比較的多くなっています。

学年別でみると小学生では「まったくしない」3.5%が比較的多くなっており、学年が上がるにつれて「3時間以上（3時間以上6時間未満、6時間以上）」が多くなる傾向となっています。

③ 友だちと過ごす時間



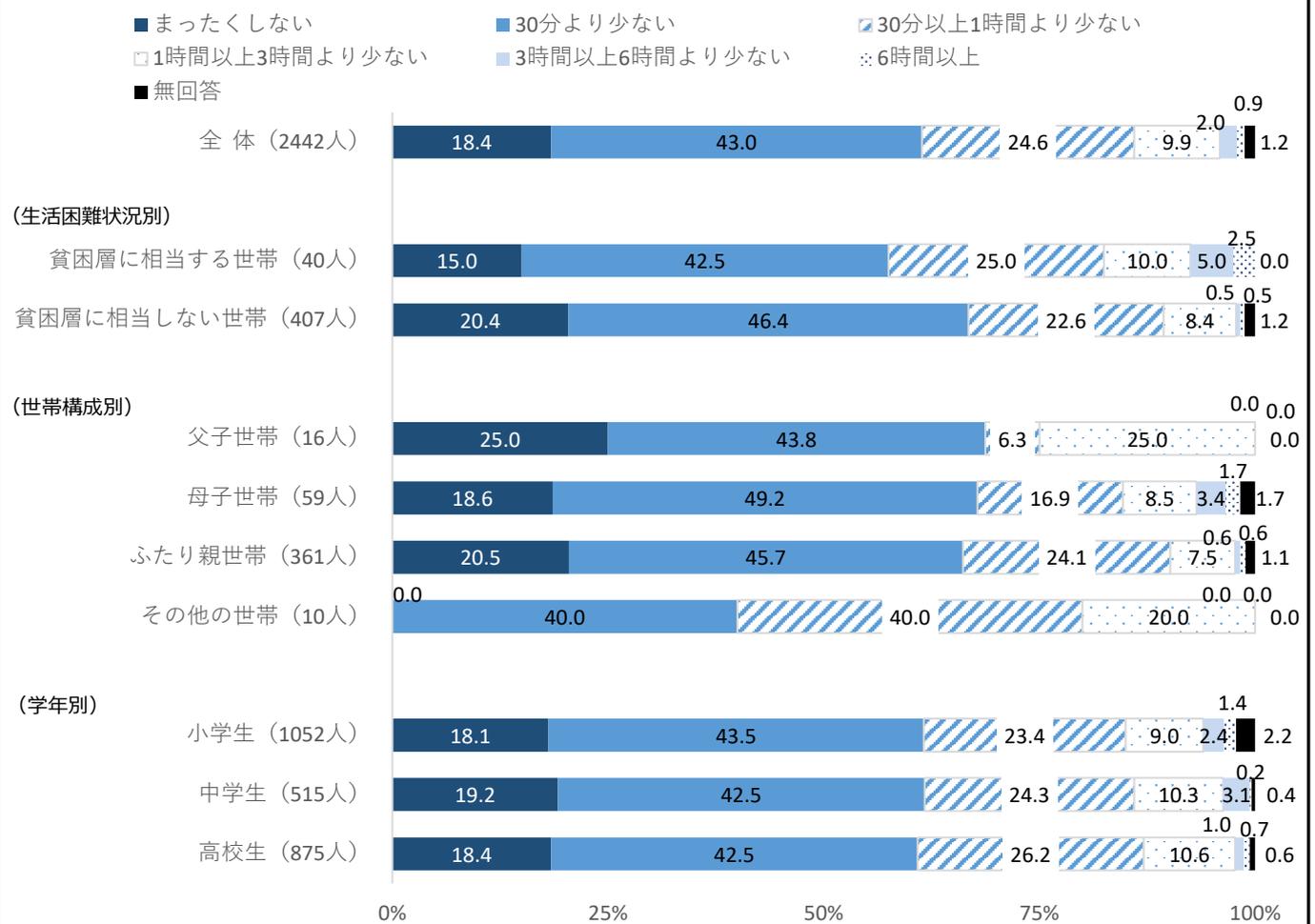
学校が休みの日の過ごし方で、友達と過ごす時間については「まったくしない」32.7%が最も多く、以下「3時間以上6時間未満」21.5%、「1時間以上3時間未満」19.6%、「6時間以上10.0%」、「30分未満」7.7%、「30分以上1時間未満」7.1%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当しない世帯では「まったくしない」37.6%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、父子世帯及びその他の世帯では「まったくしない」が比較的多くなっています（父子世帯62.5%、その他の世帯60.0%）。

学年別でみると、学年が上がるにつれて「3時間以上（3時間以上6時間未満、6時間以上）」が多くなる傾向となっています。

④家事や家族の世話をする時間



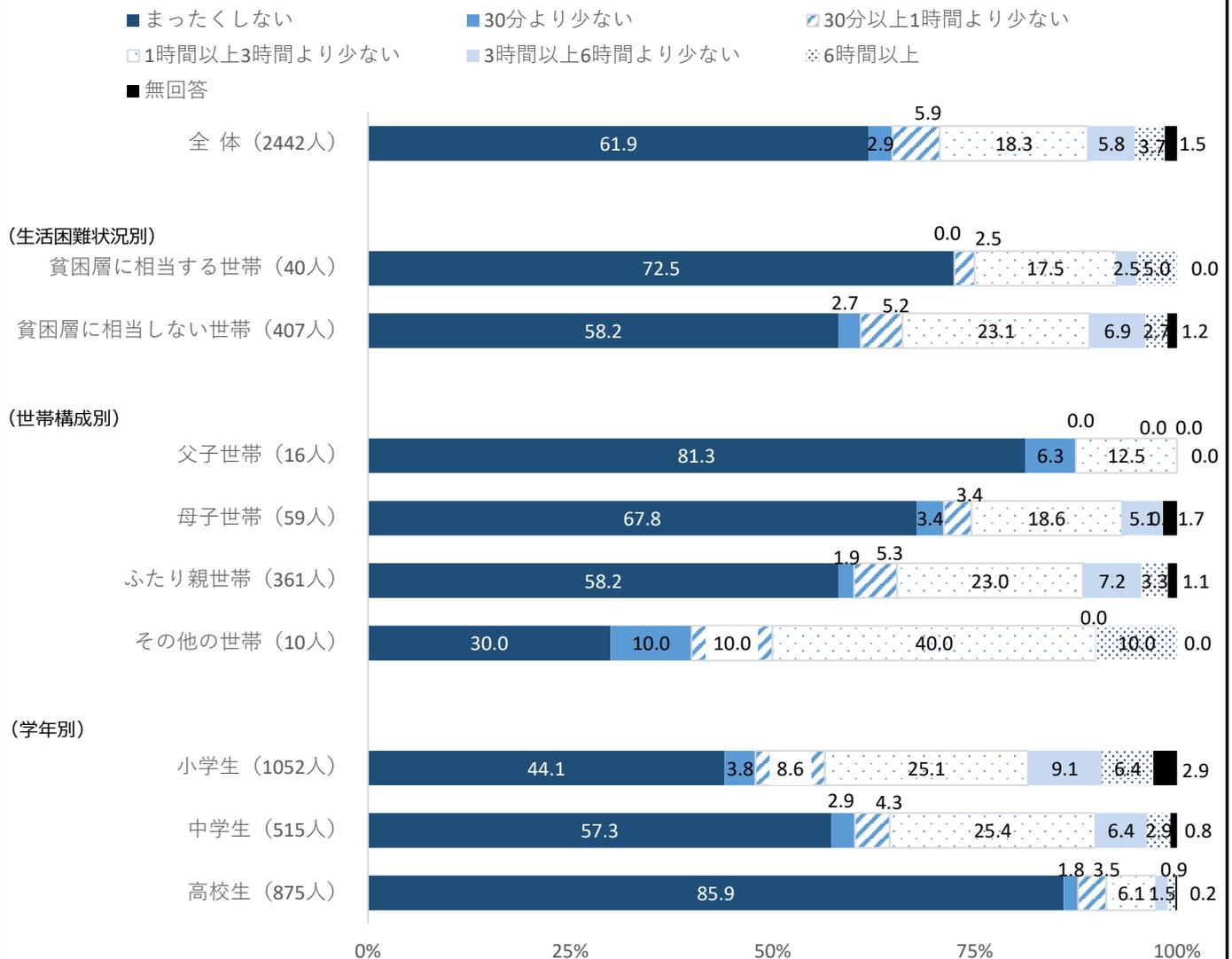
学校が休みの日の過ごし方で、家事や家族の世話をする時間については「30分より少ない」43.0%が最も多く、以下「30分以上1時間より少ない」24.6%、「まったくしない」18.4%、「1時間以上3時間より少ない」9.9%と続いています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当しない世帯では「まったくしない」20.4%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、父子世帯では「まったくしない」25.0%が比較的多くなっています。

学年別でみると、学年が上がるにつれて「1時間以上3時間より少ない」が多くなる傾向となっています。

⑤1日あたりの習い事の時間



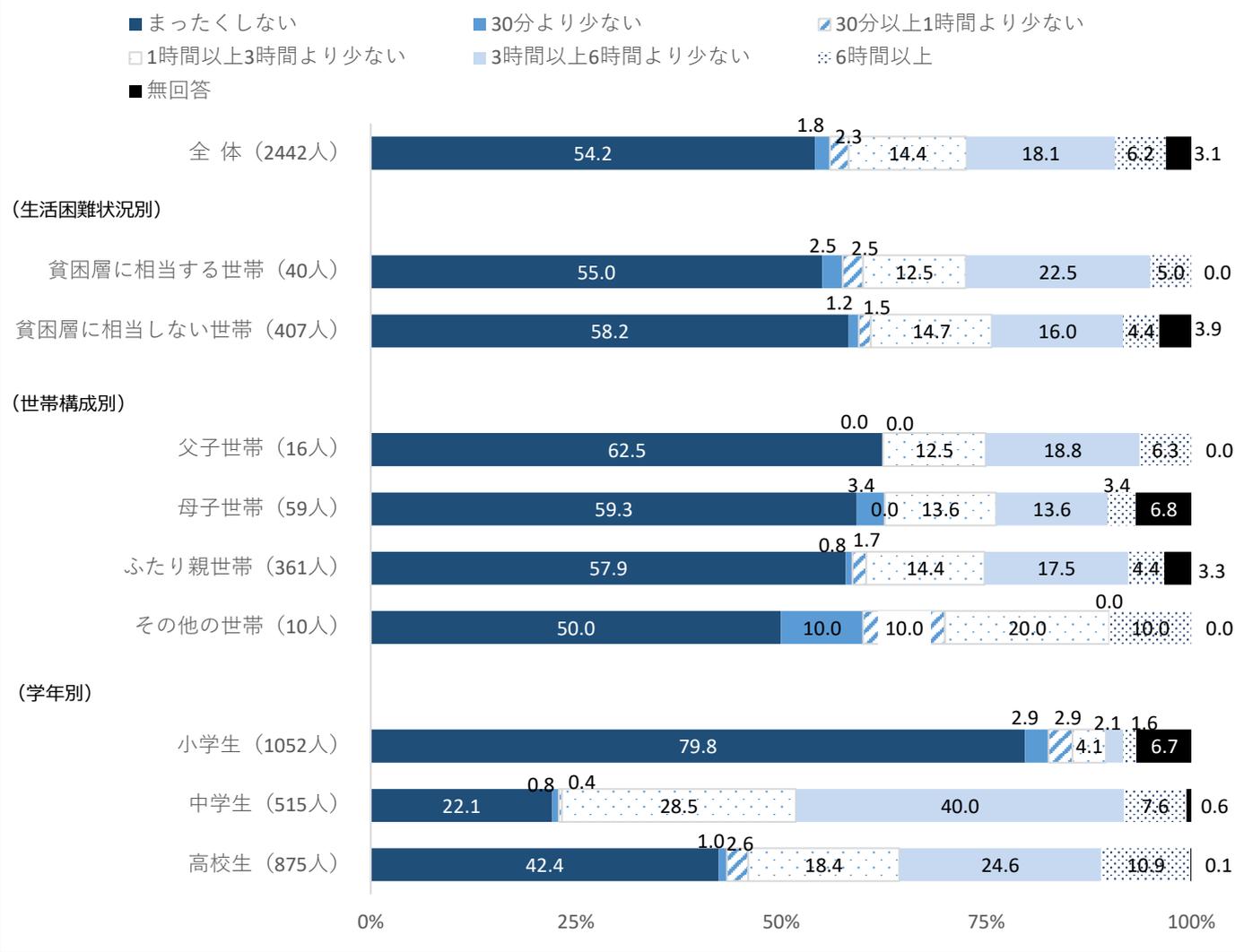
学校が休みの日の過ごし方で、1日あたりの習い事をする時間については「まったくしない」61.9%が最も多く、以下「1時間以上3時間未満」18.3%、「30分以上1時間未満」5.9%、「3時間以上6時間未満」5.8%、「6時間以上」3.7%、「30分未満」2.9%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「まったくしない」72.5%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、父子世帯及び母子世帯では「まったくしない」が比較的多くなっています（父子世帯81.3%、母子世帯67.8%）。

学年別でみると、学年が上がるにつれて「まったくしない」が多くなる傾向となっています（小学生44.1%、中学生57.3%、高校生85.9%）

⑥1日あたりの部活動の時間



学校が休みの日の過ごし方で、1日あたりの部活動の時間については「まったくしない」54.2%が最も多く、以下「3時間以上6時間未満」18.1%、「1時間以上3時間未満」14.4%、「6時間以上」6.2%、「30分以上1時間未満」2.3%、「30分未満」1.8%となっています。

生活困難状況別及び世帯構成別でみると、あまり差は見られません。

学年別でみると、小学生では「まったくしない」79.8%が多くなっています。

(生活困難状況別・世帯構成別・学年別 「時間数」)

	全体	生活困難状況別		世帯構成別				学年別			
		貧困層に相当する世帯	貧困層に相当しない世帯	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	その他の世帯	小学生	中学生	高校生	
なし	①勉強をする時間	19.0	12.5	15.0	31.3	13.6	14.1	10.0	9.9	10.5	35.1
	②1人でゲームや動画を見て過ごす時間	2.1	5.0	1.7	0.0	1.7	1.7	20.0	3.5	0.6	1.3
	③友だちと過ごす時間	32.7	30.0	37.6	62.5	33.9	35.7	60.0	38.5	25.4	29.9
	④家事や家族の世話をする時間	18.4	15.0	20.4	25.0	18.6	20.5	0.0	18.1	19.2	18.4
	⑤1日あたりの習い事の時間	61.9	72.5	58.2	81.3	67.8	58.2	30.0	44.1	57.3	85.9
	⑥1日あたりの部活動の時間	54.2	55.0	58.2	62.5	59.3	57.9	50.0	79.8	22.1	42.4
1時間以内	①勉強をする時間	50.7	47.5	52.6	56.3	54.2	52.3	30.0	60.1	47.1	41.4
	②1人でゲームや動画を見て過ごす時間	10.7	0.0	10.3	12.6	5.1	9.9	10.0	18.4	6.4	4.1
	③友だちと過ごす時間	14.8	15.0	15.0	6.3	11.9	16.0	10.0	17.8	13.2	12.2
	④家事や家族の世話をする時間	67.6	67.5	69.0	50.1	66.1	69.8	80.0	66.9	66.8	68.7
	⑤1日あたりの習い事の時間	8.8	2.5	7.9	6.3	6.8	7.2	20.0	12.4	7.2	5.3
	⑥1日あたりの部活動の時間	4.1	5.0	2.7	0.0	3.4	2.5	20.0	5.8	1.2	3.6
1時間以上3時間以内	①勉強をする時間	24.4	27.5	27.3	12.5	20.3	28.8	40.0	24.5	33.4	19.0
	②1人でゲームや動画を見て過ごす時間	31.6	22.5	36.9	25.0	37.3	35.7	30.0	37.3	30.7	25.3
	③友だちと過ごす時間	19.6	15.0	22.4	12.5	20.3	22.7	10.0	18.9	22.5	18.6
	④家事や家族の世話をする時間	9.9	10.0	8.4	25.0	8.5	7.5	20.0	9.0	10.3	10.6
	⑤1日あたりの習い事の時間	18.3	17.5	23.1	12.5	18.6	23.0	40.0	25.1	25.4	6.1
	⑥1日あたりの部活動の時間	14.4	12.5	14.7	12.5	13.6	14.4	20.0	4.1	28.5	18.4
3時間以上	①勉強をする時間	5.1	12.5	4.9	0.0	11.9	4.5	20.0	3.9	8.6	4.5
	②1人でゲームや動画を見て過ごす時間	54.8	72.5	51.2	62.5	55.9	52.6	40.0	39.1	62.2	69.4
	③友だちと過ごす時間	31.5	40.0	24.1	12.6	33.9	24.7	20.0	22.3	38.1	38.5
	④家事や家族の世話をする時間	2.9	7.5	1.0	0.0	5.1	1.2	0.0	3.8	3.3	1.7
	⑤1日あたりの習い事の時間	9.5	7.5	9.6	0.0	5.1	10.5	10.0	15.5	9.3	2.4
	⑥1日あたりの部活動の時間	24.3	27.5	20.4	25.1	17.0	21.9	10.0	3.7	47.6	35.5

■ 全体よりも10ポイント以上多い

■ 全体よりも10ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも10ポイント以上多いものと全体よりも10ポイント以上少ないものに色付けしています。

* 「なし」

「なし」の項目では、生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔⑤1日あたりの習い事の時間〕がなし72.5%が比較的多くなっています。世帯構成別でみると、父子世帯では〔①勉強をする時間〕31.3%、〔③友だちと過ごす時間〕62.5%、〔⑤1日あたりの習い事の時間〕81.3%が比較的多くなっています。その他の世帯では〔②1人でゲームや動画を見て過ごす時間〕20%、〔③友だちと過ごす時間〕60%が比較的多くなっています。学年別でみると小学生では、〔⑥1日あたりの部活動の時間〕79.8%が比較的多くなっています。高校生では〔①勉強をする時間〕35.1%、〔⑤1日あたりの習い事の時間〕85.9%が比較的多くなっています。

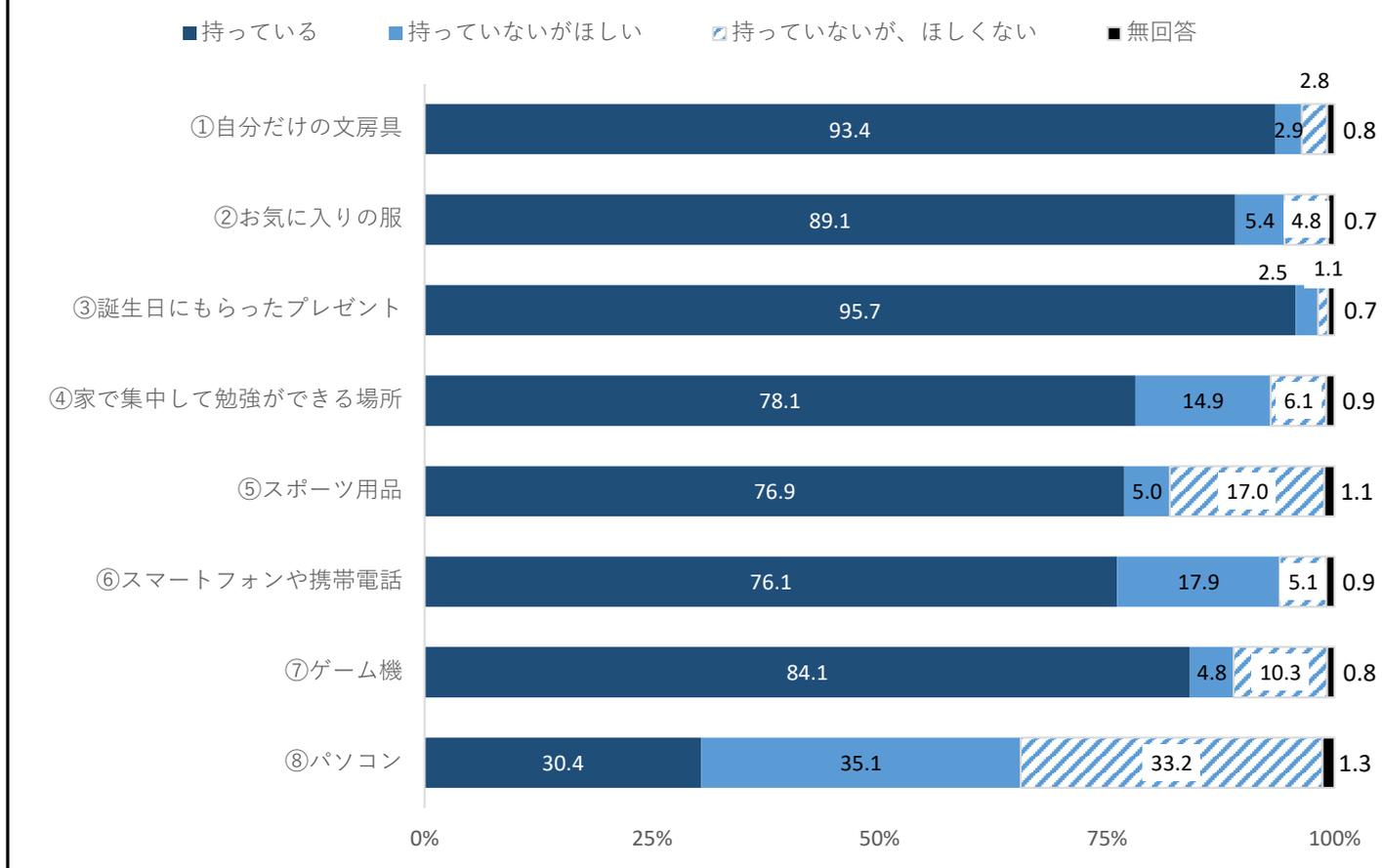
* 「あり」(1時間以内、1時間以上3時間以内、3時間以上)

「あり」の項目では、生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では3時間以上の〔②1人でゲームや動画を見て過ごす時間〕72.5%が比較的多くなっています。世帯構成別でみると、

父子世帯では1時間以上3時間以内の〔④家事や家族の世話をする時間〕25.0%が比較的多くなっています。その他の世帯では1時間以内の〔④家事や家族の世話をする時間〕80%、〔⑤1日あたりの習い事の時間〕及び〔⑥1日あたりの部活動の時間〕20%、1時間以上3時間以内の〔⑤1日あたりの習い事の時間〕40%、〔④家事や家族の世話をする時間〕20%、3時間以上の〔①勉強をする時間〕20%が比較的多くなっています。学年別でみると、中学性では1時間以上3時間以内の〔⑥1日あたりの部活動の時間〕28.5%、3時間以上の〔⑥1日あたりの部活動の時間〕47.6%が比較的多くなっています。高校生では3時間以上の〔②1人でゲームや動画を見て過ごす時間〕69.4%、〔⑥1日あたりの部活動の時間〕35.5%が比較的多くなっています。

(7) 所有物の状況

問13 次のなかにながが持っているものはありますか。(それぞれ1つに〇)

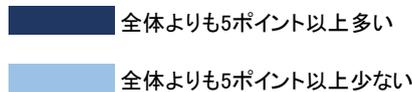


所有物の状況として、「持っている」との回答は、〔③誕生日にもらったプレゼント〕95.7%で最も多く、以下〔①自分だけの文房具〕93.4%、〔②お気に入りの服〕89.1%、〔⑦ゲーム機〕84.1%、〔④家で集中して勉強ができる場所〕78.1%、〔⑤スポーツ用品〕76.9%と続いています。

一方、「持っているがほしい」との回答は、〔⑧パソコン〕35.1%で最も多く、以下〔⑥スマートフォンや携帯電話〕17.9%、〔④家で集中して勉強ができる場所〕14.9%と続いています。

(生活困難状況別・世帯構成別・学年別 「所有あり」と「所有希望あり」)

	全体	生活困難状況別		世帯構成別				学年別			
		貧困層に相当する世帯	貧困層に相当しない世帯	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	その他の世帯	小学生	中学生	高校生	
所有あり	①自分だけの文房具	93.4	95.0	96.8	100.0	94.9	97.0	90.0	91.1	92.8	96.6
	②お気に入りの服	89.1	90.0	91.4	100.0	89.8	91.4	80.0	91.9	85.0	88.2
	③誕生日にもらったプレゼント	95.7	90.0	97.3	87.5	94.9	97.5	90.0	95.9	96.5	94.9
	④家で集中して勉強ができる場所	78.1	75.0	83.3	87.5	81.4	82.5	80.0	72.9	81.4	82.4
	⑤スポーツ用品	76.9	72.5	79.9	62.5	76.3	80.3	80.0	75.7	80.4	76.3
	⑥スマートフォンや携帯電話	76.1	77.5	70.5	81.3	78.0	69.5	70.0	50.7	88.5	99.3
	⑦ゲーム機	84.1	77.5	85.0	75.0	84.7	84.5	90.0	87.8	87.4	77.7
	⑧パソコン	30.4	30.0	31.9	37.5	32.2	31.6	20.0	24.7	30.7	37.0
所有希望あり	①自分だけの文房具	2.9	0.0	1.0	0.0	0.0	1.1	0.0	4.8	1.6	1.6
	②お気に入りの服	5.4	5.0	2.9	0.0	3.4	3.0	10.0	3.1	5.8	7.8
	③誕生日にもらったプレゼント	2.5	5.0	1.2	12.5	3.4	0.8	0.0	2.2	1.4	3.7
	④家で集中して勉強ができる場所	14.9	15.0	11.1	0.0	13.6	11.9	0.0	16.9	13.2	13.4
	⑤スポーツ用品	5.0	2.5	3.4	6.3	0.0	3.9	0.0	7.9	2.9	2.6
	⑥スマートフォンや携帯電話	17.9	15.0	20.4	18.8	15.3	20.5	30.0	37.5	7.8	0.3
	⑦ゲーム機	4.8	7.5	5.7	12.5	5.1	5.8	0.0	4.8	2.5	6.3
	⑧パソコン	35.1	35.0	34.4	31.3	37.3	34.1	40.0	40.0	30.3	32.1



※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けていますが、この間では1つの属性において「所有あり」が多ければ「所有希望あり」が少なくなり、「所有あり」が少なければ「所有希望あり」が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

*** 所有あり（「持っている」）**

生活困難状況別でみると、貧困層に相当しない世帯では〔④家で集中して勉強できる場所〕83.3%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、父子世帯では〔①自分だけの文房具〕100%、〔②お気に入りの服〕100%、〔④家で集中して勉強ができる場所〕87.5%、〔⑥スマートフォンや携帯電話〕81.3%、〔⑧パソコン〕37.5%、その他の世帯では〔⑦ゲーム機〕90%が比較的多くなっています。

学年別にみると、中学生では〔⑥スマートフォンや携帯電話〕88.5%、高校生では〔⑥スマートフォンや携帯電話〕99.3%、〔⑧パソコン〕37%が比較的多くなっています。

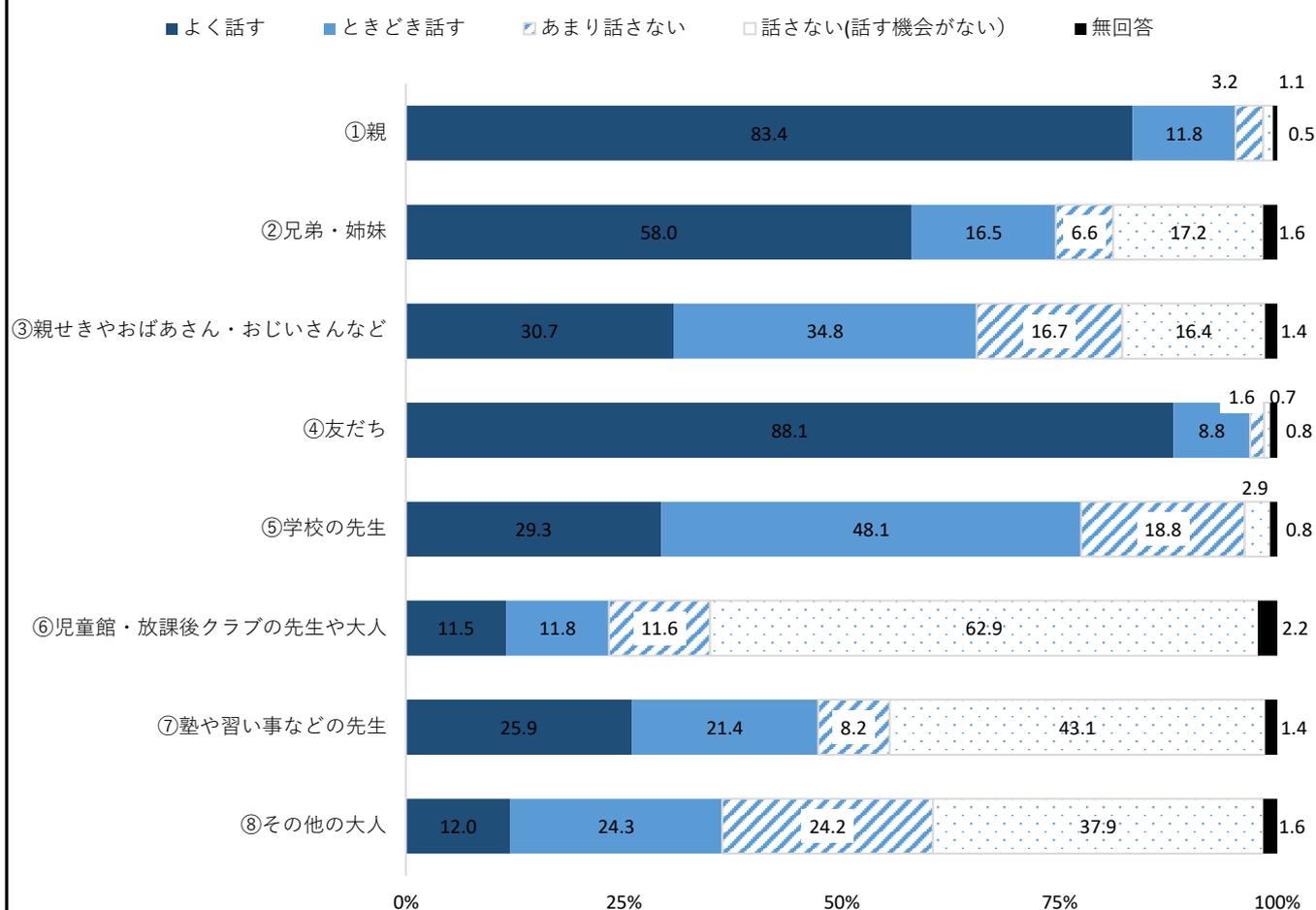
*** 所有希望あり（「持っていないがほしい」）**

世帯構成別でみると、父子世帯では〔③誕生日にもらったプレゼント〕12.5%、〔⑦ゲーム機〕12.5%、その他世帯で〔⑥スマートフォンや携帯電話〕30.0%で比較的多くなっています。

学年別にみると小学生では〔⑥スマートフォンや携帯電話〕37.5%で比較的多くなっています。

(8) 身の周りの人との会話の状況

問14 あなたは、いつもだれとどれくらい会話をしますか。(それぞれ1つに○)



身の周りの人との会話の状況は、「よく話す」との回答は、〔④友だち〕88.1%で最も多く9割近くを占め、続く〔①親〕83.4%も8割以上を占めています。以下、〔②兄弟・姉妹〕58.0%、〔③親せきやおばあさん・おじいさんなど〕30.7%〔⑤学校の先生〕29.3%、〔⑦塾や習い事などの先生〕25.9%と続いています。

一方、「あまり話さない」との回答は、〔⑧その他の大人〕で24.2%と最も多く、以下〔⑤学校の先生〕18.8%、〔③親せきやおばあさん・おじいさんなど〕16.7%、〔⑥児童館・放課後児童クラブの先生や大人〕11.6%と続いています。

また、「話さない(話す機会がない)」との回答は、〔⑥児童館・放課後児童クラブの先生や大人〕62.9%が最も多く、以下〔⑦塾や習い事などの先生〕43.1%、〔⑧その他の大人〕37.9%となっています。

(生活困難状況別・世帯構成別・学年別 『話す』と『話さない』)

		全体	生活困難状況別		世帯構成別				学年別		
			貧困層に相当する世帯	貧困層に相当しない世帯	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	その他の世帯	小学生	中学生	高校生
話す	①親	95.2	97.5	97.0	93.8	93.2	97.8	100.0	96.7	96.5	92.7
	②兄弟・姉妹	74.5	67.5	75.9	62.6	74.6	77.0	40.0	78.2	74.0	70.6
	③親せきやおばあさん・おじいさんなど	65.5	60.0	70.7	68.8	74.6	69.2	60.0	70.9	66.0	58.7
	④友だち	96.9	100.0	97.8	93.8	100.0	97.8	100.0	96.1	97.2	97.9
	⑤学校の先生	77.4	80.0	77.4	75.0	76.2	77.8	80.0	83.8	81.3	67.4
	⑥児童館・放課後クラブの先生や大人	23.3	17.5	19.2	18.8	20.4	18.6	20.0	32.3	24.3	11.9
	⑦塾や習い事などの先生	47.3	45.0	55.3	50.0	49.1	55.2	60.0	66.8	55.9	18.7
	⑧その他の大人	36.3	30.0	37.8	43.8	30.5	37.9	30.0	41.8	35.4	30.3
話さない	①親	4.3	2.5	2.7	6.3	6.8	2.0	0.0	2.3	3.3	7.2
	②兄弟・姉妹	23.8	32.5	22.4	25.0	20.4	22.5	60.0	19.0	25.3	29.0
	③親せきやおばあさん・おじいさんなど	33.1	40.0	28.5	25.1	25.4	30.2	40.0	26.7	32.7	41.0
	④友だち	2.3	0.0	1.7	6.3	0.0	1.7	0.0	2.3	2.3	2.2
	⑤学校の先生	21.7	20.0	22.3	25.1	23.7	21.9	20.0	14.8	17.8	32.5
	⑥児童館・放課後クラブの先生や大人	74.5	82.5	77.9	68.8	74.6	79.8	70.0	64.0	73.7	87.6
	⑦塾や習い事などの先生	51.3	55.0	42.8	50.0	45.8	43.4	40.0	30.8	43.1	80.8
	⑧その他の大人	62.1	70.0	60.7	56.3	66.1	60.9	70.0	55.2	63.7	69.6

■ 全体よりも5ポイント以上多い

■ 全体よりも5ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けていますが、この間では1つの属性において『話す』が多ければ『話さない』が少なくなり、『話す』が少なれば『話さない』が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

*** 『話す』（「よく話す」＋「ときどき話す」）**

生活困難状況別でみると、貧困層に相当しない世帯では〔③親せきやおばあさん・おじいさんなど〕70.7%、〔⑦塾や習い事などの先生〕55.3%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、父子世帯では〔⑧その他の大人〕43.8%、母子世帯では〔③親せきやおばあさん・おじいさんなど〕74.6%、ふたり親世帯及びその他世帯では〔⑦塾や習い事などの先生〕各55.2%、60.0%で比較的多くなっています。

学年別でみると、小学生では〔③親せきやおばあさん・おじいさんなど〕70.9%、〔⑤学校の先生〕83.8%、〔⑥児童館・放課後児童クラブの先生や大人〕32.3%、〔⑦塾や習い事などの先生〕66.8%、〔⑧その他の大人〕41.8%で比較的多くなっています。中学生では〔⑦塾や習い事などの先生〕55.9%で比較的多くなっています。

*** 『話さない』（「あまり話さない」＋「話さない（話す機会がない）」）**

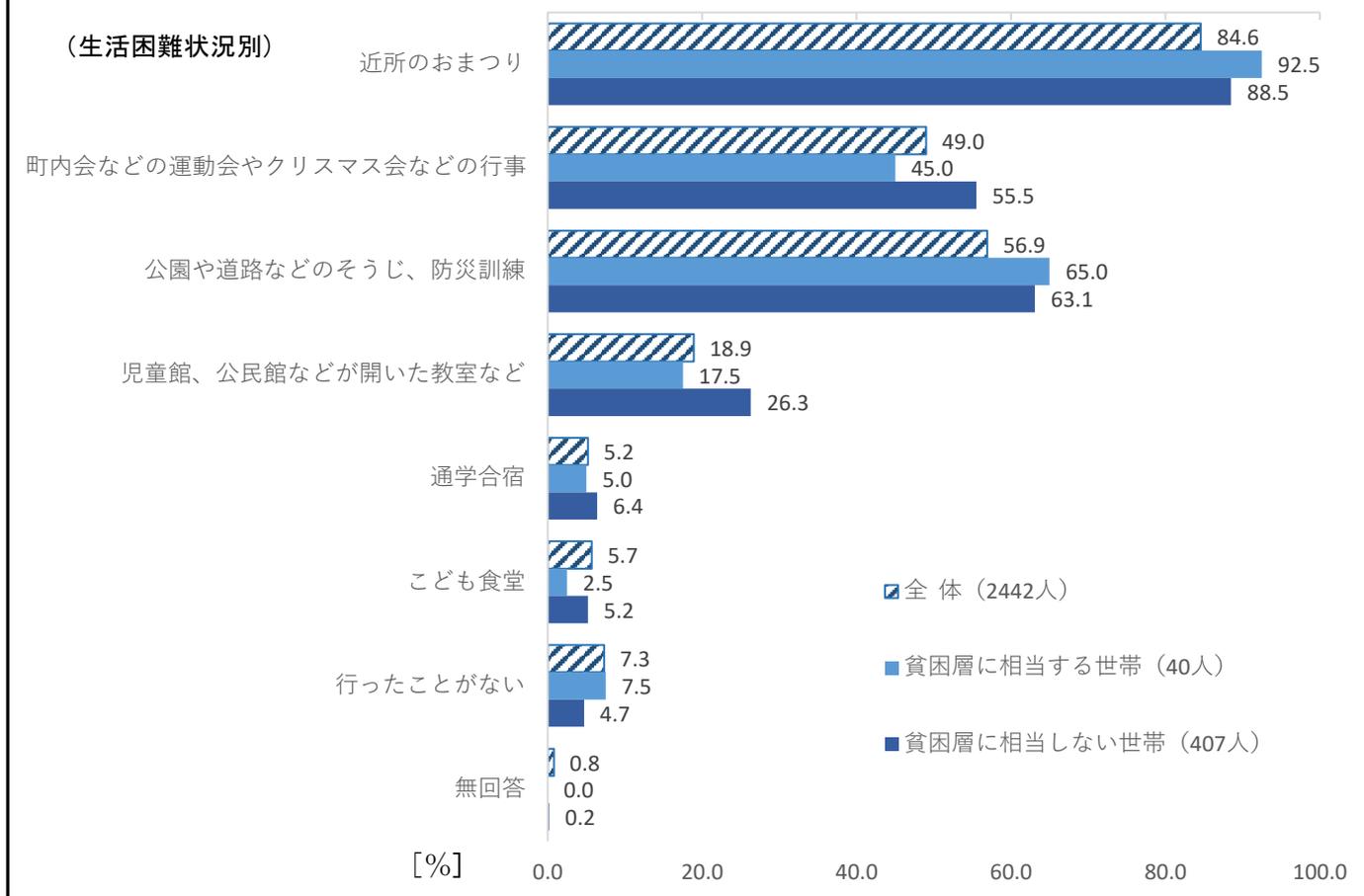
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔②兄弟・姉妹〕32.5%、〔③親せきやおばあさん・おじいさんなど〕40.0%、〔⑥児童館・放課後児童クラブの先生や大人〕82.5%、〔⑧その他の大人〕70.0%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、ふたり親世帯では〔⑥児童館・放課後児童クラブの先生や大人〕79.8%で比較的多くなっています。その他の世帯では〔②兄弟・姉妹〕60.0%、〔③親せきやおばあさん・おじいさんなど〕40%、〔⑧その他の大人〕70%で比較的多くなっています。

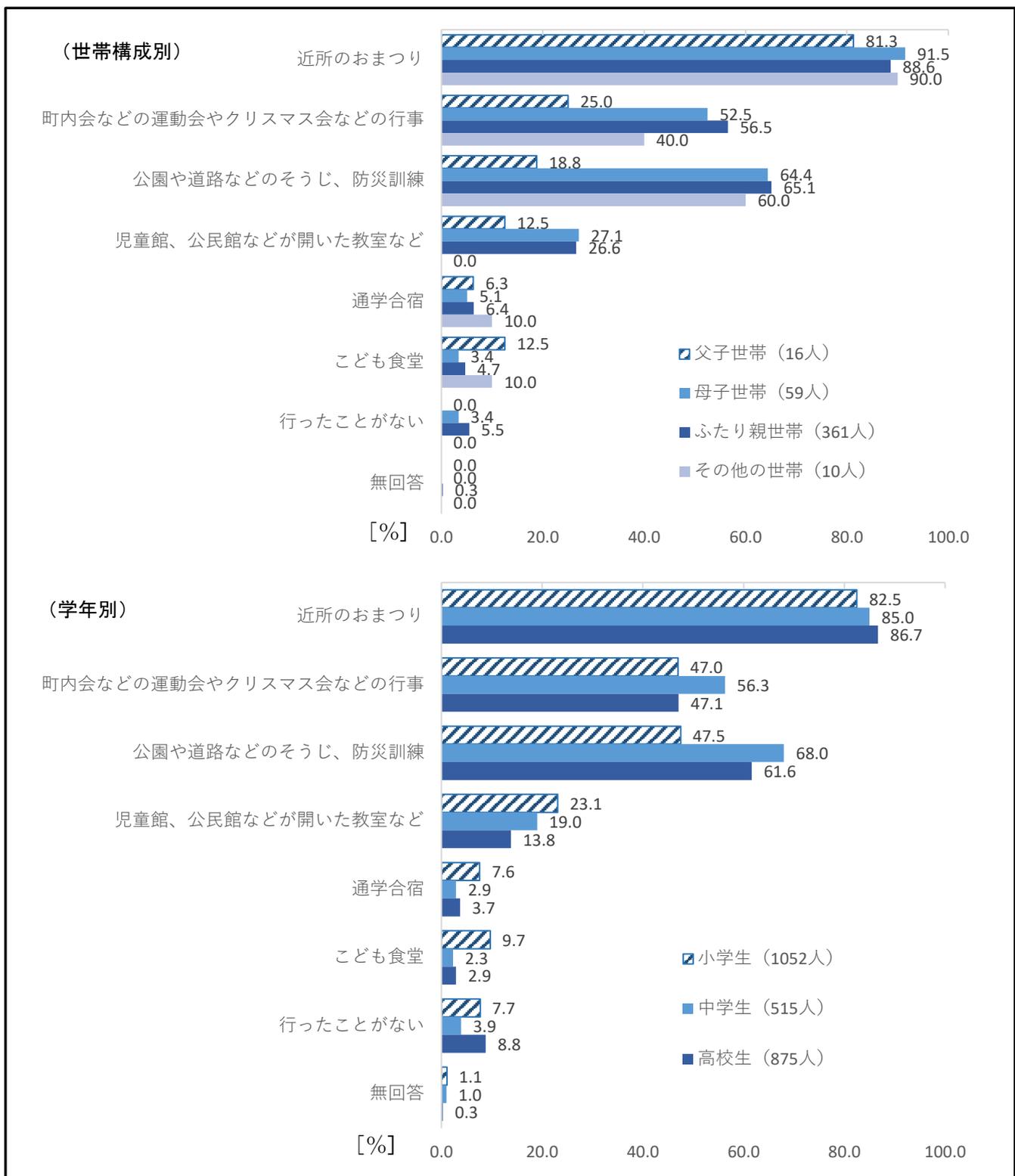
学年別でみると、高校生では〔②兄弟・姉妹〕29.0%、〔③親せきやおばあさん・おじいさんなど〕41.0%、〔⑤学校の先生〕32.5%、〔⑥児童館・放課後児童クラブの先生や大人〕87.6%、〔⑦塾や習い事などの先生〕80.8%、〔⑧その他の大人〕69.6%で比較的多くなっています。

(9) 地域の活動や行事への参加状況

問15 あなたが、これまでに参加したことがある活動や行事をすべて選んでください



地域の活動や行事への参加状況は、「近所のおまつり」84.6%が最も多く、以下「公園や道路などのそうじ、防災訓練」56.9%、「町内会などの運動会やクリスマス会などの行事」49.0%、「児童館、公民館などが開いた教室など」18.9%となっています。



世帯構成別でみると、父子世帯では「町内会などの運動会やクリスマス会などの行事」と「公園や道路などのそうじ、防災訓練」が比較的少なくなっています（町内会などの運動会やクリスマス会などの行事：25.0%、公園や道路などのそうじ、防災訓練：18.8%）。

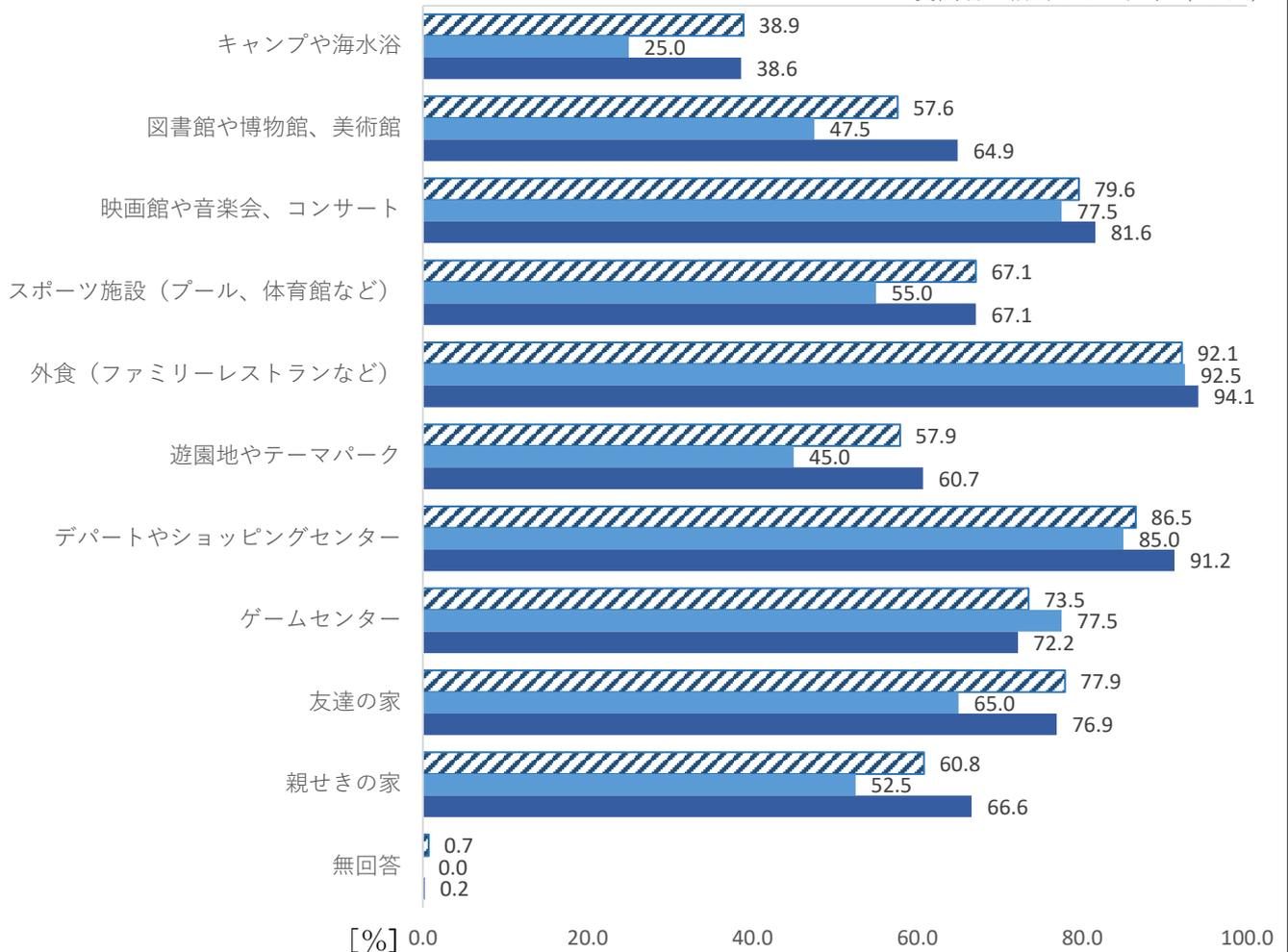
学年別でみると、小学生では「児童館、公民館などが開いた教室」23.1%が、中学生では「公園や道路などのそうじ、防災訓練」68.0%が比較的多くなっています。

(10) この1年間で出かけたことがある場所

問16 あなたが、今までの1年間で出かけたことがある場所すべてを選んでください。

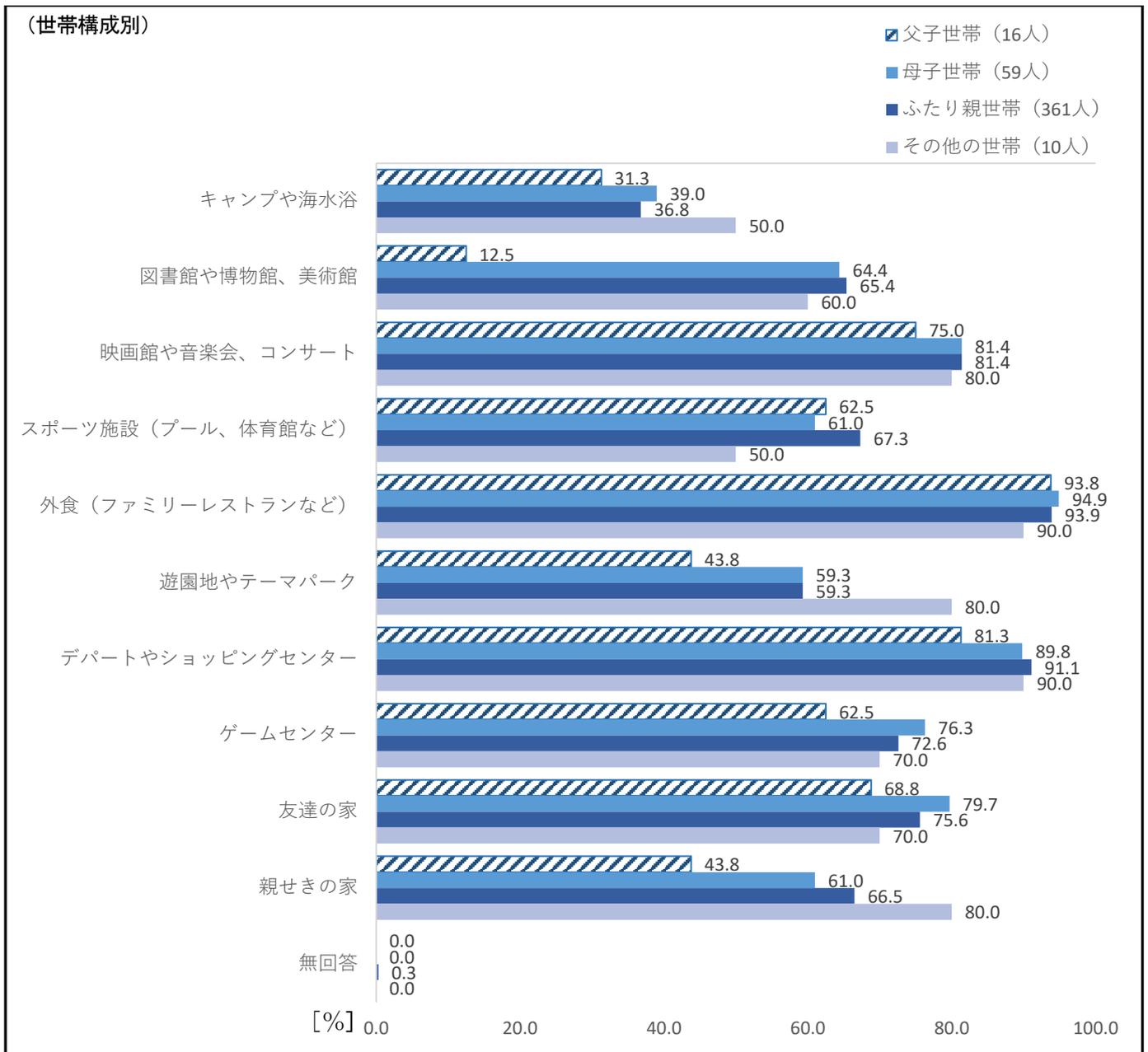
(生活困難状況別)

■ 全体 (2442人)
 ■ 貧困層に相当する世帯 (40人)
 ■ 貧困層に相当しない世帯 (407人)

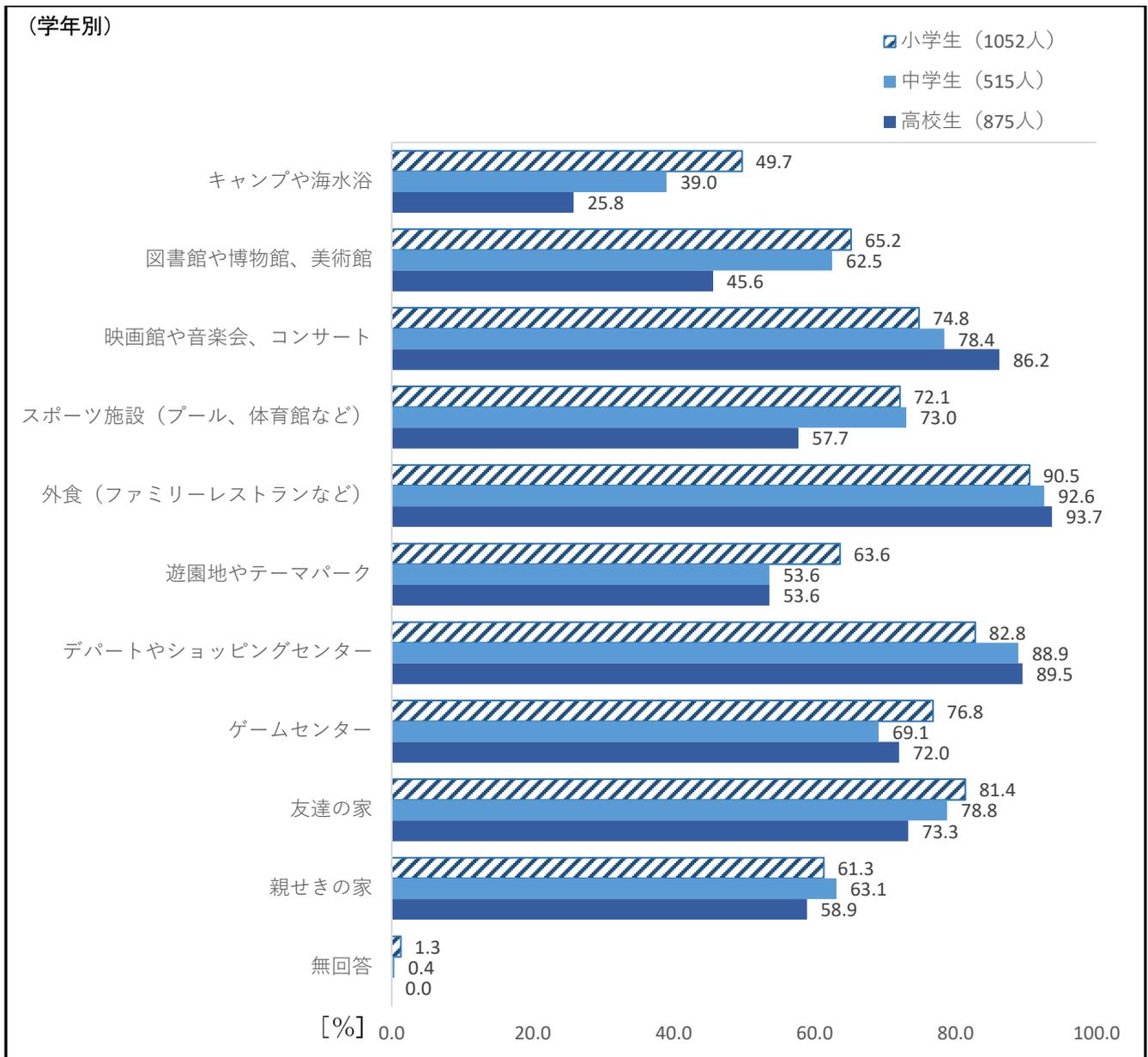


この1年間で出かけたことがある場所は、「外食 (ファミリーレストランなど)」92.1%が最も多く、以下「デパートやショッピングセンター」86.5%、「映画館や音楽会、コンサート」79.6%、「友だちの家」77.9%となっています。

生活状況困難別でみると、貧困層に相当しない世帯では「図書館や博物館、美術館」64.9%、「映画館や音楽会、コンサート」81.6%、「遊園地やテーマパーク」60.7%、「デパートやショッピングセンター」91.2%、「親せきの家」66.6%が比較的多くなっています。



世帯構成別でみると、父子世帯では「図書館や博物館、美術館」12.5%が少なくなっています。その他世帯では「キャンプや海水浴」50.0%、「遊園地やテーマパーク」80.0%、「親せきの家」80.0%が比較的多くなっています。

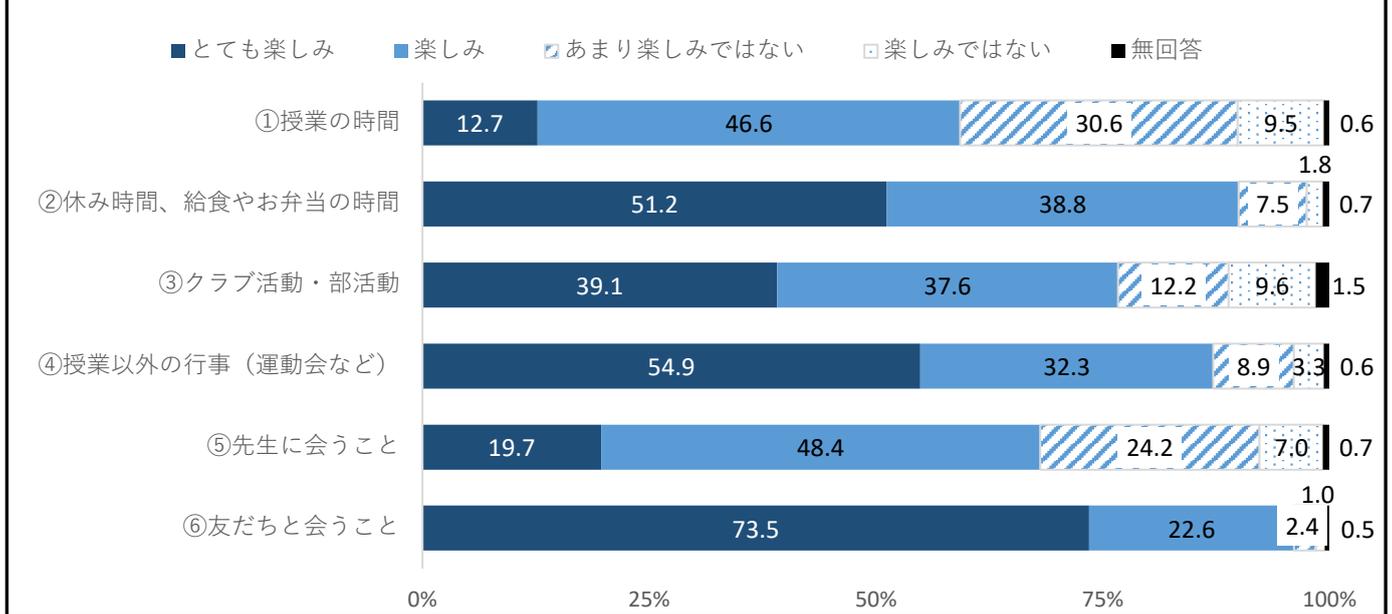


学年別でみると、小学生では「キャンプや海水浴」「図書館や博物館、美術館」「遊園地やテーマパーク」「ゲームセンター」が比較的多くなっています（キャンプや海水浴：49.7%、図書館や博物館、美術館：65.2%、遊園地やテーマパーク：63.6%、ゲームセンター：76.8%）。

3 学校や勉強のことについて

(1) 学校生活での楽しみ

問17 あなたの学校生活についてお聞きします。以下の項目について教えてください。（それぞれ1つに○）



学校生活での楽しみについては、「とても楽しみ」との回答は、〔⑥友達と会うこと〕73.5%で最も多く、以下〔④授業以外の行事（運動会など）〕54.9%、〔②休み時間、給食やお弁当の時間〕51.2%、〔③クラブ活動・部活動〕39.1%と続き、この4つの項目では「とても楽しみ」と「楽しみ」との回答を合わせた『楽しみ』が約8割を占めています。

一方、「あまり楽しみではない」との回答は、〔①授業の時間〕30.6%で最も多く、〔⑤先生に会うこと〕24.2%が続き、この2つの項目では「あまり楽しみではない」と「楽しみではない」との回答を合わせた『楽しみではない』が3割以上を占めています。

(生活困難状況別・世帯構成別・学年別 『楽しみ』 『楽しみではない』)

		全体	生活困難状況別		世帯構成別				学年別		
			貧困層に相当する世帯	貧困層に相当しない世帯	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	その他の世帯	小学生	中学生	高校生
楽しみ	①授業の時間	59.3	70.0	62.7	50.1	59.4	64.3	80.0	70.6	64.9	42.5
	②休み時間、給食やお弁当の時間	90.0	90.0	88.2	75.1	83.1	90.0	80.0	92.7	89.9	86.9
	③クラブ活動・部活動	76.7	77.5	78.1	75.0	78.0	78.4	70.0	86.0	82.3	62.1
	④授業以外の行事(運動会など)	87.2	92.5	85.0	87.5	83.1	85.9	90.0	88.8	88.3	84.4
	⑤先生に会うこと	68.1	65.0	70.0	56.3	66.1	70.4	80.0	81.5	73.8	48.7
	⑥友だちと会うこと	96.1	95.0	96.3	87.6	96.6	96.4	100.0	96.3	97.7	94.9
楽しみではない	①授業の時間	40.1	30.0	36.6	50.1	39.0	35.1	20.0	28.1	35.2	57.4
	②休み時間、給食やお弁当の時間	9.3	10.0	11.3	25.0	15.3	9.7	20.0	6.0	10.1	12.9
	③クラブ活動・部活動	21.8	22.5	20.9	18.8	20.4	21.0	30.0	11.0	17.4	37.5
	④授業以外の行事(運動会など)	12.2	7.5	14.3	12.6	15.3	13.6	10.0	9.9	11.6	15.3
	⑤先生に会うこと	31.2	35.0	29.2	43.8	32.2	29.1	20.0	17.1	26.2	51.1
	⑥友だちと会うこと	3.4	5.0	3.2	12.5	1.7	3.3	0.0	2.7	2.3	5.0

■ 全体よりも5ポイント以上多い

■ 全体よりも5ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けしていますが、この間では1つの属性において『楽しみ』が多ければ『楽しみではない』が少なくなり、『楽しみ』が少なければ『楽しみではない』が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

*** 『楽しみ』 (「とても楽しみ」 + 「楽しみ」)**

生活困難状況別にみると、貧困層に相当する世帯では〔①授業の時間〕70.0%、〔④授業以外の行事〕92.5%で比較的多くなっています。

世帯構成別にみると、ふたり親世帯では〔①授業の時間〕64.3%が、その他の世帯では〔①授業の時間〕80.0%、〔⑤先生に会うこと〕80.0%で比較的多くなっています。

学年別にみると、小学生では〔①授業の時間〕70.6%、〔③クラブ活動・部活動〕86.0%、〔⑤先生に会うこと〕81.5%が、中学生では〔①授業の時間〕64.9%、〔③クラブ活動・部活動〕82.3%、〔⑤先生に会うこと〕73.8%で比較的多くなっています。

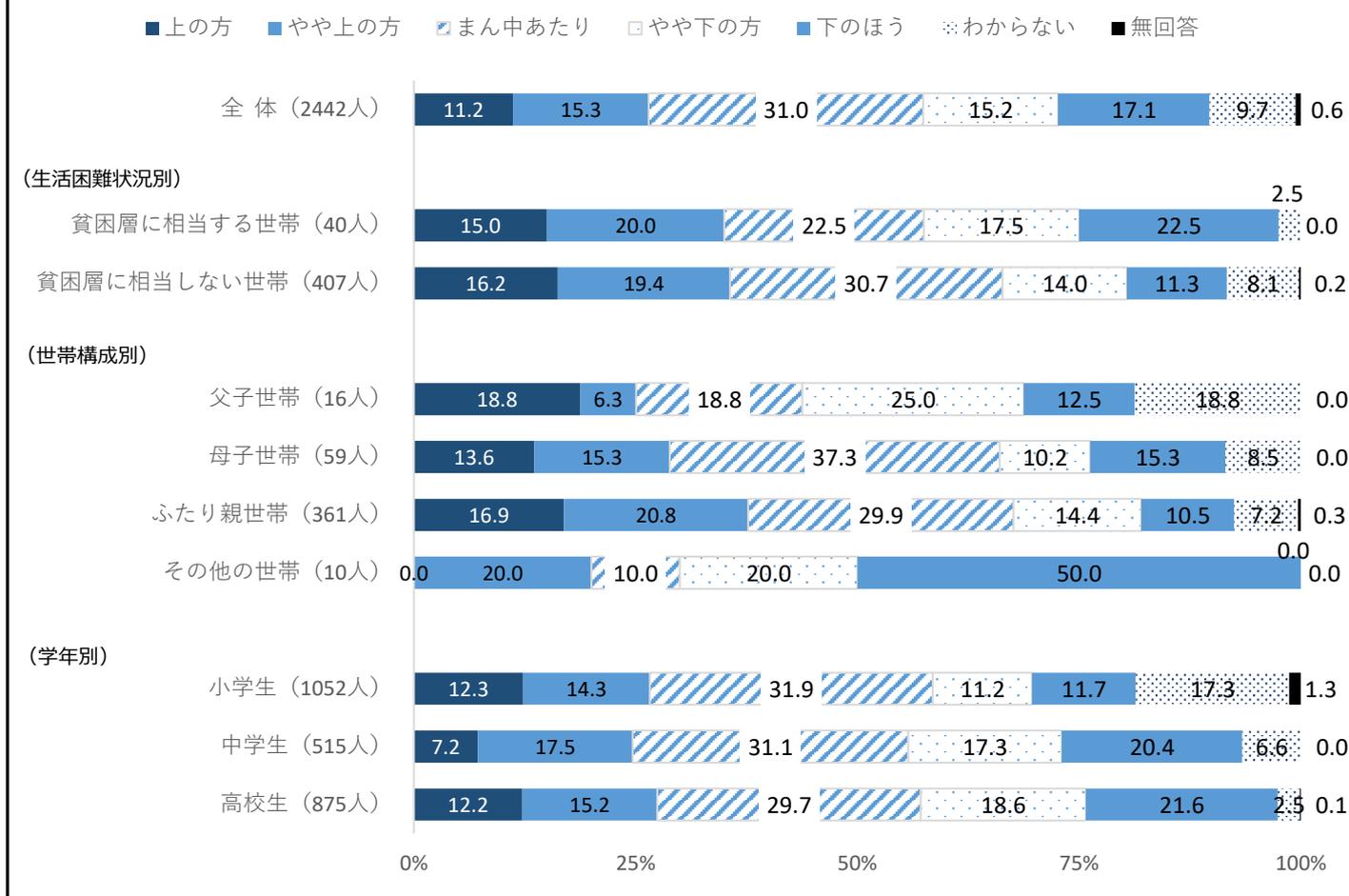
*** 『楽しみではない』 (「あまり楽しみではない」 + 「楽しみではない」)**

世帯構成別でみると、父子世帯では〔①授業の時間〕50.1%、〔②休み時間、給食やお弁当〕25.0%、〔⑤先生に会うこと〕43.8%、〔⑥友だちと会うこと〕12.5%が、母子世帯では〔②休み時間、給食やお弁当〕15.3%が、その他の世帯では〔②休み時間、給食やお弁当〕20.0%、〔③クラブ活動・部活動〕30.0%で比較的多くなっています。

学年別にみると、高校生では〔①授業の時間〕57.4%、〔③クラブ活動・部活動〕37.5%、〔⑤先生に会うこと〕51.1%で比較的多くなっています。

(2) クラス内の成績

問 18 あなたの成績はクラスの中でどのくらいだと思いますか。(1つに○)



成績はクラスの中でどのくらいだと思いますかについては、「まん中あたり」31.0%が最も多く、以下「下のほう」17.1%、「やや上の方」15.3%、「やや下の方」15.2%、「上の方」11.2%となっている。

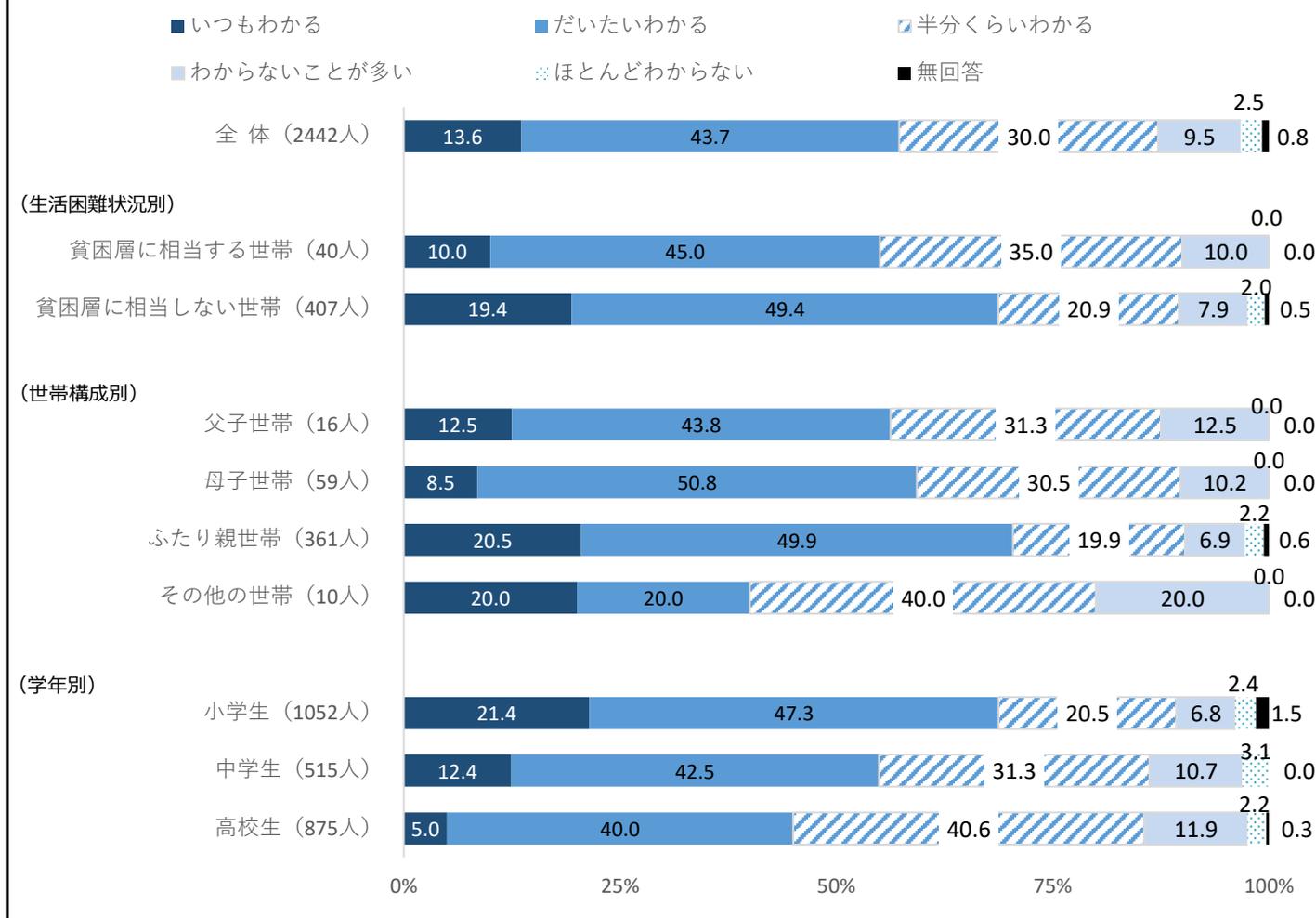
生活困難状況別でみると、貧困層に相当しない世帯では「まん中あたり」30.7%がやや多くなっている。

世帯構成別でみると、その他の世帯では「下の方」50.0%がやや多くなっている。

学年別でみると、学年が上がるにつれ「下の方」がやや多くなっている（小学生11.7%、中学生20.4%、高校生21.6%）。

(3) 学校の勉強の理解度

問19 あなたは、学校の勉強がどれくらいわかりますか。(1つに○)



学校の勉強の理解度は、「だいたいわかる」43.7%が最も多く、以下「半分くらいわかる」30.0%、「いつもわかる」13.6%、「わからないことが多い」9.5%となっています。「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた『わかる』は57.3%、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた『わからない』は12.0%となっています。

生活困難状況別で見ると、貧困層に相当しない世帯では「いつもわかる」19.4%が比較的多くなっています。

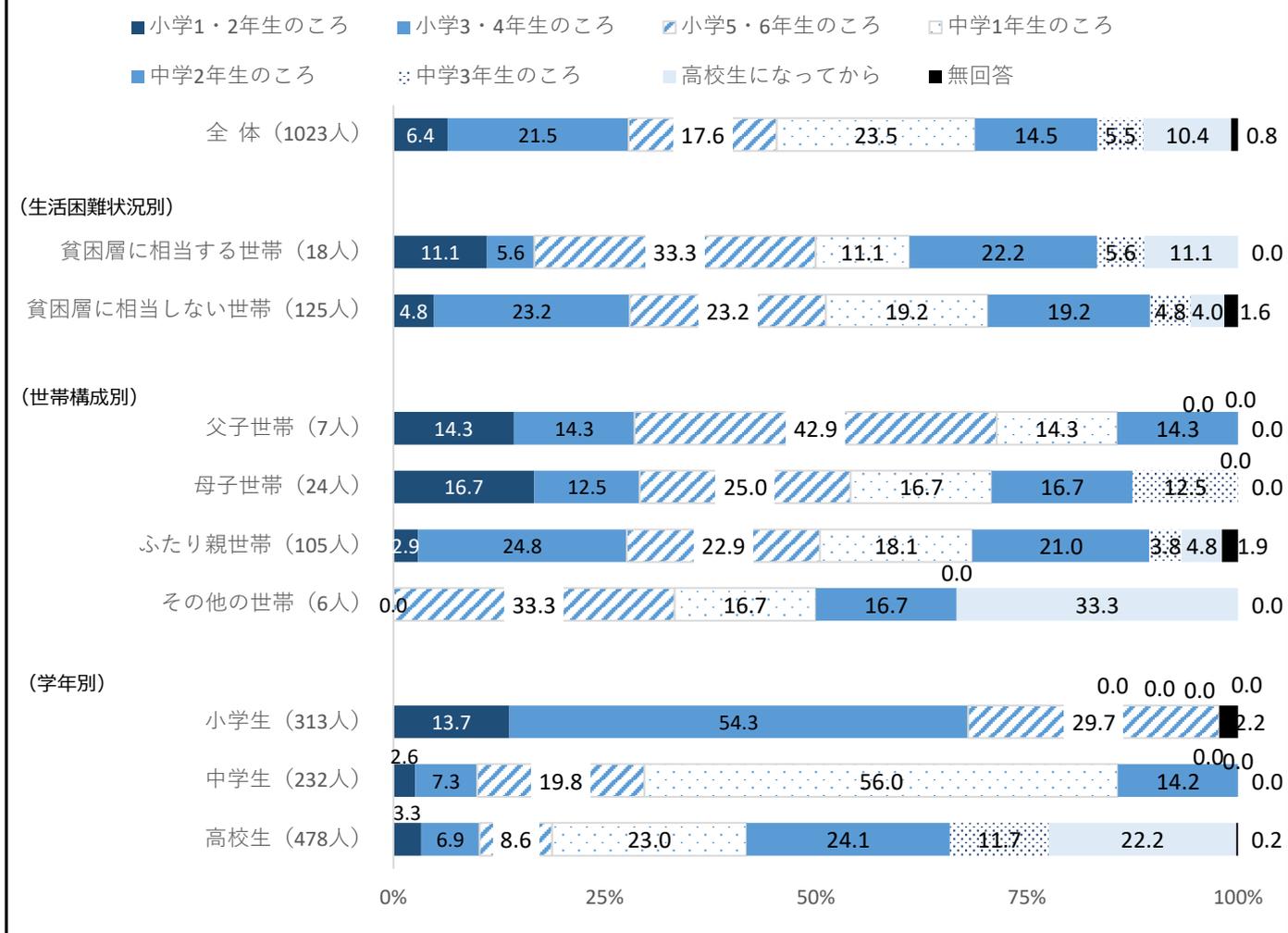
世帯構成別で見ると、ふたり親世帯では「いつもわかる」と「ほとんどわかる」を合わせた『わかる』70.4%が比較的多くなっています。

学年別で見ると、小学生では「いつもわかる」21.4%が、高校生では「半分くらいはわかる」40.6%が比較的多くなっています。

(4) 授業がわからなくなった時期

(問19で「いつもわかる」「だいたいわかる」以外を答えた方に聞きます)

問 19-2 いまごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(1つに○)



いつごろから、授業がわからないことがあるようになったかについて、「中学1年生のころ」23.5%が最も多く、以下「小学3・4年生のころ」21.5%、「小学5・6年生のころ」17.6%、「中学2年生のころ」14.5%となっています。

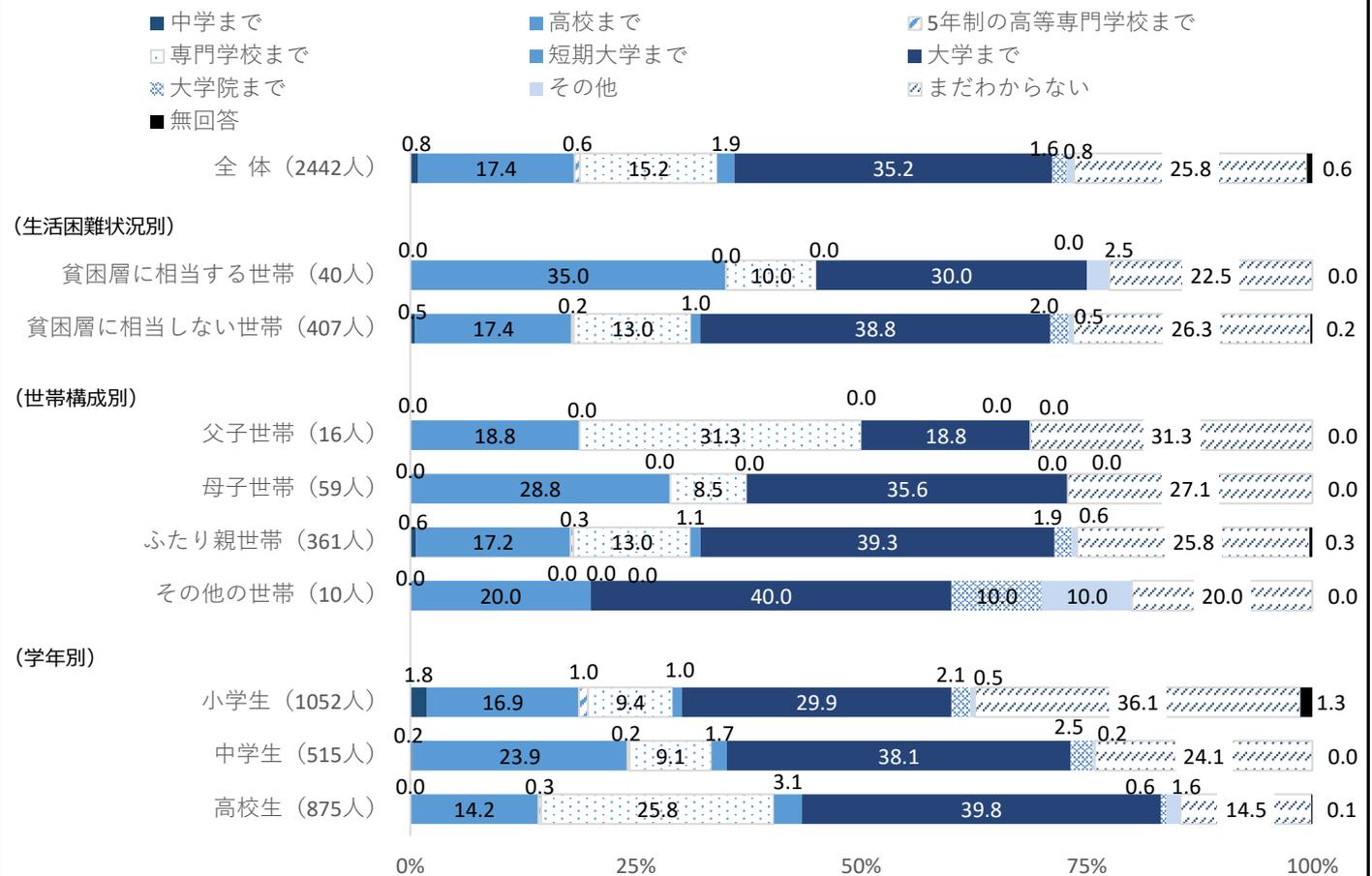
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「小学1・2年生のころ」11.1%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、父子世帯では「小学5・6年生のころ」42.9%、ふたり親世帯では「小学3・4年生のころ」24.8%が比較的多くなっています。

学年別でみると。小学生では「小学3・4年生のころ」54.3%、中学生では「中学1年生のころ」56.0%、高校生では「中学2年生のころ」24.1%が比較的多くなっています。

(5) 将来の進学希望

問20 あなたは、将来どの学校に進学したいですか。(1つに○)



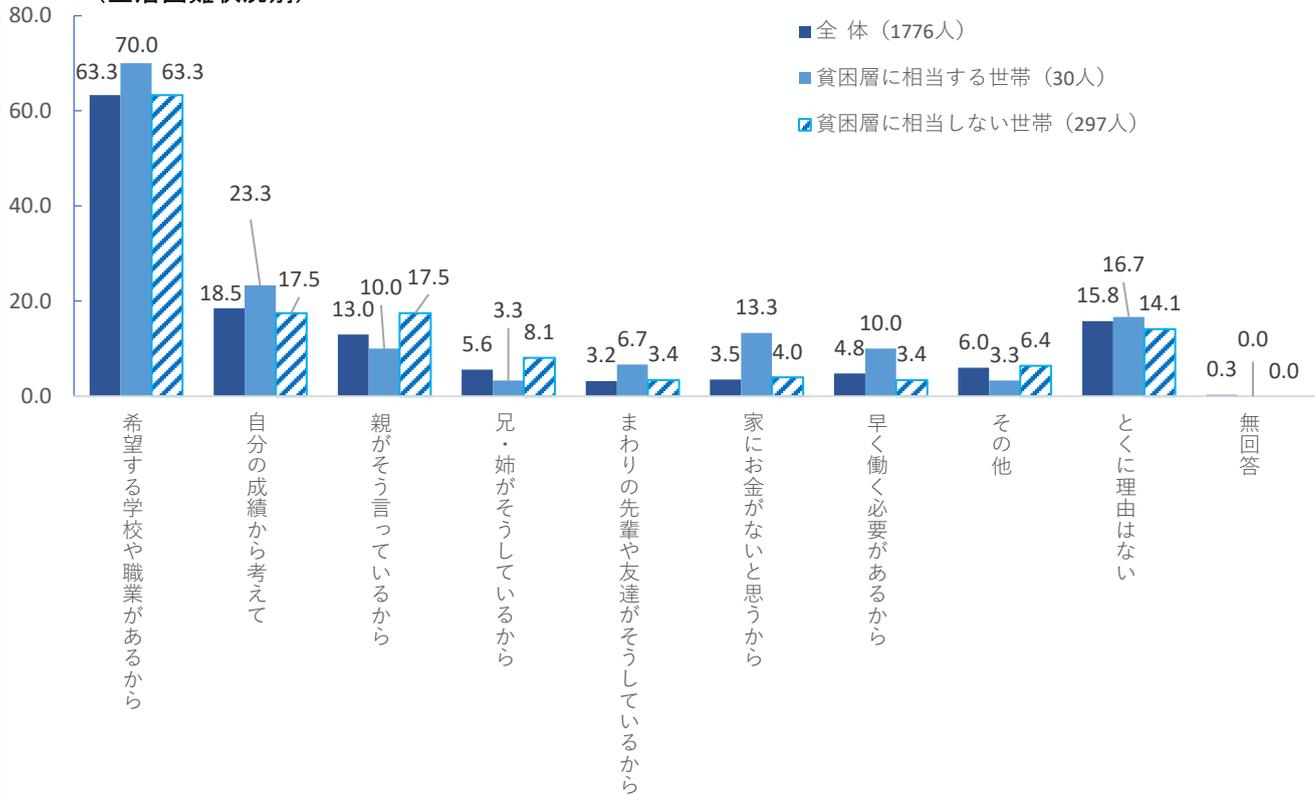
将来の進学希望は、「大学まで」35.2%が最も多く、以下「まだわからない」25.8%、「高校まで」17.4%、「専門学校まで」15.2%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「高校まで」35.0%が比較的多くなっています。世帯構成別でみると、父子世帯では「専門学校」31.3%が比較的多くなっています。母子世帯や二人世帯及びその他の世帯では「大学まで」が比較的多くなっています（母子世帯35.6%、ふたり親世帯39.3%、その他の世帯40.0%）。

学年別でみると、小学生では「まだわからない」36.1%、高校生では「専門学校まで」25.8%がやや多くなっています。

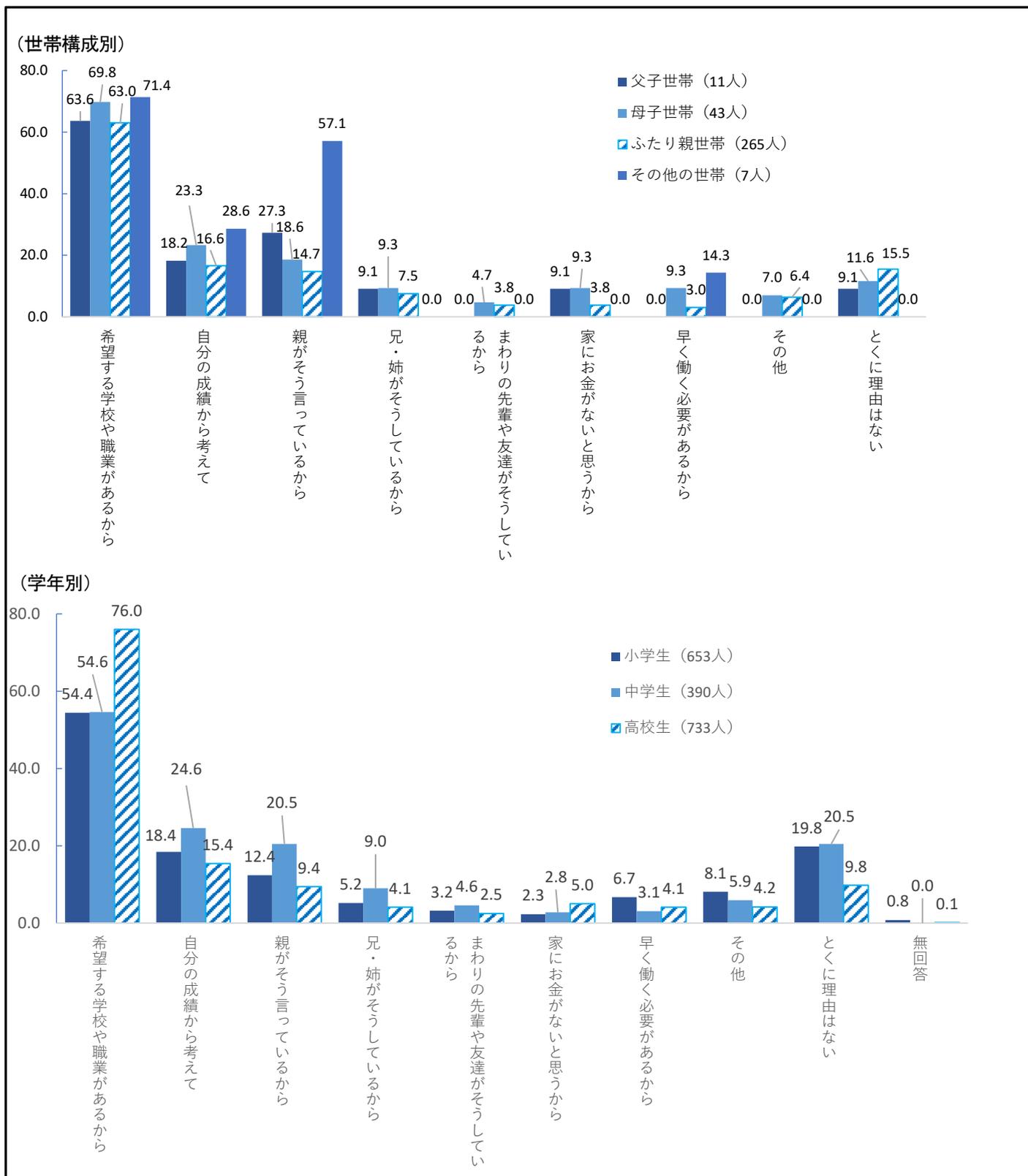
(問20で「まだわからない」以外を選んだ方にお聞きします)
 問 20-2 選んだ理由を教えてください

(生活困難状況別)



将来の進学希望理由は、「希望する学校や職業があるから」63.3%が最も多く、以下「自分の成績から考えて」18.5%、「とくに理由はない」15.8%、「親がそう言っているから」13.0%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「希望する学校や職業があるから」70.0%、「自分の成績から考えて」23.3%、「家にお金がないと思うから」13.3%、「早く働く必要があるから」10.0%がやや多くなっています。貧困層に相当しない世帯では「親がそう言っているから」17.5%とやや多くなっています。

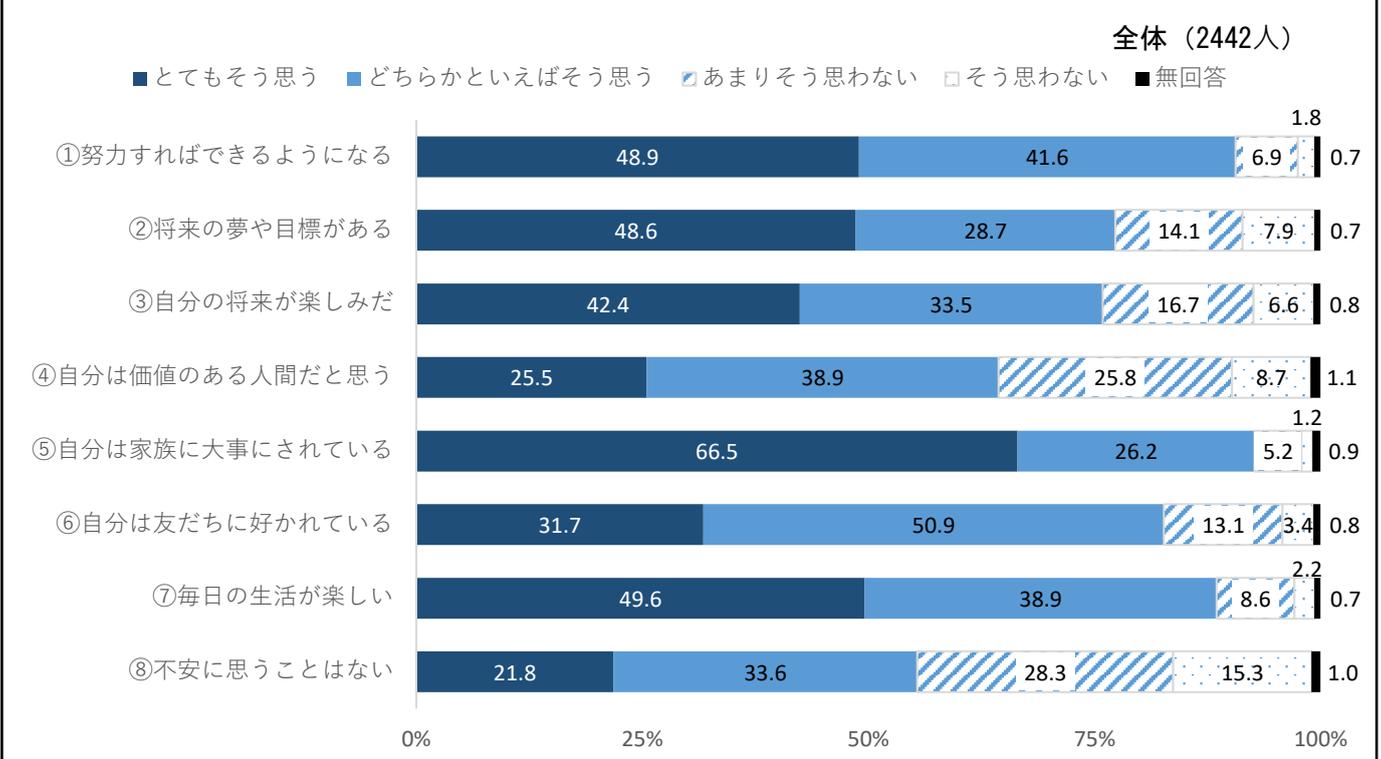


世帯構成別でみると、その他世帯では「親がそう言っているから」57.1%が比較的多くなっています。学年別でみると、中学生では「自分の成績から考えて」24.6%が比較的多くなっています。高校生では「希望する学校や職業がある」76.0%が多くなっています。

4 ふだん感じていること

(1) 自己肯定感

問21 あなたがふだん生活の中で感じている思いや気持ちを教えてください。（それぞれ1つに○）



自己肯定感については、「とてもそう思う」との回答は、〔⑤自分は家族に大事にされている〕66.5%で最も多く、以下〔⑦毎日の生活が楽しい〕49.6%、〔①努力すればできるようになる〕48.9%、〔②将来の夢や目標がある〕48.6%と続き、この4つの項目では「とてもそう思う」と「どちらかといえばそう思う」との回答を合わせた『そう思う』（⇒「自己肯定感 高」）が7割～9割を占めています。

一方、「あまりそう思わない」との回答は、〔⑧不安に思うことはない〕28.3%、〔④自分は価値のある人間だと思う〕25.8%で比較的多くなっています。この2つの項目では「あまりそう思わない」と「そう思わない」との回答を合わせた『そう思わない』（⇒「自己肯定感 低」）が3分の1以上を占めています。

(生活困難状況別・世帯構成別・学年別 「自己肯定感 高」と「自己肯定感 低」)

	全体	生活困難状況別		世帯構成別				学年別			
		貧困層に相当する世帯	貧困層に相当しない世帯	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	その他の世帯	小学生	中学生	高校生	
自己肯定感 高	①努力すればできるようになる	90.5	95.0	91.4	93.8	91.6	91.7	100.0	91.2	89.4	90.5
	②将来の夢や目標がある	77.3	75.0	77.3	68.8	76.2	77.2	100.0	85.1	70.5	71.8
	③自分の将来が楽しみだ	75.9	77.5	75.4	68.8	76.3	75.4	100.0	83.6	71.6	69.1
	④自分は価値のある人間だと思う	64.4	60.0	66.8	37.6	67.8	67.6	50.0	66.5	69.7	58.6
	⑤自分は家族に大事にされている	92.7	97.5	95.6	93.8	94.9	96.1	90.0	92.3	93.0	93.3
	⑥自分は友だちに好かれている	82.6	80.0	84.8	62.6	93.2	84.4	60.0	81.0	85.7	83.0
	⑦毎日の生活が楽しい	88.5	90.0	89.9	87.5	91.6	90.0	80.0	90.4	89.9	85.3
	⑧不安に思うことはない	55.4	50.0	55.8	56.3	49.2	56.5	40.0	63.5	54.9	46.0
自己肯定感 低	①努力すればできるようになる	8.7	5.0	8.1	6.3	8.5	7.7	0.0	7.1	10.6	9.3
	②将来の夢や目標がある	22.0	25.0	22.4	31.3	23.8	22.5	0.0	13.3	29.6	28.0
	③自分の将来が楽しみだ	23.3	22.5	24.1	31.3	23.7	24.1	0.0	14.9	28.2	30.6
	④自分は価値のある人間だと思う	34.5	40.0	32.4	62.5	30.5	31.9	50.0	31.4	30.1	40.9
	⑤自分は家族に大事にされている	6.4	2.5	3.9	6.3	5.1	3.3	10.0	6.0	6.8	6.5
	⑥自分は友だちに好かれている	16.5	20.0	14.5	37.5	5.1	15.0	40.0	17.3	14.3	16.8
	⑦毎日の生活が楽しい	10.8	10.0	9.6	12.5	8.5	9.5	20.0	8.0	10.1	14.4
	⑧不安に思うことはない	43.6	50.0	43.0	43.8	49.1	42.4	60.0	34.5	45.0	53.6

■ 全体よりも5ポイント以上多い

■ 全体よりも5ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けていますが、この間では1つの属性において「自己肯定感 高」が多ければ「自己肯定感 低」が少なくなり、「自己肯定感 高」が少なければ「自己肯定感 低」が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

*** 「自己肯定感 高」 (「とてもそう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)**

世帯構成別にみると、母子世帯では〔⑥自分は友だちに好かれている〕93.2%、その他世帯では〔①努力すればできるようになる〕100.0%、〔②将来の夢や目標がある〕100.0%、〔③自分の将来が楽しみだ〕100%が多くなっています。

学年別にみると、小学生では〔②将来の夢や目標がある〕85.1%、〔③自分の将来が楽しみだ〕83.6%で中学生では〔④自分は価値のある人間だと思う〕69.7%で比較的多くなっています。

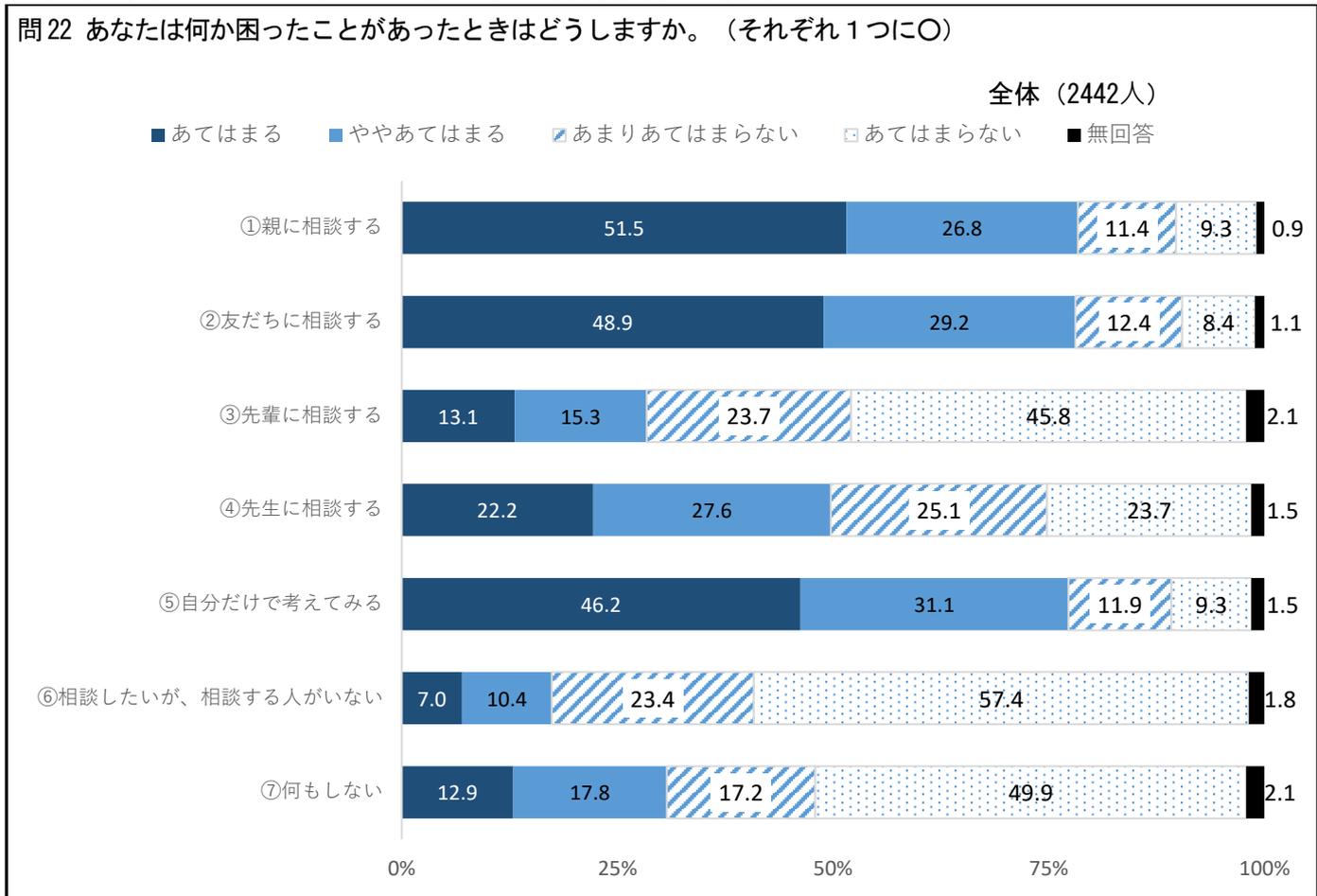
*** 「自己肯定感 低」 (「あまりそう思わない」 + 「そう思わない」)**

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔④自分は価値のある人間だと思う〕40.0%、〔⑧不安に思うことはない〕50.0%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、父子世帯では〔②将来の夢や目標がある〕31.3%、〔③自分の将来が楽しみだ〕31.3%、〔④自分は価値のある人間だと思う〕62.5%、〔⑥自分は友だちに好かれている〕37.5%で、母子世帯では〔⑧不安に思うことはない〕49.1%で、その他の世帯では〔④自分は価値のある人間だと思う〕50.0%、〔⑥自分は友だちに好かれている〕40.0%、〔⑦毎日の生活が楽しい〕20.0%、〔⑧不安に思うことはない〕60.0%で比較的多くなっています。

学年別にみると、中学生では〔②将来の夢や目標がある〕29.6%、で高校生では〔②将来の夢や目標がある〕28.0%、〔③自分の将来が楽しみだ〕30.6%、〔④自分は価値のある人間だと思う〕40.9%、〔⑧不安に思うことはない〕53.6%で比較的多くなっています。

(2) 困ったことがあったときの対応（相談相手の有無）



困ったことがあったときの対応（相談相手の有無）は、「あてはまる」との回答は、〔①親に相談する〕51.5%で最も多く、以下〔②友だちに相談する〕48.9%、〔⑤自分だけで考える〕46.2%と続き、この3つの項目では「あてはまる」と「ややあてはまる」との回答を合わせた『あてはまる』が7割以上を占めています。

一方、「あてはまらない」との回答は、〔⑥相談したいが、相談する人がいない〕57.4%で最も多く、次いで〔⑦何もしない〕49.9%と続き、この2つの項目では「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」との回答を合わせた『あてはまらない』が7割前後を占めています。

(生活困難状況別・世帯構成別・学年別 『あてはまる』と『あてはまらない』)

	全体	生活困難状況別		世帯構成別				学年別			
		貧困層に相当する世帯	貧困層に相当しない世帯	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	その他の世帯	小学生	中学生	高校生	
あてはまる	①親に相談する	78.3	85.0	83.8	81.3	84.8	83.9	80.0	82.7	75.0	75.0
	②友だちに相談する	78.1	82.5	76.1	43.8	84.8	76.7	80.0	74.6	79.8	81.2
	③先輩に相談する	28.4	35.0	25.6	18.8	27.1	26.3	40.0	26.1	32.4	28.8
	④先生に相談する	49.8	60.0	52.8	43.8	55.9	52.9	80.0	61.5	52.9	33.7
	⑤自分だけで考えてみる	77.3	87.5	75.4	68.8	78.0	76.5	80.0	68.1	81.8	85.7
	⑥相談したいが、相談する人がいない	17.4	15.0	11.4	6.3	13.6	11.4	20.0	14.8	17.9	20.1
	⑦何もしない	30.7	45.0	27.1	31.3	33.9	27.7	30.0	23.2	37.7	35.6
あてはまらない	①親に相談する	20.7	12.5	15.5	18.8	13.6	15.3	20.0	15.7	24.5	24.5
	②友だちに相談する	20.8	17.5	23.1	56.3	15.3	22.4	20.0	23.3	20.0	18.4
	③先輩に相談する	69.5	65.0	72.5	75.1	72.8	71.7	60.0	69.9	66.2	70.9
	④先生に相談する	48.8	40.0	46.0	56.3	44.0	45.7	20.0	35.8	46.2	65.9
	⑤自分だけで考えてみる	21.2	12.5	23.8	31.3	22.1	22.8	20.0	28.9	17.6	14.1
	⑥相談したいが、相談する人がいない	80.8	85.0	87.2	93.8	86.4	86.9	80.0	81.4	81.6	79.7
	⑦何もしない	67.1	55.0	71.5	68.8	66.1	70.7	70.0	72.6	61.3	64.0

■ 全体よりも5ポイント以上多い

■ 全体よりも5ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けていますが、この間では1つの属性において『あてはまる』が多ければ『あてはまらない』が少なくなり、『あてはまる』が少なければ『あてはまらない』が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

*** 『あてはまる』（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）**

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔①親に相談する〕85.0%、〔③先輩に相談する〕35.0%、〔④先生に相談する〕60.0%、〔⑤自分だけで考えてみる〕87.5%、〔⑦何もしない〕45.0%が、貧困層に相当しない世帯では〔①親に相談する〕83.8%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔①親に相談する〕84.8%、〔②友だちに相談する〕84.8%、〔④先生に相談する〕55.9%が、ふたり親世帯では〔①親に相談する〕83.9%が、その他の世帯では〔③先輩に相談する〕40.0%、〔④先生に相談する〕80.0%で比較的多くなっています。

学年別にみると、小学生では〔④先生に相談する〕61.5%が、中学生では〔⑦何もしない〕37.7%が、高校生では〔⑤自分だけで考える〕85.7%で比較的多くなっています。

*** 『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）**

生活困難状況別でみると、貧困層に相当しない世帯では〔⑥相談したいが、相談する人がいない〕87.2%で比較的で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、父子世帯では〔②友だちに相談する〕56.3%、〔③先輩に相談する〕75.1%、〔④先生に相談する〕56.3%、〔⑤自分だけで考えてみる〕31.3%、〔⑥相談したいが、相談する人がいない〕93.8%が、母子世帯では〔⑥相談したいが、相談する人がいない〕86.4%がその他の世帯では〔⑥相談したいが、相談する人がいない〕86.9%で比較的多くなっています。

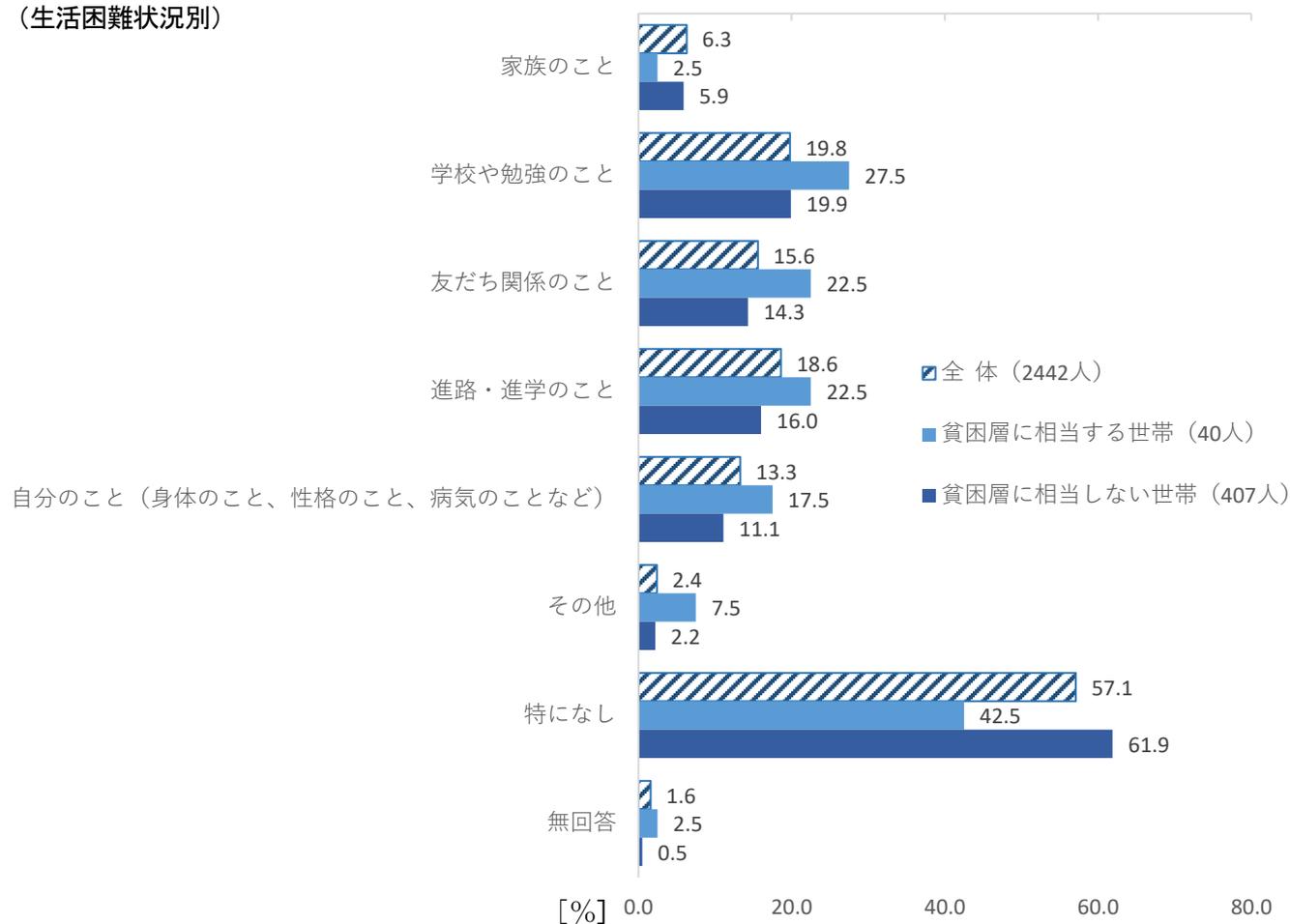
学年別にみると、小学生では〔⑤自分だけで考えてみる〕28.9%、〔⑦何もしない〕72.6%が、高校生では〔④先生に相談する〕65.9%で比較的多くなっています。

(3) 今誰かに相談したいこと

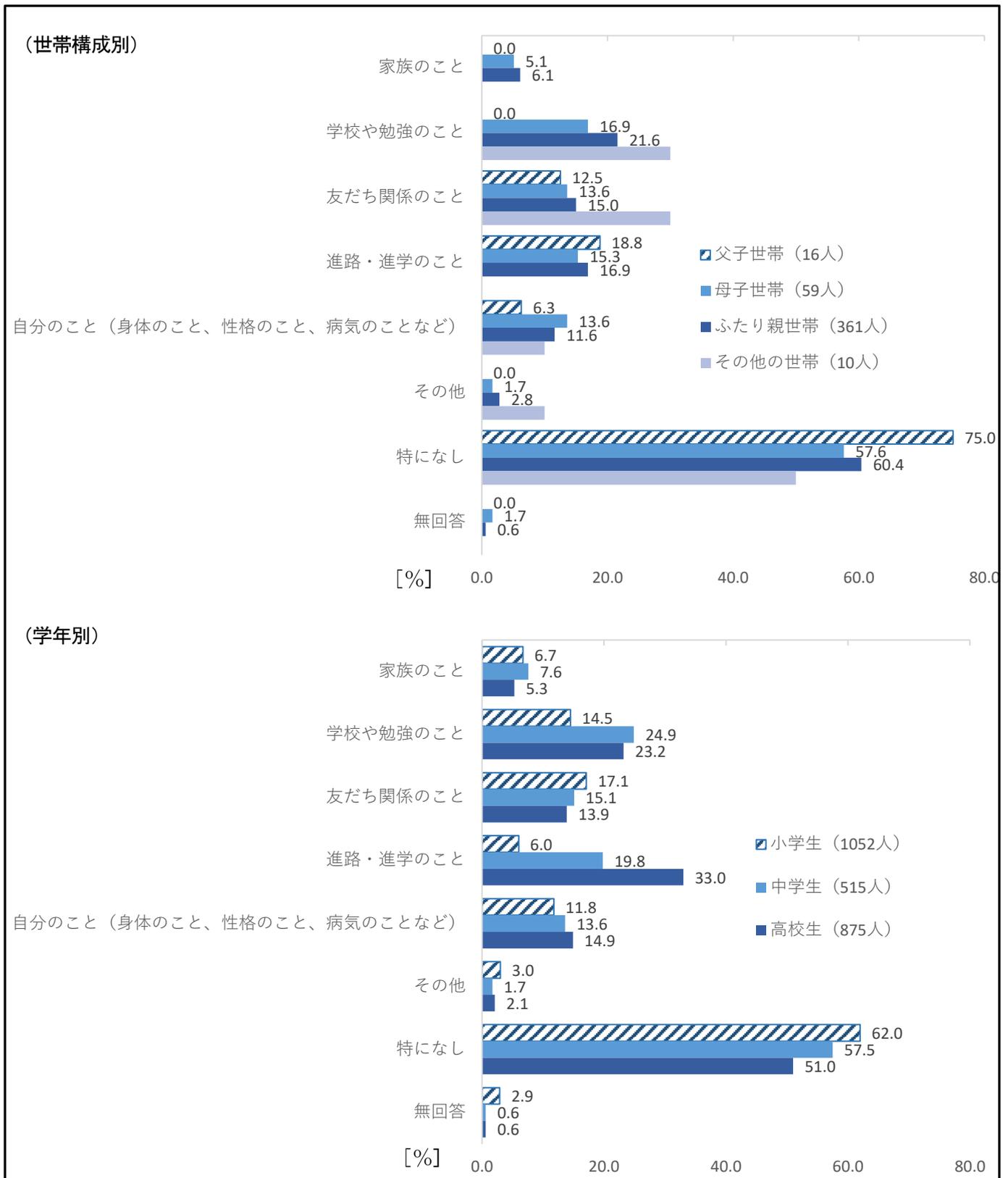
問23 あなたは今困っていることや心配なことなど、だれかに相談したいことはありますか。

(〇はいくつでも)

(生活困難状況別)



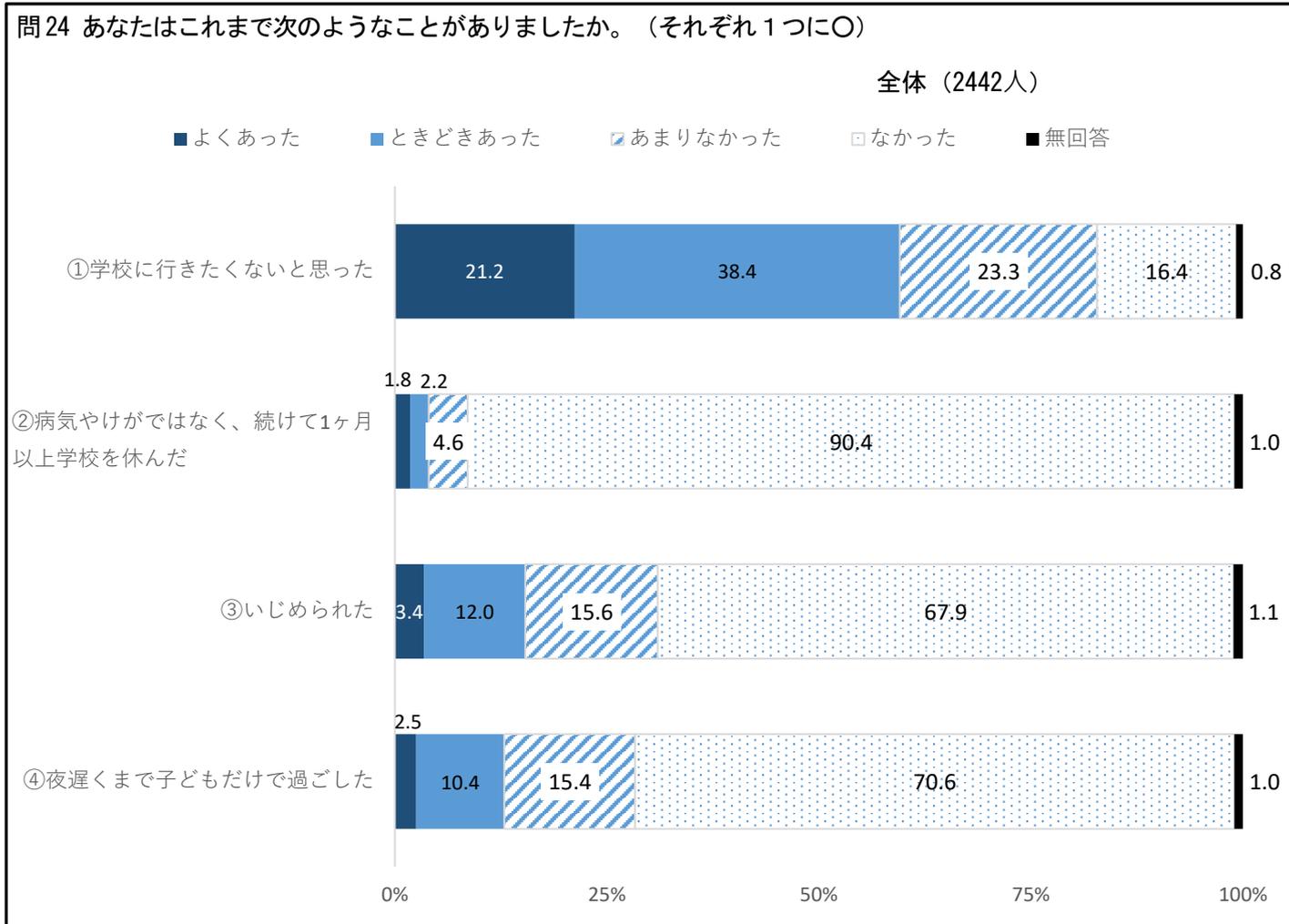
今誰かに相談したいことは、「学校や勉強のこと」19.8%が最も多く、以下「進路・進学のこと」18.6%、「友だち関係のこと」15.6%、「自分のこと（身体のこと、性格のこと、病気のことなど）」13.3%となっています。また、「特になし」が57.1%となっています。



世帯構成別でみると、父子世帯では「進路・進学のこと」18.8%が、母子世帯では「自分のこと（身体のこと、性格のこと、病気のことなど）」13.6%で比較的多くなっています。

学年別でみると、小学生では「特になし」62.2%が、中学生では「学校や勉強のこと」24.9%が、高校生では「進路・進学のこと」33.0%で比較的多くなっています。

(4) いじめや不登校等の経験

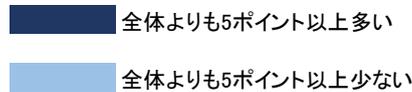


いじめや不登校等の経験は、「よくあった」との回答は、〔①学校に行きたくないと思った〕21.2%で最も多く、「ときどきあった」との回答を合わせた『あった』が半分以上を占めています。また、〔③いじめられた〕でも『あった』が1割以上となっています。

一方、「なかった」との回答は、〔②病気やけがではなく、続けて1か月以上学校を休んだ〕90.4%で最も多く、「あまりなかった」との回答を合わせた『なかった』が大多数を占めています。また、〔④夜遅くまで子どもだけで過ごした〕でも『なかった』が8割以上を占めています。

(生活困難状況別・世帯構成別・学年別 『あった』と『なかった』)

	全体	生活困難状況別		世帯構成別				学年別			
		貧困層に相当する世帯	貧困層に相当しない世帯	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	その他の世帯	小学生	中学生	高校生	
あった	①学校に行きたくないと思った	59.6	67.5	54.8	68.8	59.4	54.6	70.0	57.0	52.6	66.8
	②病気やけがではなく、続けて1ヶ月以上学校を休んだ	4.0	2.5	3.0	6.3	3.4	2.5	10.0	4.4	3.5	3.6
	③いじめられた	15.4	17.5	13.5	18.8	15.3	12.4	40.0	21.5	11.8	10.1
	④夜遅くまで子どもだけで過ごした	12.9	20.0	8.1	12.6	11.9	8.3	20.0	9.0	12.2	18.1
なかった	①学校に行きたくないと思った	39.7	32.5	45.0	31.3	40.7	45.2	30.0	41.3	47.1	33.2
	②病気やけがではなく、続けて1ヶ月以上学校を休んだ	95.0	97.5	96.6	93.8	96.6	96.9	90.0	93.4	96.3	96.2
	③いじめられた	83.5	82.5	86.2	81.3	84.8	87.3	60.0	76.3	88.0	89.5
	④夜遅くまで子どもだけで過ごした	86.0	80.0	91.6	87.6	88.2	91.5	80.0	89.1	87.4	81.6



※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けしていますが、この間では1つの属性において『あった』が多ければ『なかった』が少なくなり、『あった』が少なければ『なかった』が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

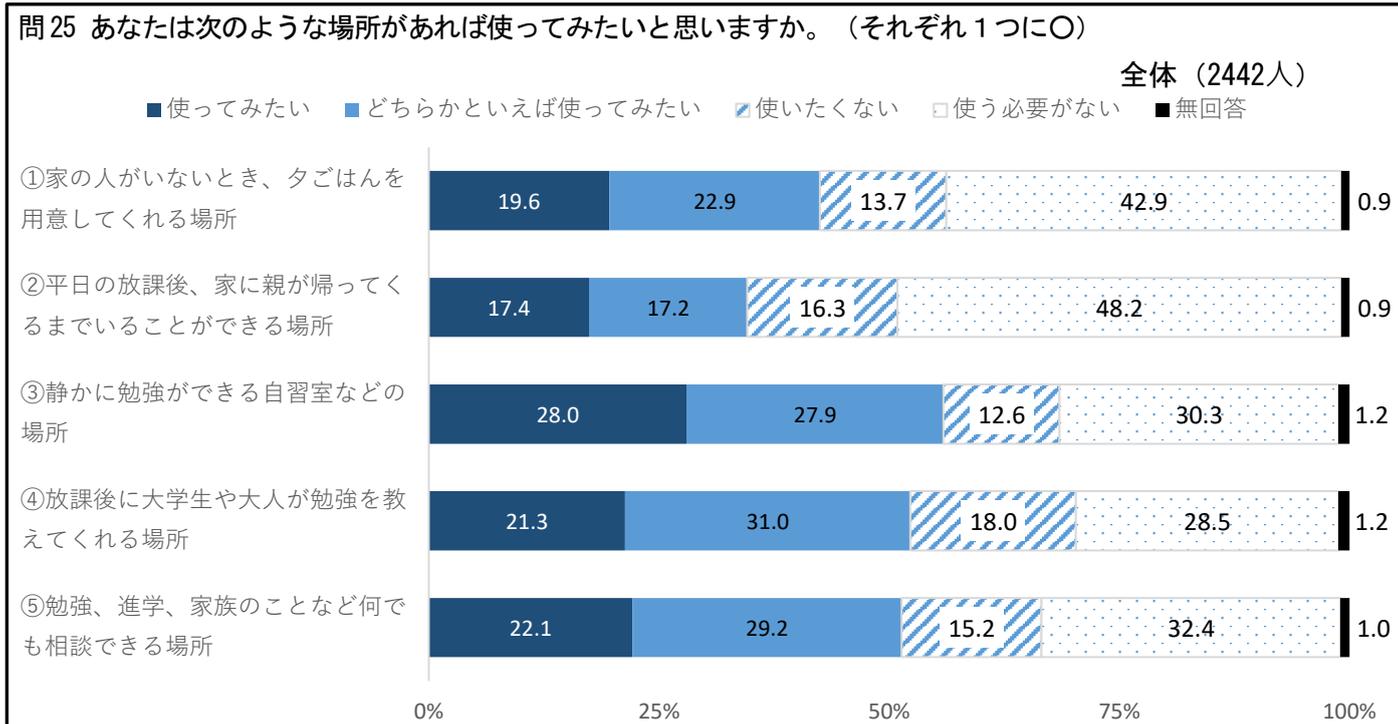
* 『あった』（「よくあった」＋「ときどきあった」）

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔①学校に行きたくないと思った〕67.5%、〔④夜遅くまで子どもだけで過ごした〕20.0%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、父子世帯では〔①学校に行きたくないと思った〕68.8%が、その他世帯では〔①学校に行きたくないと思った〕70.0%、〔②病気やけがではなく、続けて1ヶ月以上学校を休んだ〕10.0%、〔③いじめられた〕40.0%、〔④夜おそくまで子どもだけで過ごした〕20.0%で比較的多くなっています。

学年別でみると、小学生では〔③いじめられた〕21.5%が、高校生では〔①学校に行きたくないと思った〕66.8%、〔④夜遅くまで子どもだけで過ごした〕18.1%で比較的多くなっています。

(5) 子どものための施策や施設等の利用意向



子どものための施策や施設等の利用意向は、「使ってみたい」との回答は、〔③静かに勉強ができる自習室などの場所〕28.0%で最も多く、以下〔⑤勉強、進学、家族のことなど何でも相談できる場所〕22.1%、〔④放課後に、大学生や大人の方が、勉強を教えてくれる場所〕21.3%、と続き、この3つの項目では「どちらかといえば使ってみたい」との回答と合わせた『使ってみたい』が5割～6割を占めています。

一方、「使う必要がない」との回答は、〔②平日の放課後、家に親が帰ってくるまでいることができる場所〕48.2%、〔①家の人がいないとき、夕ごはんを用意してくれる場所〕42.9%と続き、この2つの項目では「使いたくない」との回答を合わせた『使いたくない』が半分以上を占めています。

(生活困難状況別・世帯構成別・学年別 『利用意向あり』と『利用意向なし』)

		全体	生活困難状況別		世帯構成別				学年別		
			貧困層に相当する世帯	貧困層に相当しない世帯	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	その他の世帯	小学生	中学生	高校生
利用意向あり	①家の人がいなくて、夕ごはんを用意してくれる場所	42.5	47.5	32.7	43.8	35.5	32.7	60.0	45.9	44.5	37.4
	②平日の放課後、家に親が帰ってくるまでいることができる場所	34.6	32.5	26.7	25.1	30.5	27.1	20.0	42.6	34.5	24.9
	③静かに勉強ができる自習室などの場所	55.9	55.0	50.9	50.1	54.2	50.6	50.0	51.8	60.2	58.2
	④放課後に大学生や大人が勉強を教えてくれる場所	52.3	40.0	48.9	43.8	50.8	48.2	30.0	49.3	54.9	54.2
	⑤勉強、進学、家族のことなど何でも相談できる場所	51.3	62.5	44.9	31.3	54.2	45.2	70.0	50.8	50.6	52.4
利用意向なし	①家の人がいなくて、夕ごはんを用意してくれる場所	56.6	52.5	67.1	56.3	64.4	67.0	40.0	52.2	55.5	62.5
	②平日の放課後、家に親が帰ってくるまでいることができる場所	64.5	67.5	72.7	75.0	69.5	72.3	80.0	55.5	65.3	75.0
	③静かに勉強ができる自習室などの場所	42.9	42.5	48.9	50.0	45.8	49.0	40.0	45.7	39.4	41.6
	④放課後に大学生や大人が勉強を教えてくれる場所	46.5	60.0	50.6	56.3	49.2	51.2	70.0	48.4	44.6	45.3
	⑤勉強、進学、家族のことなど何でも相談できる場所	47.6	37.5	54.3	68.8	45.8	54.0	30.0	47.0	49.1	47.6

 全体よりも10ポイント以上多い

 全体よりも10ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けていますが、この間では1つの属性において『利用意向あり』が多ければ『利用意向なし』が少なくなり、『利用意向あり』が少なければ『利用意向なし』が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

*** 『利用意向あり』（「使ってみたい」＋「どちらかといえば使ってみたい」）**

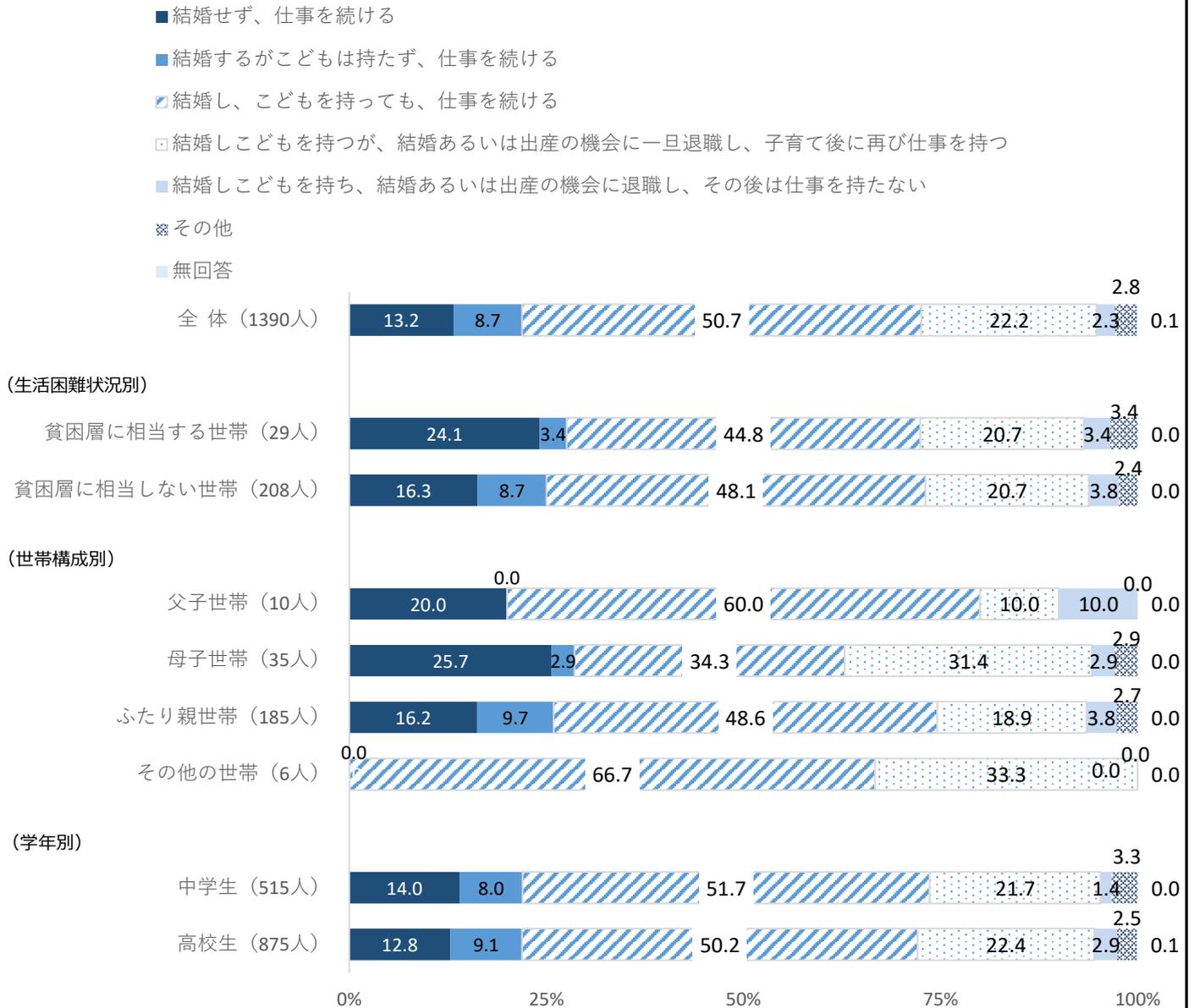
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔⑤勉強、進学、家族のことなど何でも相談できる場所〕62.5%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、その他の世帯では〔①家の人がいなくて、夕ごはんを用意してくれる場所〕60.0%、〔⑤勉強、進学、家族のことなど何でも相談できる場所〕70.0%で比較的多くなっています。

5 将来について

(1) 理想の人生

問26 あなたの理想とする人生はどのタイプですか。(1つに○)



理想の人生について、「結婚し、子どもを持っても、仕事を続ける」50.7%が最も多く、以下「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に一旦退職し、子育て後に再び仕事を持つ」22.2%、「結婚せず仕事を続ける」13.2%、「結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける」8.7%で比較的多くなっています。

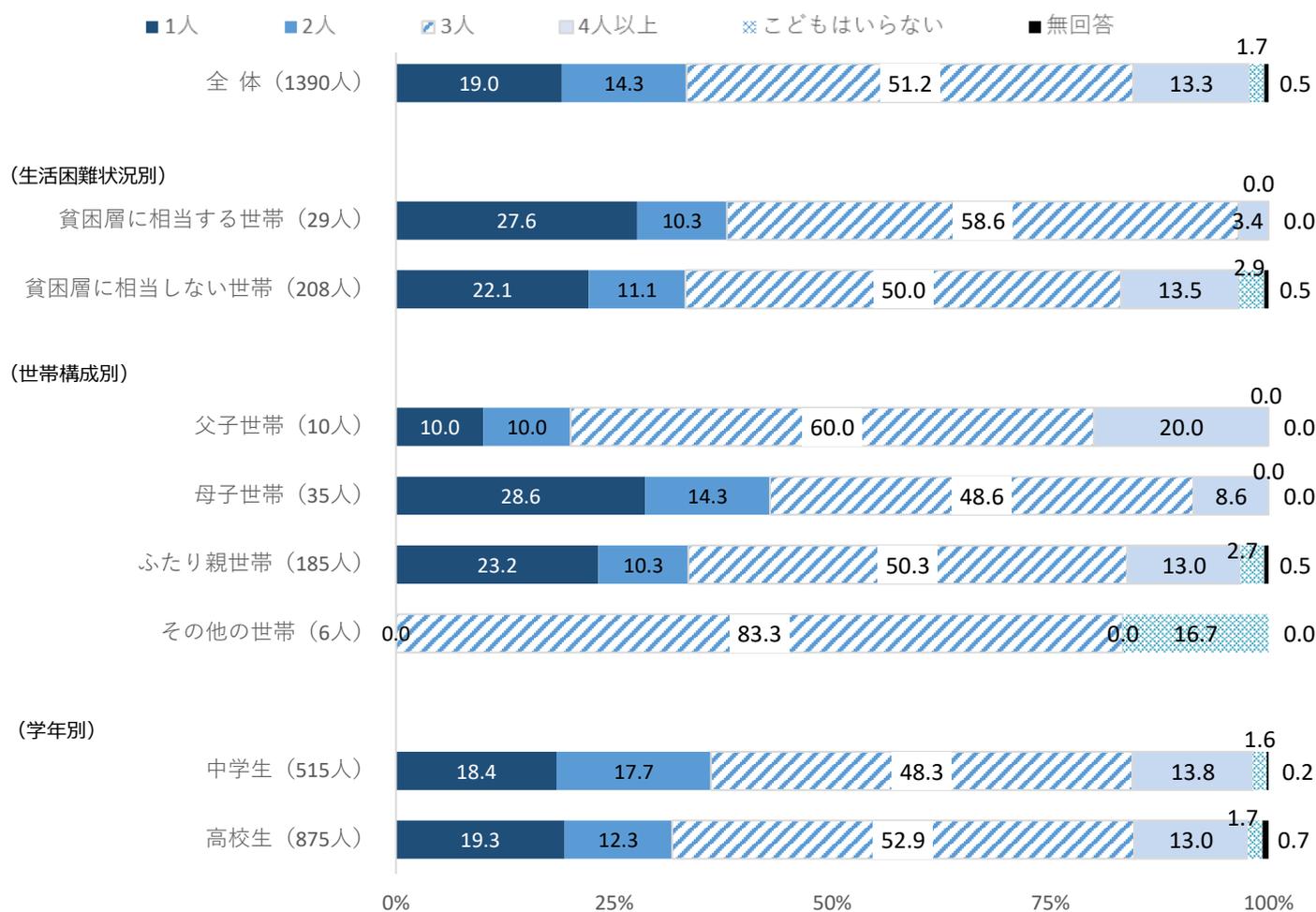
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「結婚せず仕事を続ける」24.1%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、父子世帯では「結婚し、子どもを持っても、仕事を続ける」60.0%が、母子世帯では「結婚せず仕事を続ける」25.7%で比較的多くなっています。

学年別でみると、中学生と高校生では大きな差はありませんでした。

(2) 希望するこどもの数

問27 あなたは、こどもは何人くらいほしいですか。(1つに○)



希望するこどもの数は、「3人」が51.2%で最も多く、以下「1人」19.0%、「2人」14.3%、「4人以上」13.3%で比較的多くなっています。

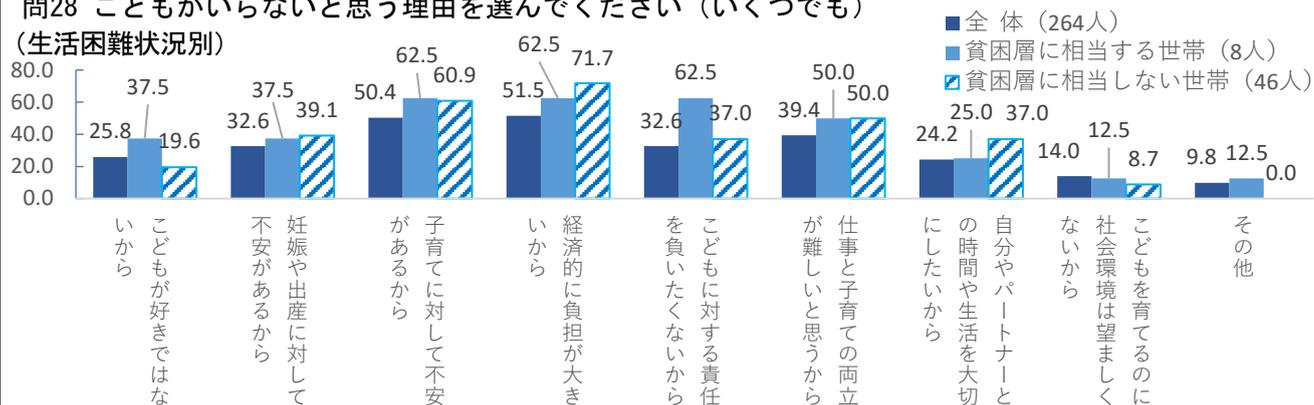
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「1人」27.6%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、父子世帯では「3人」60.0%で比較的多くなっています。

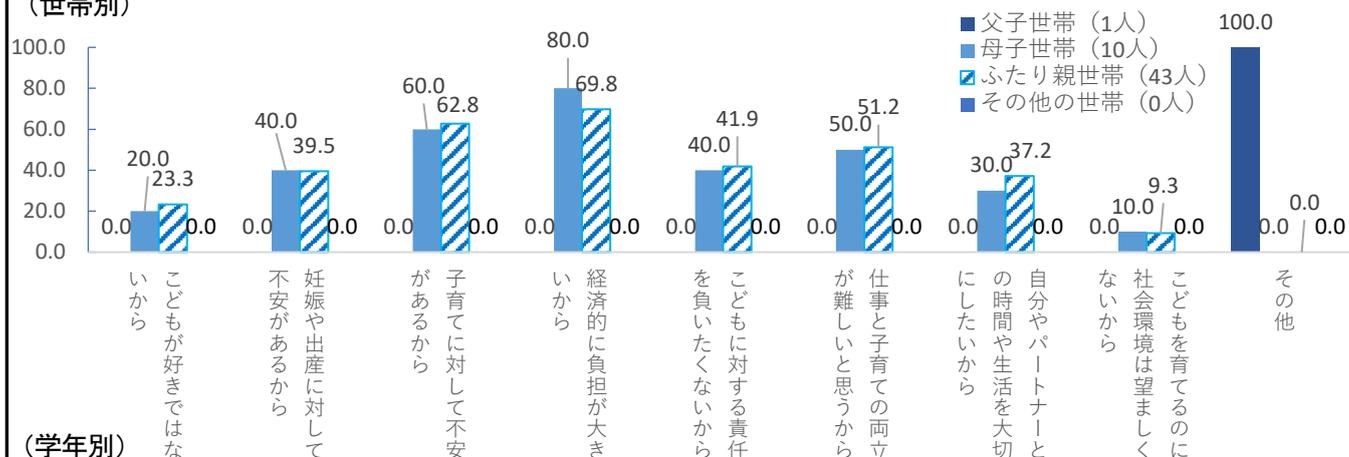
学年別でみると、中学生、高校生では大きな差はありませんでした。

(問27で「子どもはいない」と答えた方のみにお聞きします)
 問28 子どもがいないと思う理由を選んでください(いくつでも)

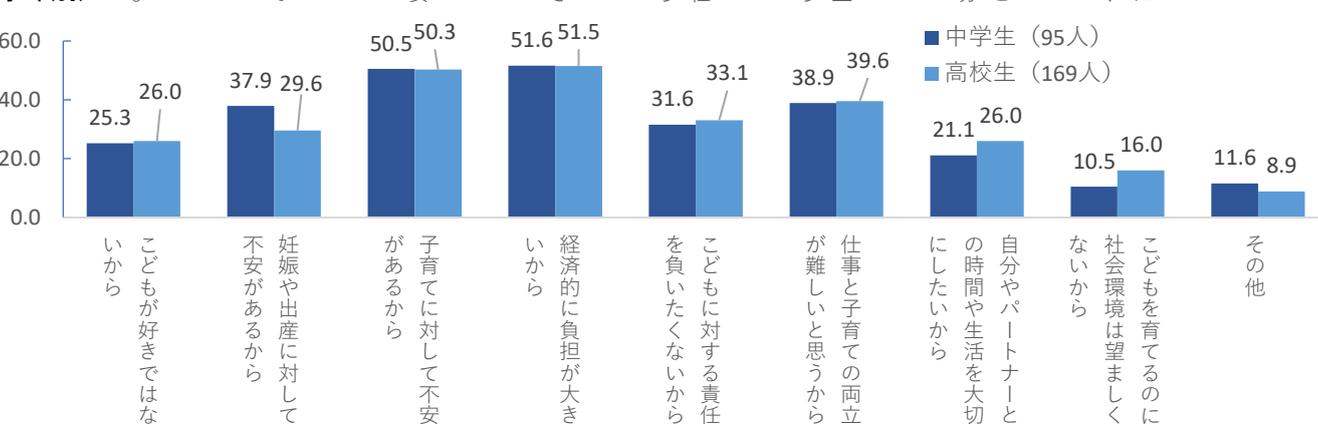
(生活困難状況別)



(世帯別)



(学年別)



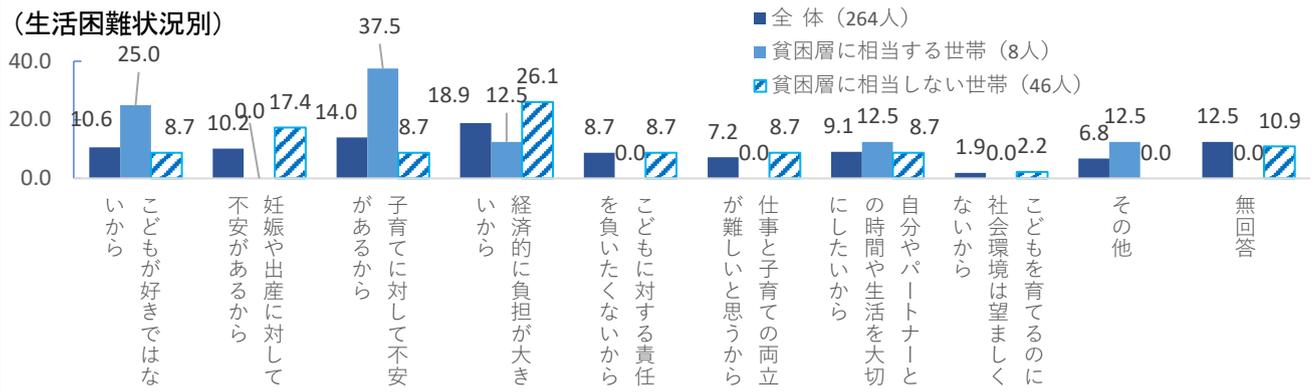
子どもがいないと思う理由は、「経済的に負担が大きいから」51.5%が最も多く、以下「子育てに対し不安があるから」50.4%、「仕事と子育ての両立が難しいと思うから」39.4%、「妊娠や出産に対して不安があるから」と「子どもに対して責任を負いたくないから」が各32.6%と続いています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「子どもに対する責任を負いたくないから」62.5%が、貧困層に相当しない世帯では「自分やパートナーとの時間や生活を大切にしたいから」37.0%で比較的多くなっています。

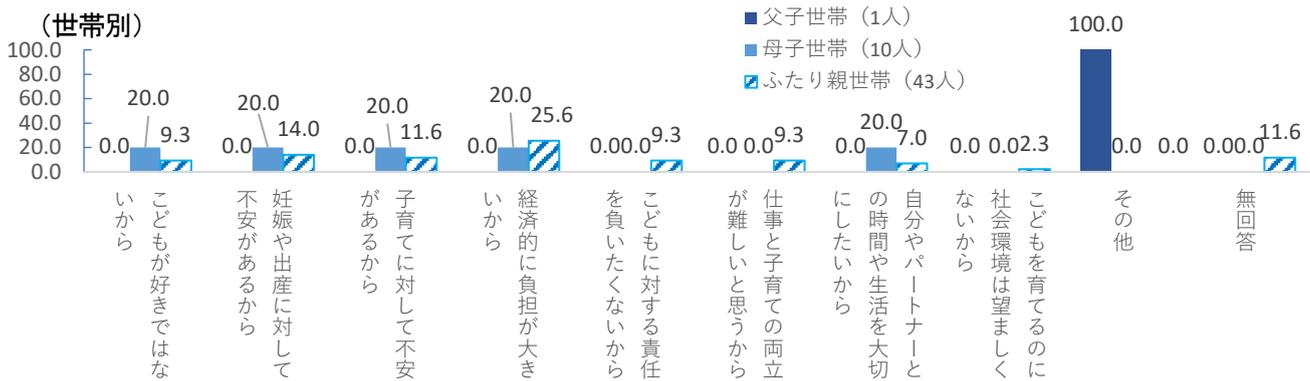
世帯構成別でみると、母子世帯では「経済的に負担が大きいから」80.0%で比較的多くなっています。学年別でみると、中学生、高校生では大きな差はありませんでした。

* こどもがいらないと思う最も大きな理由

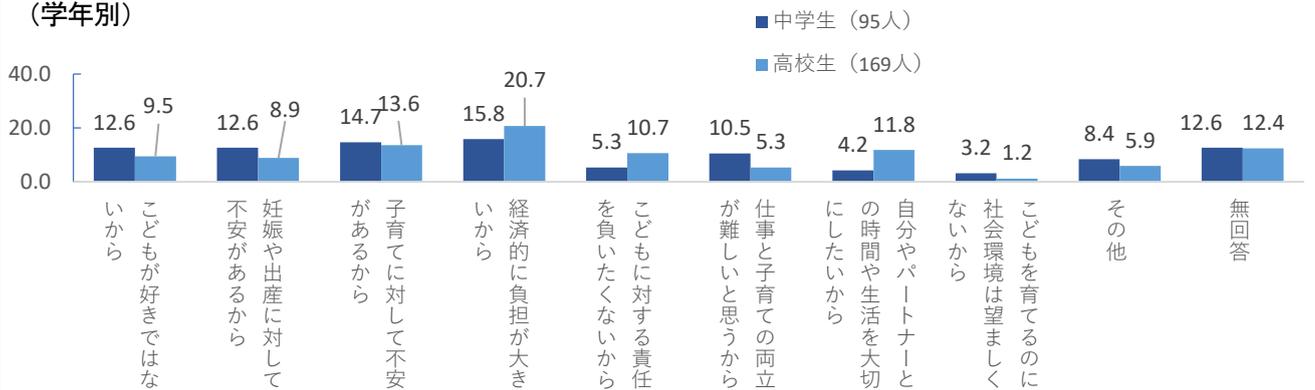
(生活困難状況別)



(世帯別)



(学年別)



こどもがいらないと思う最も大きな理由（1つのみ回答）は、「経済的に負担が大きいから」18.9%が最も多く、以下「子育てに対し不安があるから」14.0%、「こどもが好きではないから」10.6%、「妊娠や出産に対して不安があるから」10.2%と続いています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「子育てに対して不安があるから」37.5%が、貧困層に相当しない世帯では「経済的に負担が大きいから」26.1%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では「こどもが好きではないから」と「自分やパートナーとの時間や生活を大切にしたいから」が各20.0%で比較的多くなっています。

学年別でみると、中学生、高校生では大きな差はありませんでした。

(3) 今一番やってみたいこと（自由意見）

問29 あなたが今一番やってみたいことはなんですか。また、そのためにはなにが必要だと思いますか。自由にお書きください。

今一番やってみたいこと 1,363 件を内容ごとに分類したところ、次頁のようにまとまりました。

最も多かったのは「スポーツ」で 158件でした。ついで、「勉強」が 109 件、「旅行」が 108 件、「お金・宝くじ」が 107 件、「成長・成熟（身体的・精神的）」が 80 件となっています。

*複数回答が含まれる為、合計件数は1515件となっています。

m	件数	分類	件数
スポーツ	158	あそびたい	19
勉強	109	ダンス	18
旅行	108	自由な暮らし（一人暮らし）	17
お金、宝くじ等	107	大会出場、発表会参加等	16
成長・成熟（身体的・精神的）	80	進学・進路	15
行ってみたい・見てみたい・会いたい （鑑賞・観戦・レジャー等）	72	塾・習い事	14
友だちの事	55	漫画・アニメ	10
仕事・職業（働いてみたい、将来就いてみたい）	55	買いたい・食べたい	10
ゲーム	54	余暇（寝たい、休みたい）	9
文化・芸術活動（絵、写真、音楽等）	49	欲しい施設・場所	8
海外	44	コミュニケーション（挨拶、交流）	6
学校生活	38	冒険	6
Youtube・Youtuber	28	発見・発明・研究・開発	6
家族や家庭のこと	28	ボランティア・人助け	5
学校生活（部活）	21	お泊り会	4
動物のこと	21	読書	4
料理、お菓子づくり	19	やってみたいことがわからない	190
資格・免許取得	19	その他	93
		合計	1515

IV 使用調査票

子どもの生活アンケート(保護者調査)

【保護者向け】

テーマ	設問番号	設問	選択肢	回答方法
	注意書き	『お子さま』とは、調査票を持ち帰ったお子さまのことを指します。		
属性	F1	お子さまが通う学校の種類	1 小学校(小学部) 2 中学校(中学部) 3 高等学校(高等部)	1つを選択
	F2	お子さまが通う学校名	別途リストで提供	1つを選択
	F3	お子さまのクラス ※クラスがない場合は00を記入	() 組	数字or英字を記入
	F4	お子さまの出席番号	() 番	数字を記入
以下設問				
家族について	問1	あなた(ご回答者)の、お子さまからみた続柄についてお答えください。	1 父親 2 母親 3 祖父 4 祖母 5 兄弟姉妹 6 その他	1つを選択
	問2-1	あなたの世帯について、令和6年7月1日時点のご家族の人数を教えてください。 生計を同一にしている人数(あなたとお子さまを含めた) ※単身赴任中の方や、学業のために世帯を離れているお子さまについても、生計を同一にしている場合は人数に含めてご回答ください。	() 人	数字を記入
	問2-2	そのうち、一緒に住んでいる人数(あなたとお子さまを含めた)	() 人	数字を記入
	問2-3	そのうち、子ども(18歳未満)の人数(お子さまを含めた)	() 人	数字を記入
	問3	あなたの世帯はどなたと一緒に暮らしていますか。お子さまからみた続柄でお答えください。	1 父親 2 母親 3 祖父 4 祖母 5 兄弟姉妹 6 その他()	あてはまるものすべて選択
	問4	あなたの世帯のご家族の中に、介護や介助が必要な方はいますか。	1 いる 2 いない	1つを選択
	問4-2	問4で「1」と回答した方にお伺いします。 お子さまからみて、介護や介助が必要な方はどなたですか。	1 父親 2 母親 3 祖父 4 祖母 5 兄弟姉妹 6 その他	あてはまるものすべて選択
	問5	現在お住まいの住宅の種類についてお答えください。	1 持ち家 2 民間賃貸住宅 3 社宅・公務員住宅等の給与住宅 4 自治体・公社等の公営賃貸住宅 5 その他	1つを選択
	問6	お子さまが病気のときや、ご自身の用事のときなどに頼れる同居していない親族や友人はいますか。	1 いる 2 いない	1つを選択
	問7	お子さまを監護している(面倒をみている)父親の年齢についてお答えください。	1 25歳未満 2 25～29歳 3 30～34歳 4 35～39歳 5 40～44歳 6 45～49歳 7 50～54歳 8 55～59歳 9 60歳以上 10 いない	1つを選択
	お子さまを監護している(面倒をみている)母親の年齢についてお答えください。	〃	1つを選択	

テーマ	設問番号	設問	選択肢	回答方法
家族について	問8	(問7(父親)で「1」～「9」と回答した方のみ) お子さまの父親の主なお仕事についてお答えください。	1 正社員・正規職員・会社役員 2 嘱託・契約社員・準社員 3 派遣社員 4 パート・アルバイト・日雇い 5 自営業(家族従事者、内職、自由業、フリーランスを含む) 6 その他の職 7 求職中 8 仕事はしていない(専業主婦/主夫を含む)	1つを選択
		(問7(母親)で「1」～「9」と回答した方のみ) お子さまの母親の主なお仕事についてお答えください。	〃	1つを選択
	問8-2	(問8(父親)で「1」～「6」と回答した方のみ) お子さまの父親の普段の帰宅時刻で、最も多い時間帯を選んでください。	1 18時まで 2 18～20時 3 20～22時 4 22時以降 5 交代制勤務(決まっていない) 6 残業などで帰宅時間は一定でない	1つを選択
		(問8(母親)で「1」～「6」と回答した方のみ) お子さまの母親の普段の帰宅時刻で、最も多い時間帯を選んでください。	〃	1つを選択
	問9	(問7(父親)で「1」～「9」と回答した方のみ) お子さまの父親の健康状態を教えてください。	1 健康 2 病気・障害がある(日常生活に支障はない) 3 病気・障害がある(日常生活に支障がある)	1つを選択
		(問7(母親)で「1」～「9」と回答した方のみ) お子さまの母親の健康状態を教えてください。	〃	1つを選択
	問10	(問7(父親)で「1」～「9」と回答した方のみ) お子さまの父親が卒業・修了した学校についてお答えください。	1 中学のみ 2 中学、高校 3 中学、高校、専門学校 4 中学、5年制の高等専門学校 5 中学、高校、短大 6 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学 7 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院 8 その他	1つを選択
		(問7(母親)で「1」～「9」と回答した方のみ) お子さまの母親が卒業・修了した学校についてお答えください。	1 中学のみ 2 中学、高校 3 中学、高校、専門学校 4 中学、5年制の高等専門学校 5 中学、高校、短大 6 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学 7 中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院 8 その他	1つを選択

テーマ	設問番号	設問	選択肢	回答方法
世帯の経済的な状況について	問11	<p>前年（令和5年）のあなたの世帯の手取り収入の合計額は、およそいくらでしたか。</p> <p>世帯の収入（※1）から、税金や社会保険料の額（※2）を差し引いた後の額でお答えください。</p> <p>※1 収入は働いて得た給料だけでなく、株式配当などの副収入、年金収入、公的な手当、養育費、仕送りを含めた額です。</p> <p>※2 所得税、住民税、社会保険料、固定資産税等の合計額です。</p>	1 50万円未満 2 50～100万円未満 3 100～150万円未満 4 150～200万円未満 5 200～250万円未満 6 250～300万円未満 7 300～350万円未満 8 350～400万円未満 9 400～450万円未満 10 450～500万円未満 11 500～550万円未満 12 550～600万円未満 13 600～650万円未満 14 650～700万円未満 15 700～750万円未満 16 750～800万円未満 17 800～850万円未満 18 850～900万円未満 19 900～950万円未満 20 950～1,000万円未満 21 1,000万円以上 22 わからない	1つを選択
	問12	現在の暮らしの状況を総合的に見て、どう感じますか。	1 大変苦しい 2 やや苦しい 3 普通 4 ややゆとりがある 5 大変ゆとりがある	1つを選択
	問13	あなたが子どもの頃の暮らしの状況について、あなたはどのように感じていましたか。	1 大変苦しかった 2 やや苦しかった 3 普通 4 ややゆとりがあった 5 大変ゆとりがあった	1つを選択

テーマ	設問番号	設問	選択肢	回答方法
子どもとの関わり、習慣について	問14 MATRIX	お子さまの基本的な生活・学習習慣について教えてください。		
		決まった時間に起床する	1 できている 2 ほぼできている 3 あまりできていない 4 できていない 5 わからない	1つを選択
		決まった時間に就寝する	1 できている 2 ほぼできている 3 あまりできていない 4 できていない 5 わからない	1つを選択
		毎日朝食を食べる	1 できている 2 ほぼできている 3 あまりできていない 4 できていない 5 わからない	1つを選択
		朝や夜に歯を磨く	1 できている 2 ほぼできている 3 あまりできていない 4 できていない 5 わからない	1つを選択
		毎日お風呂に入る（シャワーを含む）	1 できている 2 ほぼできている 3 あまりできていない 4 できていない 5 わからない	1つを選択
		遅刻せず学校に行く	1 できている 2 ほぼできている 3 あまりできていない 4 できていない 5 わからない	1つを選択
		宿題をする	1 できている 2 ほぼできている 3 あまりできていない 4 できていない 5 わからない	1つを選択
		自分の持ち物を整理整頓する	1 できている 2 ほぼできている 3 あまりできていない 4 できていない 5 わからない	1つを選択
		あいさつ（おはよう、いただきます等）をきちんとする	1 できている 2 ほぼできている 3 あまりできていない 4 できていない 5 わからない	1つを選択
		友だちと話したり遊んだりする	1 できている 2 ほぼできている 3 あまりできていない 4 できていない 5 わからない	1つを選択
	問15	お子さまは習い事をしていますか。あてはまるものを選んでください。	1 学習塾 2 家庭教師 3 通信教育 4 英会話 5 習字・そろばん 6 音楽・楽器 7 スポーツ・ダンス 8 その他 9 習い事はしていない	あてはまるものすべて選択

テーマ	設問番号	設問	選択肢	回答方法
子どもとの関わり、習慣について	問16	あなたはお子さまの進学についてどこまで希望されていますか。	(小・中学生の保護者への設問) 1 中学のみ 2 中学、高校 3 中学、高校、専門学校 4 中学、5年制の高等専門学校 5 中学、高校、短大 6 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学 7 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院 8 その他 9 まだわからない (高校生の保護者への設問) 1 中学、高校 2 中学、高校、専門学校 3 中学、5年制の高等専門学校 4 中学、高校、短大 5 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学 6 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院 7 その他 8 まだわからない	1つを選択
	問16-2	あなたは、お子さまが問16の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。	1 思う 2 思わない 3 わからない	1つを選択
	問16-3	問16-2で「2」と回答した方にお伺いします。その理由として、主なものをお答えください。	1 学力が不足しているため 2 経済的に余裕がないため 3 本人の希望と異なっているため 4 その他	1つを選択

テーマ	設問番号	設問	選択肢	回答方法
子どもを取り巻く環境、子育ての悩みについて	問17 MATRIX	あなたのご家庭ではお子さまに次のことをしていますか。	1 している 2 方針でしていない 3 経済的にできない	1つを選択
		毎月お小遣いを渡す	//	1つを選択
		毎年新しい洋服・靴を買う	//	1つを選択
		習い事（音楽・スポーツ・習字など）をさせる	//	1つを選択
		学校以外の学習（学習塾、家庭教師、通信教育など）をさせる	//	1つを選択
		お誕生日のお祝いをする	//	1つを選択
		クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	//	1つを選択
		子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う	//	1つを選択
		子どもの学校行事などに親が参加する	//	1つを選択
	問18 MATRIX	子どもが自宅で勉強が出来る場所を用意する	//	1つを選択
		1年に1回くらい家族旅行に行く	//	1つを選択
		あなたのご家庭では、過去一年間に経済的な理由による次のような経験がありましたか。		
		必要な食料が買えなかった	1 全く無い 2 何度かあった 3 頻繁にあった	1つを選択
		必要な服が買えなかった	//	1つを選択
		学用品費が買えなかった	//	1つを選択
		電気・ガス・水道料金を滞納した	//	1つを選択
		家賃を滞納した	//	1つを選択
		給食費を滞納した	//	1つを選択
税金を滞納した	//	1つを選択		
固定電話や携帯電話の料金を滞納した	//	1つを選択		
携帯電話を持てなかった	//	1つを選択		
医療機関を受診できなかった	//	1つを選択		
生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた	//	1つを選択		
子どもを取り巻く環境、子育ての悩みについて	問19	あなたは現在、お子さまについて悩みや不安はありますか。	1 お子さまに対するしつけや教育に自信が持てない 2 お子さまに対するしつけや教育について相談する相手がいない 3 家族と子育ての意見が合わない 4 お子さまに基本的な生活習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など）が身につかない 5 お子さまが勉強しない 6 お子さまの進学や受験のことが心配である 7 お子さまが反抗的でなかなかいうことを聞かない 8 お子さまの身体の発育や病気が心配である 9 お子さまの非行や問題行動が心配である 10 お子さまに十分な食事や洋服を与えることができていない 11 感情的になってお子さまにきつくあたってしまうことがある 12 その他 13 特に悩みはない	あてはまるものすべて選択
	問20	あなたは、お子さまに関すること以外で心配や悩み事はありますか。	1 家族との人間関係 2 家族以外との人間関係 3 収入や家計・借金など 4 自分の病気や介護 5 家族の病気や介護 6 妊娠・出産 7 家事 8 自分の仕事 9 家族の仕事 10 住まいや生活環境 11 その他 12 特に悩みは無い	あてはまるものすべて選択
	問21	あなたには現在心おきなく相談できる相手がいますか。	1 いる 2 いないのでほしい 3 いないが必要ない	1つを選択
	問21-2	問21で「1」または「2」を回答した方にお伺いします。 その相談相手は誰ですか、また、相談相手が欲しい方はどのような相手に相談したいと思いますか。	1 配偶者・パートナー 2 親、親戚、兄弟姉妹 3 子ども 4 友人・知人 5 隣人・地域の人 6 民生委員・児童委員 7 幼稚園・保育所や学校の先生 8 カウンセラーなどの専門家 9 民間団体・ボランティア等 10 その他	あてはまるものすべて選択

テーマ	設問番号	設問	選択肢	回答方法
各種支援・サービスについて	問22 MATRIX	公的な支援制度について、利用したことがありますか。また、利用したことがない場合はその理由を教えてください。 ※制度内容は、《参考情報》をご覧ください。		
		児童手当	1 利用している（したことがある） 2 利用する必要がない 3 利用したいが基準にあてはまらない 4 利用するのがためらわれた 5 利用したいがどこに相談すればいいかわからない 6 制度を知らなかった	1つを選択
		児童扶養手当	//	1つを選択
		特別児童扶養手当	//	1つを選択
		母子父子寡婦福祉資金貸付	//	1つを選択
		生活困窮者自立支援制度	//	1つを選択
		生活保護	//	1つを選択
		生活福祉資金貸付	//	1つを選択
		高等学校等奨学給付金	//	1つを選択
		自立支援教育訓練給付金	//	1つを選択
		高等職業訓練促進給付金	//	1つを選択
		ひとり親家庭等医療費助成	//	1つを選択
		放課後児童クラブ	//	1つを選択
	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談	//	1つを選択	
	ひとり親サポートセンターへの就業相談	//	1つを選択	
	問23	あなたのご家庭ではお子さまのために就学援助制度を利用していますか	1 利用している 2 利用していない 3 わからない	1つを選択
	問23-2	問23で「1」を回答した方にお伺いします。 現在の就学援助は学校にかかる経費をカバーできていますか	1 できている 2 だいたいできている 3 あまりできていない 4 できていない	1つを選択
	問23-3	問23で「2」を回答した方にお伺いします。 現在、就学援助を利用していない理由はなんですか	1 必要なかったため申請しなかった 2 必要であるが、基準を満たさなかった 3 必要であるが、周囲の目が気になり申請しなかった 4 申請したが認められなかった 5 手続きがわからなかった 6 知らなかった	1つを選択
	問24	あなたは、子育てなどに関する公的な支援制度の情報をどのようにして入手していますか。	1 県・市・町のホームページ 2 県・市・町の広報誌 3 学校からの連絡・お便り 4 家族や友人からの情報 5 SNS 6 その他	あてはまるものすべて選択
	問25	あなたは、子育てなどに関する公的な支援制度を、今後どのような方法で情報を入手したいと思いますか、またはできたら良いと思いますか。	1 県・市・町のホームページ 2 県・市・町の広報誌 3 学校からの連絡・お便り 4 家族や友人からの情報 5 SNS 6 その他	あてはまるものすべて選択
	問26	公的な支援制度など、必要な支援をもれなく受けられるようにするには何が重要だと思いますか。	1 支援制度の申請手続きの簡素化 2 支援制度や申請手続きなどをわかりやすくまとめた情報の発信 3 気軽に生活や悩みごとを相談できる相談窓口を増やす 4 子育て世帯への訪問事業などを積極的に行う 5 メールマガジンやSNS等で定期的に支援制度等の情報を配信 6 その他	あてはまるものすべて選択
	問27 MATRIX	あなたは次のような支援があったら利用したいと思いますか。		
		子ども食堂（無料または安価で食事を提供する食堂）	1 利用したい 2 必要ない	1つを選択
		食の支援（フードバンクなど食料の無料提供）	//	1つを選択
		相談支援（子育てや生活のことなどについて気軽に相談できる場所）	//	1つを選択
		居場所の提供（無料で子どもが自由に過ごすことができる場所の提供）	//	1つを選択
		学習の支援（無料で放課後などに学習指導を提供）	//	1つを選択
		家事補助等の訪問支援（家事や育児等が困難な場合に支援員が家庭を訪問し家事を補助）	//	1つを選択
文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援（美術館・博物館・スポーツなどの鑑賞・観戦費用補助など）		//	1つを選択	
問28	子どもたちがこれからも健やかに育っていくために必要だと思う支援等についてご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。		自由記載	

子ども調査

【子ども向け】

テーマ	設問番号	設問	選択肢	回答方法
属性	F1	あなたが通う学校の種類	1 小学校（小学部） 2 中学校（中学部） 3 高等学校（高等部）	1つを選択
	F2	あなたが通う学校名	別途リストで提供	1つを選択
	F3	あなたのクラス	（ ）組	数字or英字を記入
	F4	あなたの出席番号	（ ）番	数字を記入
以下設問				
あなたの健康のことについて	問1	あなたの性別を教えてください。	1 男 2 女 3 答えたくない	1つを選択
	問2	あなたの今の健康状態を教えてください。	1 とてもよい 2 よい 3 普通 4 あまりよくない 5 よくない	1つを選択
	問3	あなたは、学校のある日は何時ごろ寝ていますか。	1 午後9時前 2 午後9時から午後10時前まで 3 午後10時から午後11時前まで 4 午後11時から午前0時まで 5 午前0時以降	1つを選択
	問4	あなたは家で歯みがきをしますか。	1 毎日みがく 2 週に数日みがく 3 月に数日みがく 4 めったにみがかない	1つを選択
		あなたはお風呂に入りますか。（シャワーをあびることを含みます。）	1 毎日入る 2 週に数日入る 3 月に数日入る 4 めったに入らない	1つを選択
	問5	あなたはむし歯（治療中のものも含む）がありますか。なお、治療が終わったむし歯は含みません。	1 むし歯はない 2 1～2本ある 3 3～5本ある 4 6本以上ある 5 わからない	1つを選択
問6	あなたはむし歯が痛むとき、どうしますか。	1 歯医者に行く 2 家にある痛み止めの薬を飲む 3 なにもしない（がまんする） 4 歯が痛くなったことはない 5 その他	1つを選択	

テーマ	設問番号	設問	選択肢	回答方法
ふだんの生活のことについて	問7	あなたは朝ごはんを食べますか。	1 毎日食べる 2 だいたい食べる（週に5～6日食べる） 3 ときどき食べる（週に3～4日食べる） 4 あまり食べない（週に1～2日食べる） 5 食べない	1つを選択
	問7-2	(問7で2～5を選んだ人のみ) 朝ごはんを食べない日がある理由は何ですか。	1 おなかがすかないから 2 食べる時間がないから 3 用意されていないから 4 家族がだれも食べないから 5 その他	1つを選択
	問7-3	(問7で1～4を選んだ人のみ) 学校のある日はあなたは誰と朝ごはんを食べることが多いですか。	1 親と食べる 2 親以外の家族と食べる 3 家族以外と食べる 4 ひとりで食べる	1つを選択
	問7-4	(問7で1～4を選んだ人のみ) 学校が休みの日はあなたは誰と朝ごはんを食べることが多いですか。	1 親と食べる 2 親以外の家族と食べる 3 家族以外と食べる 4 ひとりで食べる	1つを選択
	問8	あなたは学校が休みの日に昼ごはんを食べますか。	1 いつも食べる 2 ときどき食べる（食べる時の方が多い） 3 あまり食べない（食べない時の方が多い） 4 食べない	1つを選択
	問8-2	(問8で2～4を選んだ人のみ) 昼ごはんを食べないときがある理由は何ですか。	1 おなかがすかないから 2 食べる時間がないから 3 用意されていないから 4 家族がだれも食べないから 5 その他	1つを選択
	問8-3	(問8で1～3を選んだ人のみ) 学校が休みの日はあなたは誰と昼ごはんを食べることが多いですか。	1 親と食べる 2 親以外の家族と食べる 3 家族以外と食べる 4 ひとりで食べる	1つを選択
	問9	あなたは夕ごはんを食べますか。	1 毎日食べる 2 だいたい食べる（週に5～6日食べる） 3 ときどき食べる（週に3～4日食べる） 4 あまり食べない（週に1～2日食べる） 5 食べない	1つを選択
	問9-2	(問9で2～5を選んだ人のみ) 夕ごはんを食べない日がある理由は何ですか。	1 おなかがすかないから 2 食べる時間がないから 3 用意されていないから 4 家族がだれも食べないから 5 その他	1つを選択
	問9-3	(問9で1～4を選んだ人のみ) 学校がある日はあなたは誰と夕ごはんを食べることが多いですか。	1 親と食べる 2 親以外の家族と食べる 3 家族以外と食べる 4 ひとりで食べる	1つを選択
問9-4	(問9で1～4を選んだ人のみ) 学校が休みの日はあなたは誰と夕ごはんを食べることが多いですか。	1 親と食べる 2 親以外の家族と食べる 3 家族以外と食べる 4 ひとりで食べる	1つを選択	

テーマ	設問番号	設問	選択肢	回答方法	
ふだんの生活のことについて	問10	あなたは、学校のある日の、放課後はどこにすることが多いですか。	(小学生への設問) 1 自分の家（親などの大人がいる） 2 自分の家（大人はいるが、兄弟といる） 3 自分の家（大人はいるが、友達といる） 4 自分の家（一人でいる） 5 友達の家（大人もいる） 6 友達の家（大人はいる） 7 おばあさん・おじいさんの家 8 放課後児童クラブ（学童保育） 9 学校（クラブ活動・部活動など） 10 学校（校庭で遊ぶ）、公園など 11 児童館・図書館などの公共の場所 12 コンビニ・ゲームセンターなど 13 塾や習い事 14 その他（ ）	1つを選択	
			(中学生への設問) 1 自分の家（親などの大人がいる） 2 自分の家（大人はいるが、兄弟といる） 3 自分の家（大人はいるが、友達といる） 4 自分の家（一人でいる） 5 友達の家（大人もいる） 6 友達の家（大人はいる） 7 おばあさん・おじいさんの家 8 学校（クラブ活動・部活動など） 9 学校（校庭で遊ぶ）、公園など 10 児童館・図書館などの公共の場所 11 コンビニ・ゲームセンターなど 12 塾や習い事 13 その他（ ）	1つを選択	
			(高校生への設問) 1 自分の家（親などの大人がいる） 2 自分の家（大人はいるが、兄弟といる） 3 自分の家（大人はいるが、友達といる） 4 自分の家（一人でいる） 5 友達の家（大人もいる） 6 友達の家（大人はいる） 7 おばあさん・おじいさんの家 8 学校（クラブ活動・部活動など） 9 学校（校庭で遊ぶ）、公園など 10 児童館・図書館などの公共の場所 11 コンビニ・ゲームセンターなど 12 塾や習い事 13 アルバイト先 14 その他（ ）	1つを選択	
	MATRIX	問11	あなたは、学校のある日の放課後の時間をどのように過ごしていますか。それぞれの時間について教えてください。（それぞれもっともあてはまるもの1つに○）		
			あなたは、学校がある日に学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間も含みます。	1 まったくしない 2 30分より少ない 3 30分以上1時間より少ない 4 1時間以上2時間より少ない 5 2時間以上3時間より少ない 6 3時間以上	1つを選択
			あなたは、学校がある日にどれくらいの時間、1人でSNSやゲームをしたり、動画やテレビを見るなどして過ごしますか。	〃	1つを選択
			あなたは、学校がある日にどれくらいの時間、友だちと過ごしますか。	〃	1つを選択
			あなたは、学校がある日にどれくらいの時間、家事（そうじ、洗たく、料理など）や家族の世話をしますか。	〃	1つを選択
			あなたは、学校がある日に1日あたりどれくらい習い事の時間がありますか。	〃	1つを選択
			あなたは、学校がある日に1日あたりどれくらい部活動の時間がありますか。	〃	1つを選択

テーマ	設問番号	設問	選択肢	回答方法	
ふだんの生活のことについて	問12 MATRIX	あなたは、学校が休みの日の時間をどのように過ごしていますか。 それぞれの時間について教えてください。（それぞれもっともあてはまるもの1つに○）			
		あなたは、学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間も含まれます。	1 まったくしない 2 30分より少ない 3 30分以上1時間より少ない 4 1時間以上3時間より少ない 5 3時間以上6時間より少ない 6 6時間以上	1つを選択	
		あなたは、学校が休みの日にどれくらいの時間、1人でSNSやゲームをしたり、動画やテレビを見るなどして過ごしますか。	〃	1つを選択	
		あなたは、学校が休みの日にどれくらいの時間、友だちと過ごしますか。	〃	1つを選択	
		あなたは、学校が休みの日にどれくらいの時間、家事（そうじ、洗たく、料理など）や家族の世話をしますか。	〃	1つを選択	
		あなたは、学校が休みの日に1日あたりどれくらい習い事的时间がありますか。	〃	1つを選択	
		あなたは、学校が休みの日に1日あたりどれくらい部活動的时间がありますか。	〃	1つを選択	
	問13 MATRIX	次のなかにあなたが、持っているものはありますか。			
		自分だけの文房具	1 持っている 2 持っていないがほしい 3 持っていないが、ほしくない	1つを選択	
		お気に入りの服	〃	1つを選択	
		誕生日にもらったプレゼント	〃	1つを選択	
		家で集中して勉強ができる場所	〃	1つを選択	
		スポーツ用品（サッカーボール、ラケットなど）	〃	1つを選択	
		スマートフォンや携帯電話	〃	1つを選択	
		ゲーム機	〃	1つを選択	
	パソコン	〃	1つを選択		
	問14 MATRIX	あなたは、いつもだれとどれくらい会話をしますか。			
		親	1 よく話す 2 ときどき話す 3 あまり話さない 4 話さない（話す機会がない）	1つを選択	
		兄弟・姉妹	〃	1つを選択	
		親せきやおばあさん・おじいさんなど	〃	1つを選択	
		友達	〃	1つを選択	
		学校の先生	〃	1つを選択	
		児童館・放課後児童クラブの先生や大人	〃	1つを選択	
		塾や習い事などの先生	〃	1つを選択	
	その他の大人	〃	1つを選択		
	問15	あなたが、これまでに参加したことがある活動や行事をすべて選んでください。	1 近所のおまつり 2 町内会などの運動会やクリスマス会などの行事 3 公園や道路などのそうじ、防災訓練 4 児童館、公民館などが開いた教室など 5 通学合宿 6 こども食堂 7 行ったことがない	あてはまるものすべて選択	
	問16	あなたが、今までの1年間で出かけたことがある場所すべてを選んでください。	1 キャンプや海水浴 2 図書館や博物館、美術館 3 映画館や音楽会、コンサート 4 スポーツ施設（プール、体育館など） 5 外食（ファミリーレストランなど） 6 遊園地やテーマパーク 7 デパートやショッピングセンター 8 ゲームセンター 9 友達の家 10 親せきの家	あてはまるものすべて選択	

テーマ	設問番号	設問	選択肢	回答方法
ふだんの生活のことについて	問17 MATRIX	あなたの学校生活についてお聞きします。以下の項目について教えてください。（それぞれ1つに○）		
		授業の時間	1 とても楽しみ 2 楽しみ 3 あまり楽しみではない 4 楽しみではない	1つを選択
		休み時間、給食やお弁当の時間	〃	1つを選択
		クラブ活動・部活動	〃	1つを選択
		授業以外の行事（運動会など）	〃	1つを選択
		先生に会うこと	〃	1つを選択
		友達と会うこと	〃	1つを選択

テーマ	設問番号	設問	選択肢	回答方法
学校や勉強のことについて	問18	あなたの成績はクラスの中でどのくらいだと思いますか。	1 上の方 2 やや上の方 3 まん中あたり 4 やや下の方 5 下のほう 6 わからない	1つを選択
	問19	あなたは学校の勉強がどれくらいわかりますか。	1 いつもわかる 2 だいたいわかる 3 半分くらいわかる 4 わからないことが多い 5 ほとんどわからない	1つを選択
	問19-2	(問19で3～5を選んだ人のみ) いづれから、授業がわからないことがあるようになりましたか。	(小学生への設問) 1 小学1・2年生のころ 2 小学3・4年生のころ 3 小学5年生になってから	1つを選択
			(中学生への設問) 1 小学1・2年生のころ 2 小学3・4年生のころ 3 小学5・6年生のころ 4 中学1年生のころ 5 中学2年生になってから	1つを選択
			(高校生への設問) 1 小学1・2年生のころ 2 小学3・4年生のころ 3 小学5・6年生のころ 4 中学1年生のころ 5 中学2年生のころ 6 中学3年生のころ 7 高校生になってから	1つを選択
	問20	あなたは将来、どの学校に進学したいですか	(小・中学校への設問) 1 中学まで 2 高校まで 3 5年制の高等専門学校まで 4 専門学校まで 5 短期大学まで 6 大学まで 7 大学院まで 8 その他 9 まだわからない	1つを選択
			(高校生への設問) 1 高校まで 2 5年制の高等専門学校まで 3 専門学校まで 4 短期大学まで 5 大学まで 6 大学院まで 7 その他 8 まだわからない	1つを選択
問20-2	(問20で1～7を選んだ人のみ) 選んだ理由を教えてください	1 希望する学校や職業があるから 2 自分の成績から考えて 3 親がそう言っているから 4 兄・姉がそうしているから 5 まわりの先輩や友だちがそうしているから 6 家にお金がないと思うから 7 早く働く必要があるから 8 その他 9 とくに理由はない	あてはまるものすべてを選択	

テーマ	設問番号	設問	選択肢	回答方法	
ふだん感じていること	問21 MATRIX	あなたがふだん生活の中で感じている思いや気持ちを教えてください。			
		努力すればできるようになる	1 とてもそう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない	1つを選択	
		将来の夢や目標がある	//	1つを選択	
		自分の将来が楽しみだ	//	1つを選択	
		自分は価値のある人間だと思う	//	1つを選択	
		自分は家族に大事にされている	//	1つを選択	
		自分は友だちに好かれている	//	1つを選択	
		毎日の生活が楽しい	//	1つを選択	
	不安に思うことはない	//	1つを選択		
	問22 MATRIX	あなたは何か困ったことがあったときはどうしますか。			
		親に相談する	1 あてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない	1つを選択	
		友達に相談する	//	1つを選択	
		先輩に相談する	//	1つを選択	
		先生に相談する	//	1つを選択	
		自分だけで考える	//	1つを選択	
		相談したいが、相談する人がいない	//	1つを選択	
	何もしない	//	1つを選択		
	問23	あなたは今、困っていることや心配なことなど、誰かに相談したいことはありますか。	1 家族のこと 2 学校や勉強のこと 3 友だち関係のこと 4 進路・進学のこと 5 自分のこと（身体のこと、性格のこと、病気のことなど） 6 その他（ ） 7 特になし	あてはまる番号すべて選ぶ	
	問24 MATRIX	あなたはこれまで次のようなことがありましたか。			
		学校に行きたくないと思った	1 よくあった 2 ときどきあった 3 あまりなかった 4 なかった	1つを選択	
		病気やけがではなく、続けて1ヶ月以上学校を休んだ	//	1つを選択	
		いじめられた	//	1つを選択	
	夜遅くまで子どもだけで過ごした	//	1つを選択		
	問25 MATRIX	あなたは次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。			
		家の人がいないとき、夕ごはんを用意してくれる場所	1 使ってみたい 2 どちらかといえば使ってみたい 3 使いたくない 4 使う必要がない	1つを選択	
		(家以外で) 平日の放課後、夜に親が帰ってくるまでいることができる場所	//	1つを選択	
		(家以外で) 静かに勉強ができる自習室などの 場所	//	1つを選択	
		放課後に、大学生や大人の人が、勉強を教えてくれる場所	//	1つを選択	
(学校以外で) 勉強、進学、家族のことなど何でも 相談できる場所	//	1つを選択			
問26	あなたの理想とする人生はどのタイプですか。最もあてはまるものを1つを選んでください。	(小学生へは設問なし) (中・高生への設問) 1. 結婚せず、仕事を続ける 2. 結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける 3. 結婚し、子どもを持っても、仕事を続ける 4. 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に一旦退職し、子育て後に再び仕事を持つ 5. 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない 6. その他(具体的に：)	選択式 + その他 自由記述		

テーマ	設問番号	設問	選択肢	回答方法
ふだん感じていること	問27	あなたは、こどもは何人くらいほしいですか。希望するこどもの数に、1つだけ○をつけてください。	(小学生へは設問なし) (中・高生への設問) 1. こどもはいらない 2. 1人 3. 2人 4. 3人 5. 4人以上	選択式
	問28	(問27で1を選んだ人のみ) こどもはいらないと思う理由すべてを選び、その中で最も大きな理由を1つ選んでください。	(小学生へは設問なし) (中・高生への設問) 1 こどもが好きではないから 2 妊娠や出産に対して不安があるから 3 子育てに対して不安があるから 4 経済的に負担が大きいため 5 こどもに対する責任を負いたくないから 6 仕事と子育ての両立が難しいと思うから 7 自分やパートナーとの時間や生活を大切にしたいから 8 こどもを育てるのに社会環境は望ましくないから 9 その他(具体的に:)	選択式 + その他 自由記述
自由意見	問29	あなたが今一番やってみたいことはなんですか。また、そのためには何が必要だと思いますか。自由にお書きください。		自由記載

